

### Ⅲ 分析結果

#### 1 保護者の生活状況

##### (1)経済的な状況, 暮らしの状況

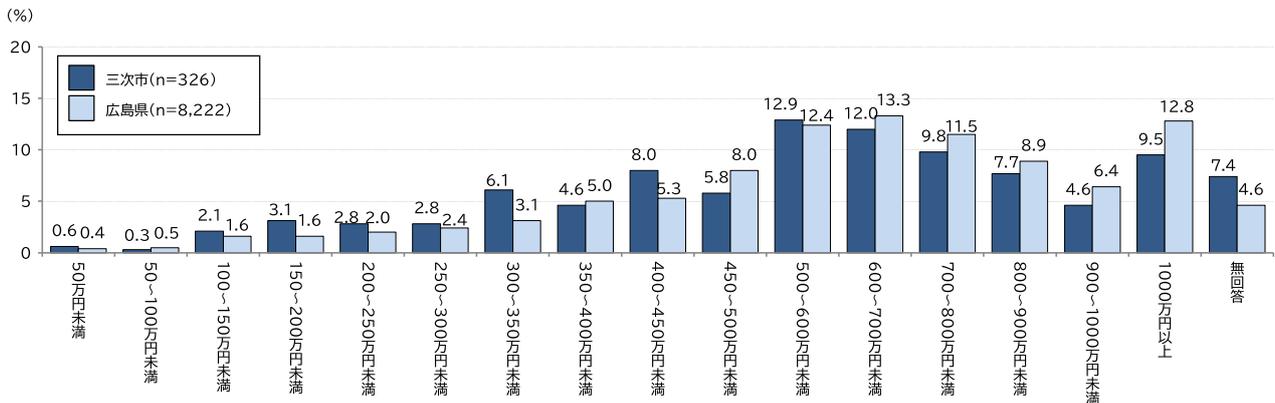
保護者票問 21. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(SA)

※2022年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

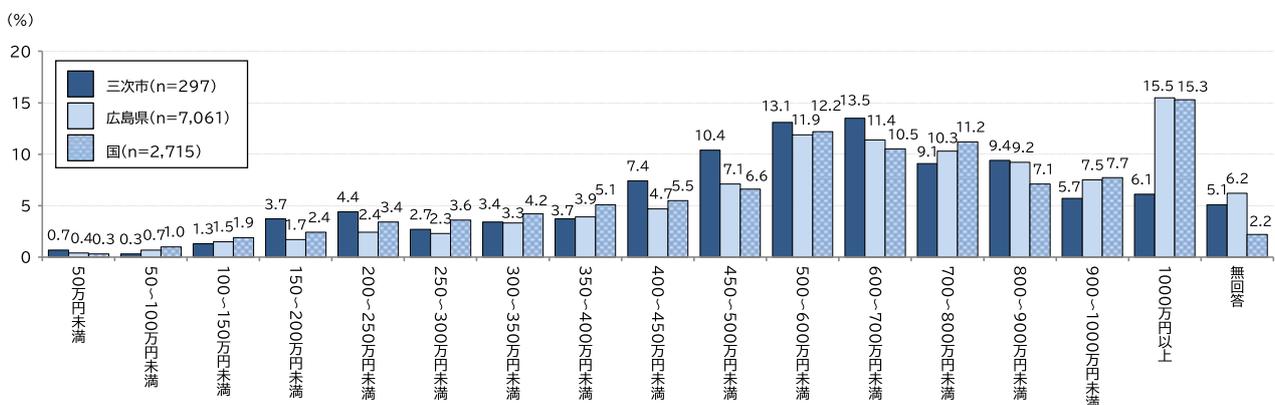
- ・勤め先収入(定期収入, 賞与等)
- ・事業収入(原材料費, 人件費, 営業上の諸経費等を除く), 内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金・恩給, その他の社会保障給付金(生活保護, 児童手当, 児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農機具等の材料費, 営業上の諸経費等を除く)
- ・資産収入(預貯金利子, 家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。)
- ・その他の収入(仕送り, 養育費, 個人年金, 各種祝い金等)

#### 【小学生の保護者】



世帯全体の年間収入について、小学生の保護者では、「500～600万円未満」が12.9%と最も高く、次いで、「600～700万円未満」(12.0%)、「700～800万円未満」(9.8%)などの順となっている。

#### 【中学生の保護者】

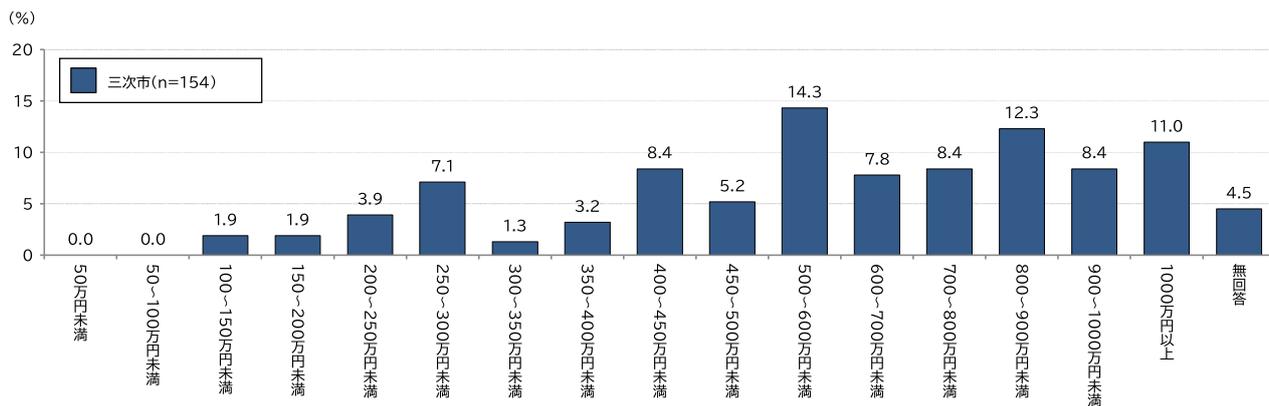


中学生の保護者では、「600～700万円未満」が13.5%と最も高く、次いで、「500～600万円未満」(13.1%)、「450～500万円未満」(10.4%)などの順となっている。

# 1 保護者の生活状況

## (1) 経済的な状況, 暮らしの状況

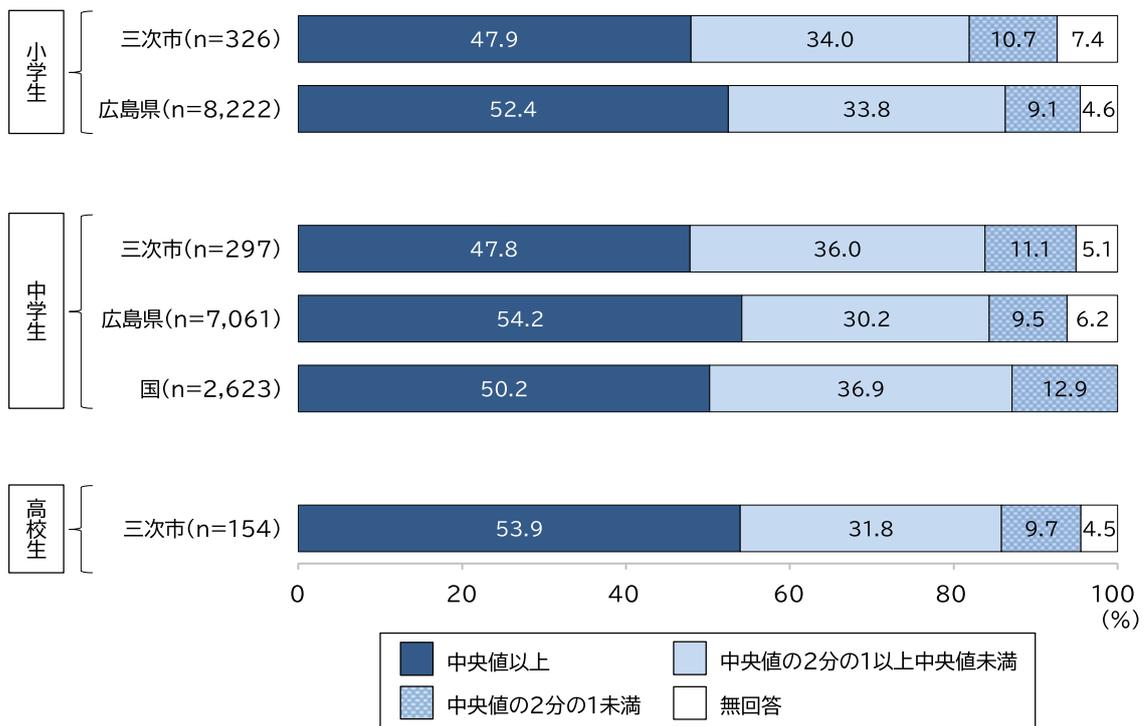
### 【高校生の保護者】



高校生の保護者では、「500～600 万円未満」が 14.3%と最も高く、次いで、「800～900 万円未満」(12.3%)、「1000 万円以上」(11.0%)などの順となっている。

本資料においては、世帯の年間収入の水準について、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行う。

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする(例えば、「50 万円未満」であれば 25 万円, 「50~100 万円未満」であれば 75 万円とする。なお, 「1,000 万円以上」は 1,050 万円とする)。
- 上記の値を, 保護者票問2で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- 上記の方法で算出した値(等価世帯収入)の中央値を求め, さらに, その2分の1未満であるか否かで分類する。



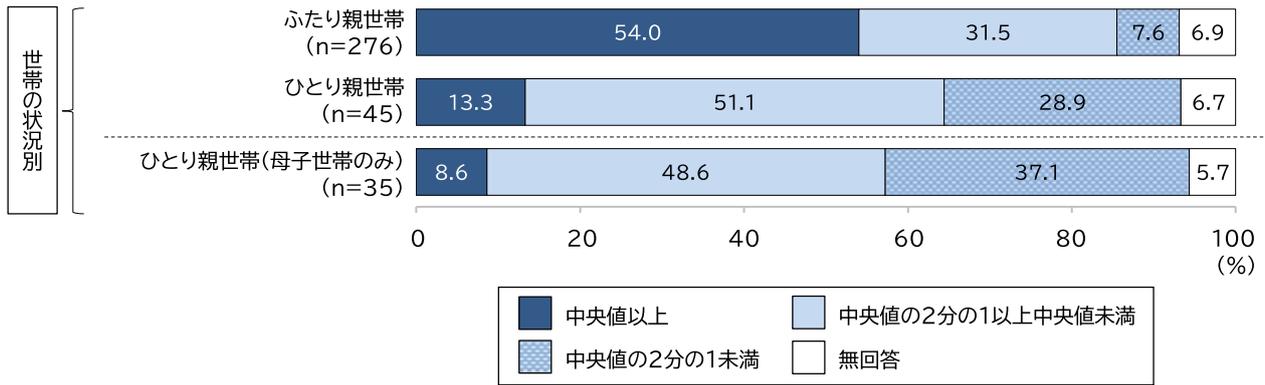
等価世帯収入の水準について、小学生の保護者では、「中央値以上」が 47.9%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」が 34.0%, 「中央値の2分の1未満」が 10.7%となっている。広島県と比較すると、「中央値の2分の1未満」は大きな差はみられない。

中学生の保護者では、「中央値以上」が 47.8%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」が 36.0%, 「中央値の2分の1未満」が 11.1%となっている。広島県と比較すると、「中央値の2分の1以上中央値未満」は三次市(36.0%)が広島県(30.2%)を 5.8 ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「中央値以上」が 53.9%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」が 31.8%, 「中央値の2分の1未満」が 9.7%となっている。

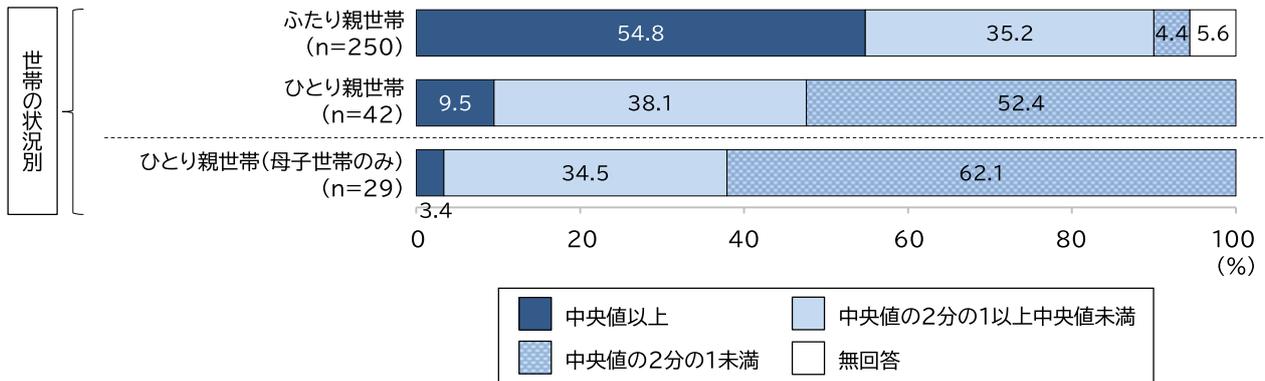
本報告書では、特に「中央値の2分の1未満」に該当する世帯を、「貧困」の課題を抱えている世帯であると考え、集計・分析を行った。また、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当する世帯も「貧困」の課題を抱えるリスクが高い世帯であると考え、回答傾向の把握を行った。

【世帯の状況別\_小学生の保護者】



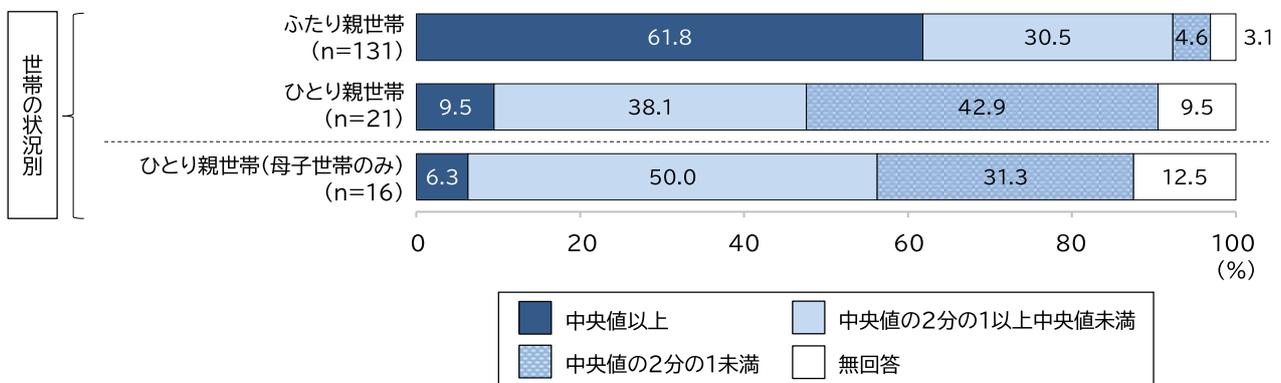
世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では 7.6%、「ひとり親世帯全体」では 28.9%、「母子世帯のみ」では 37.1%となっている。

【世帯の状況別\_中学生の保護者】



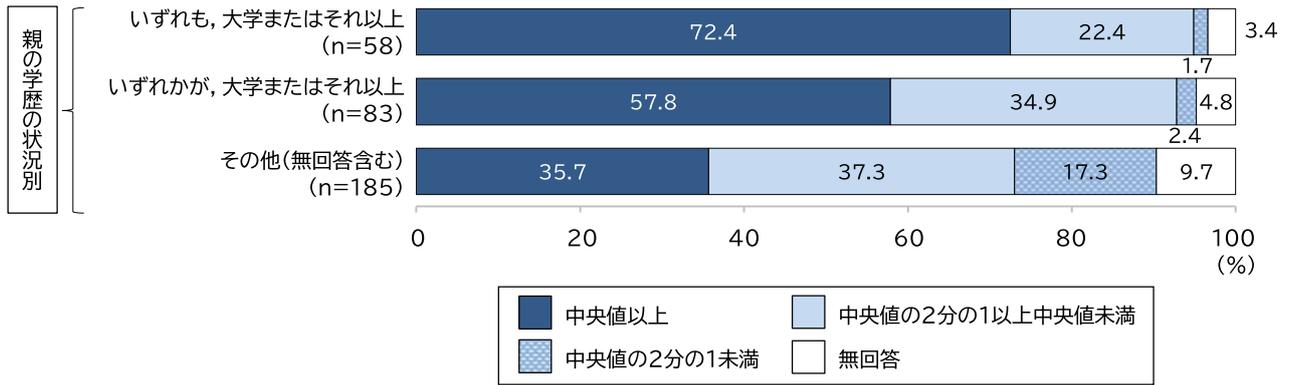
世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では 4.4%、「ひとり親世帯全体」では 52.4%、「母子世帯のみ」では 62.1%となっている。

【世帯の状況別\_高校生の保護者】



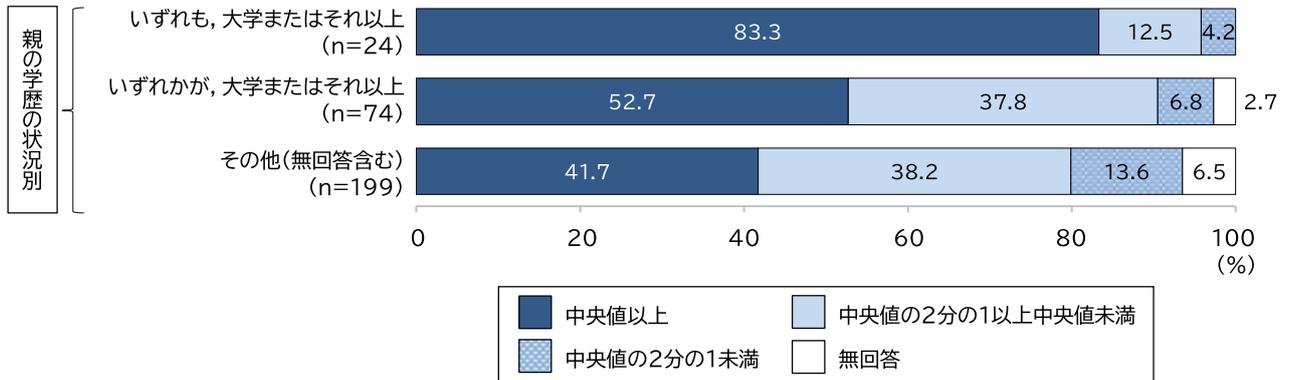
世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では 4.6%、「ひとり親世帯全体」では 42.9%、「母子世帯のみ」では 31.3%となっている。

【親の学歴状況別\_小学生の保護者】



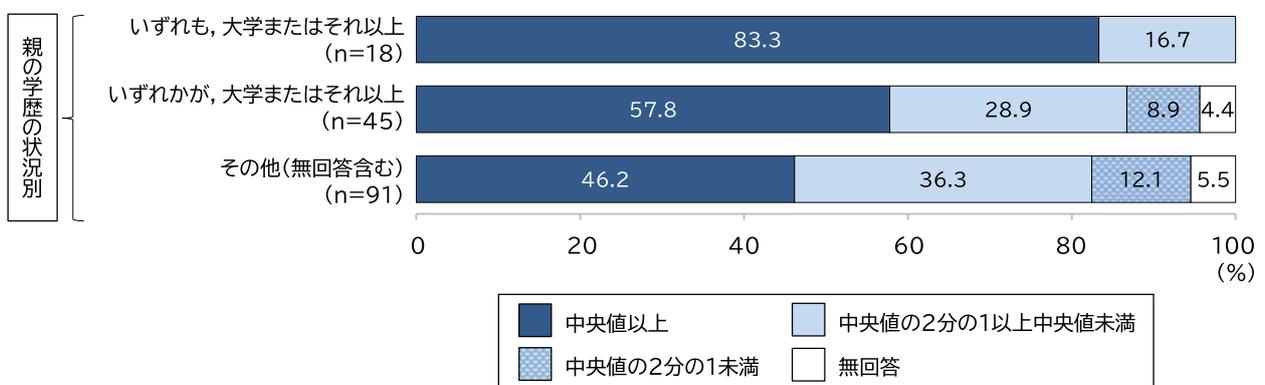
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも, 大学またはそれ以上」では 1.7%, 「いずれかが, 大学またはそれ以上」では 2.4%, 「その他(無回答を含む)」では 17.3%となっている。

【親の学歴状況別\_中学生の保護者】



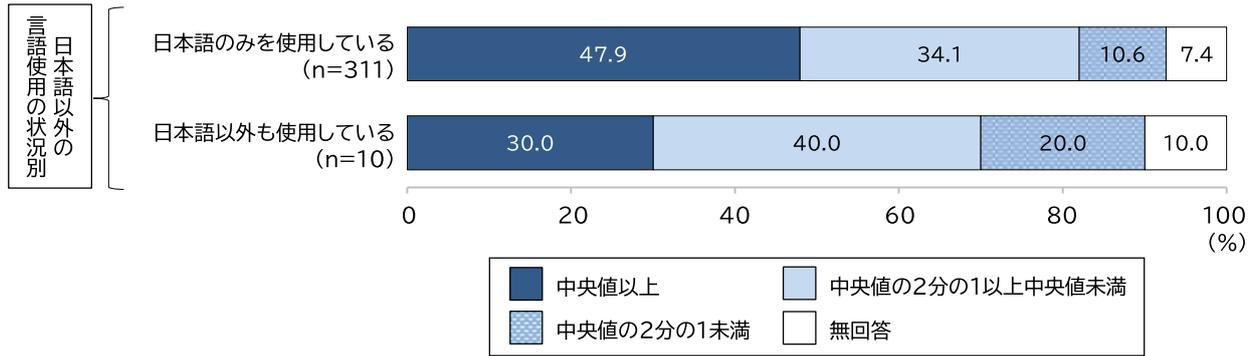
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも, 大学またはそれ以上」では 4.2%, 「いずれかが, 大学またはそれ以上」では 6.8%, 「その他(無回答を含む)」では 13.6%となっている。

【親の学歴状況別\_高校生の保護者】



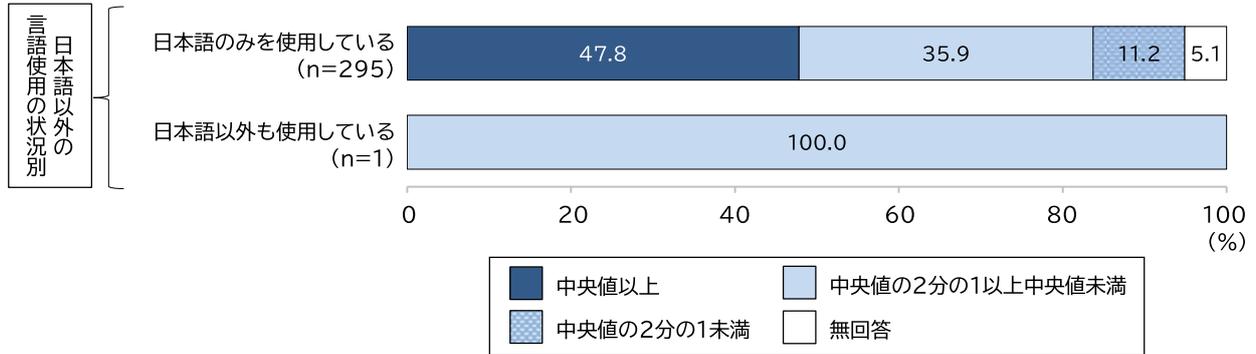
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも, 大学またはそれ以上」では 0.0%, 「いずれかが, 大学またはそれ以上」では 8.9%, 「その他(無回答を含む)」では 12.1%となっている。

【日本語以外の言語使用状況別\_小学生の保護者】



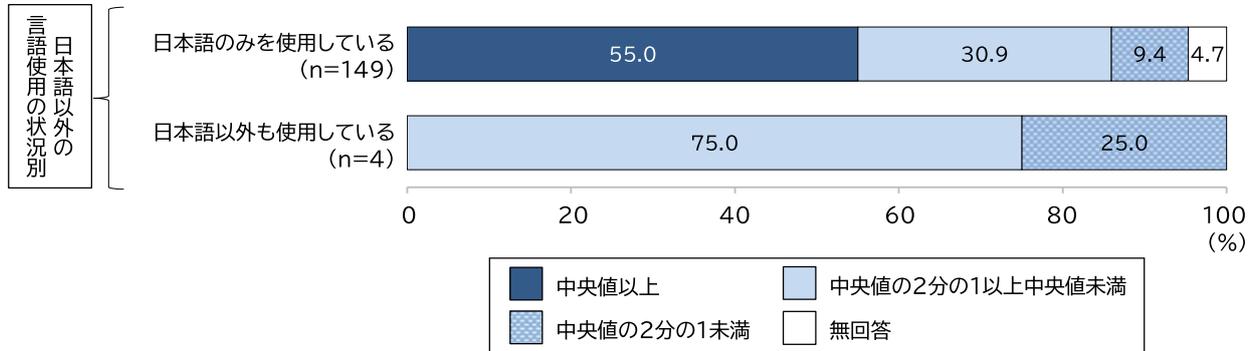
日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「日本語のみを使用している」では10.6%、『日本語以外も使用している(「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多」と「日本語以外の言語を使うことが多い」を合わせた割合)』では、20.0%)がとなっている。

【日本語以外の言語使用状況別\_中学生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「日本語のみを使用している」では11.2%、『日本語以外も使用している』では0.0%となっている。

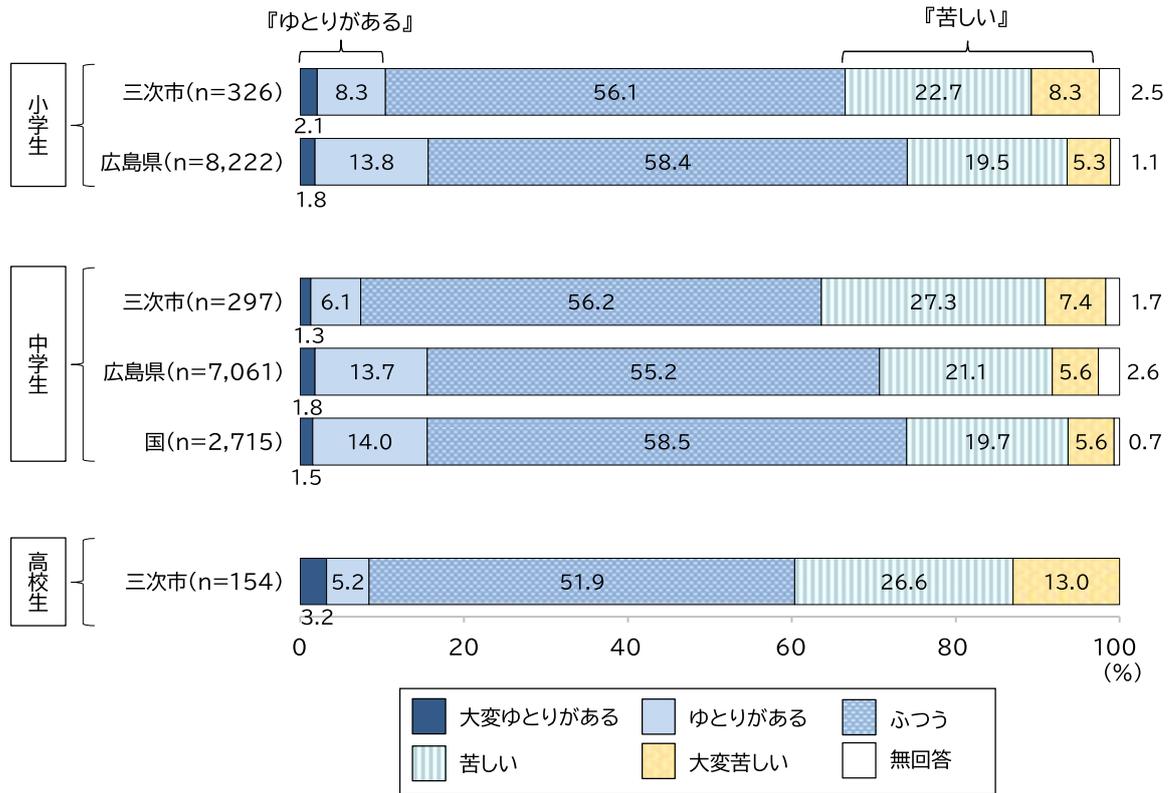
【日本語以外の言語使用状況別\_高校生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「日本語のみを使用している」では9.4%、『日本語以外も使用している』では25.0%となっている。

保護者票問 20. あなたは, 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(SA)

【全体】

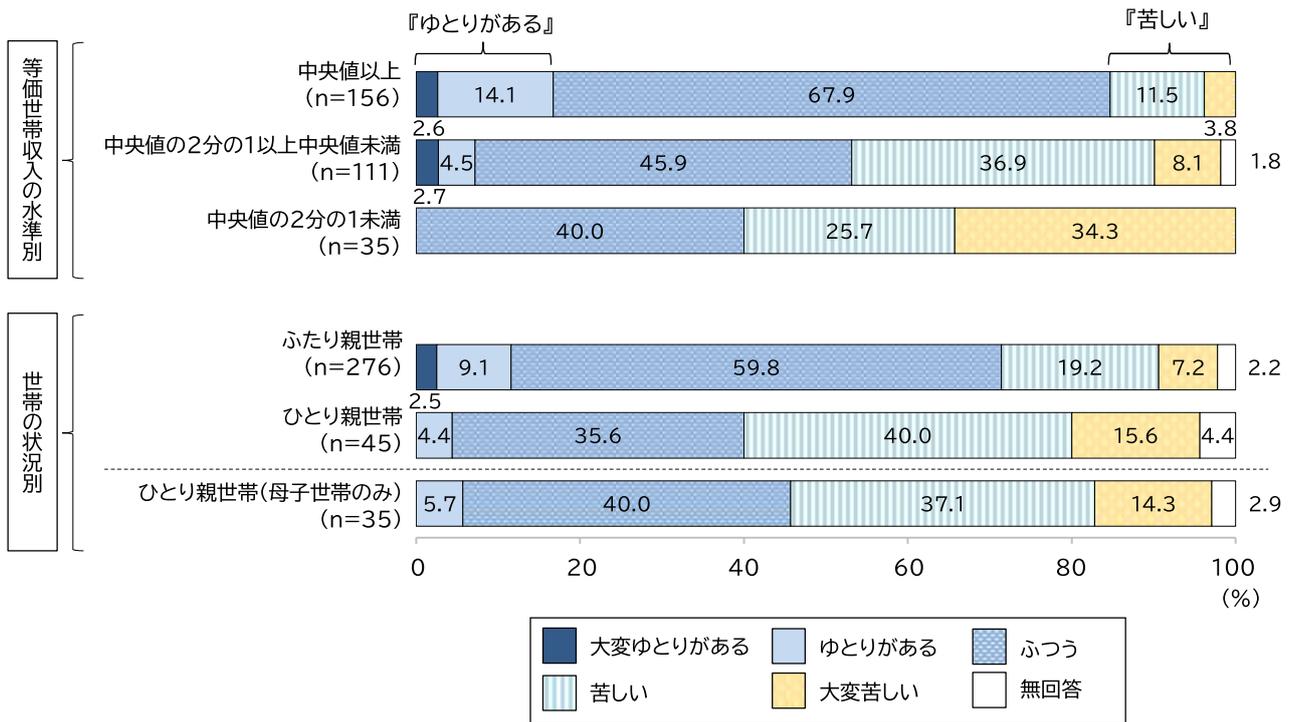


暮らしの状況について, 小学生の保護者では、『ゆとりがある(「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた割合)』が 10.4%, 「ふつう」が 56.1%, 『苦しい(「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合)』が 31.0%となっている。広島県と比較すると、『苦しい』は三次市(31.0%)が広島県(24.8%)を 6.2 ポイント上回っている。

中学生の保護者では、『ゆとりがある』が 7.4%, 「ふつう」が 56.2%, 『苦しい』が 34.7%となっている。広島県と比較すると、『苦しい』は三次市(34.7%)が広島県(26.7%)を 8.0 ポイント上回っている。国と比較すると、『苦しい』は三次市(34.7%)が国(25.3%)を 9.4 ポイント上回っている。

高校生の保護者では、『ゆとりがある』が 8.4%, 「ふつう」が 51.9%, 『苦しい』が 39.6%となっている。

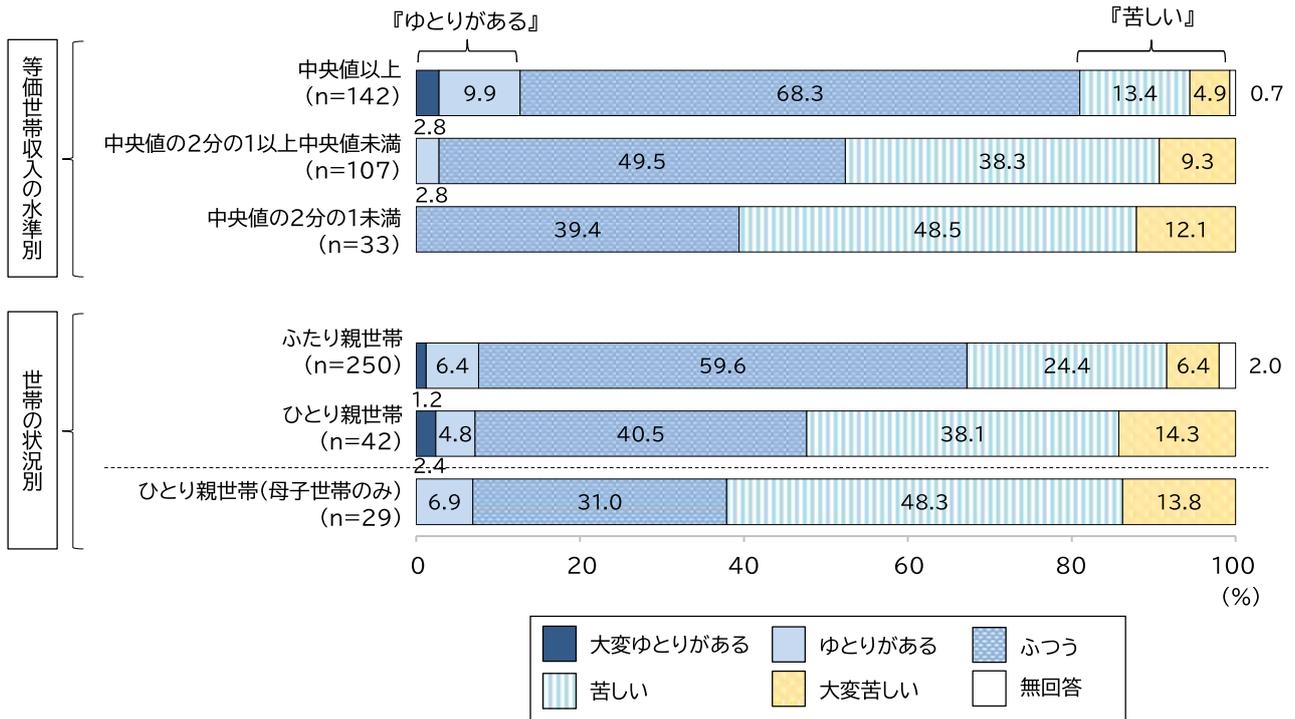
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では 15.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 45.0%、「中央値の2分の1未満」では 60.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では 26.4%、「ひとり親世帯全体」では 55.6%、「母子世帯のみ」では 51.4%となっている。

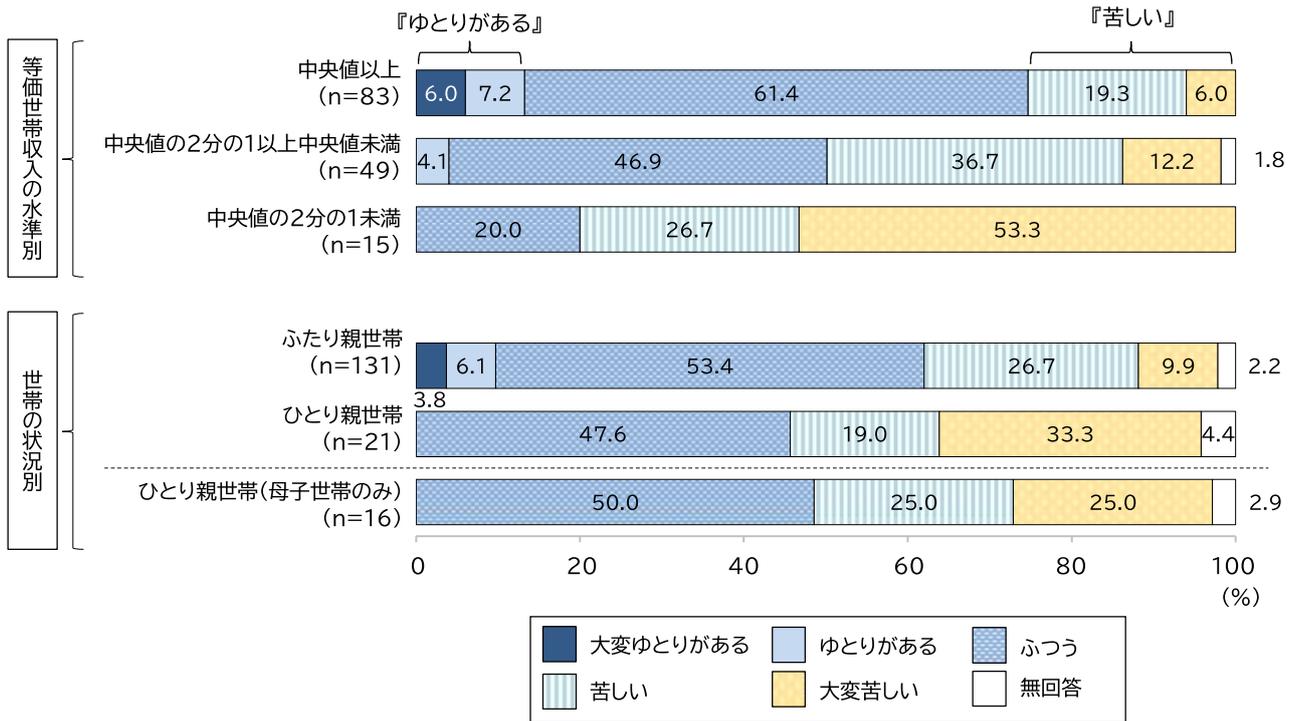
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では 18.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 47.6%、「中央値の2分の1未満」では 60.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では 30.8%、「ひとり親世帯全体」では 52.4%、「母子世帯のみ」では 62.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

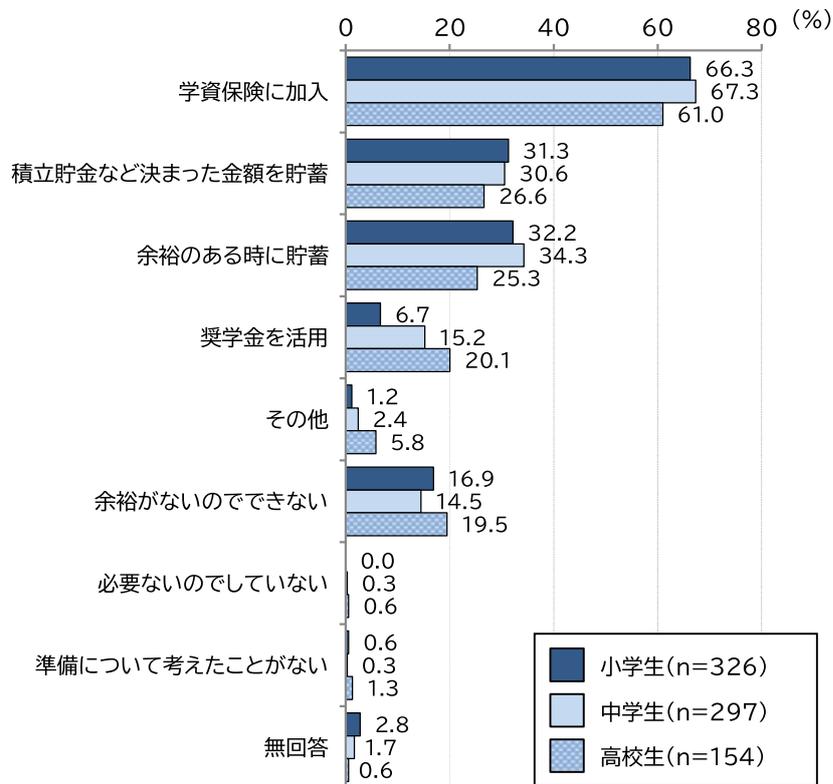


等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では 25.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 48.9%、「中央値の2分の1未満」では 80.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では 36.6%、「ひとり親世帯全体」では 52.3%、「母子世帯のみ」では 50.0%となっている。

保護者票問 22. あなたのご家庭では, 子どもの進学のために経済的な準備をしていますか。(MA)

【全体】

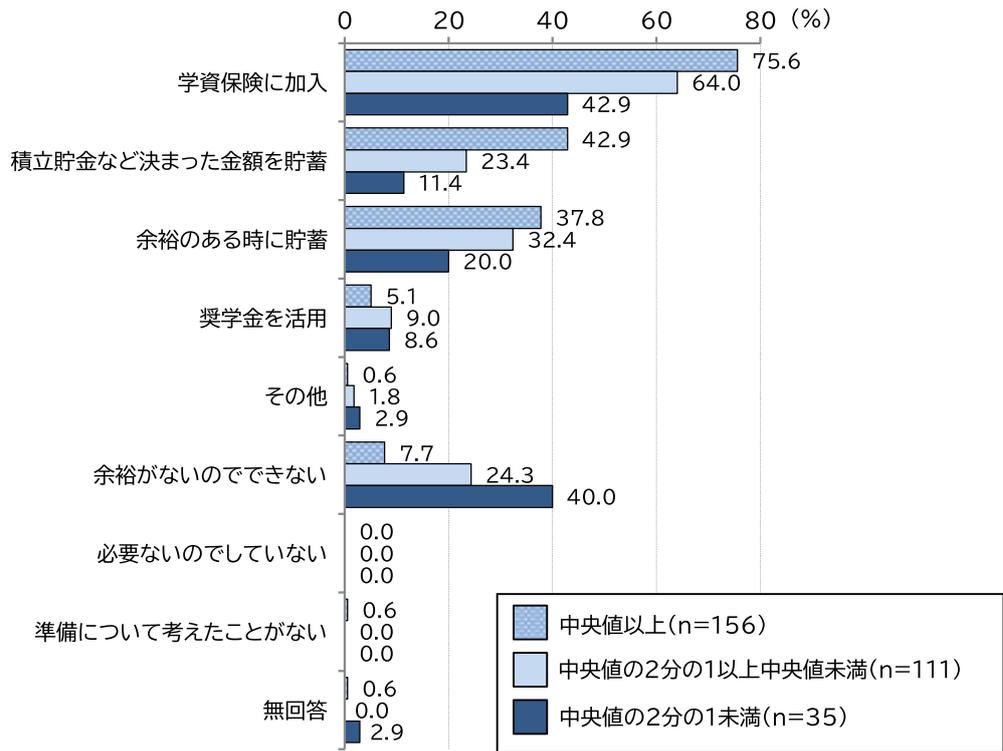


子どもの進学のために経済的な準備について, 小学生の保護者では, 「学資保険に加入」が66.3%と最も高く, 次いで, 「余裕のある時に貯蓄」(32.2%), 「積立貯金など決まった金額を貯蓄」(31.3%)などの順となっている。

中学生の保護者では, 「学資保険に加入」が67.3%と最も高く, 次いで, 「余裕のある時に貯蓄」(34.3%), 「積立貯金など決まった金額を貯蓄」(30.6%)などの順となっている。

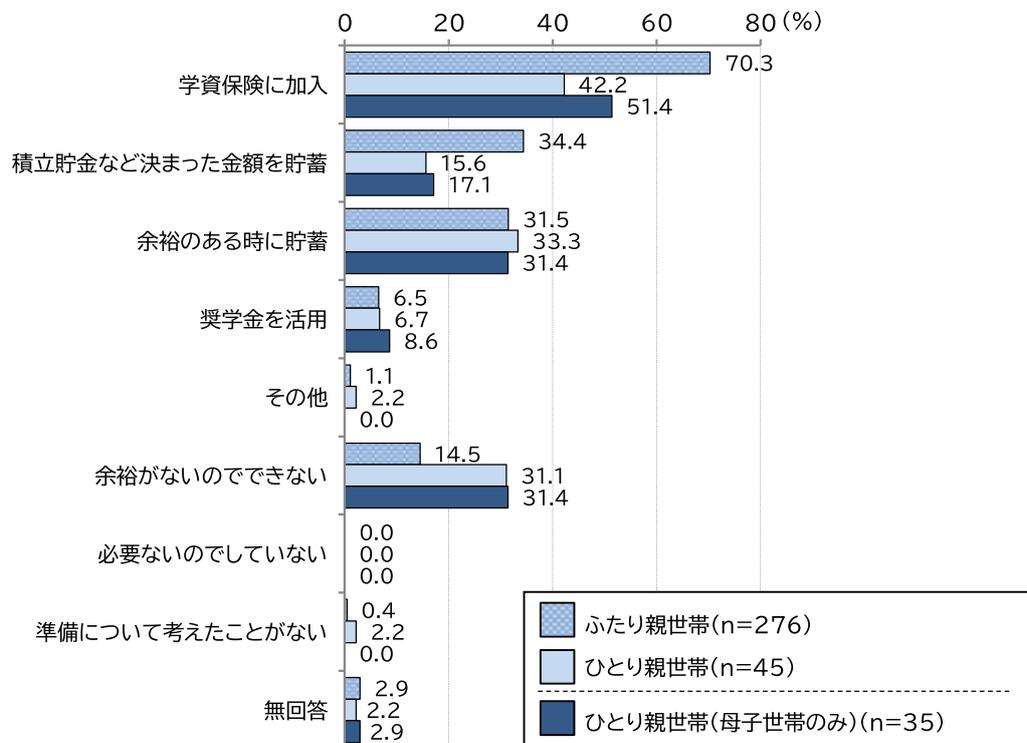
高校生の保護者では, 「学資保険に加入」が61.0%と最も高く, 次いで, 「積立貯金など決まった金額を貯蓄」(26.6%), 「余裕のある時に貯蓄」(25.3%)などの順となっている。

【等価世帯収入の水準別\_小学生の保護者】



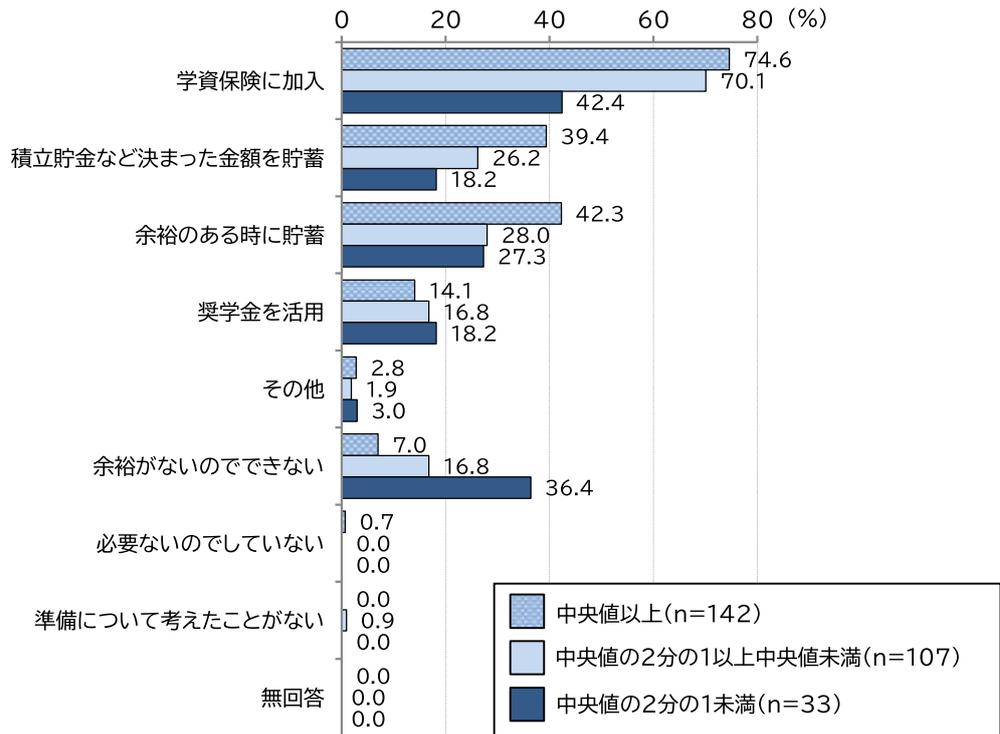
等価世帯収入の水準別にみると、「余裕がないのでできない」は、「中央値以上」では 7.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 24.3%、「中央値の2分の1未満」では 40.0%となっている。

【世帯の状況別\_小学生の保護者】



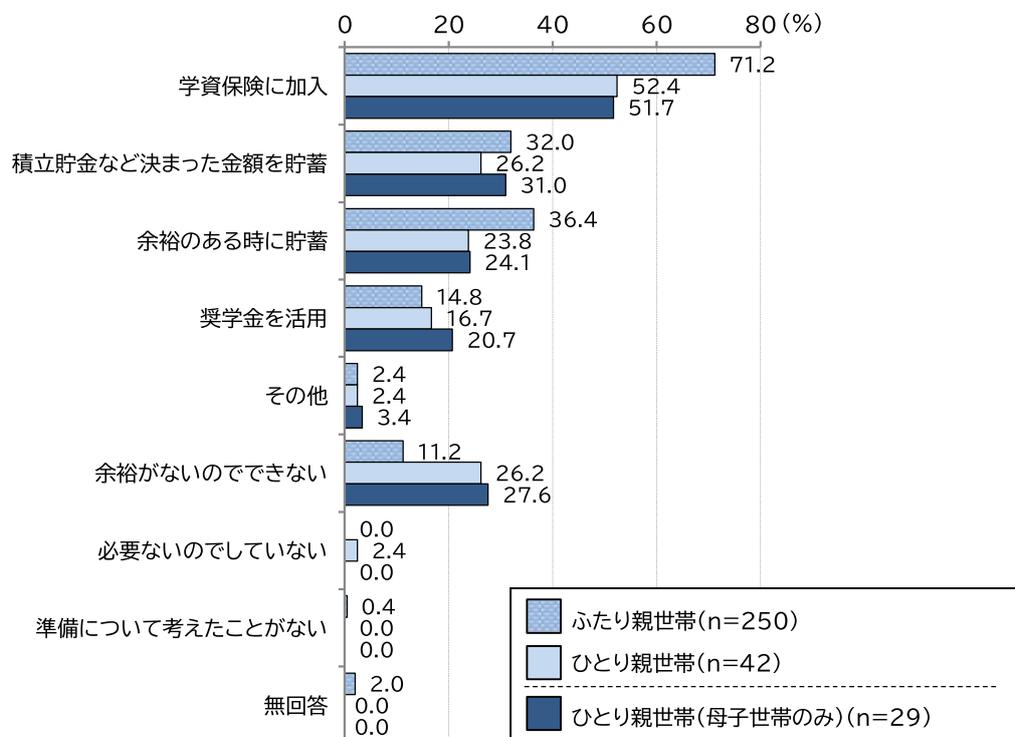
世帯の状況別にみると、「余裕がないのでできない」は、「ふたり親世帯」では 14.5%、「ひとり親世帯全体」では 31.1%、「母子世帯のみ」では 31.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



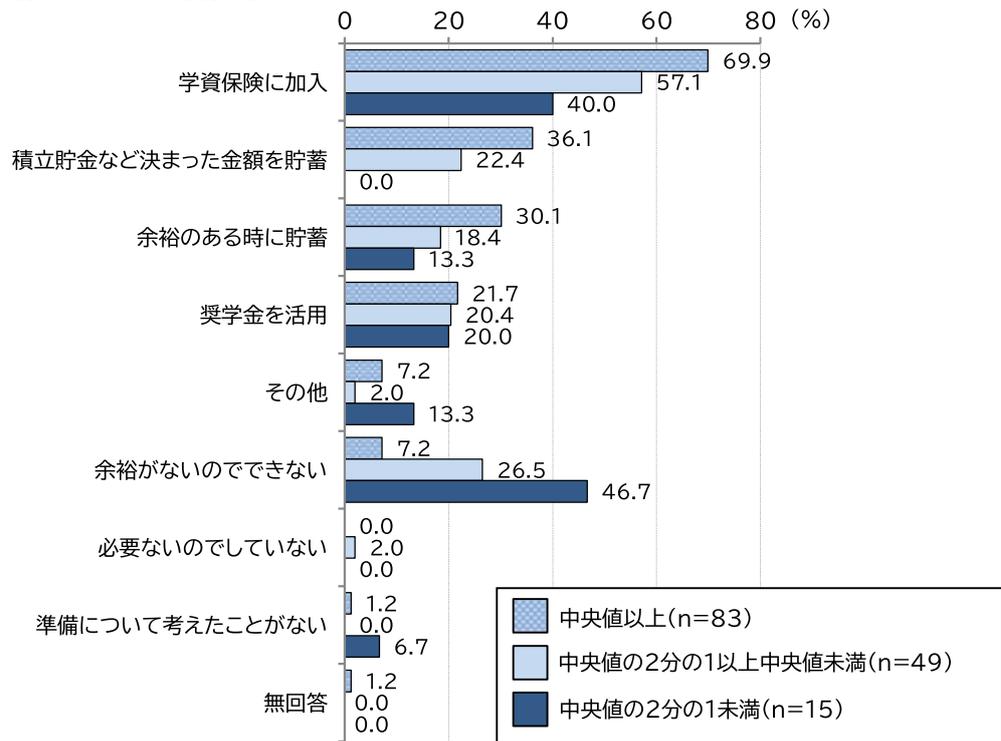
等価世帯収入の水準別にみると、「余裕がないのでできない」は、「中央値以上」では 7.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 16.8%、「中央値の2分の1未満」では 36.4%となっている。

【世帯の状況別\_中学生の保護者】



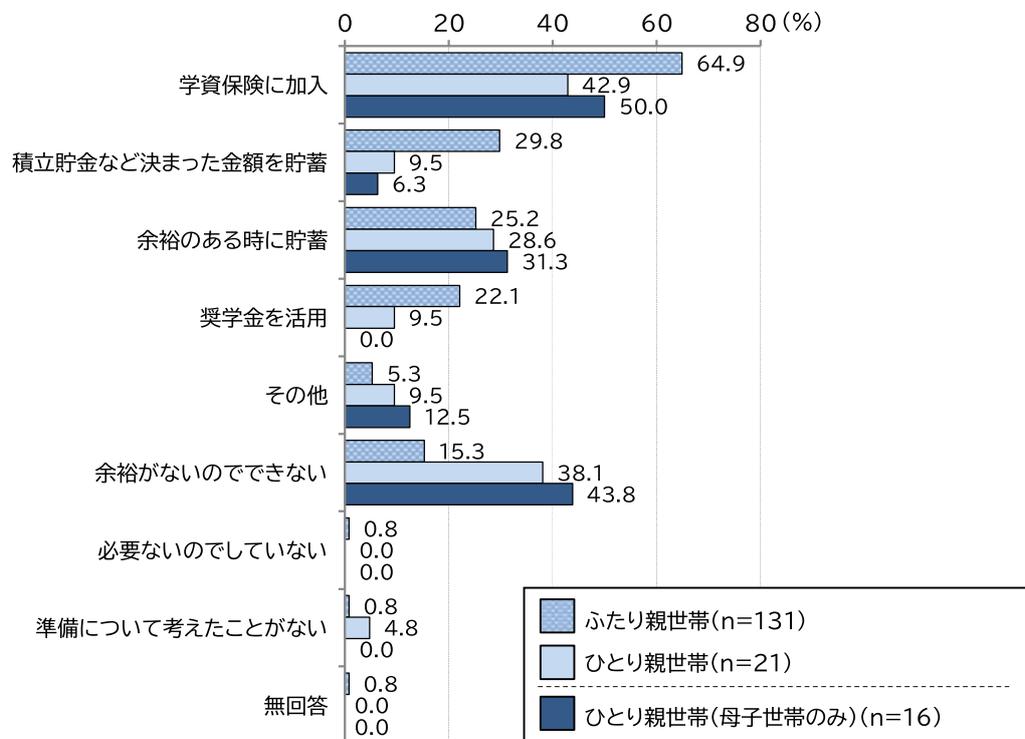
世帯の状況別にみると、「余裕がないのでできない」は、「ふたり親世帯」では 11.2%、「ひとり親世帯全体」では 26.2%、「母子世帯のみ」では 27.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「余裕がないのでできない」は、「中央値以上」では 7.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 26.5%、「中央値の2分の1未満」では 46.7%となっている。

【世帯の状況別\_高校生の保護者】

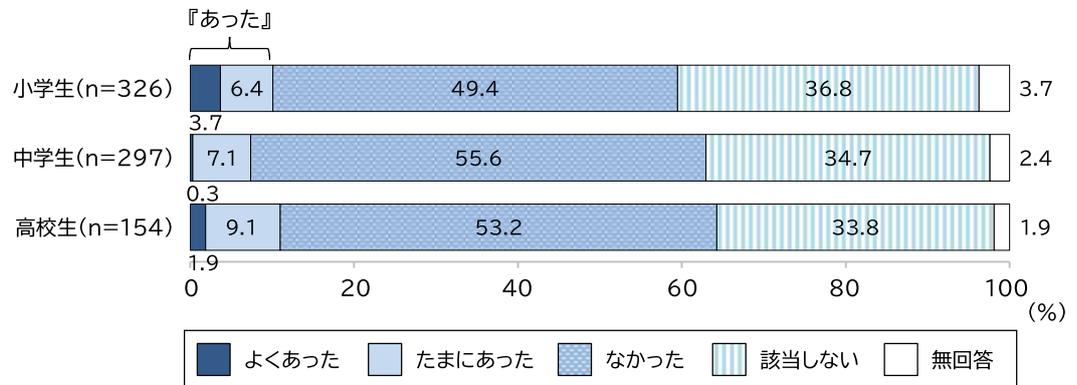


世帯の状況別にみると、「余裕がないのでできない」は、「ふたり親世帯」では 15.3%、「ひとり親世帯全体」では 38.1%、「母子世帯のみ」では 43.8%となっている。

保護者票問 23. 過去1年の間に、経済的な理由で、以下の a~f のような経験をしたことがありましたか。(SA)

= 食料が買えない =

【全体】

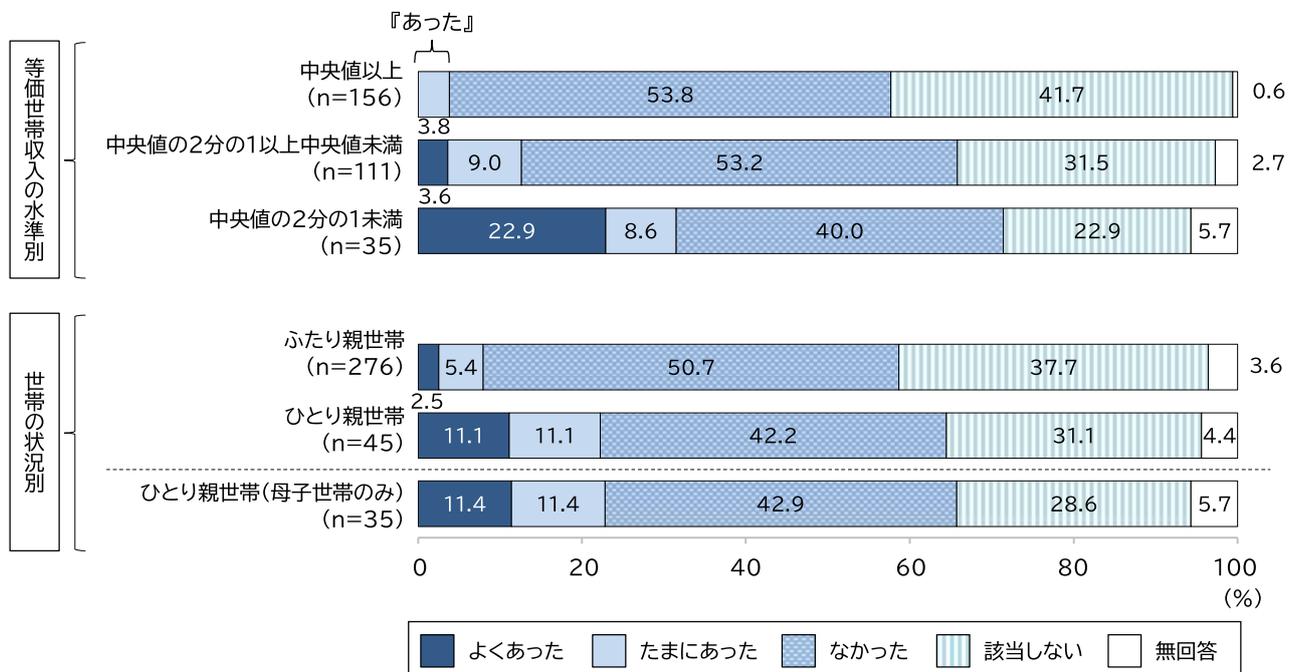


食料が買えなかった経験について、小学生の保護者では、『あった(「よくあった」と「たまにあった」を合わせた割合)』が10.1%となっている。

中学生の保護者では、『あった』が7.4%となっている。

高校生の保護者では、『あった』が11.0%となっている。

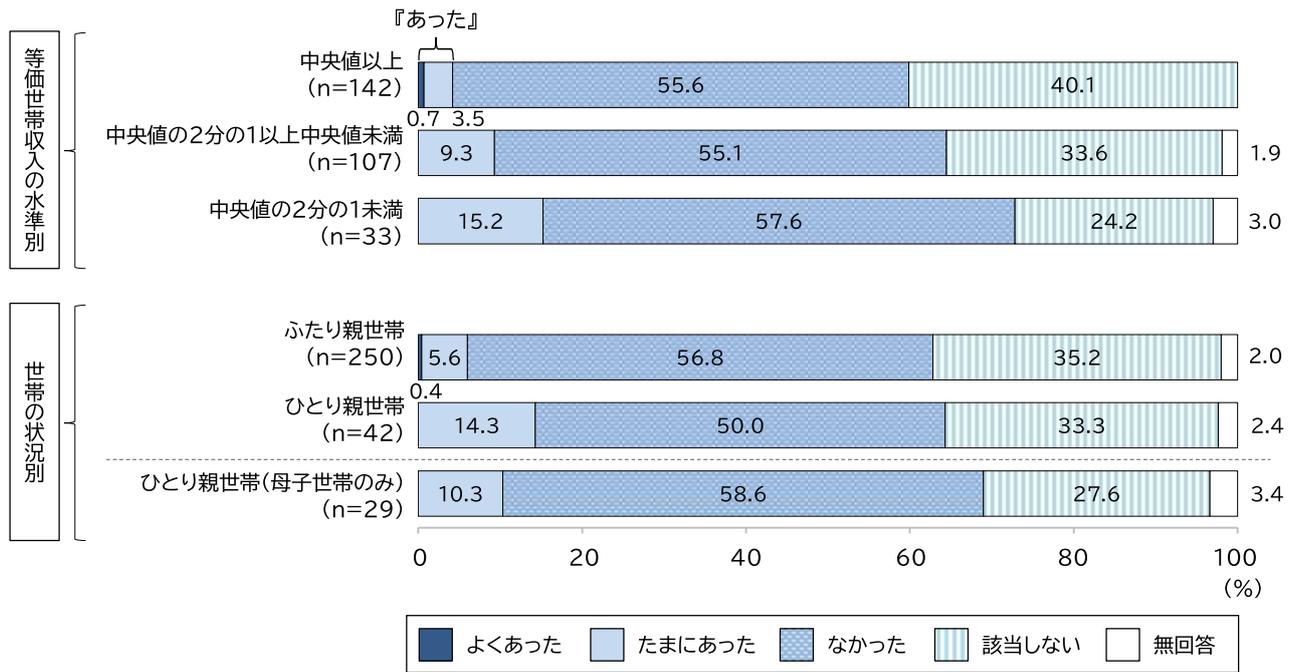
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では3.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では12.6%、「中央値の2分の1未満」では31.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では7.9%、「ひとり親世帯全体」では22.2%、「母子世帯のみ」では22.8%となっている。

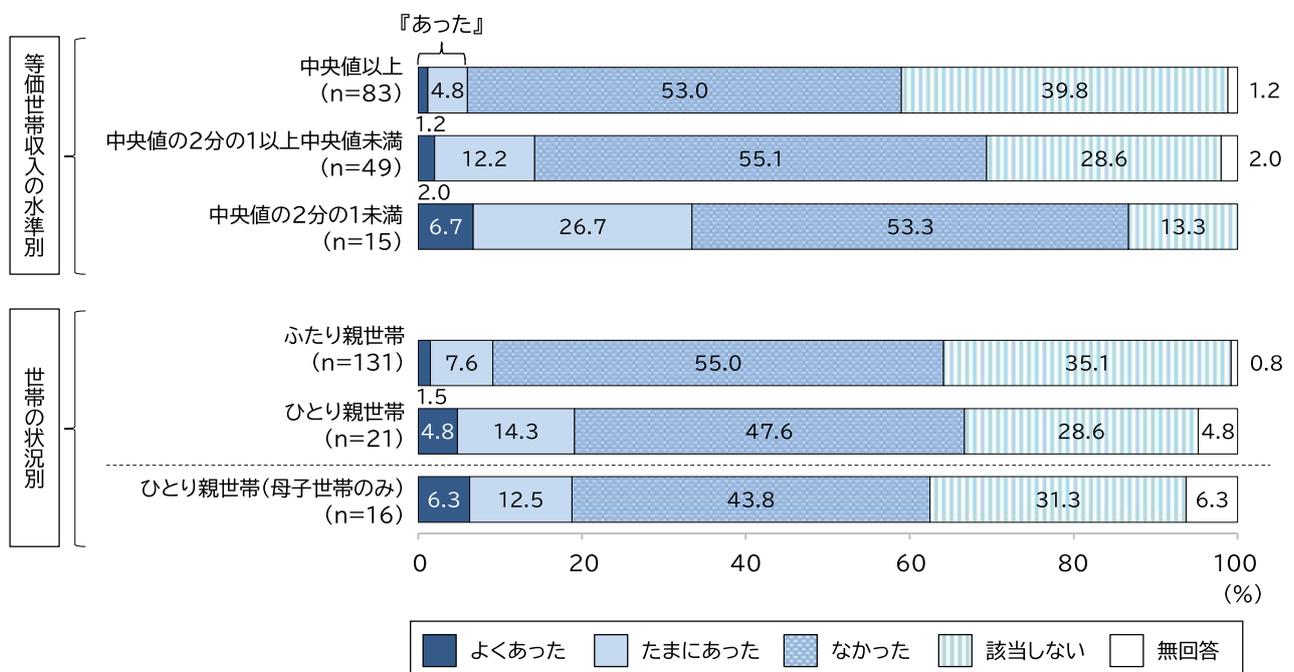
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では4.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では9.3%、「中央値の2分の1未満」では15.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では6.0%、「ひとり親世帯全体」では14.3%、「母子世帯のみ」では10.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

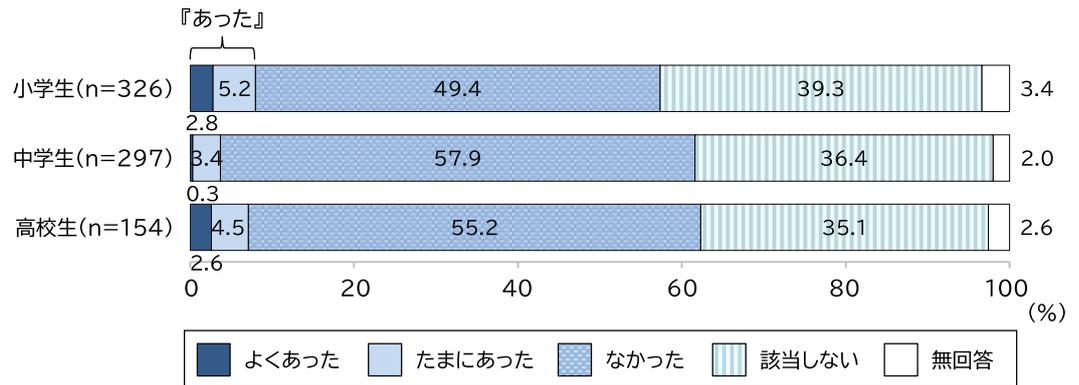


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では6.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では14.2%、「中央値の2分の1未満」では33.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では9.1%、「ひとり親世帯全体」では19.1%、「母子世帯のみ」では18.8%となっている。

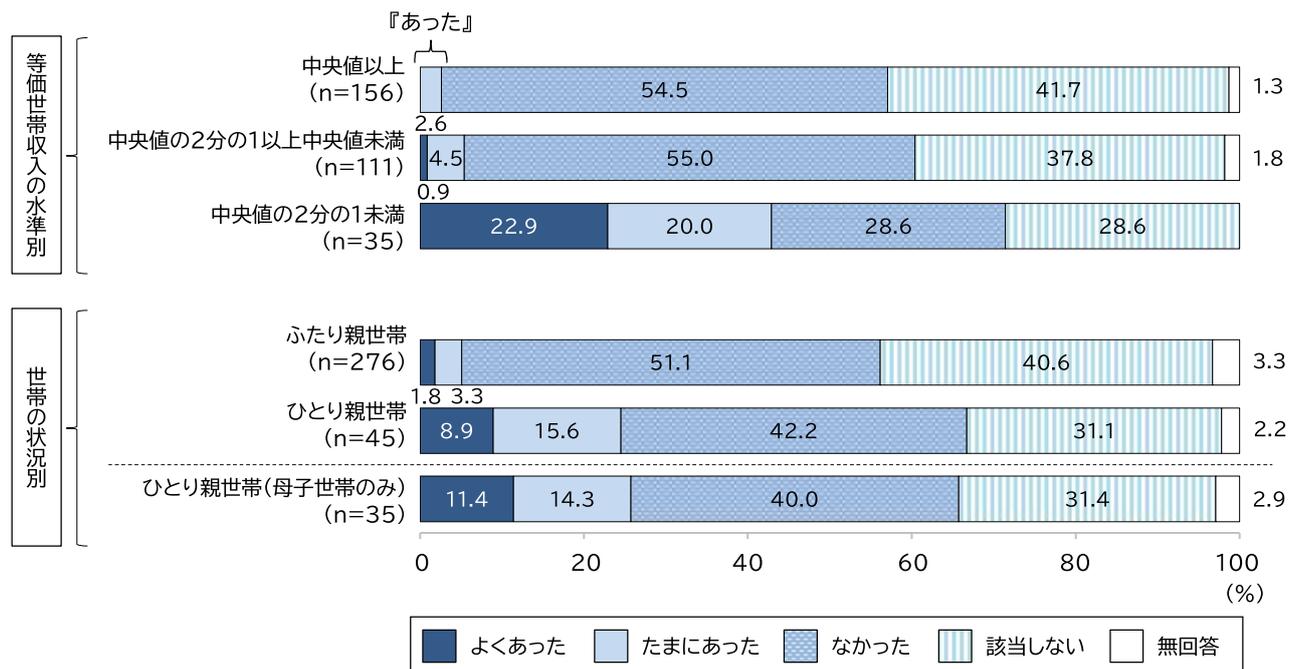
= 電話料金が未払い =

【全体】



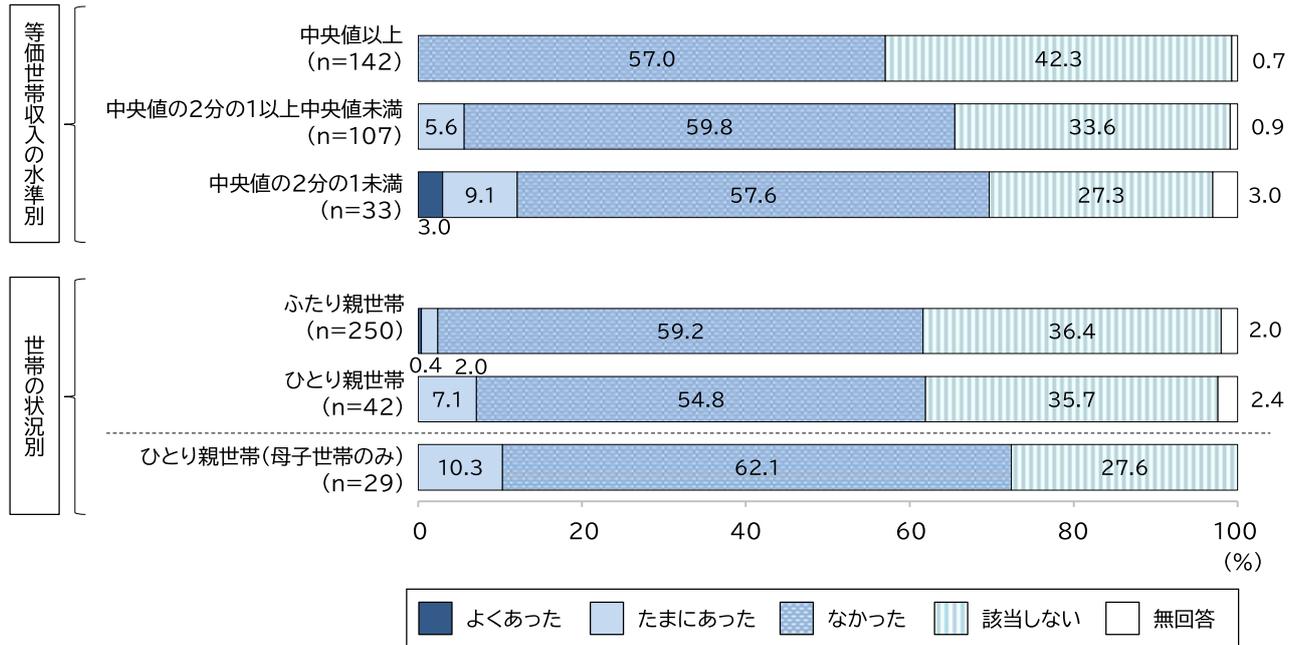
電話料金の未払いについて、小学生の保護者では、『あった』が8.0%となっている。  
 中学生の保護者では、『あった』が3.7%となっている。  
 高校生の保護者では、『あった』が7.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では2.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では5.4%、「中央値の2分の1未満」では42.9%となっている。  
 世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では5.1%、「ひとり親世帯全体」では24.5%、「母子世帯のみ」では25.7%となっている。

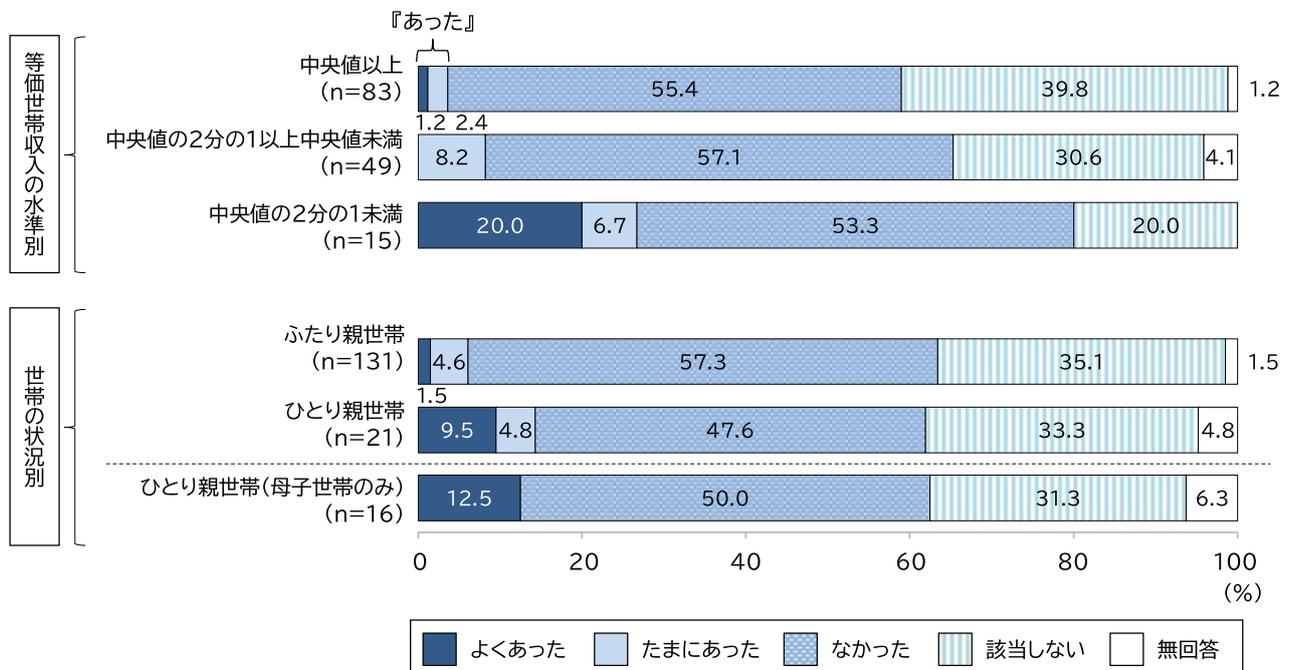
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 0.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 5.6%、「中央値の2分の1未満」では 12.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 2.4%、「ひとり親世帯全体」では 7.1%、「母子世帯のみ」では 10.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

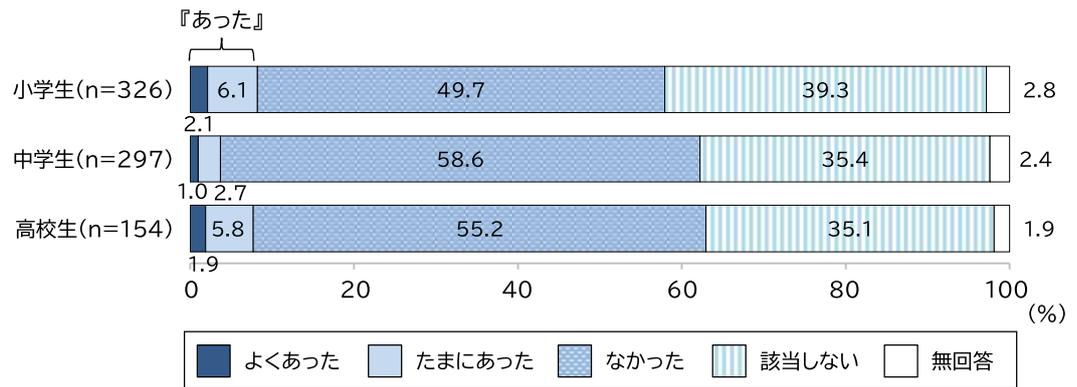


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 3.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 8.2%、「中央値の2分の1未満」では 26.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 6.1%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 12.5%となっている。

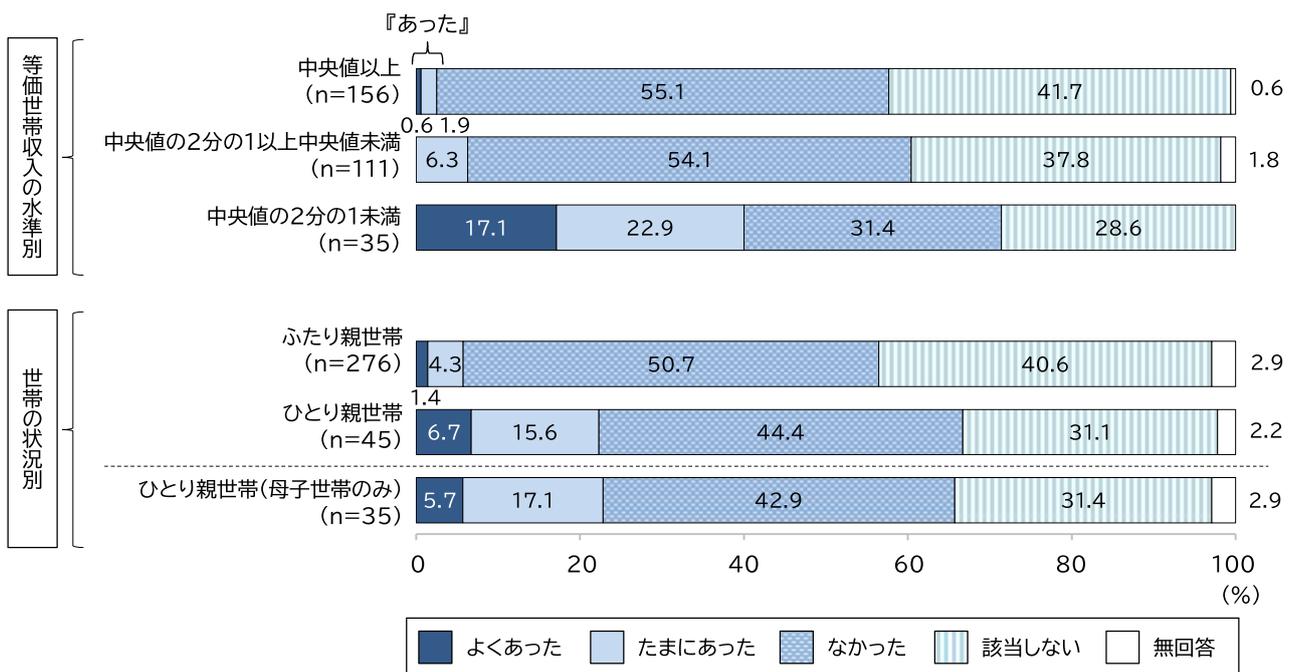
= 電気料金が未払い =

【全体】



電気料金の未払いについて、小学生の保護者では、『あった』が8.2%となっている。  
 中学生の保護者では、『あった』が3.7%となっている。  
 高校生の保護者では、『あった』が7.7%となっている。

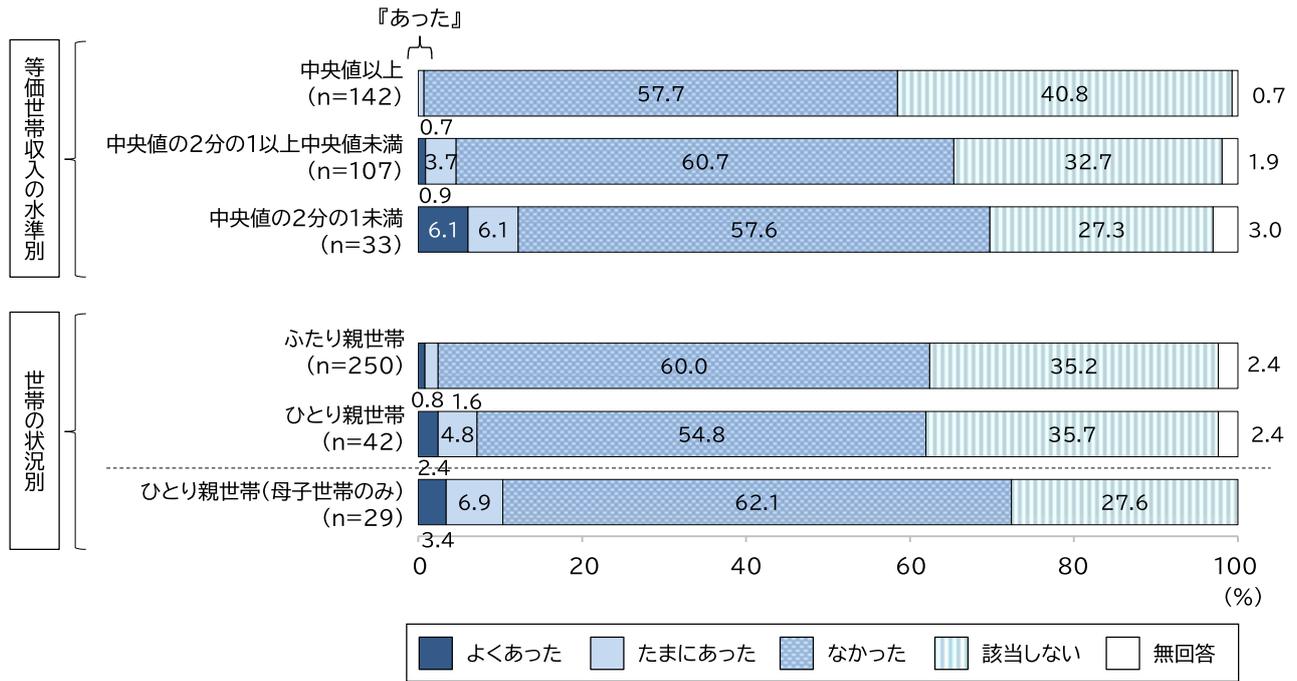
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では2.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.3%、「中央値の2分の1未満」では40.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では5.7%、「ひとり親世帯全体」では22.3%、「母子世帯のみ」では22.8%となっている。

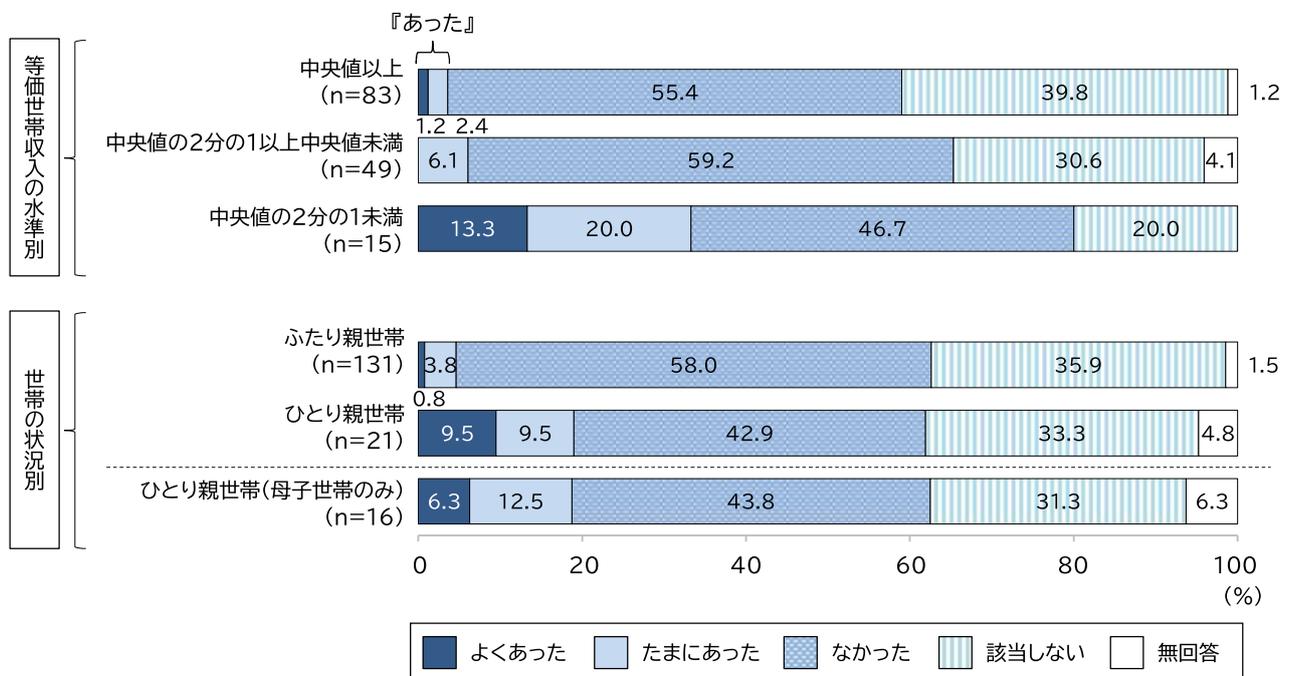
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 0.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 4.6%、「中央値の2分の1未満」では 12.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 2.4%、「ひとり親世帯全体」では 7.2%、「母子世帯のみ」では 10.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 3.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 6.1%、「中央値の2分の1未満」では 33.3%となっている。

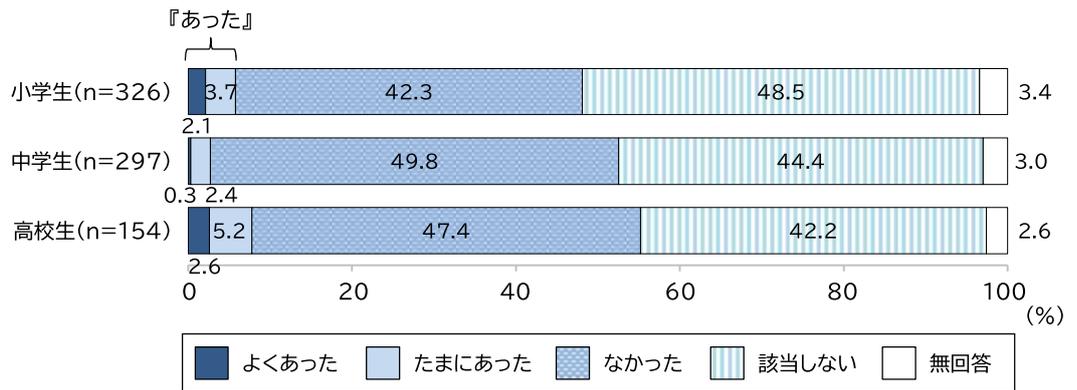
世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 4.6%、「ひとり親世帯全体」では 19.0%、「母子世帯のみ」では 18.8%となっている。

1 保護者の生活状況

(1)経済的な状況, 暮らしの状況

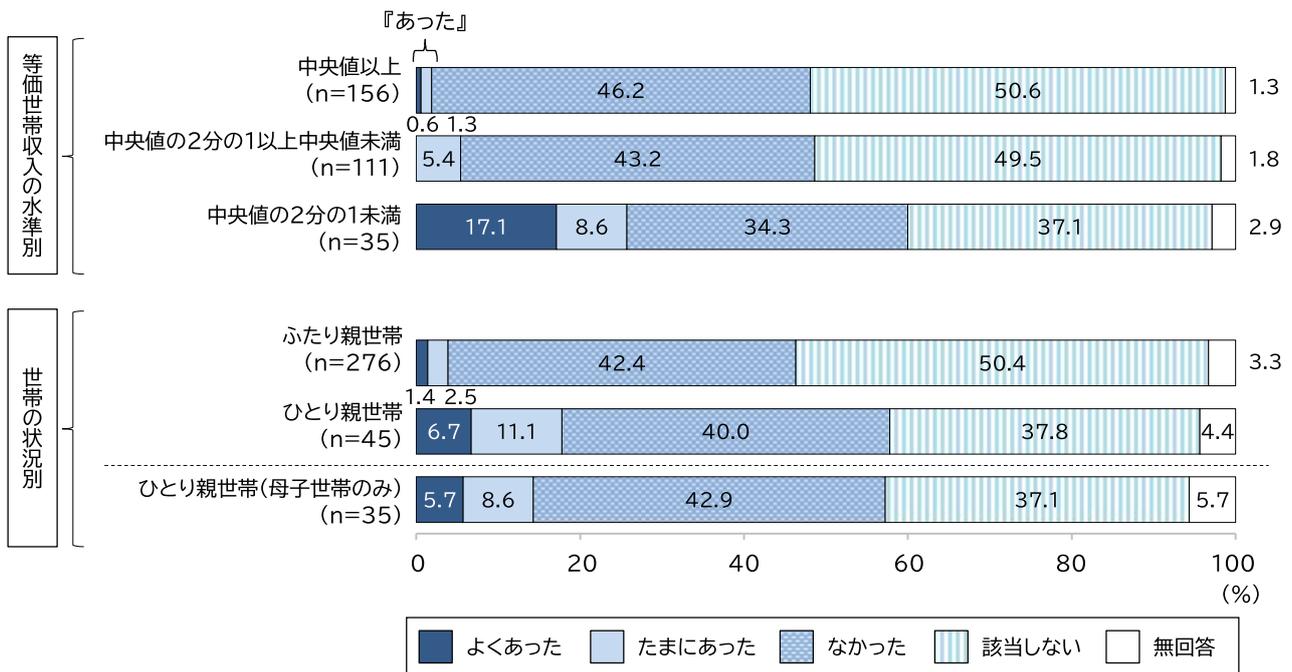
= ガス料金が未払い =

【全体】



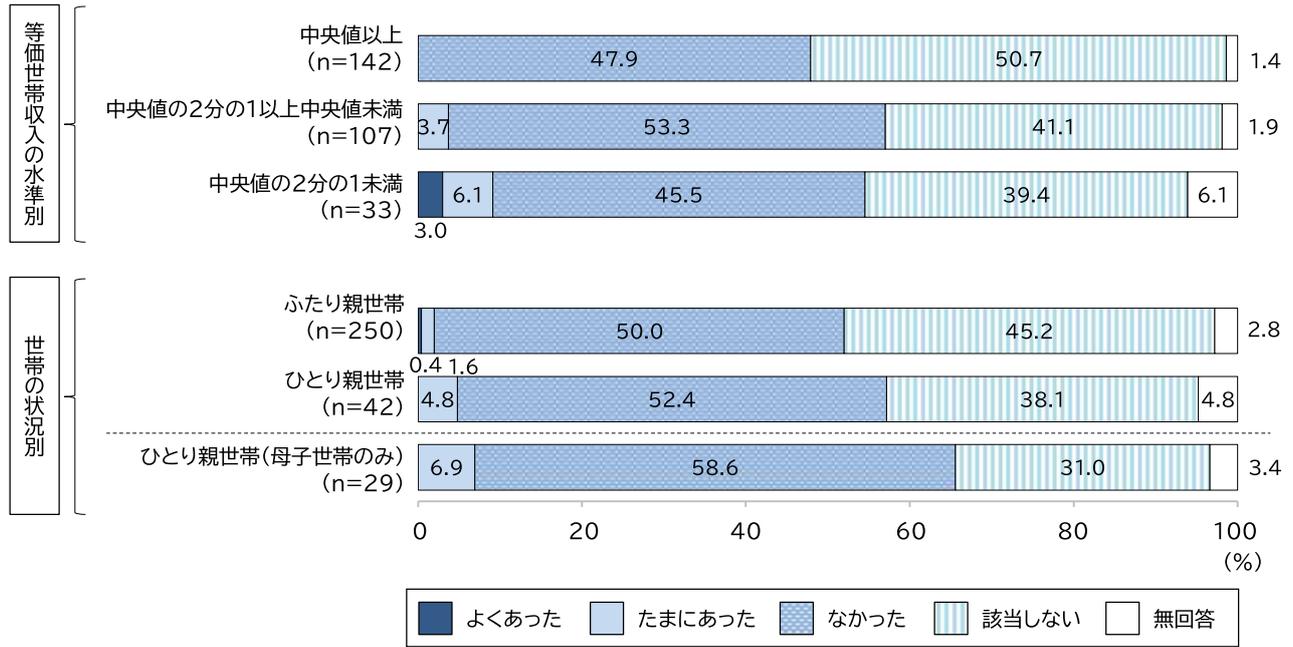
ガス料金の未払いについて、小学生の保護者では、『あった』が5.8%となっている。  
 中学生の保護者では、『あった』が2.7%となっている。  
 高校生の保護者では、『あった』が7.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では1.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では5.4%、「中央値の2分の1未満」では25.7%となっている。  
 世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では3.9%、「ひとり親世帯全体」では17.8%、「母子世帯のみ」では14.3%となっている。

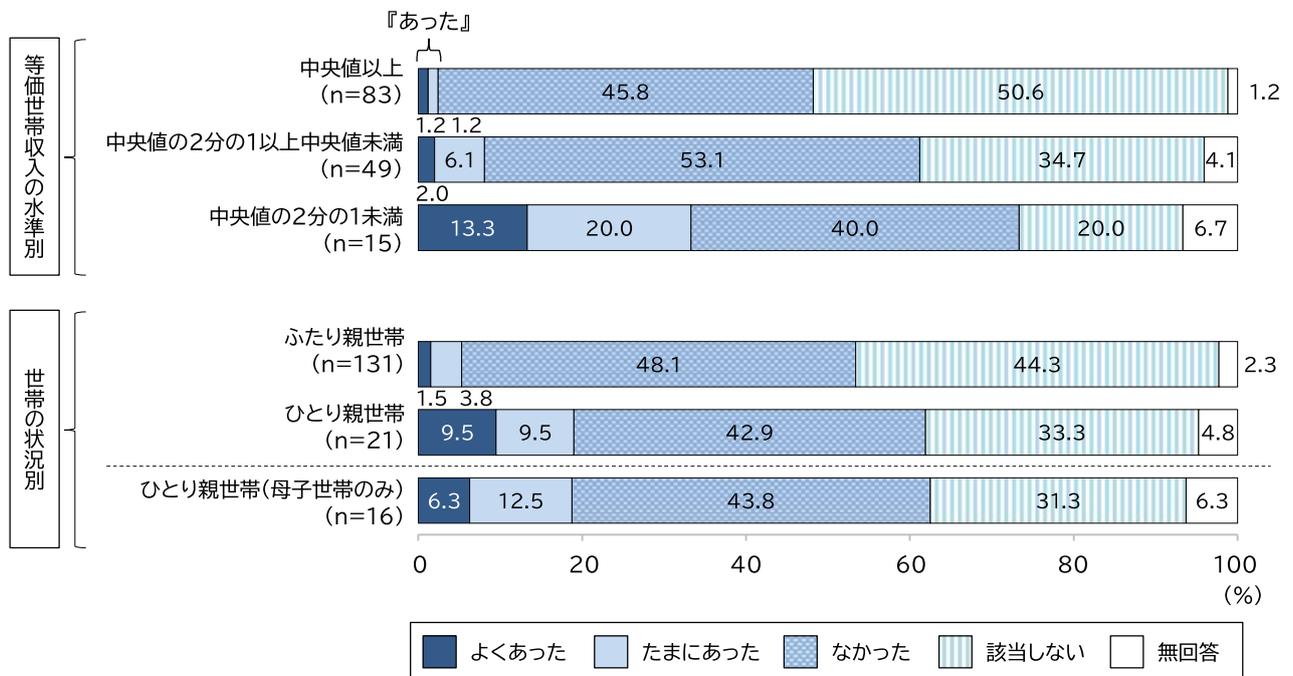
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 0.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 3.7%、「中央値の2分の1未満」では 9.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 2.0%、「ひとり親世帯全体」では 4.8%、「母子世帯のみ」では 6.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 2.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 8.1%、「中央値の2分の1未満」では 33.3%となっている。

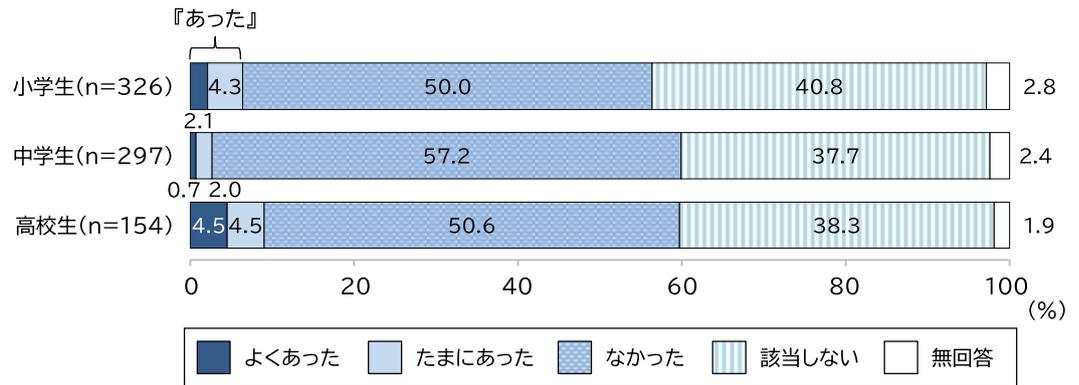
世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 5.3%、「ひとり親世帯全体」では 19.0%、「母子世帯のみ」では 18.8%となっている。

# 1 保護者の生活状況

## (1) 経済的な状況, 暮らしの状況

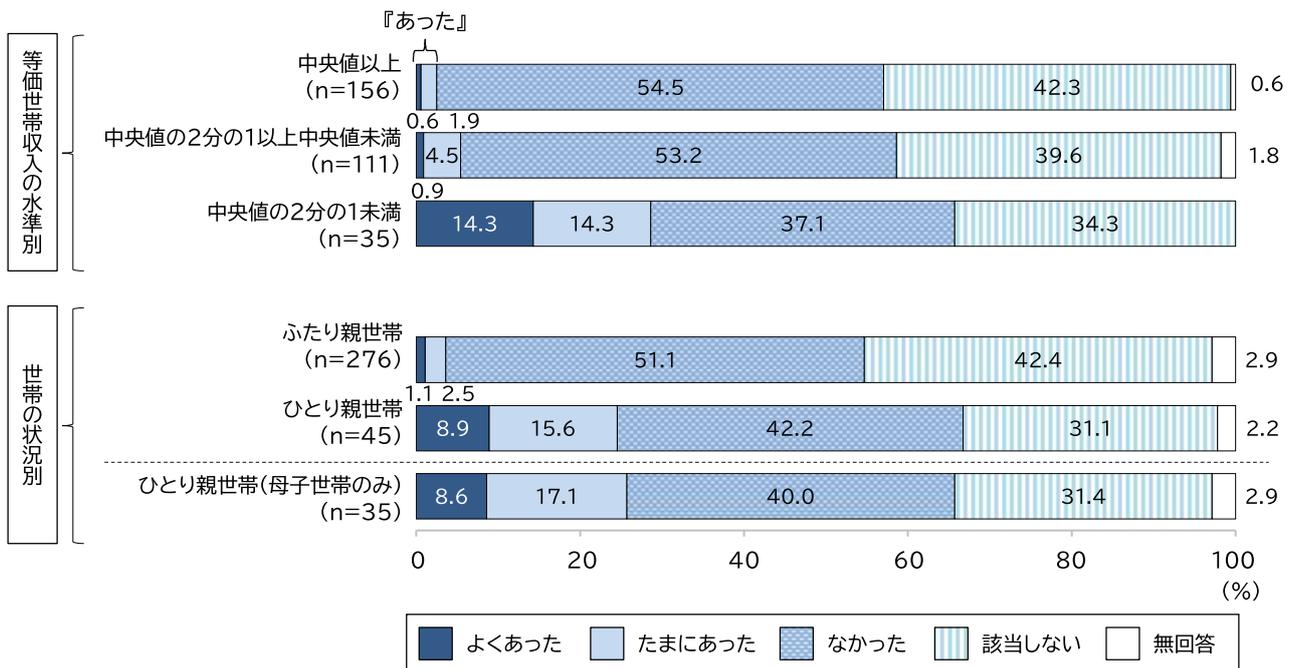
= 水道料金が未払い =

### 【全体】



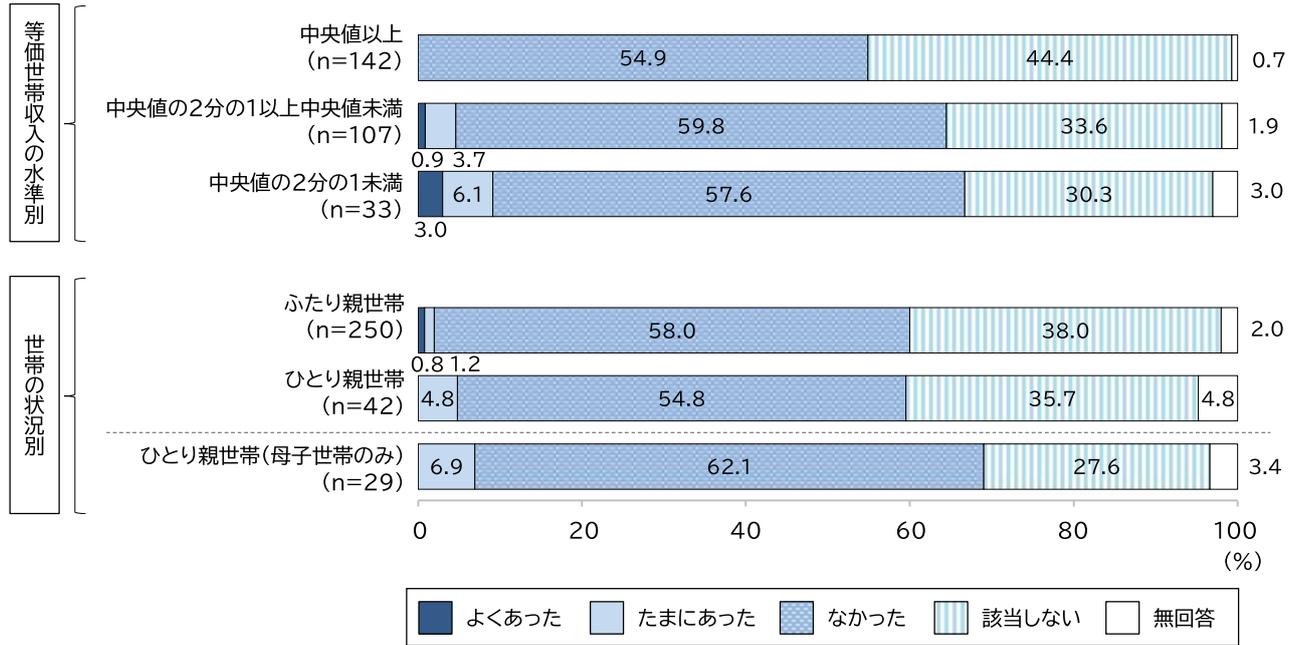
水道料金の未払いについて、小学生の保護者では、『あった』が6.4%となっている。  
 中学生の保護者では、『あった』が2.7%となっている。  
 高校生の保護者では、『あった』が9.0%となっている。

### 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では2.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では5.4%、「中央値の2分の1未満」では28.6%となっている。  
 世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では3.6%、「ひとり親世帯全体」では24.5%、「母子世帯のみ」では25.7%となっている。

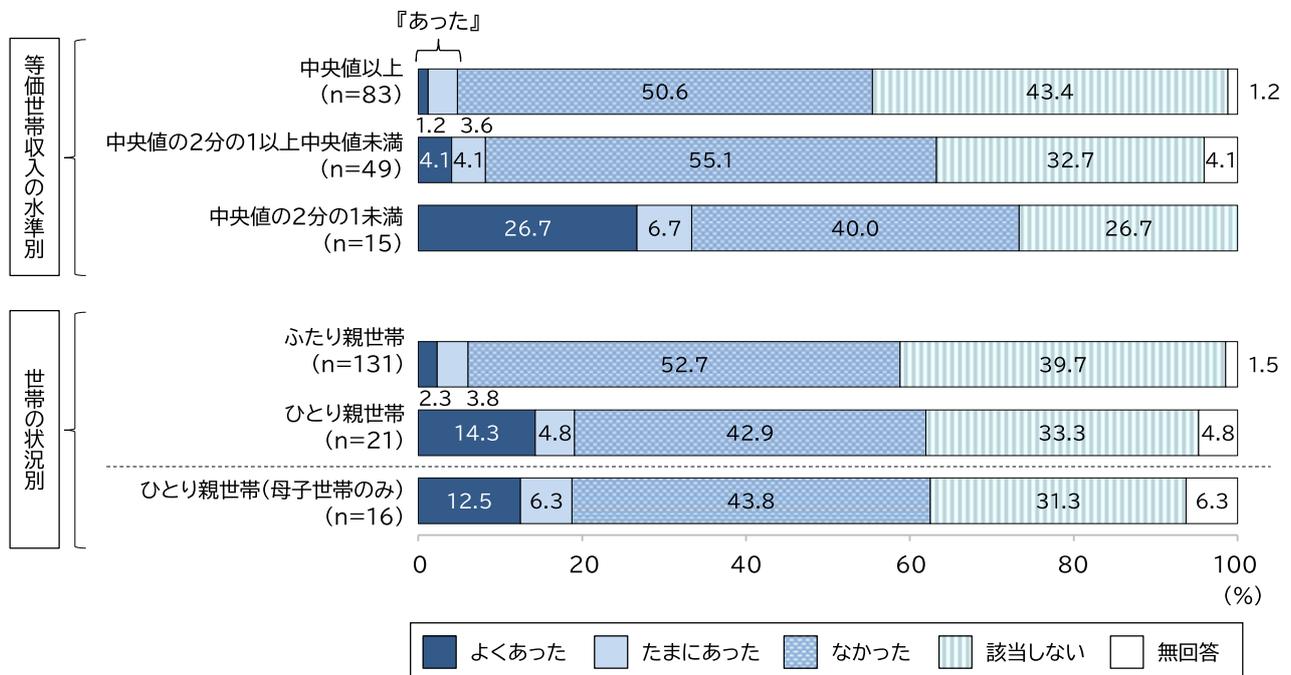
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 0.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 4.6%、「中央値の2分の1未満」では 9.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 2.0%、「ひとり親世帯全体」では 4.8%、「母子世帯のみ」では 6.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

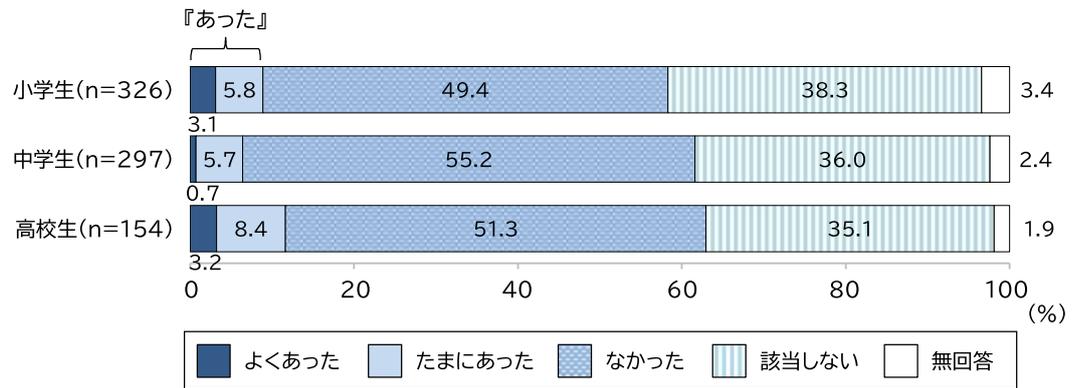


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 4.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 8.2%、「中央値の2分の1未満」では 33.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 6.1%、「ひとり親世帯全体」では 19.1%、「母子世帯のみ」では 18.8%となっている。

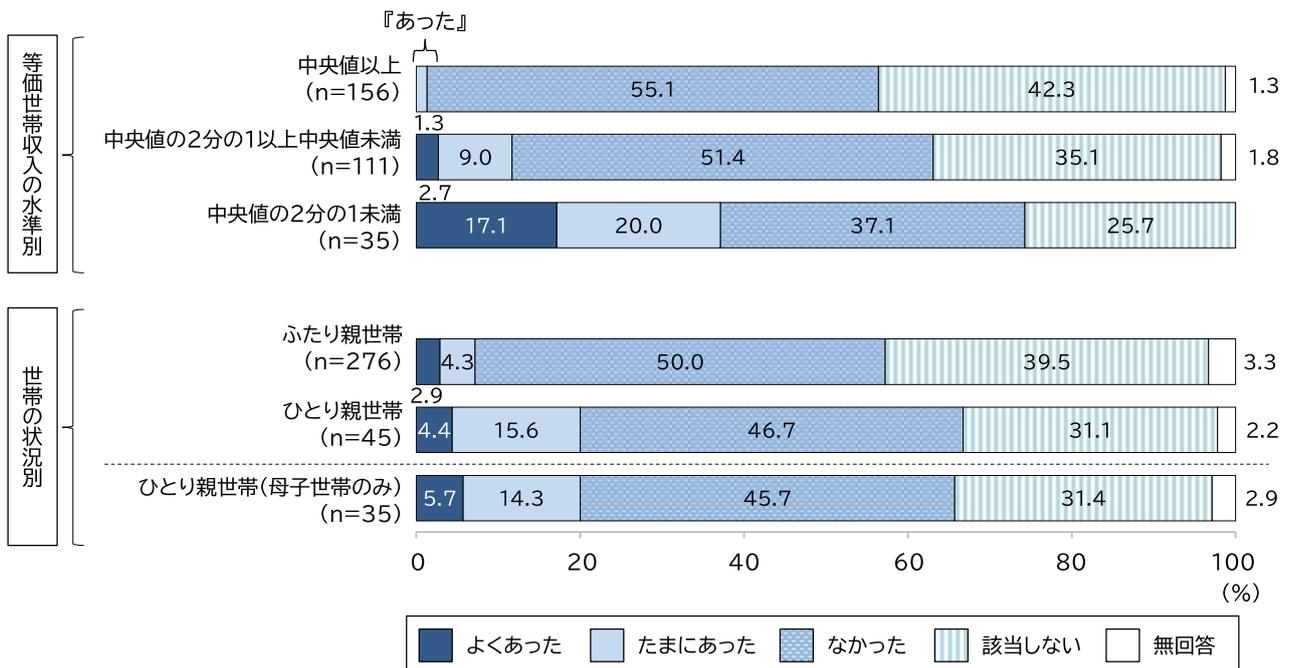
= 医療機関を受診できない =

【全体】



医療機関を受診できなかった経験について、小学生の保護者では、『あった』が8.9%となっている。  
 中学生の保護者では、『あった』が6.4%となっている。  
 高校生の保護者では、『あった』が11.6%となっている。

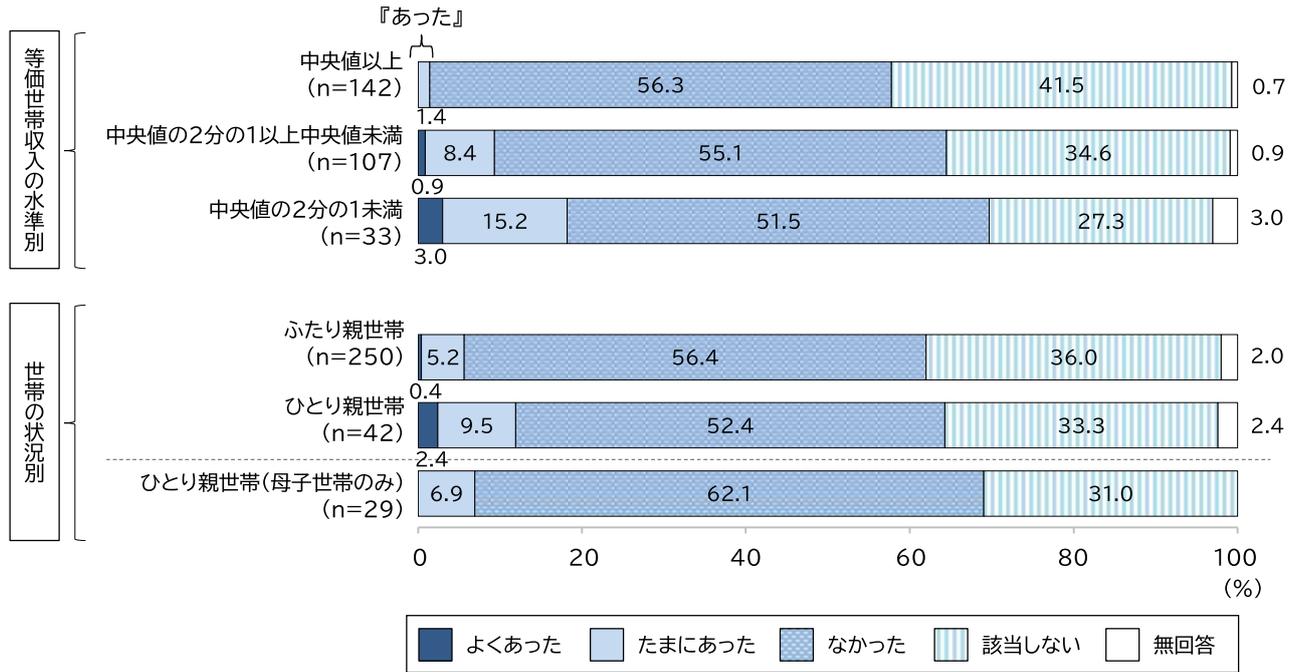
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では1.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では11.7%、「中央値の2分の1未満」では37.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では7.2%、「ひとり親世帯全体」では20.0%、「母子世帯のみ」では20.0%となっている。

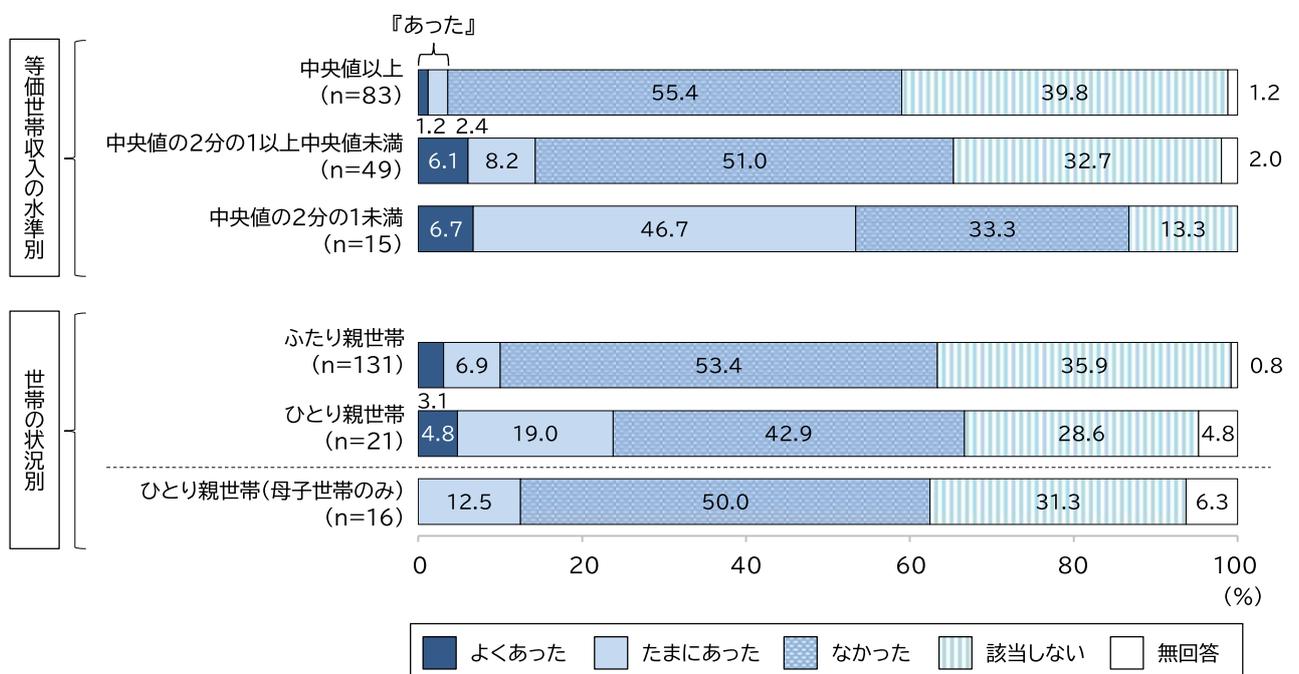
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 1.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 9.3%、「中央値の2分の1未満」では 18.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 5.6%、「ひとり親世帯全体」では 11.9%、「母子世帯のみ」では 6.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



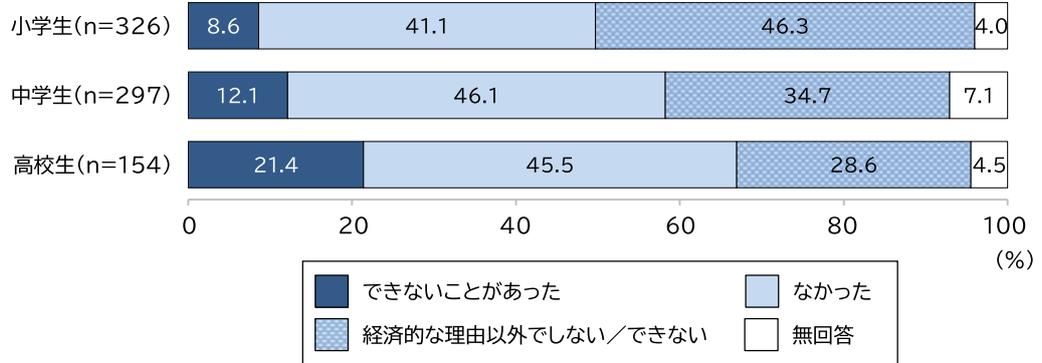
等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 3.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 14.3%、「中央値の2分の1未満」では 53.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 10.0%、「ひとり親世帯全体」では 23.8%、「母子世帯のみ」では 12.5%となっている。

保護者票問 24. あなたのご家庭では、経済的な理由で、お子さんに以下の a~h のことができないことがありましたか。(SA)

= 毎月お小遣いを渡す =

【全体】

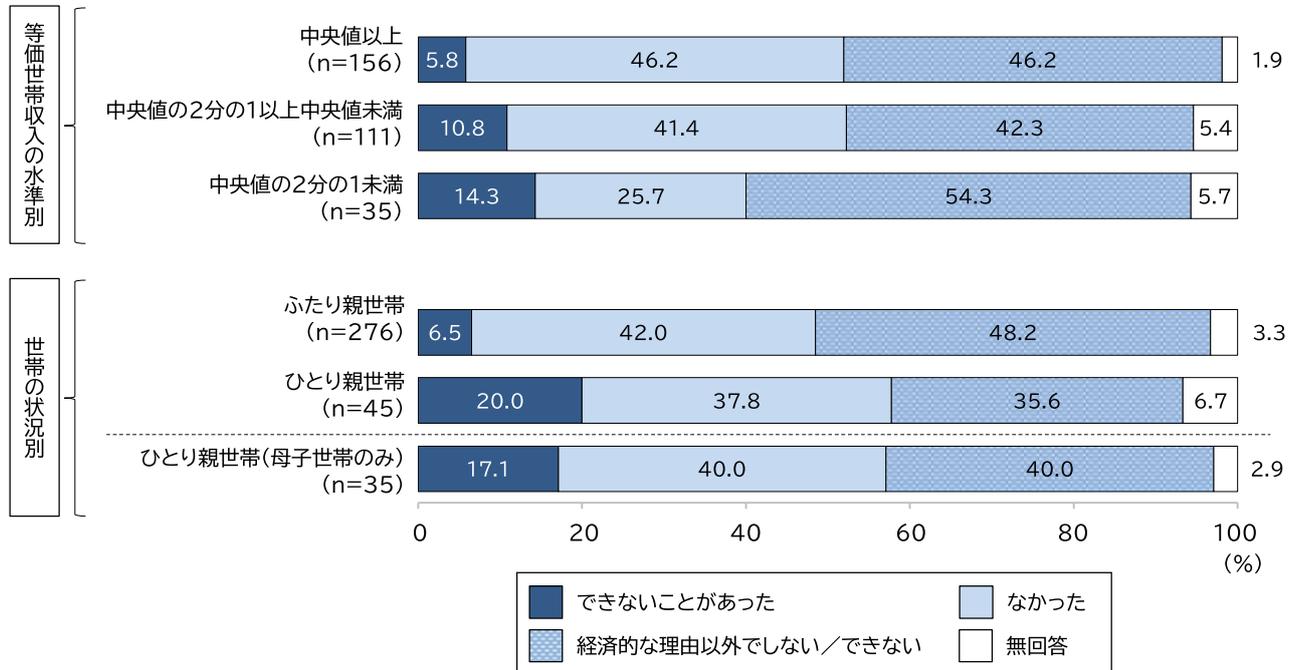


毎月お小遣いを渡すことについて、小学生の保護者では、「できないことがあった」が 8.6%、「なかった」が 41.1%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 46.3%となっている。

中学生の保護者では、「できないことがあった」が 12.1%、「なかった」が 46.1%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 34.7%となっている。

高校生の保護者では、「できないことがあった」が 21.4%、「なかった」が 45.5%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 28.6%となっている。

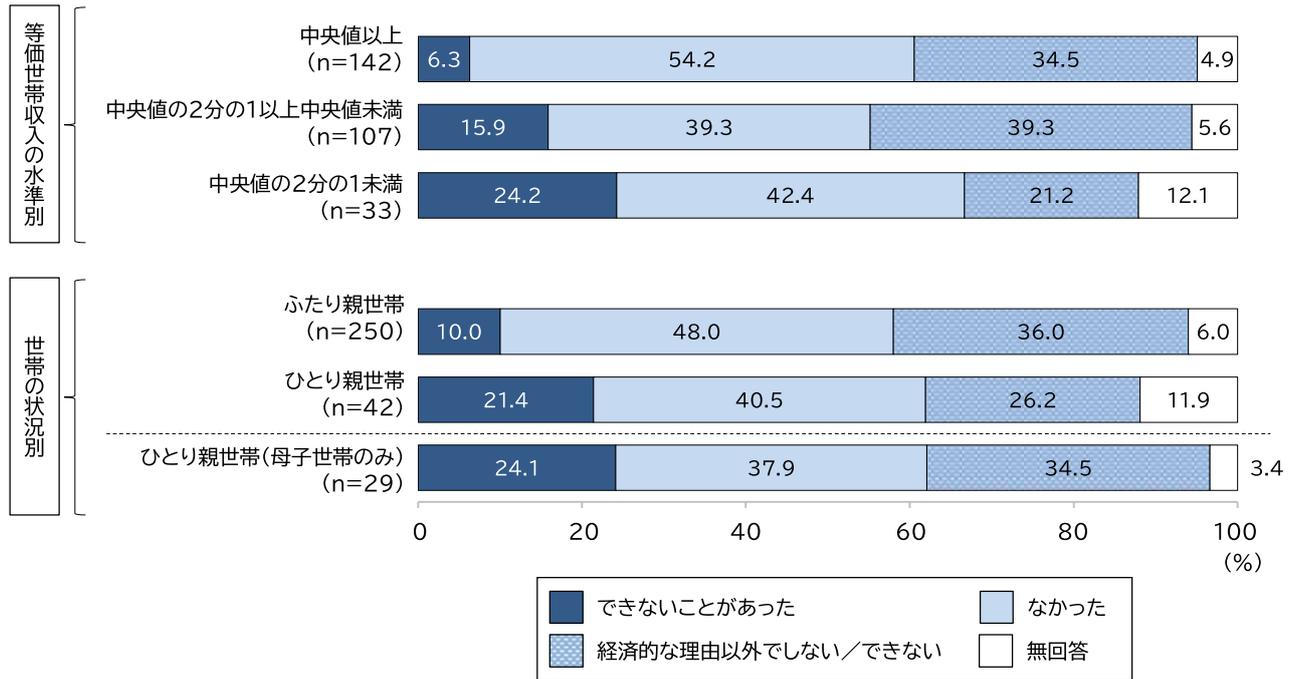
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 5.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 10.8%、「中央値の2分の1未満」では 14.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 6.5%、「ひとり親世帯全体」では 20.0%、「母子世帯のみ」では 17.1%となっている。

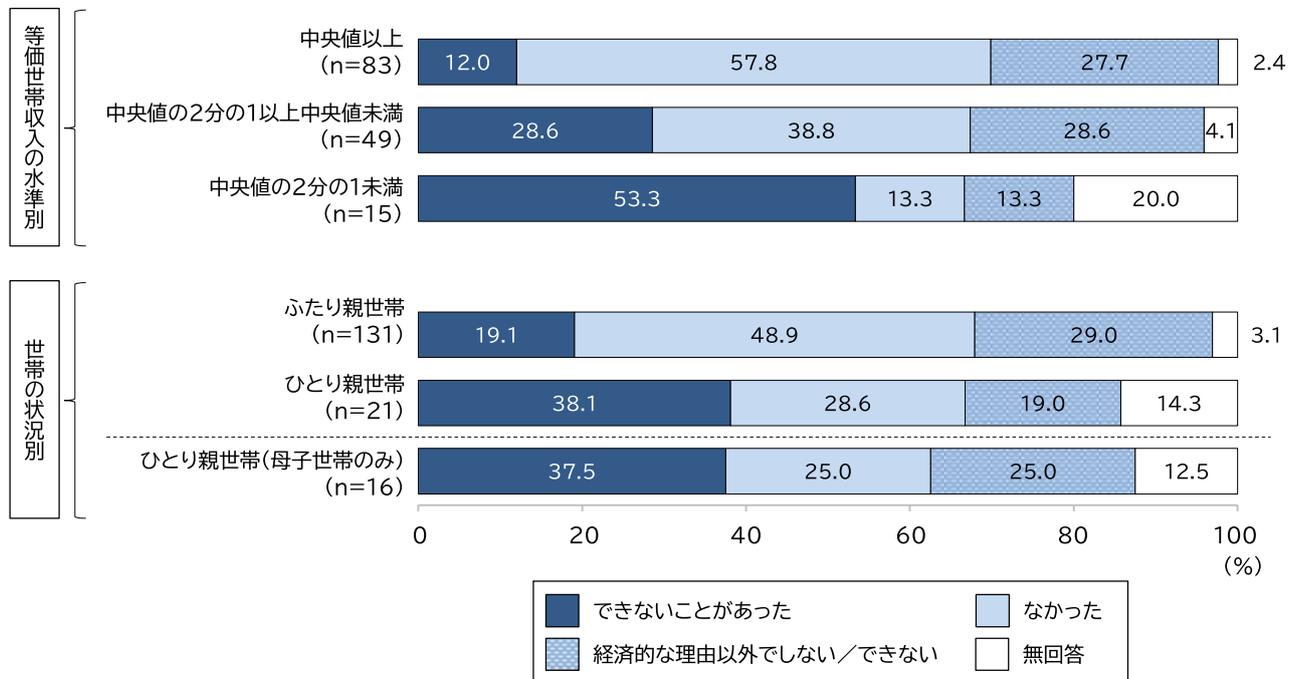
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 6.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 15.9%、「中央値の2分の1未満」では 24.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 10.0%、「ひとり親世帯全体」では 21.4%、「母子世帯のみ」では 24.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

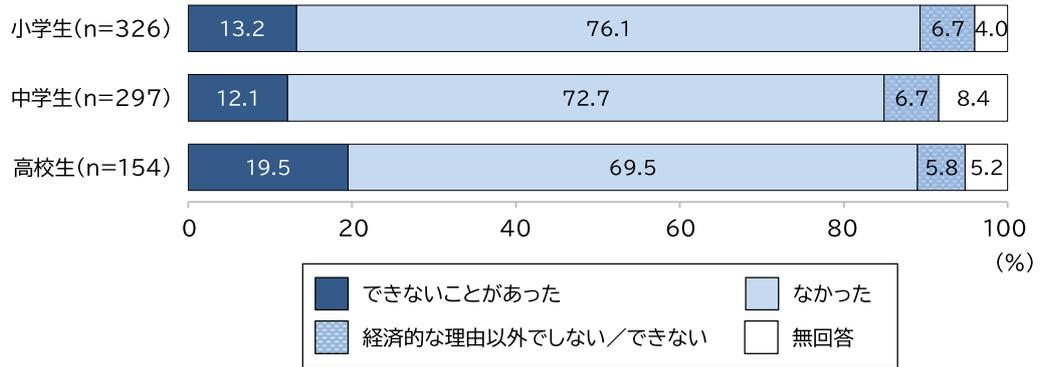


等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 12.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 28.6%、「中央値の2分の1未満」では 53.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 19.1%、「ひとり親世帯全体」では 38.1%、「母子世帯のみ」では 37.5%となっている。

= 毎年新しい洋服・靴を買う =

【全体】

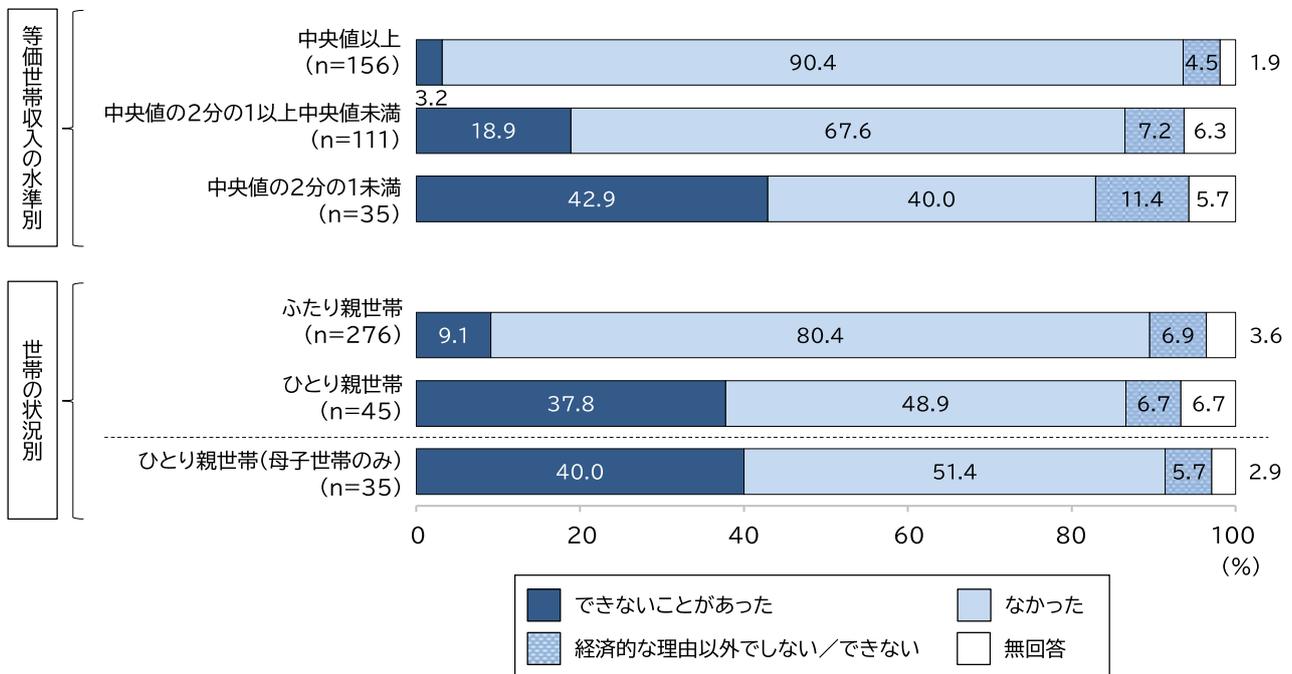


毎年新しい洋服・靴を買うことについて、小学生の保護者では、「できないことがあった」が 13.2%、「なかった」が 76.1%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 6.7%となっている。

中学生の保護者では、「できないことがあった」が 12.1%、「なかった」が 72.7%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 6.7%となっている。

高校生の保護者では、「できないことがあった」が 19.5%、「なかった」が 69.5%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 5.8%となっている。

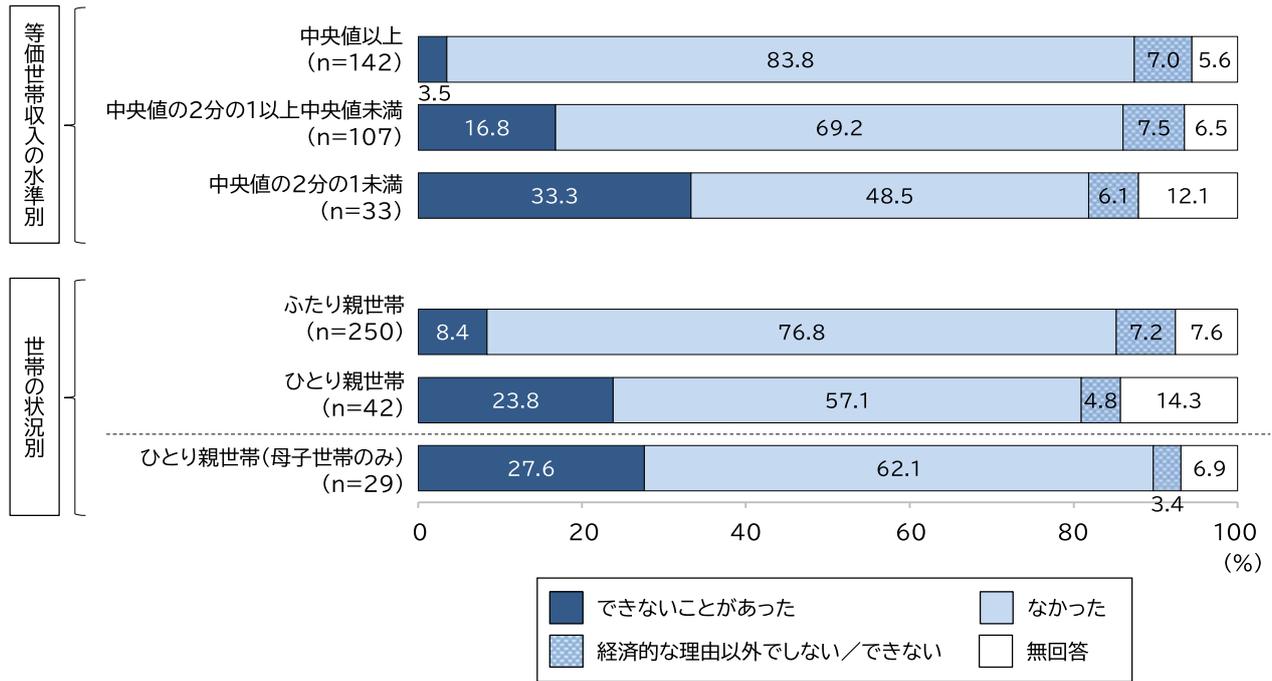
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 3.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 18.9%、「中央値の2分の1未満」では 42.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 9.1%、「ひとり親世帯全体」では 37.8%、「母子世帯のみ」では 40.0%となっている。

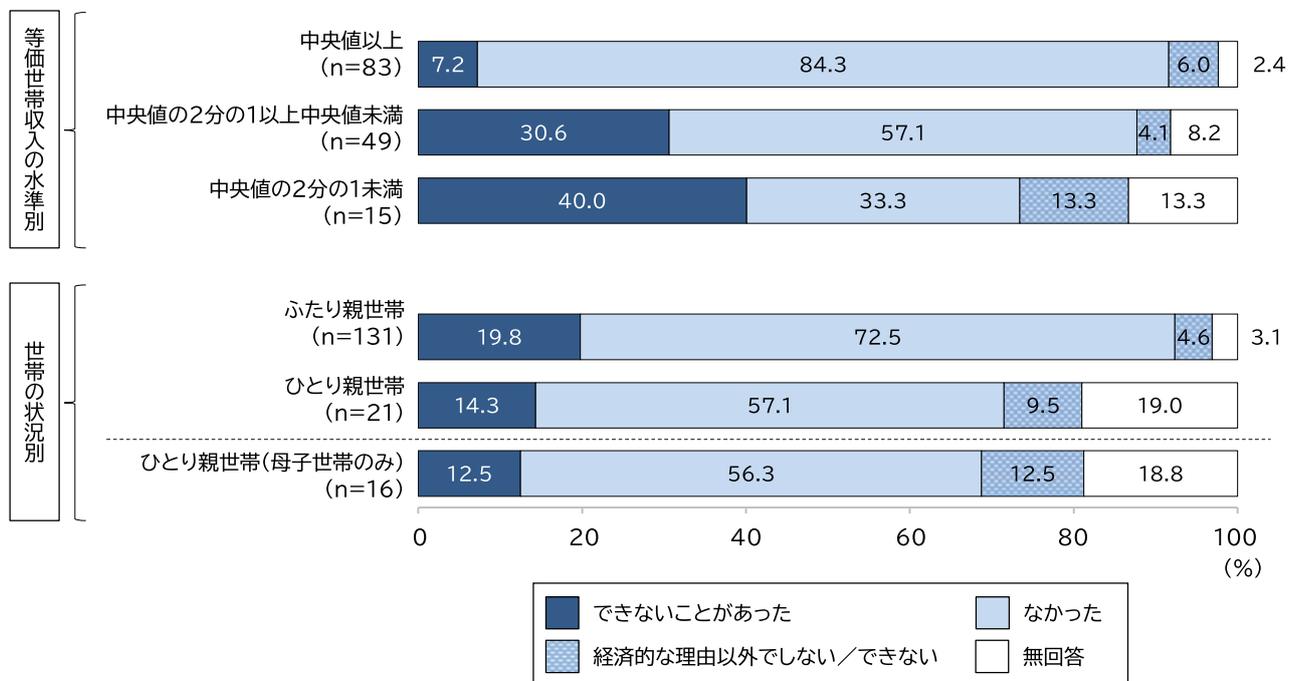
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 3.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 16.8%、「中央値の2分の1未満」では 33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 8.4%、「ひとり親世帯全体」では 23.8%、「母子世帯のみ」では 27.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

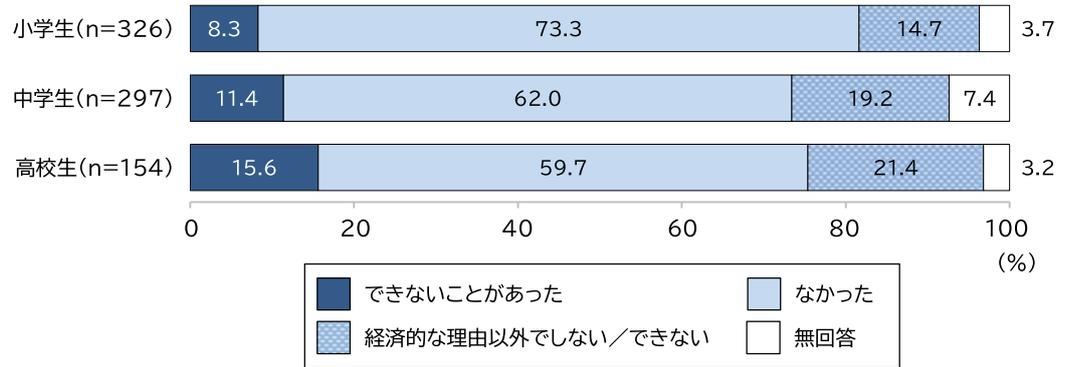


等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 7.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 30.6%、「中央値の2分の1未満」では 40.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 19.8%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 12.5%となっている。

= 習いごと(音楽, スポーツ, 習字等)に通わせる =

【全体】

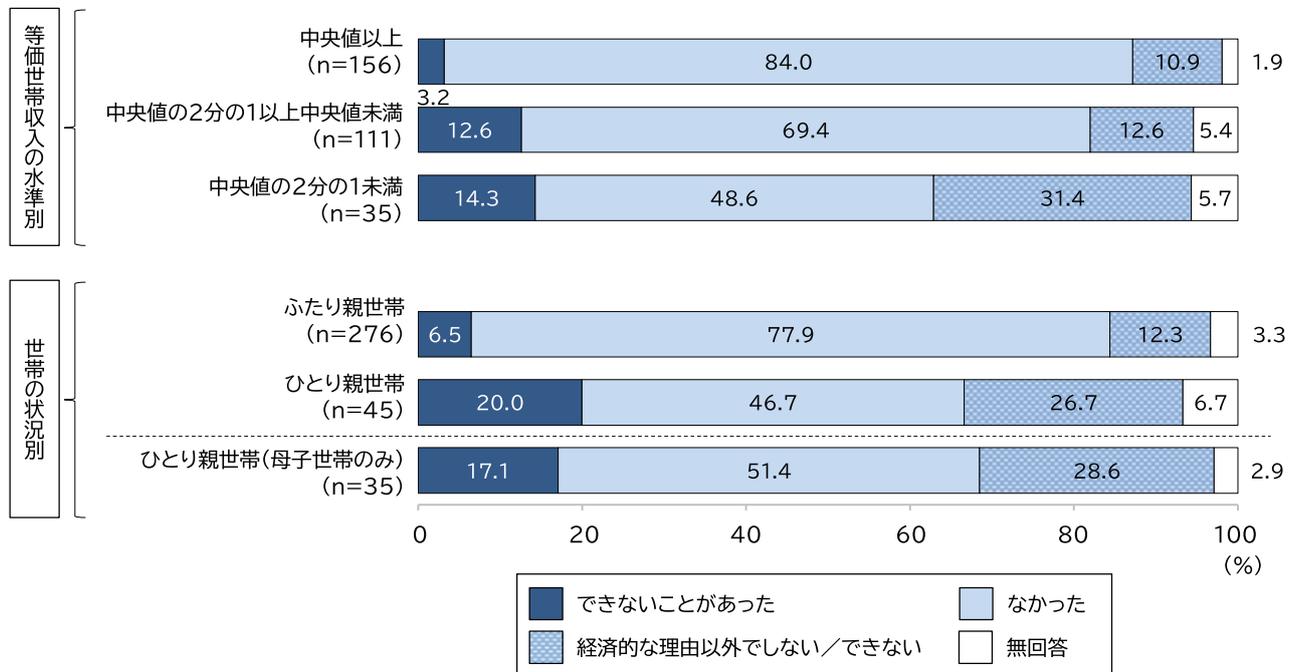


習いごと(音楽, スポーツ, 習字等)に通わせることについて, 小学生の保護者では, 「できないことがあった」が 8.3%, 「なかった」が 73.3%, 「経済的な理由以外でしない/できない」が 14.7%となっている。

中学生の保護者では, 「できないことがあった」が 11.4%, 「なかった」が 62.0%, 「経済的な理由以外でしない/できない」が 19.2%となっている。

高校生の保護者では, 「できないことがあった」が 15.6%, 「なかった」が 59.7%, 「経済的な理由以外でしない/できない」が 21.4%となっている。

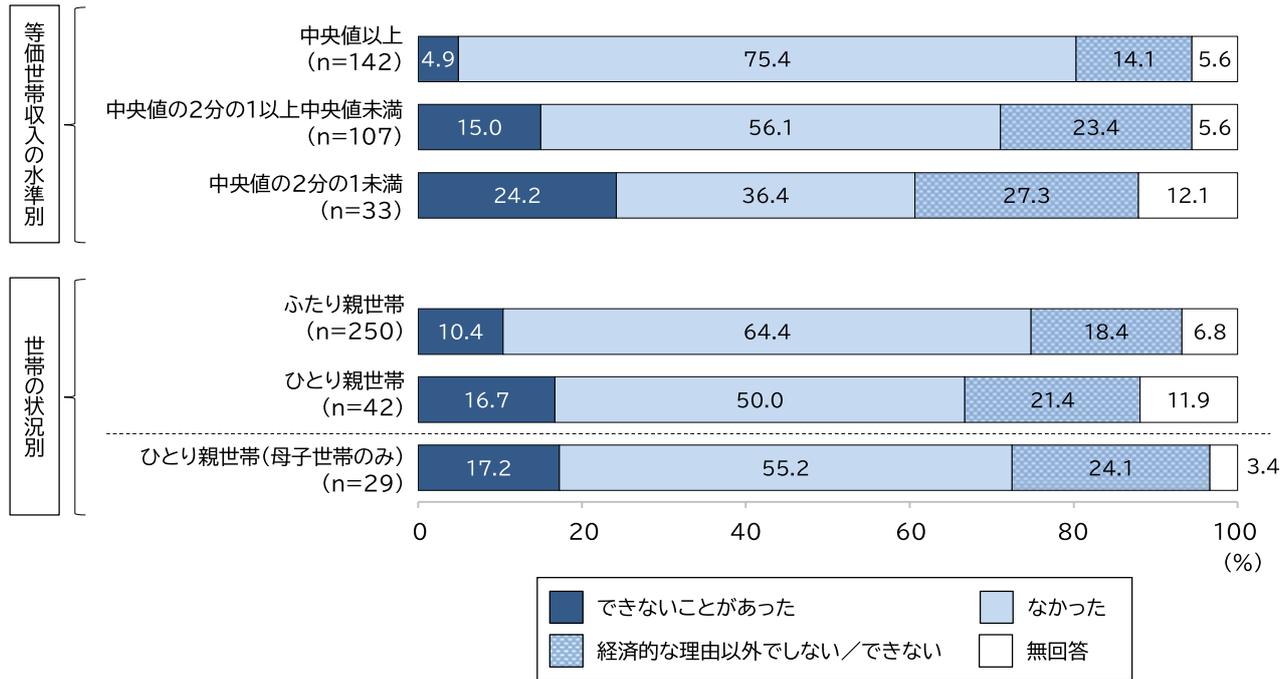
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると, 「できないことがあった」は, 「中央値以上」では 3.2%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 12.6%, 「中央値の2分の1未満」では 14.3%となっている。

世帯の状況別にみると, 「できないことがあった」は, 「ふたり親世帯」では 6.5%, 「ひとり親世帯全体」では 20.0%, 「母子世帯のみ」では 17.1%となっている。

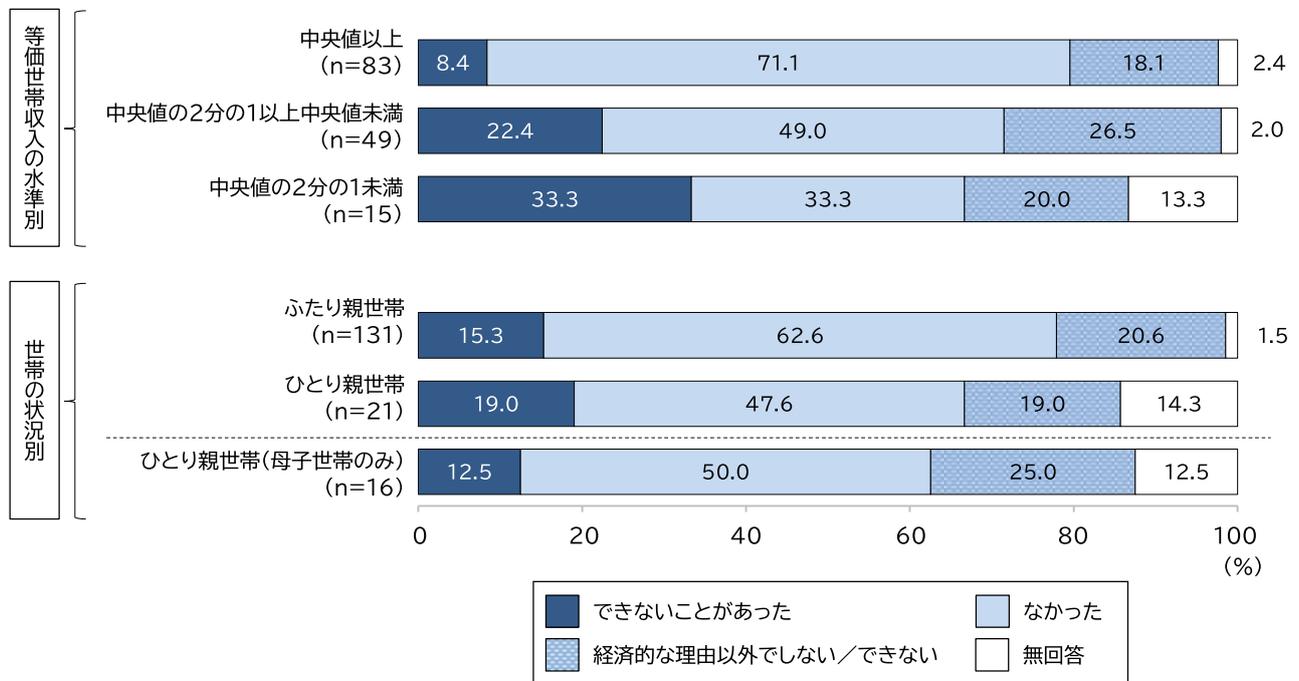
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 4.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 15.0%、「中央値の2分の1未満」では 24.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 10.4%、「ひとり親世帯全体」では 16.7%、「母子世帯のみ」では 17.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

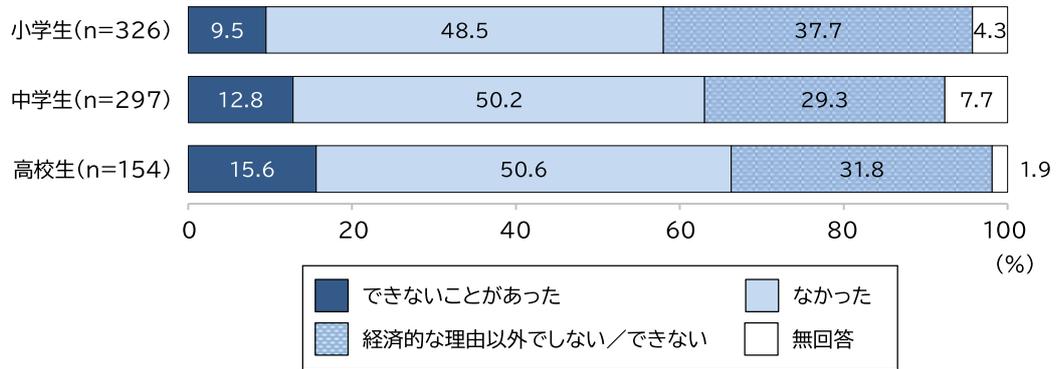


等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 8.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 22.4%、「中央値の2分の1未満」では 33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 15.3%、「ひとり親世帯全体」では 19.0%、「母子世帯のみ」では 12.5%となっている。

= 学習塾に通わせる(または家庭教師にきてもらう) =

【全体】

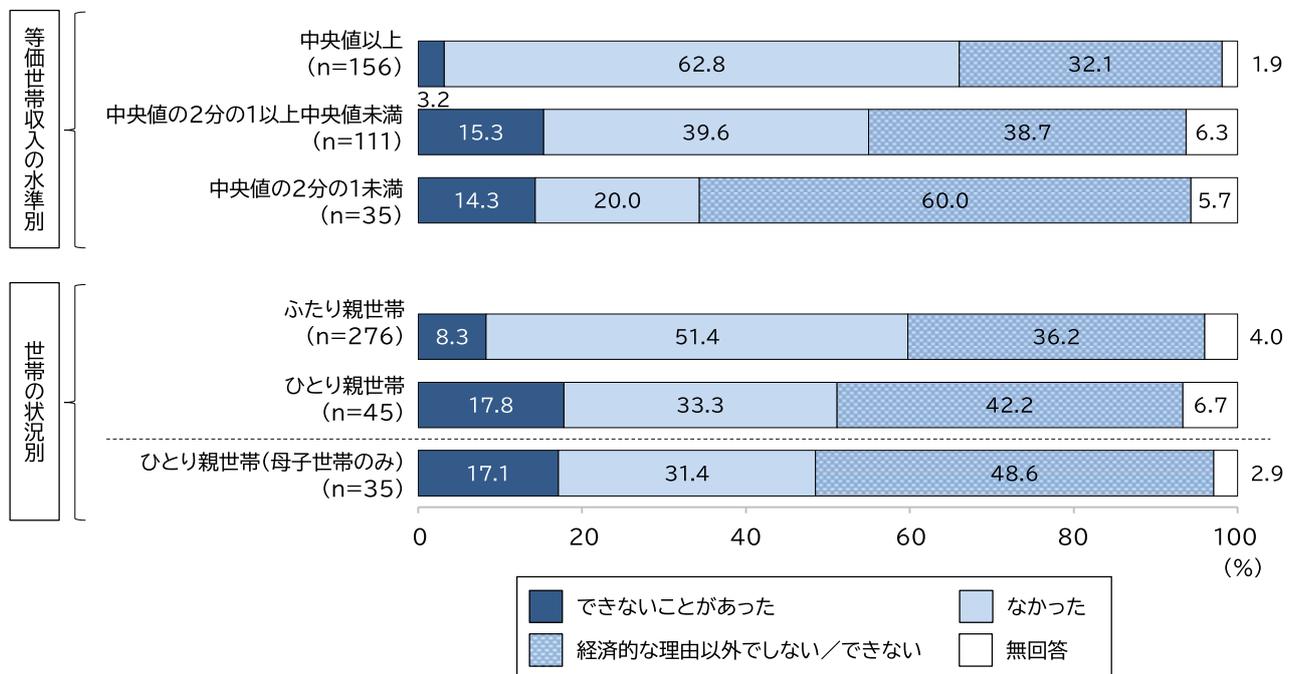


学習塾に通わせる(または家庭教師にきてもらう)ことについて、小学生の保護者では、「できないことがあった」が 9.5%、「なかった」が 48.5%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 37.7%となっている。

中学生の保護者では、「できないことがあった」が 12.8%、「なかった」が 50.2%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 29.3%となっている。

高校生の保護者では、「できないことがあった」が 15.6%、「なかった」が 50.6%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 31.8%となっている。

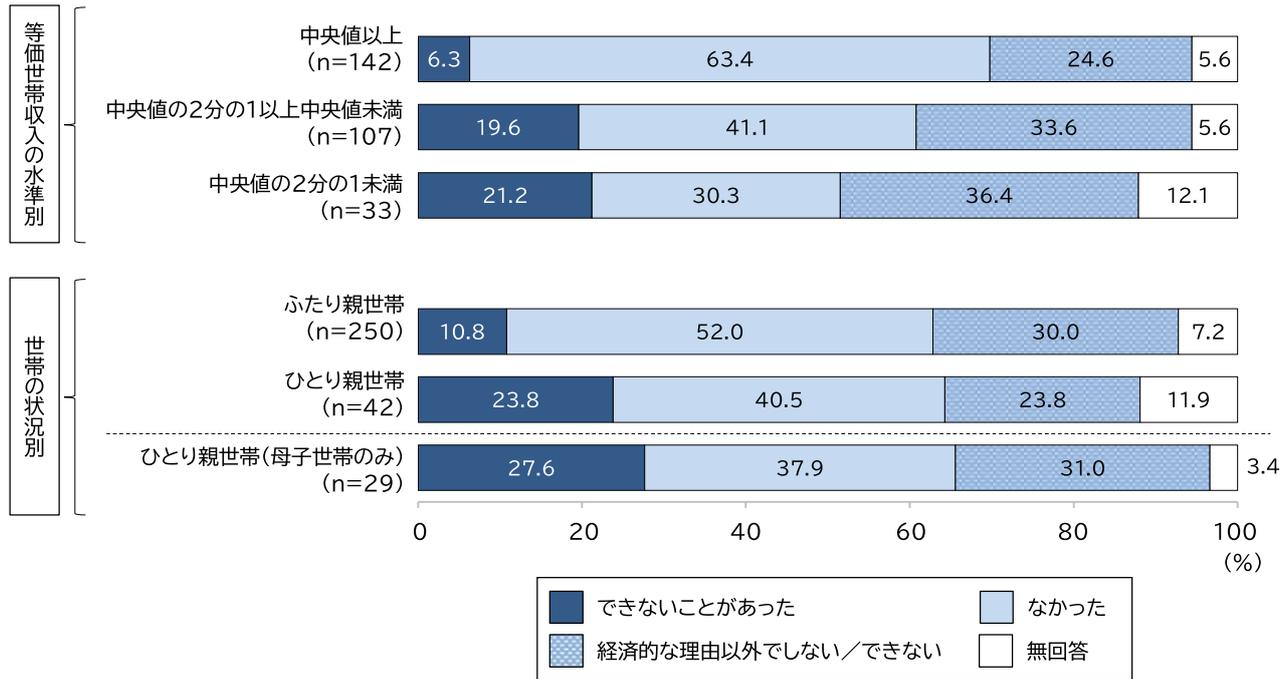
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 3.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 15.3%、「中央値の2分の1未満」では 14.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 8.3%、「ひとり親世帯全体」では 17.8%、「母子世帯のみ」では 17.1%となっている。

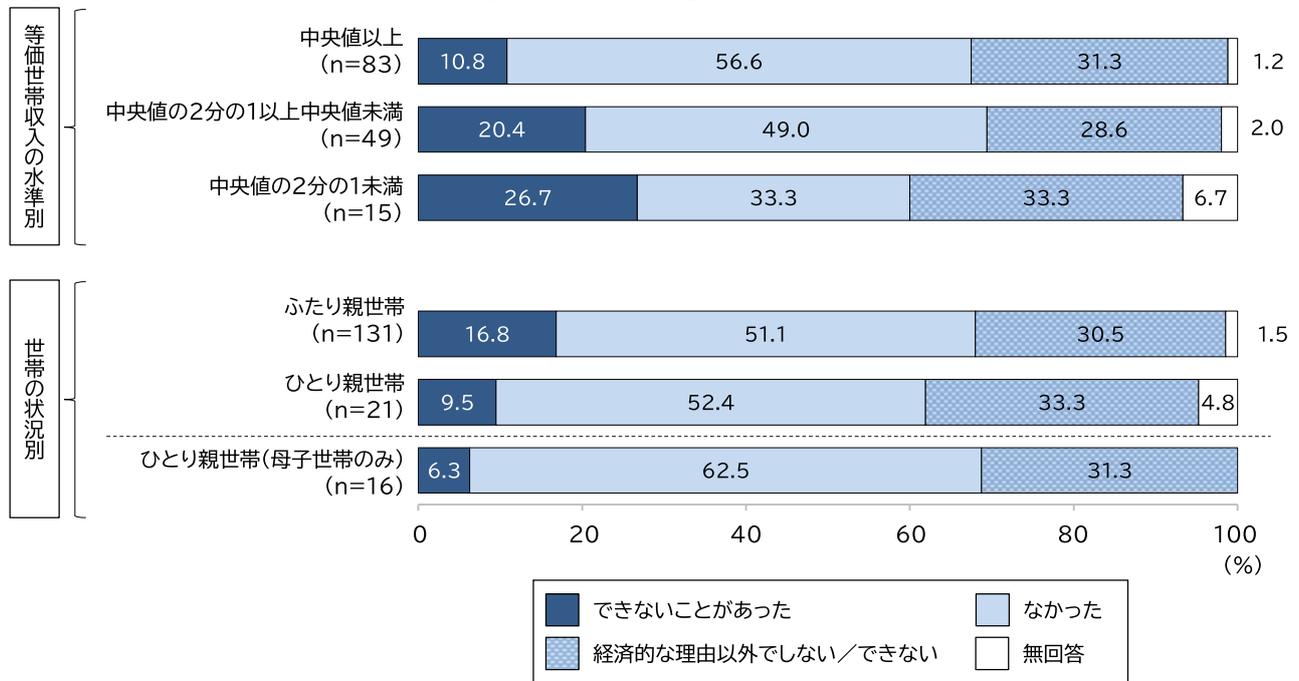
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 6.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 19.6%、「中央値の2分の1未満」では 21.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 10.8%、「ひとり親世帯全体」では 23.8%、「母子世帯のみ」では 27.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

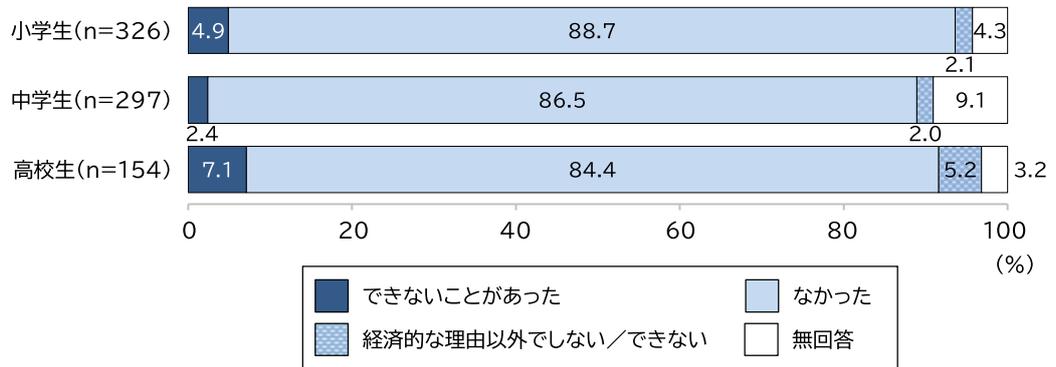


等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 10.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 20.4%、「中央値の2分の1未満」では 26.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 16.8%、「ひとり親世帯全体」では 9.5%、「母子世帯のみ」では 6.3%となっている。

= お誕生日のお祝いをする =

【全体】

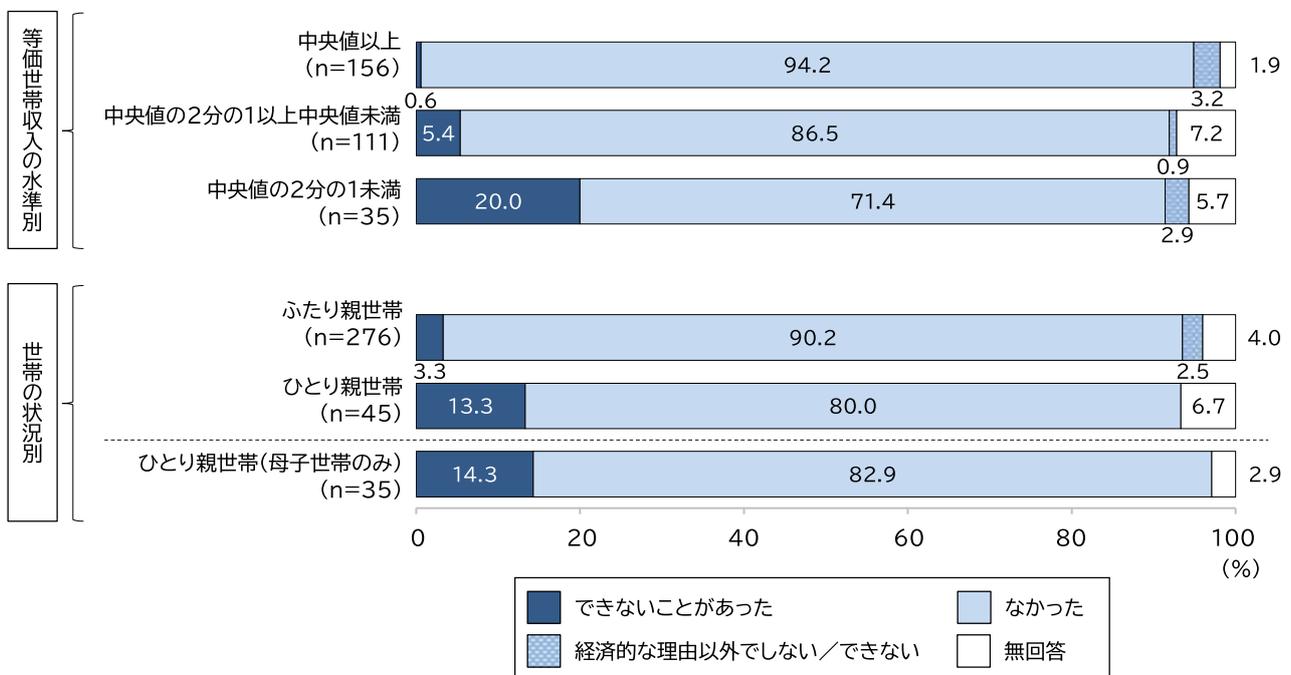


お誕生日のお祝いをするについて、小学生の保護者では、「できないことがあった」が 4.9%、「なかった」が 88.7%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 2.1%となっている。

中学生の保護者では、「できないことがあった」が 2.4%、「なかった」が 86.5%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 2.0%となっている。

高校生の保護者では、「できないことがあった」が 7.1%、「なかった」が 84.4%、「経済的な理由以外でしない/できない」が 5.2%となっている。

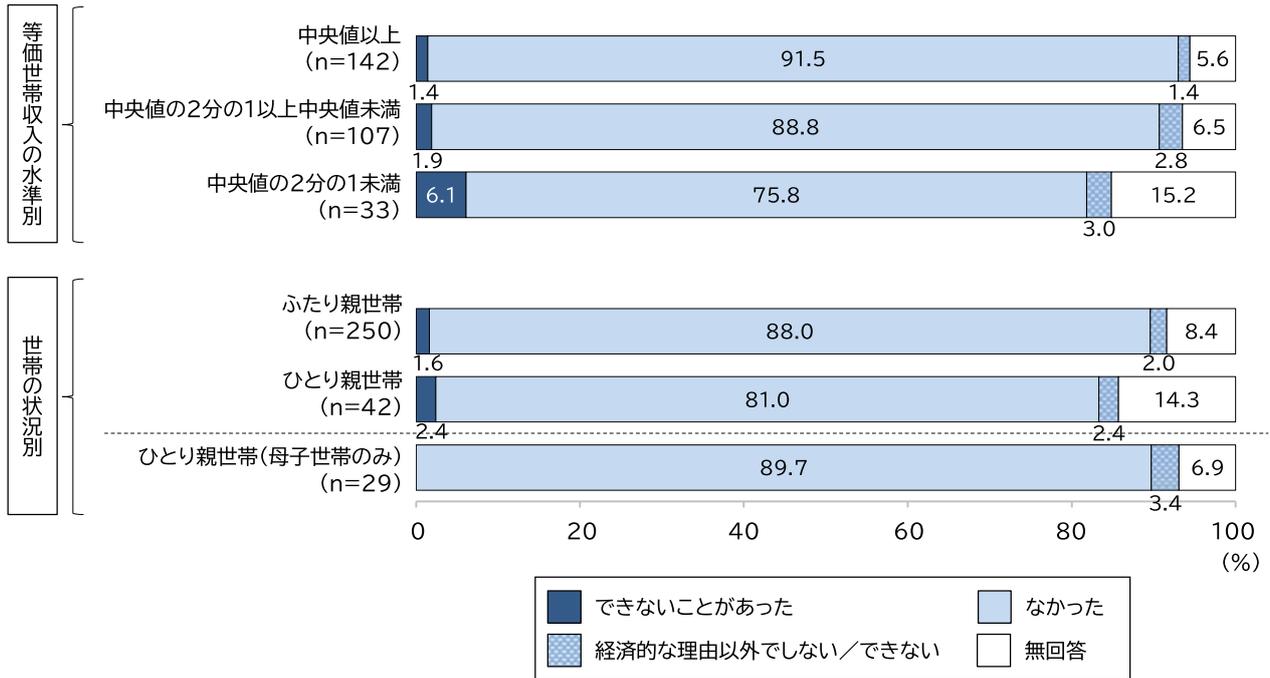
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 0.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 5.4%、「中央値の2分の1未満」では 20.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 3.3%、「ひとり親世帯全体」では 13.3%、「母子世帯のみ」では 14.3%となっている。

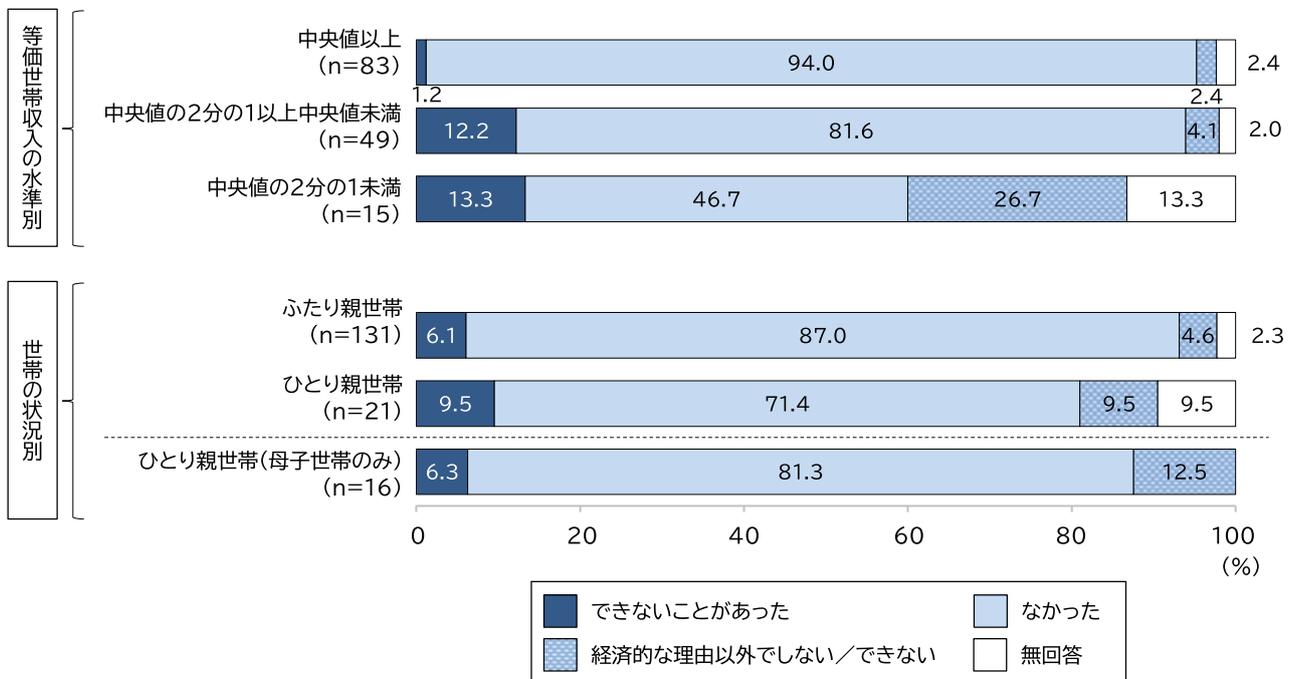
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 1.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 1.9%、「中央値の2分の1未満」では 6.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 1.6%、「ひとり親世帯全体」では 2.4%、「母子世帯のみ」では 0.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

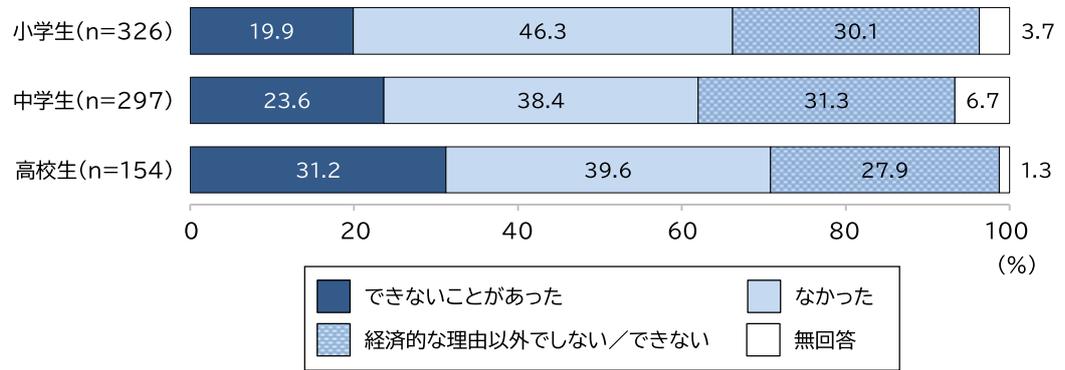


等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 1.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 12.2%、「中央値の2分の1未満」では 13.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 6.1%、「ひとり親世帯全体」では 9.5%、「母子世帯のみ」では 6.3%となっている。

= 1年に1回くらい家族旅行に行く =

【全体】

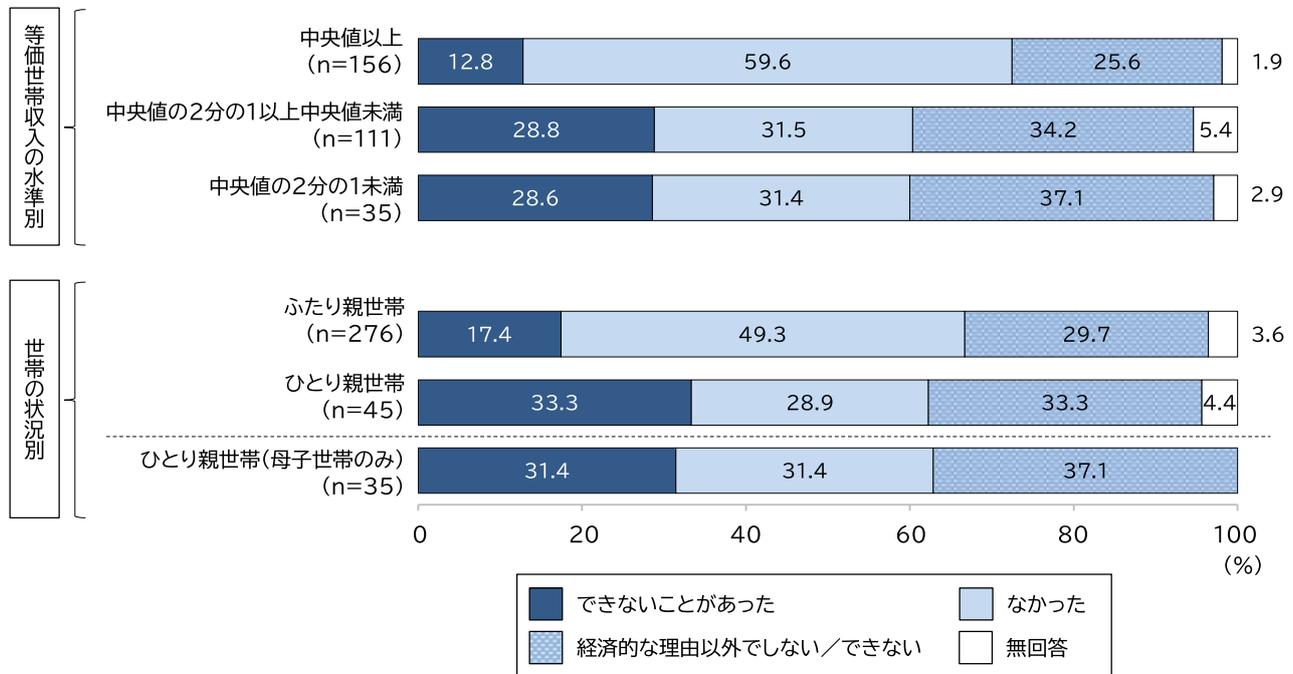


1年に1回くらい家族旅行に行くことについて、小学生の保護者では、「できないことがあった」が 19.9%、「なかった」が 46.3%、「経済的な理由以外でしない／できない」が 30.1%となっている。

中学生の保護者では、「できないことがあった」が 23.6%、「なかった」が 38.4%、「経済的な理由以外でしない／できない」が 31.3%となっている。

高校生の保護者では、「できないことがあった」が 31.2%、「なかった」が 39.6%、「経済的な理由以外でしない／できない」が 27.9%となっている。

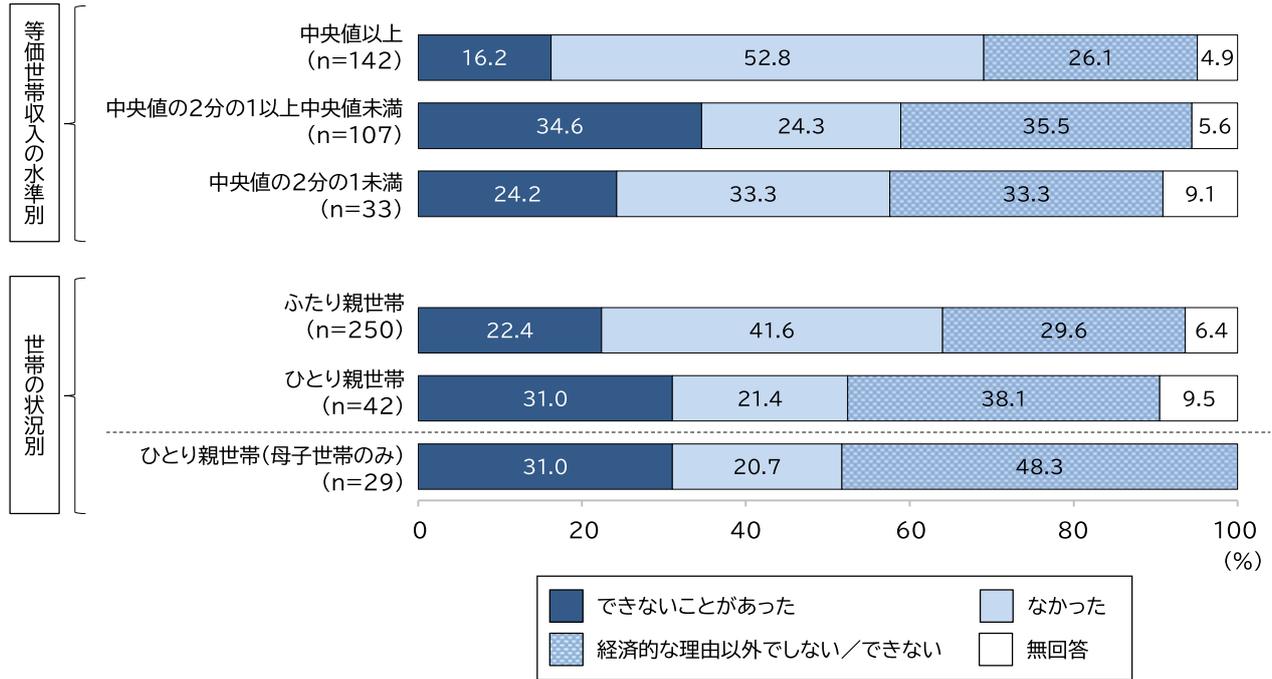
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 12.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 28.8%、「中央値の2分の1未満」では 28.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 17.4%、「ひとり親世帯全体」では 33.3%、「母子世帯のみ」では 31.4%となっている。

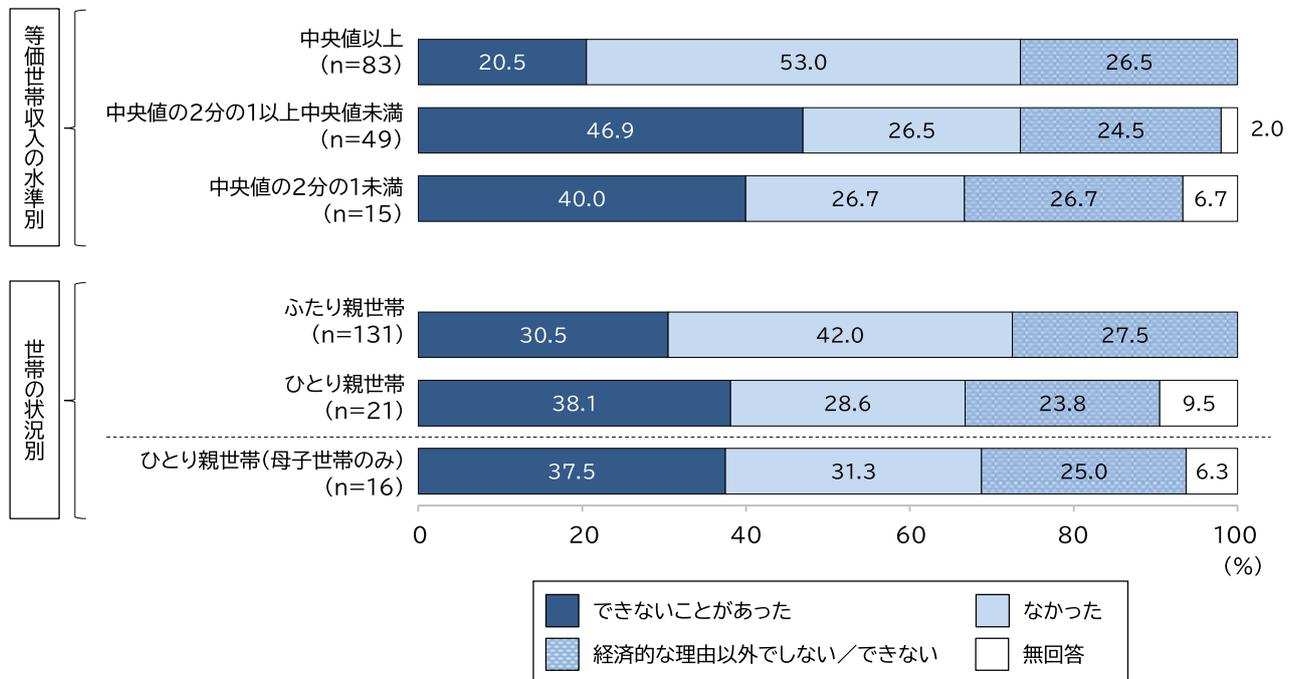
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 16.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 34.6%、「中央値の2分の1未満」では 24.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 22.4%、「ひとり親世帯全体」では 31.0%、「母子世帯のみ」では 31.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

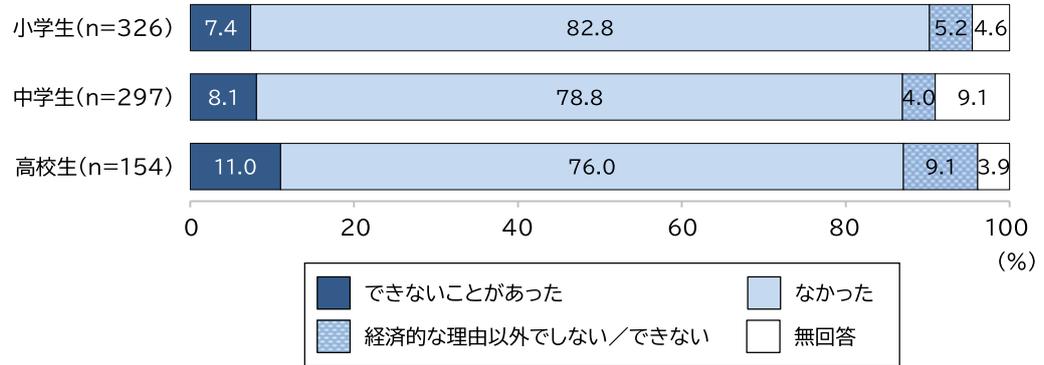


等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 20.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 46.9%、「中央値の2分の1未満」では 40.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 30.5%、「ひとり親世帯全体」では 38.1%、「母子世帯のみ」では 37.5%となっている。

= クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる =

【全体】

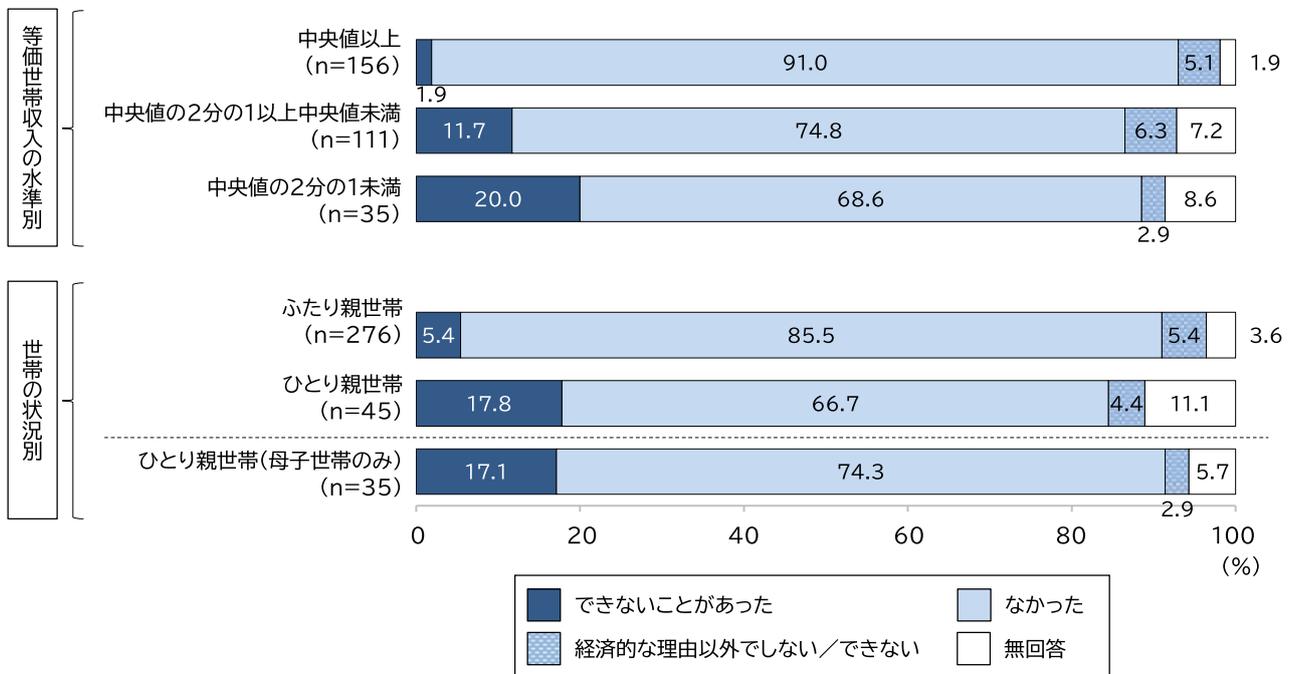


クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげることについて、小学生の保護者では、「できないことがあった」が7.4%、「なかった」が82.8%、「経済的な理由以外でしない/できない」が5.2%となっている。

中学生の保護者では、「できないことがあった」が8.1%、「なかった」が78.8%、「経済的な理由以外でしない/できない」が4.0%となっている。

高校生の保護者では、「できないことがあった」が11.0%、「なかった」が76.0%、「経済的な理由以外でしない/できない」が9.1%となっている。

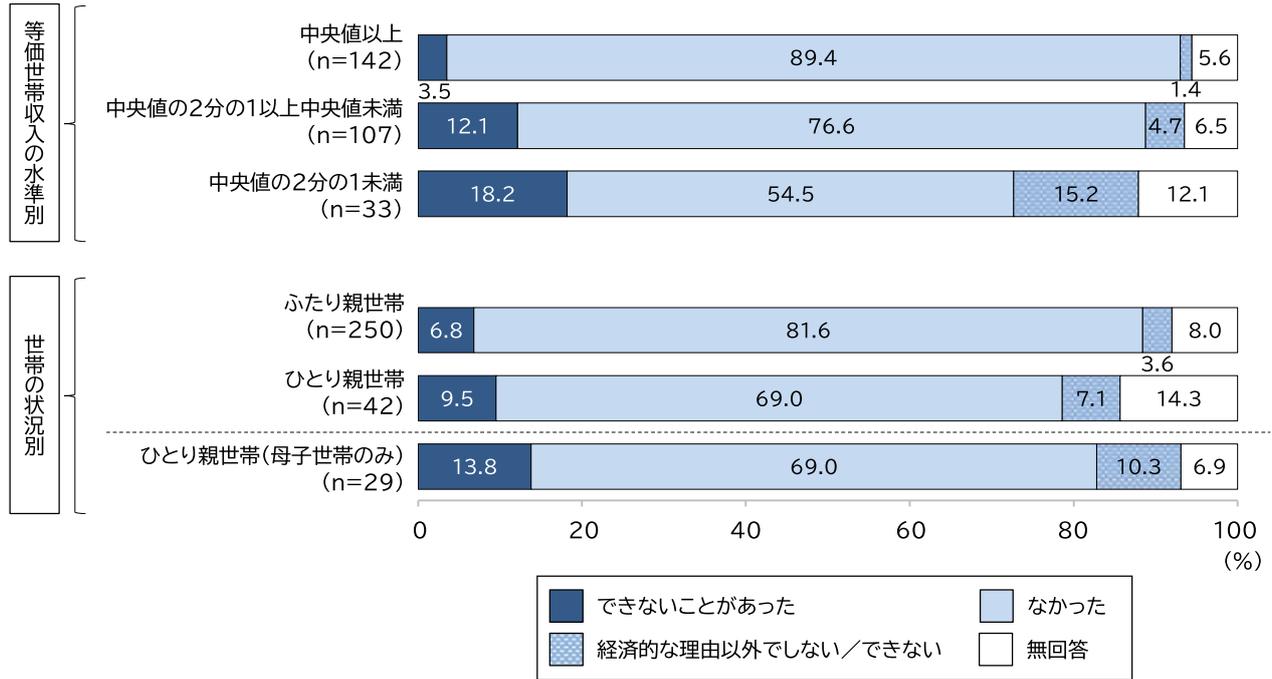
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では1.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では11.7%、「中央値の2分の1未満」では20.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では5.4%、「ひとり親世帯全体」では17.8%、「母子世帯のみ」では17.1%となっている。

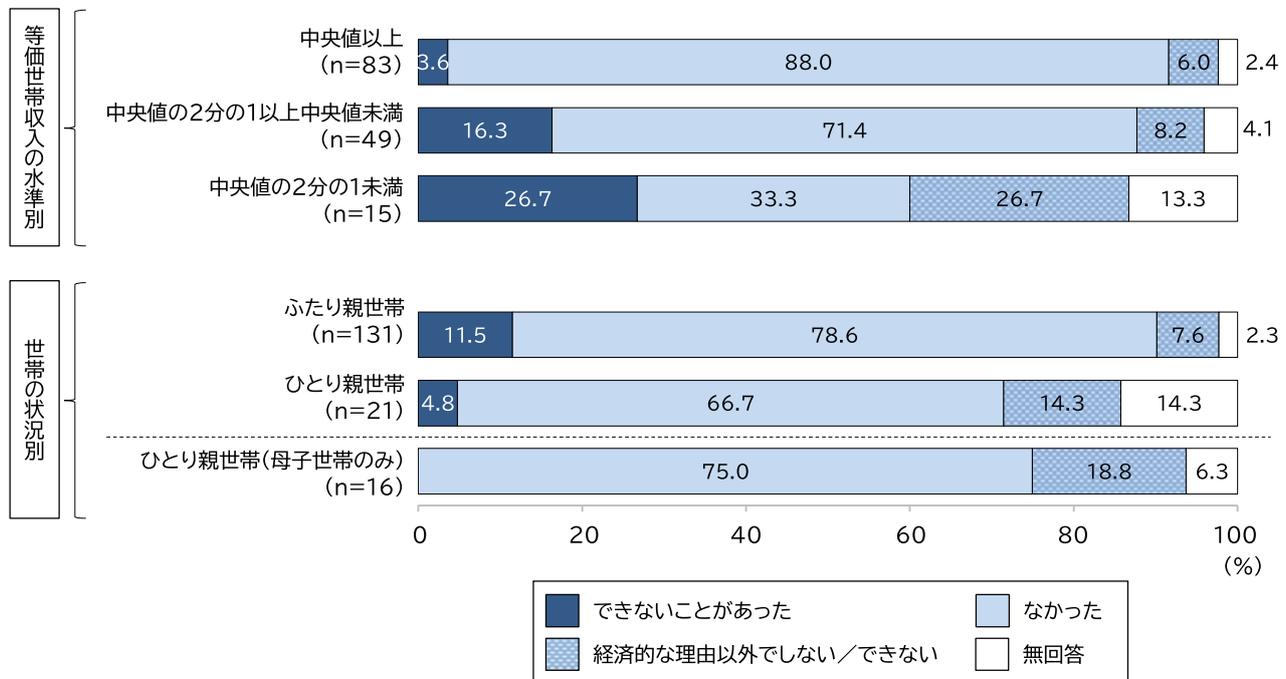
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 3.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 12.1%、「中央値の2分の1未満」では 18.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 6.8%、「ひとり親世帯全体」では 9.5%、「母子世帯のみ」では 13.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

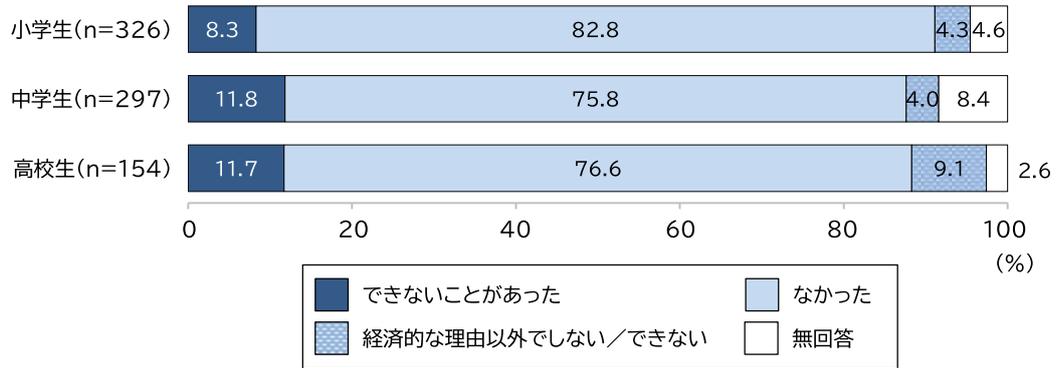


等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 3.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 16.3%、「中央値の2分の1未満」では 26.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 11.5%、「ひとり親世帯全体」では 4.8%、「母子世帯のみ」では 0.0%となっている。

= お子さんの学校行事などへ保護者が参加する =

【全体】

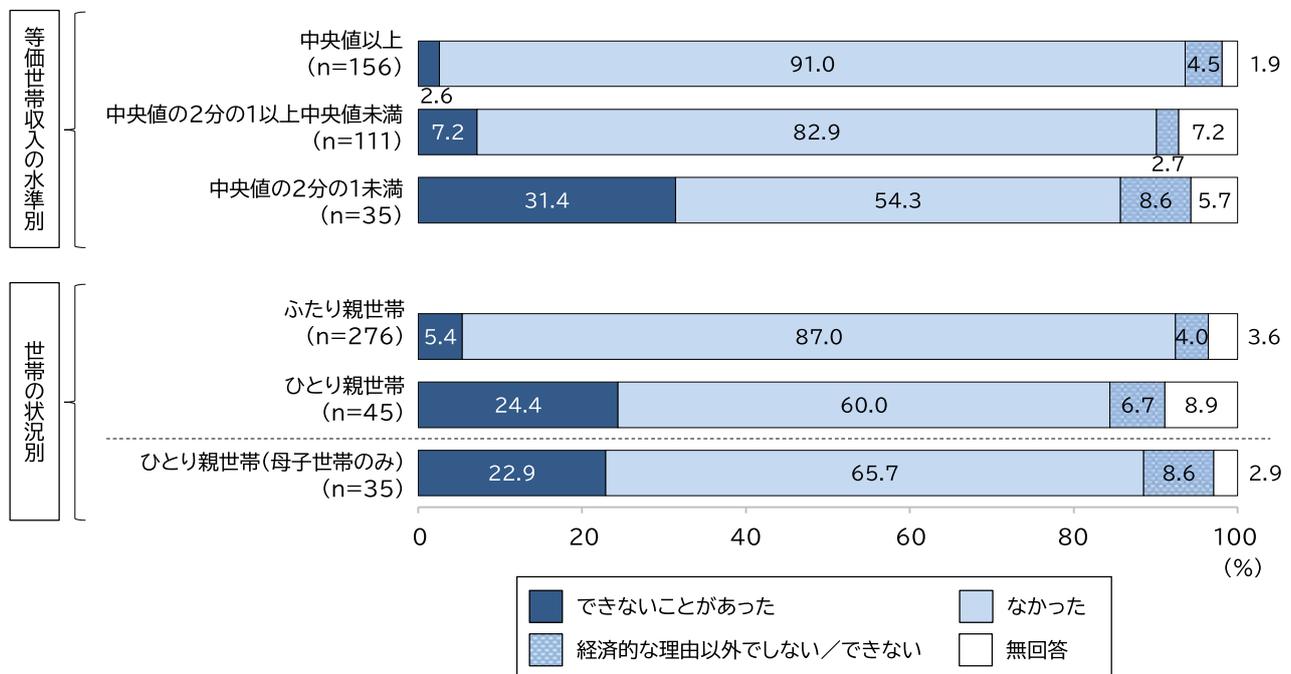


お子さんの学校行事などへ保護者が参加することについて、小学生の保護者では、「できないことがあった」が8.3%、「なかった」が82.8%、「経済的な理由以外でしない/できない」が4.3%となっている。

中学生の保護者では、「できないことがあった」が11.8%、「なかった」が75.8%、「経済的な理由以外でしない/できない」が4.0%となっている。

高校生の保護者では、「できないことがあった」が11.7%、「なかった」が76.6%、「経済的な理由以外でしない/できない」が9.1%となっている。

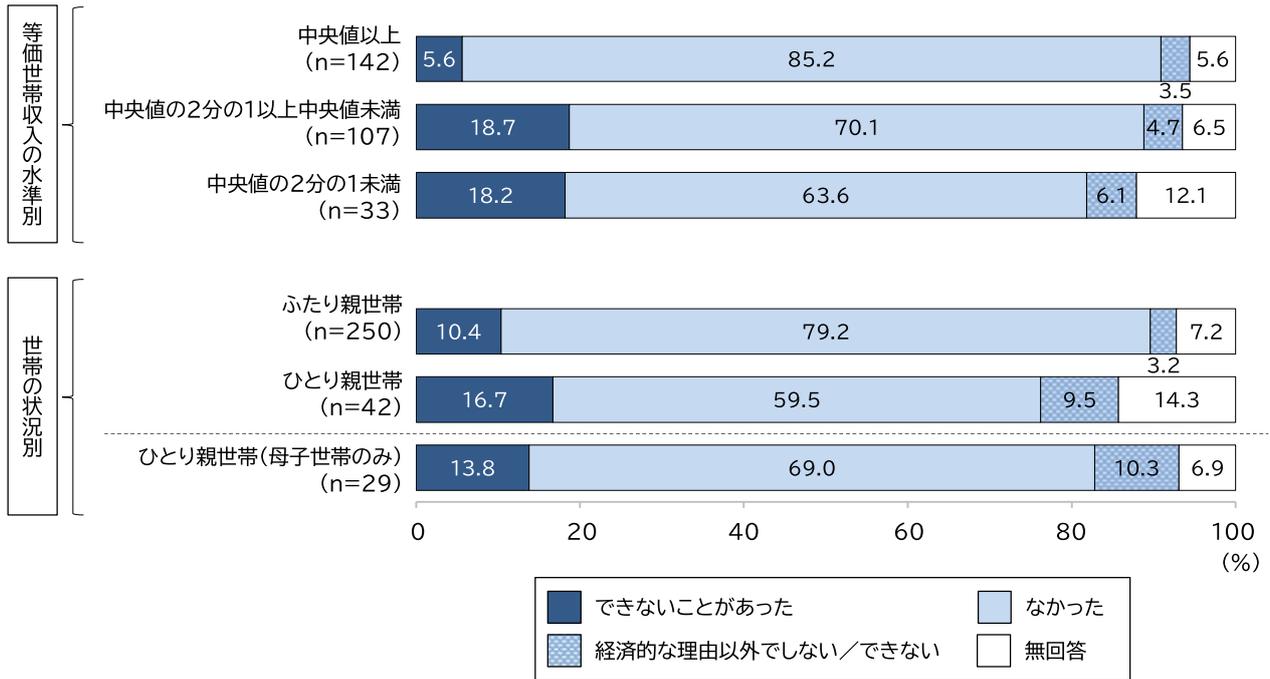
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では2.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では7.2%、「中央値の2分の1未満」では31.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では5.4%、「ひとり親世帯全体」では24.4%、「母子世帯のみ」では22.9%となっている。

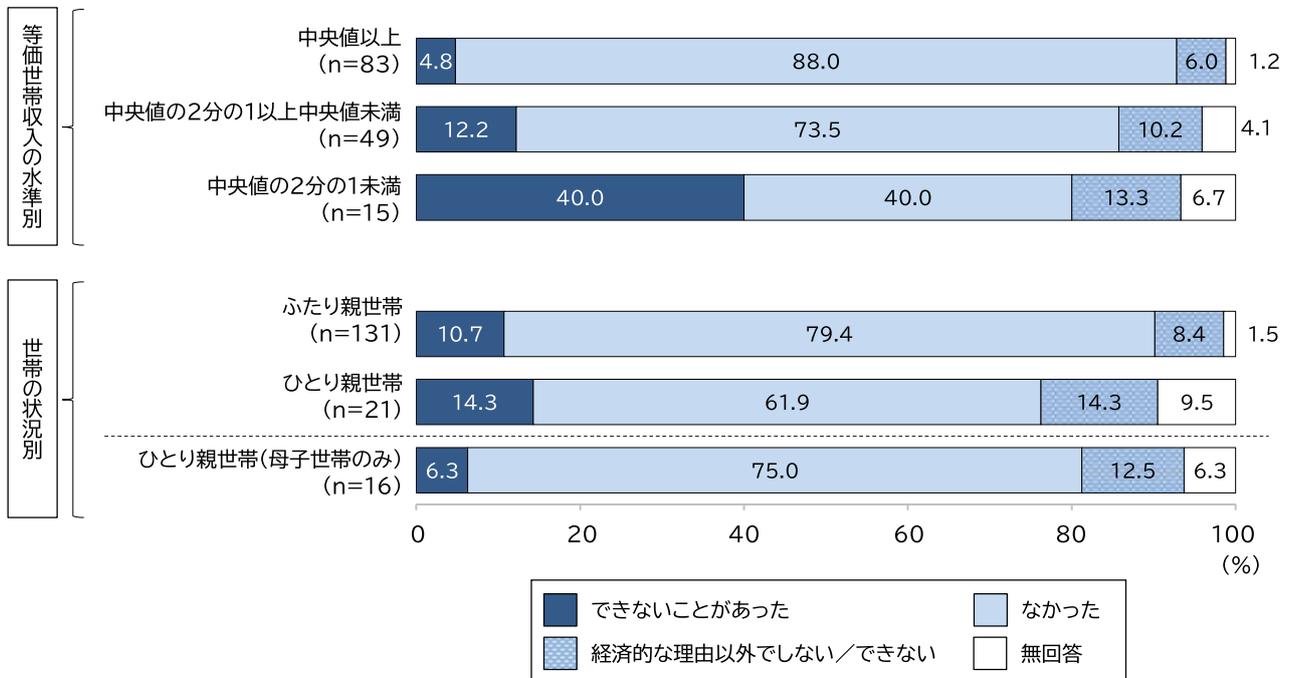
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 5.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 18.7%、「中央値の2分の1未満」では 18.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 10.4%、「ひとり親世帯全体」では 16.7%、「母子世帯のみ」では 13.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



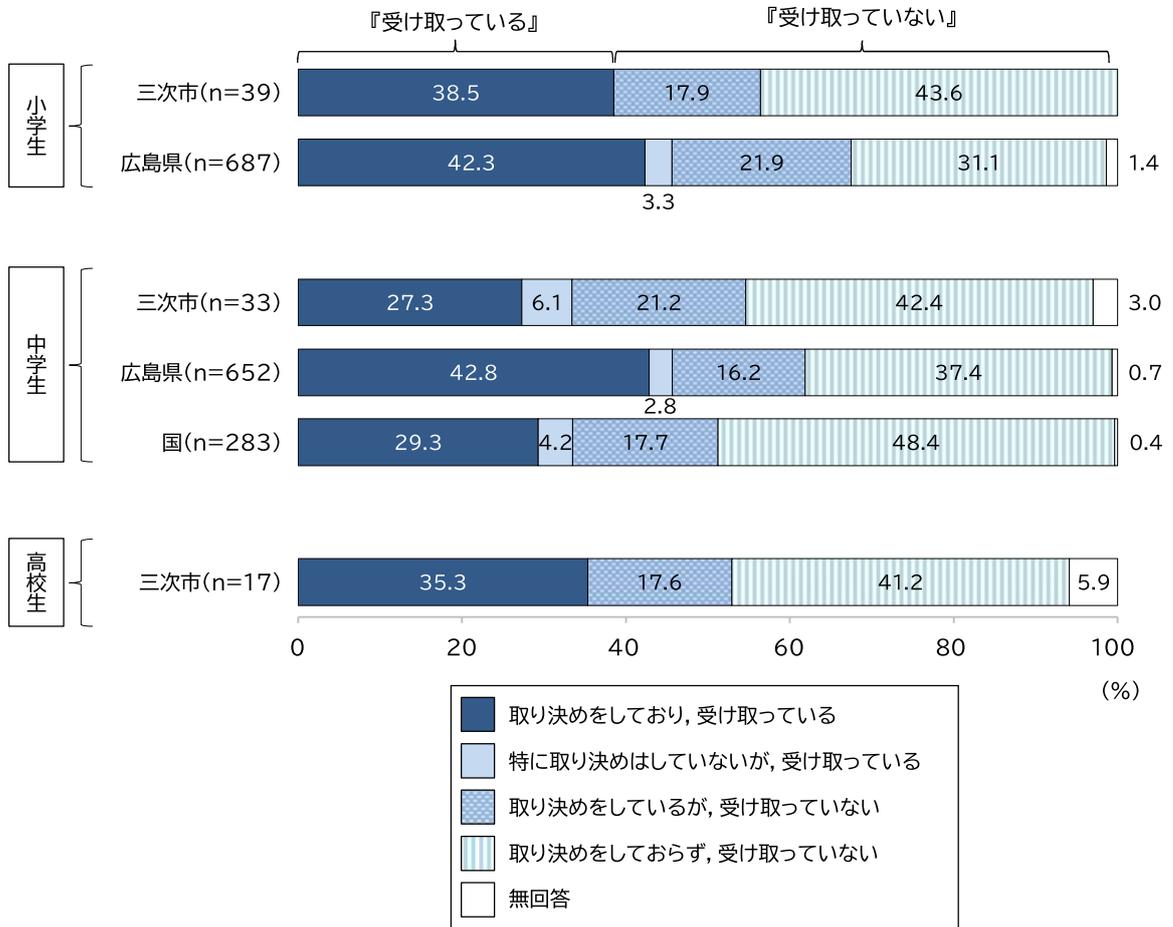
等価世帯収入の水準別にみると、「できないことがあった」は、「中央値以上」では 4.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 12.2%、「中央値の2分の1未満」では 40.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「できないことがあった」は、「ふたり親世帯」では 10.7%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 6.3%となっている。

※問5で「2 離婚」を選んだ方に

保護者票問6. 離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(SA)

【全体】



養育費の取り決めについて、小学生の保護者「離婚」該当者では、『受け取っている(「取り決めをしており、養育費を受け取っている」と「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」を合わせた割合)』が 38.5%、『受け取っていない(「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」と「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた割合)』が 61.5%となっている。広島県と比較すると、『受け取っていない』は三次市(61.5%)が広島県(53.0%)を 8.5 ポイント上回っている。

中学生の保護者「離婚」該当者では、『受け取っている』が 33.4%、『受け取っていない』が 63.6%となっている。広島県と比較すると、『受け取っていない』は三次市(63.6%)が広島県(53.6%)を 10.0 ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

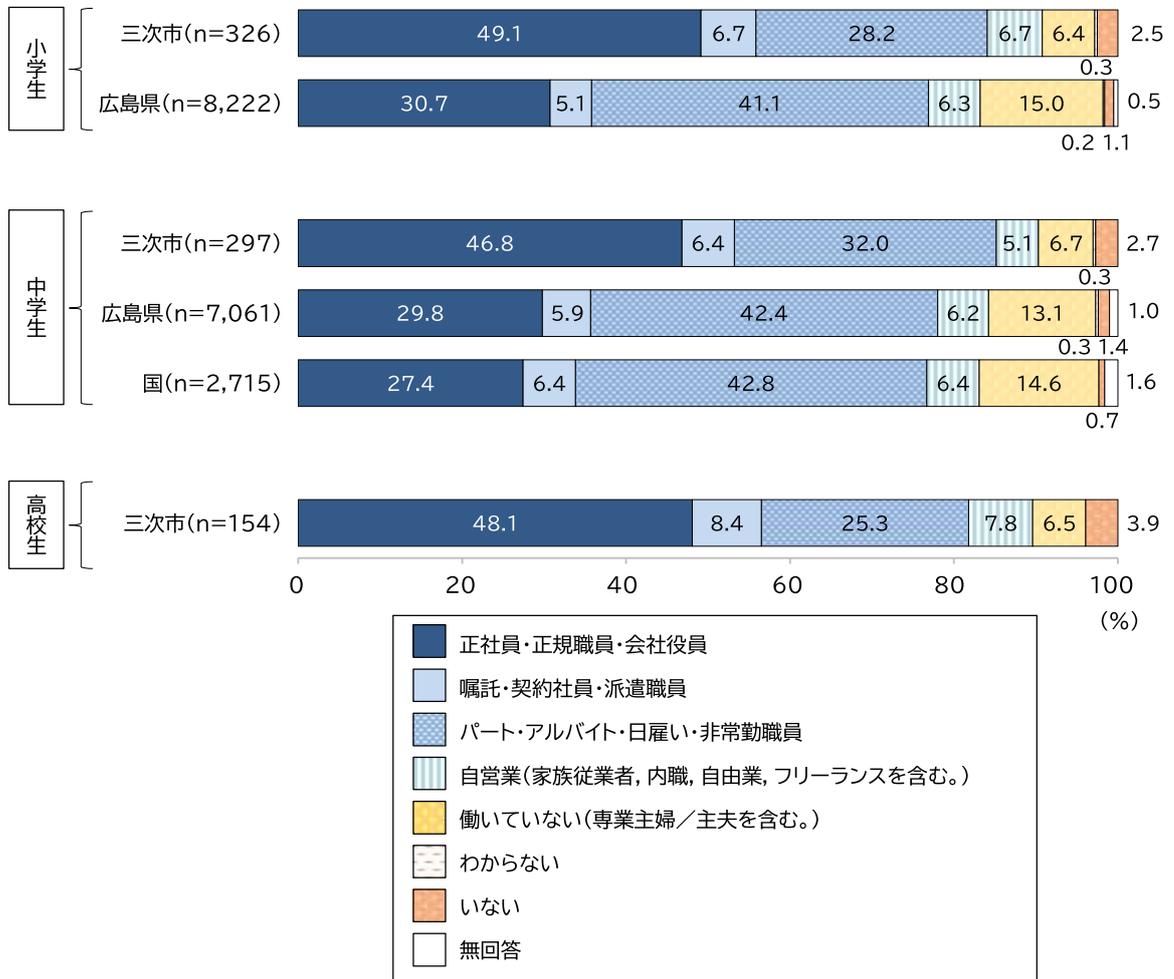
高校生の保護者「離婚」該当者では、『受け取っている』が 35.3%、『受け取っていない』が 58.8%となっている。

(2)就労の状況

保護者票問9. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(SA)

= 母親の就労状況 =

【全体】



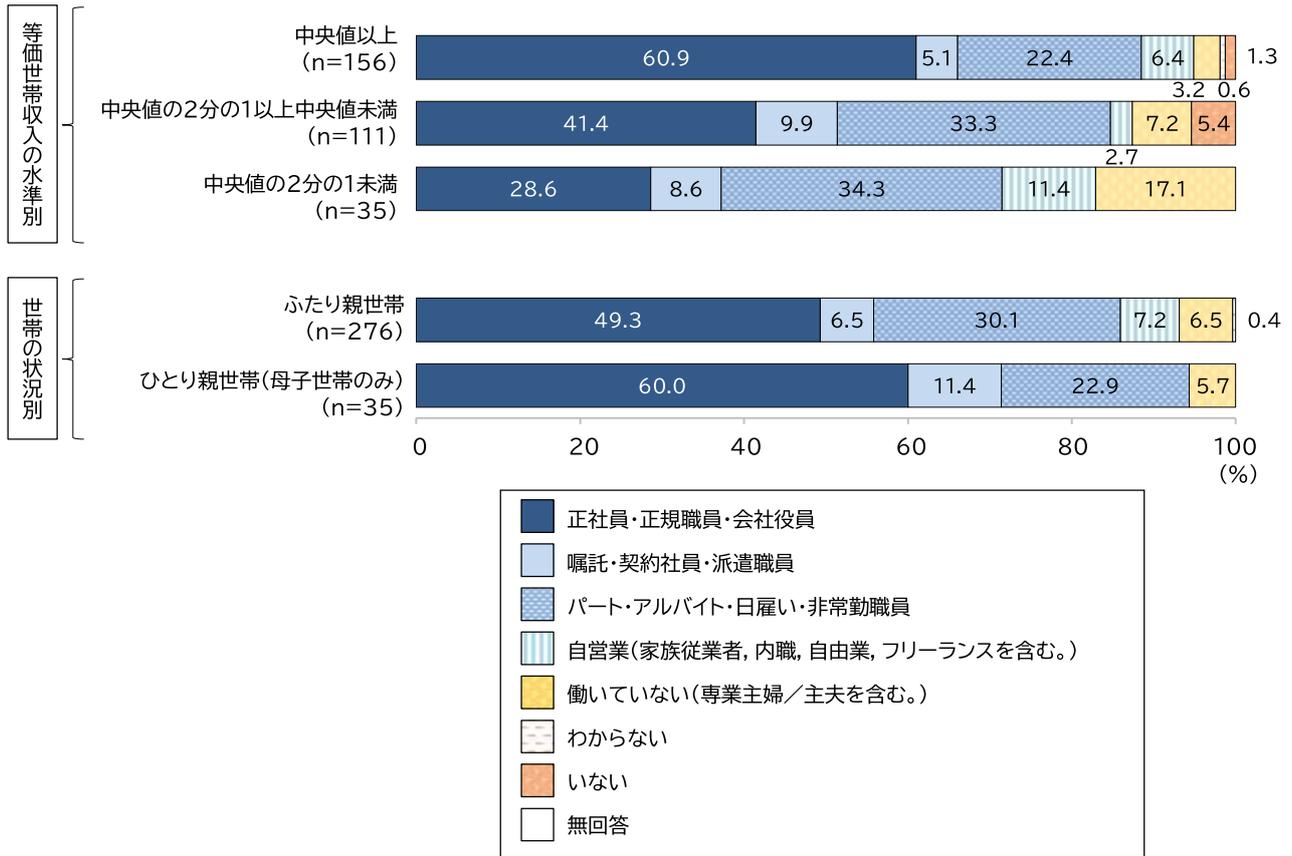
※国調査では「いない, わからない」という選択肢になっている

母親の就労状況について、小学生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が 49.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 28.2%などの順となっている。広島県と比較すると、「正社員・正規職員・会社役員」は三次市(49.1%)が広島県(30.7%)を 18.4 ポイント上回っている。

中学生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が 46.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 32.0%などの順となっている。広島県と比較すると、「正社員・正規職員・会社役員」は三次市(46.8%)が広島県(29.8%)を 17.0 ポイント上回っている。国と比較すると、「正社員・正規職員・会社役員」は三次市(46.8%)が国(27.4%)を 19.4 ポイント上回っている。

高校生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が 48.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 25.3%などの順となっている。

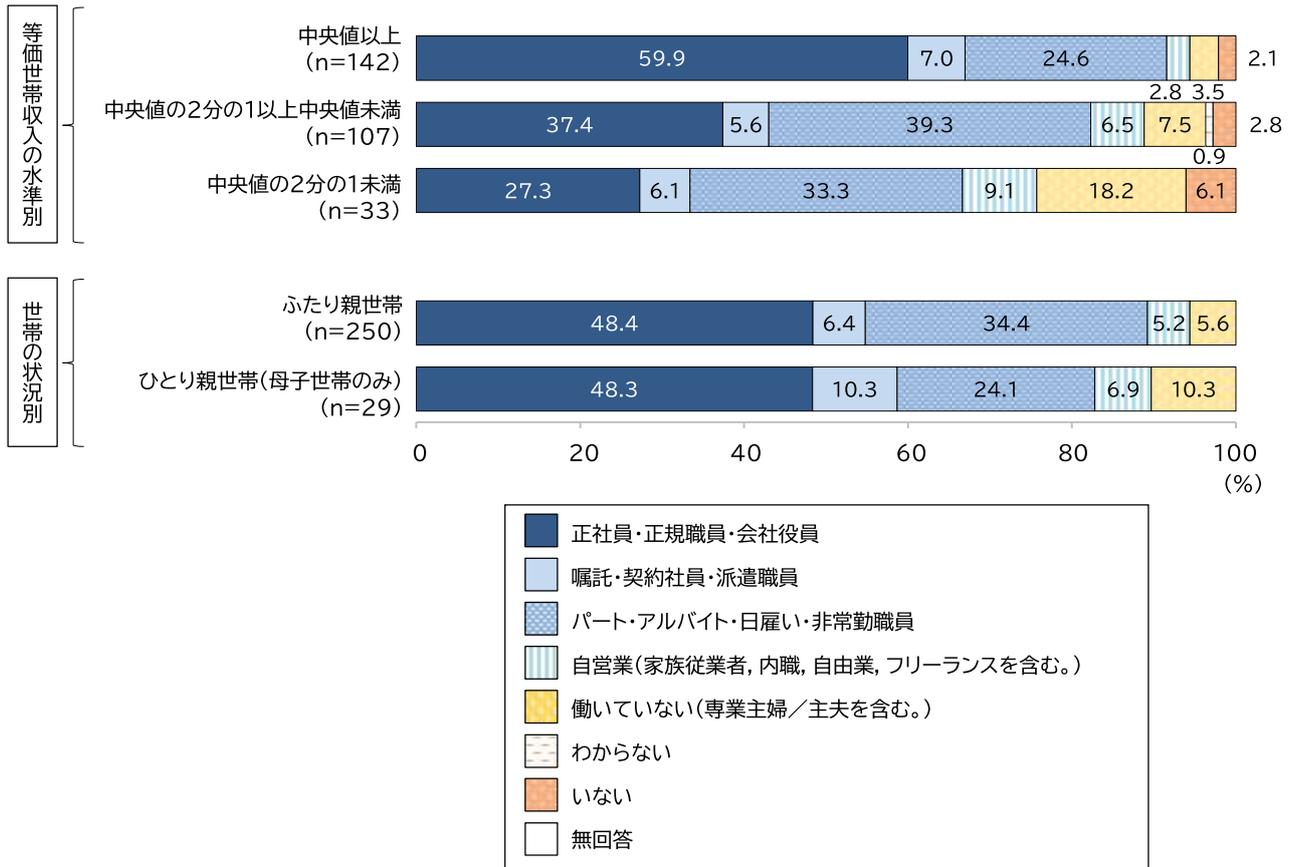
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では 60.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 41.4%、「中央値の2分の1未満」では 28.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では 49.3%、「ひとり親世帯」では 60.0%となっている。

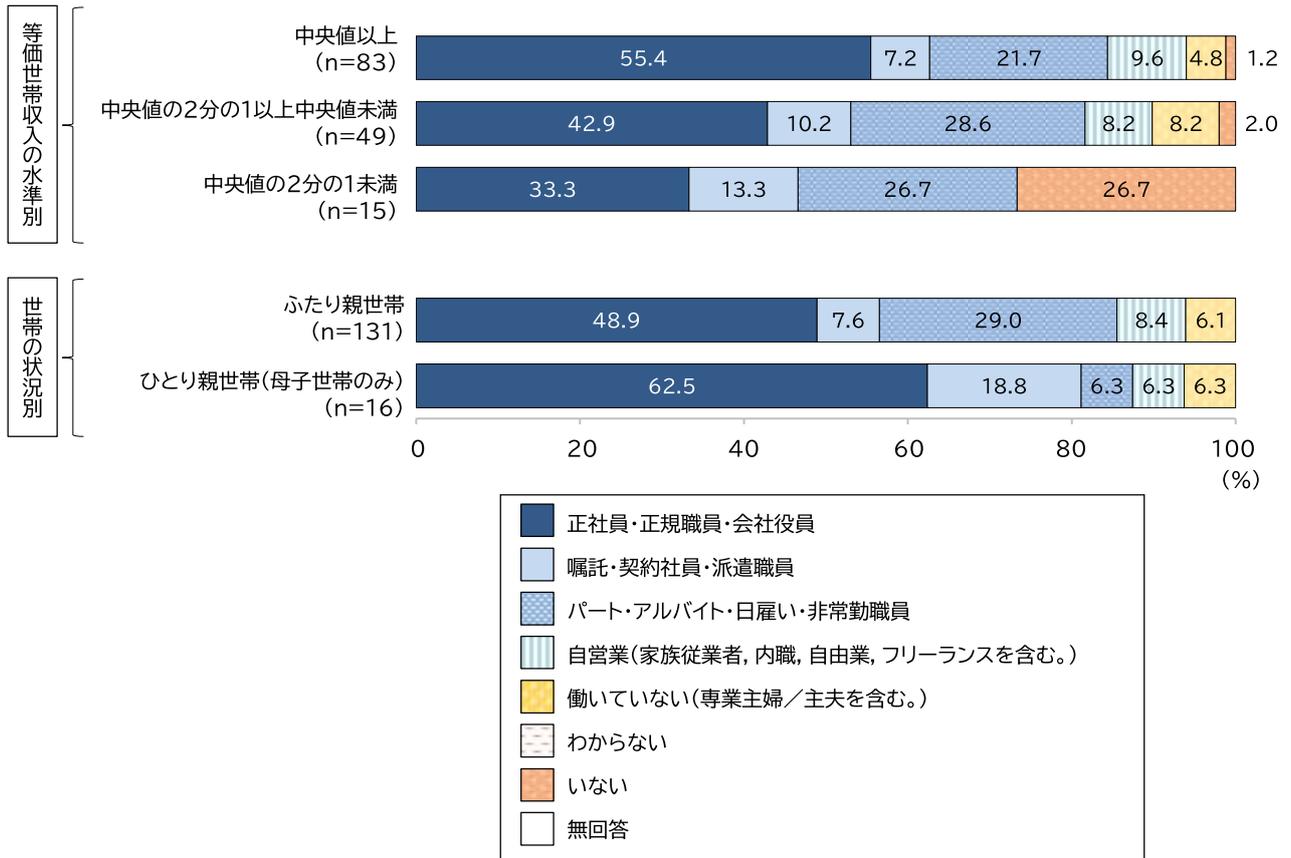
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では 59.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 37.4%、「中央値の2分の1未満」では 27.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では 48.4%、「ひとり親世帯」では 48.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

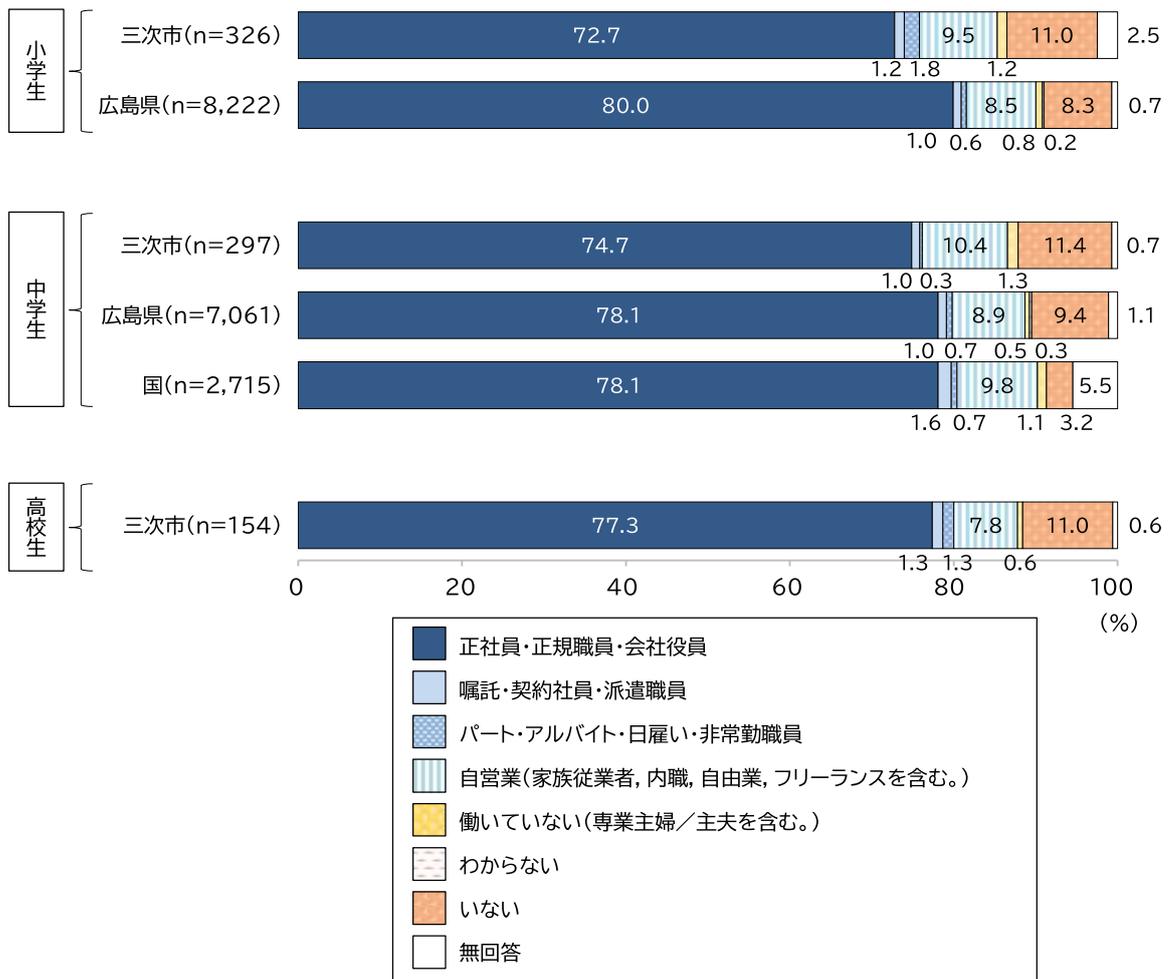


等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では 55.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 42.9%、「中央値の2分の1未満」では 33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では 48.9%、「ひとり親世帯」では 62.5%となっている。

= 父親の就労状況 =

【全体】



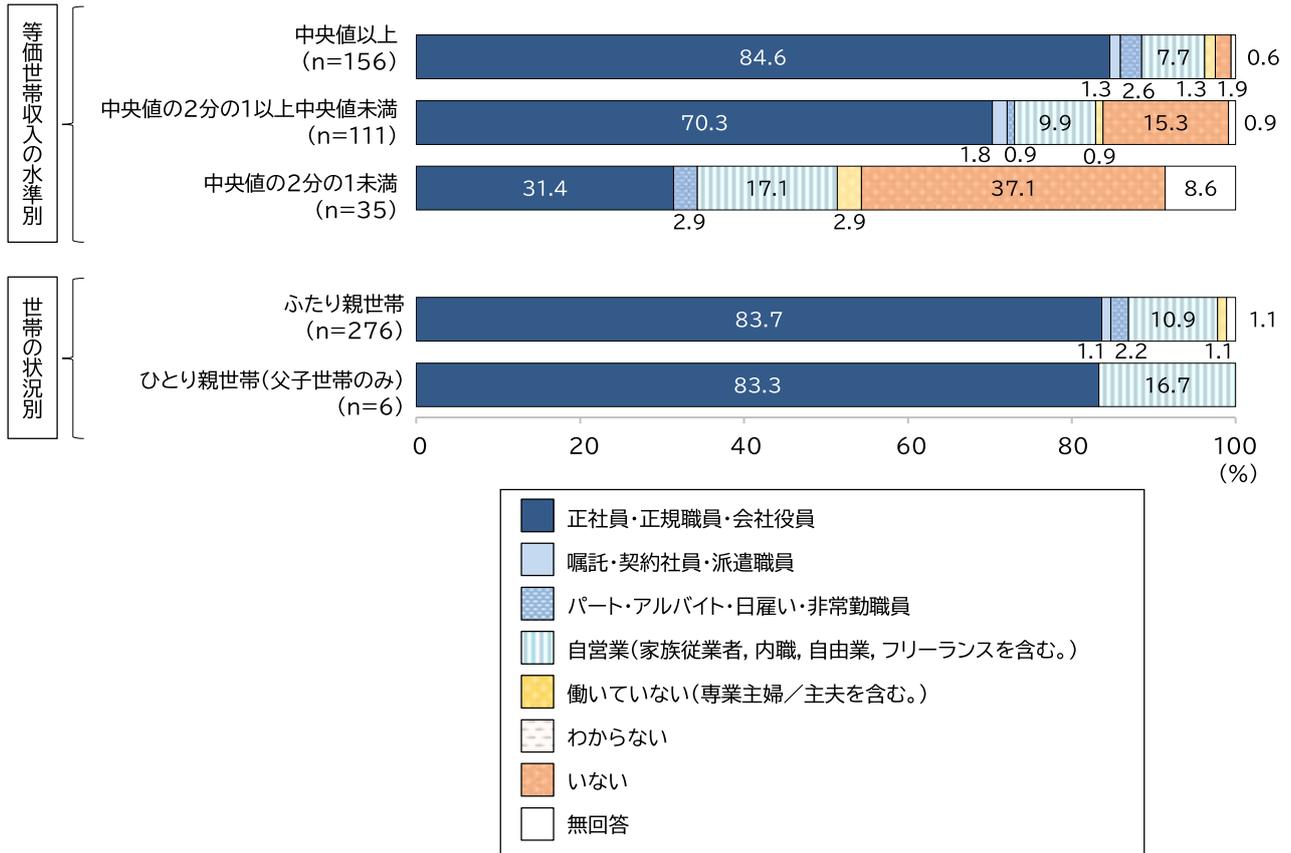
※国調査では「いない, わからない」という選択肢になっている

父親の就労状況について、小学生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が 72.7%と最も高くなっている。広島県と比較すると、「正社員・正規職員・会社役員」は三次市(72.7%)が広島県(80.0%)を 7.3 ポイント下回っている。

中学生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が 74.7%と最も高くなっている。広島県, 国と比較すると、「正社員・正規職員・会社役員」は、どちらも大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が 77.3%と最も高くなっている。

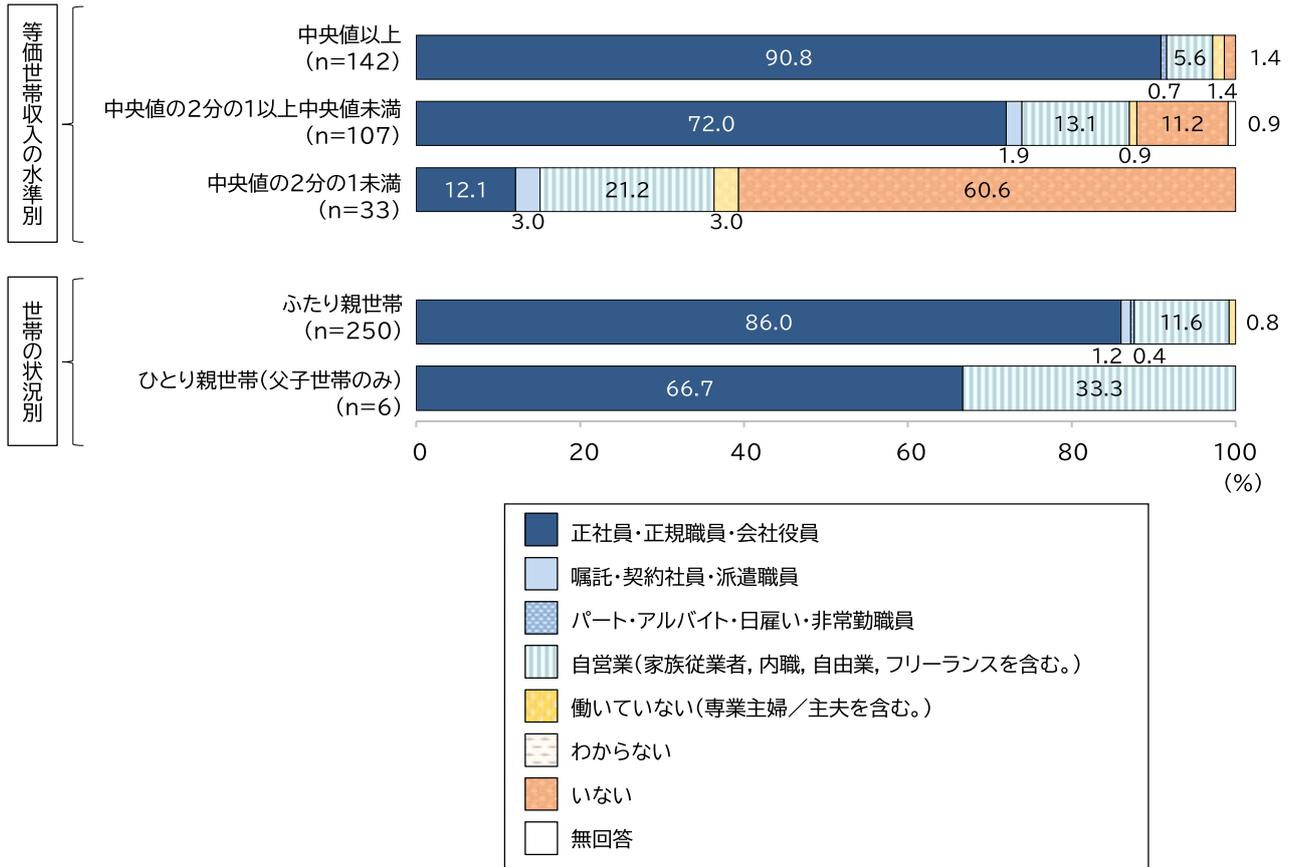
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では 84.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 70.3%、「中央値の2分の1未満」では 31.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では 83.7%、「ひとり親世帯」では 83.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では 90.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 72.0%、「中央値の2分の1未満」では 12.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では 86.0%、「ひとり親世帯」では 66.7%となっている。

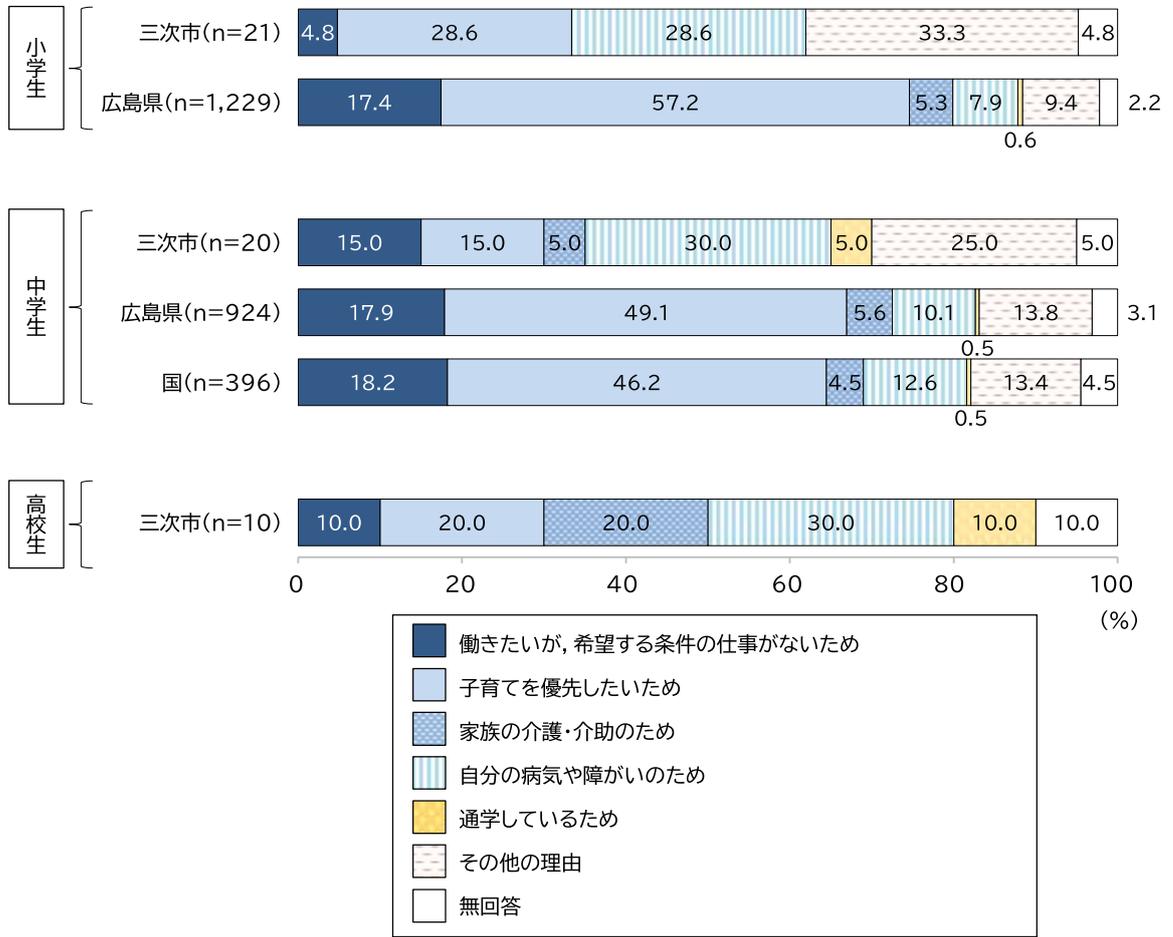


※問9で「5 働いていない」と答えた方に

保護者票問 10. 働いていない最も主な理由を教えてください。(SA)

= 母親が働いていない理由 =

【全体】



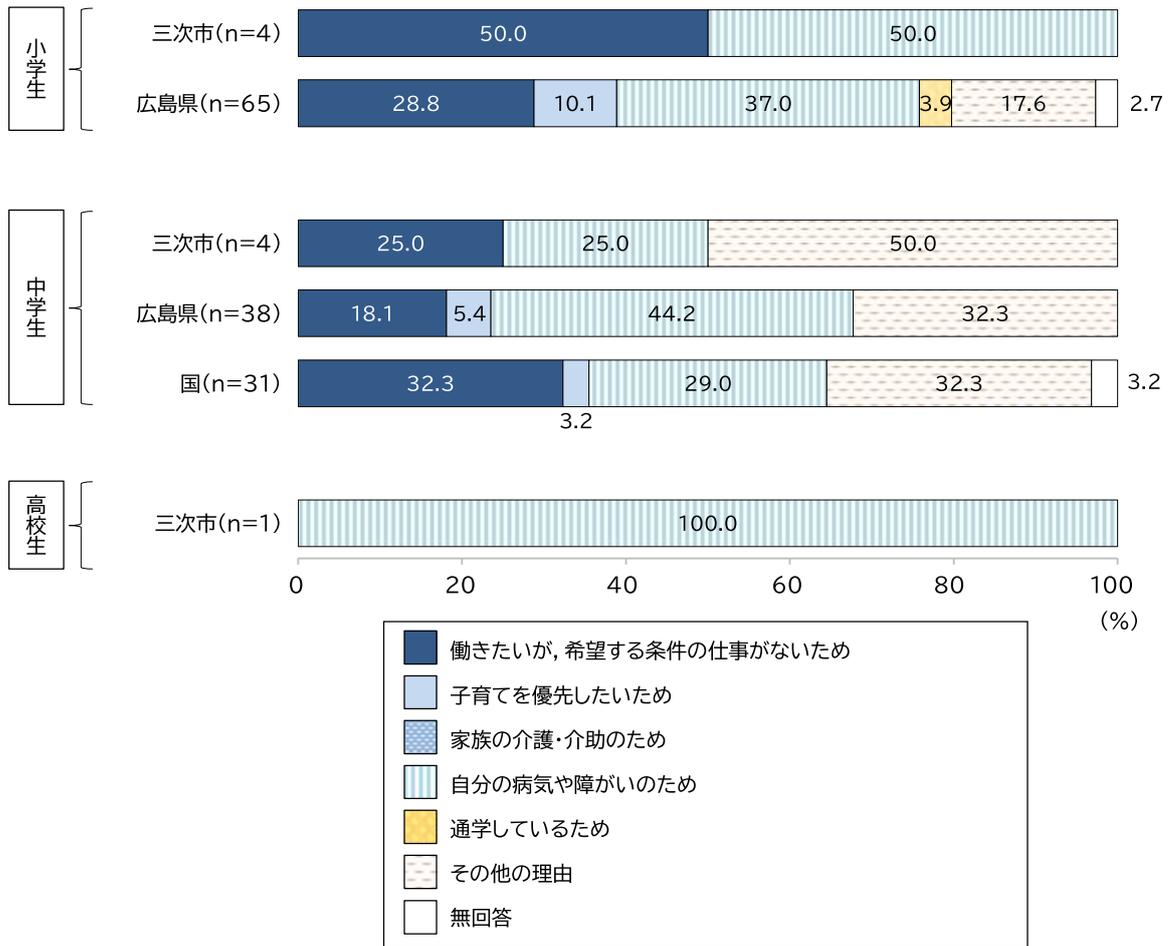
母親が働いていない理由について、小学生の保護者では、「子育てを優先したいため」が 28.6%、「自分の病気や障がいのため」が 28.6%となっている。広島県と比較すると、「子育てを優先したいため」は三次市(28.6%)が広島県(57.2%)を 28.6 ポイント下回っている。

中学生の保護者では、「自分の病気や障がいのため」が 30.0%と最も高くなっている。広島県と比較すると、「子育てを優先したいため」は三次市(15.0%)が広島県(49.1%)を 34.1 ポイント下回っている。国と比較すると、「子育てを優先したいため」は三次市(15.0%)が国(46.2%)を 31.2 ポイント下回っている。

高校生の保護者では、「自分の病気や障がいのため」が 30.0%と最も高く、次いで「子育てを優先したいため」、「家族の介護・介助のため」(ともに 20.0%)などの順となっている。

= 父親が働いていない理由 =

【全体】



父親が働いていない理由について、小学生の保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「自分の病気や障がいのため」がともに50.0%となっている。

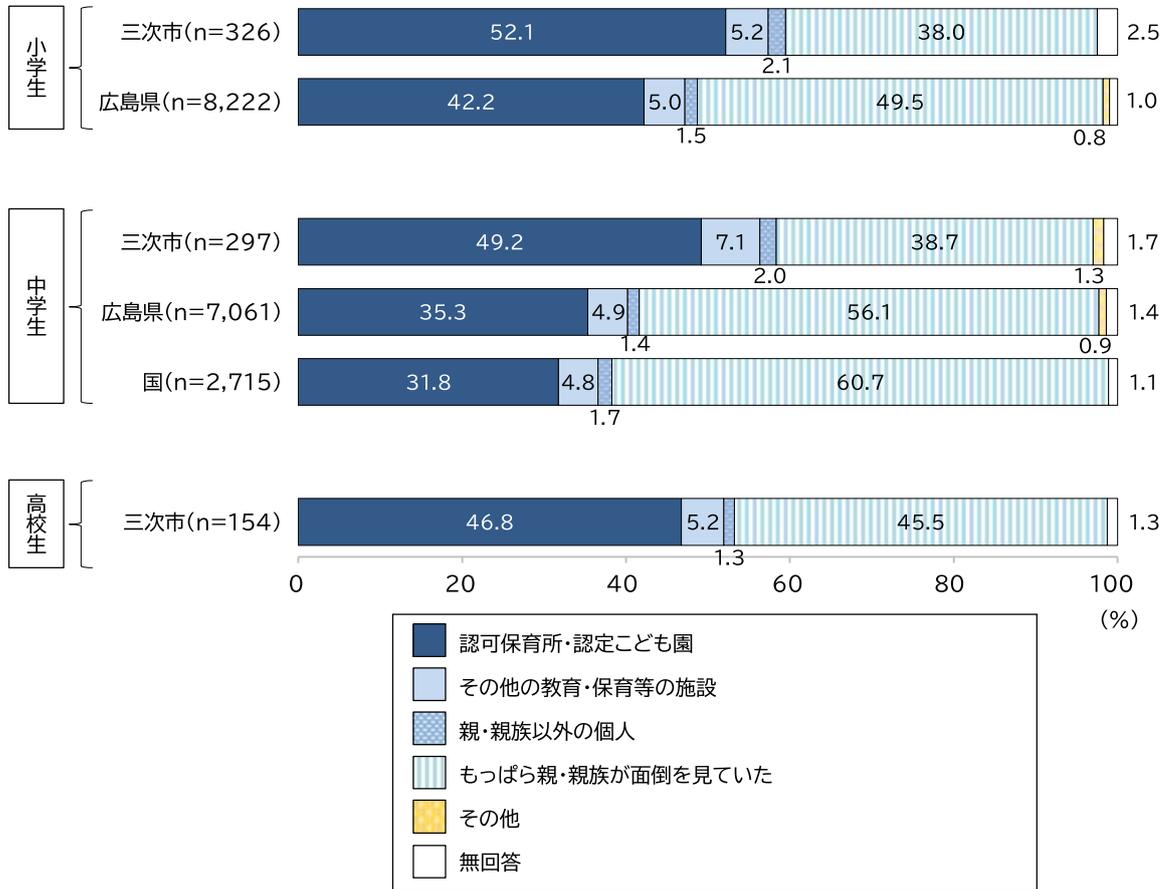
中学生の保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「自分の病気や障がいのため」がともに25.0%となっている。

高校生の保護者では、「自分の病気や障がいのため」が100.0%となっている。

(3)保育の状況

保護者票問 11. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(SA)

【全体】

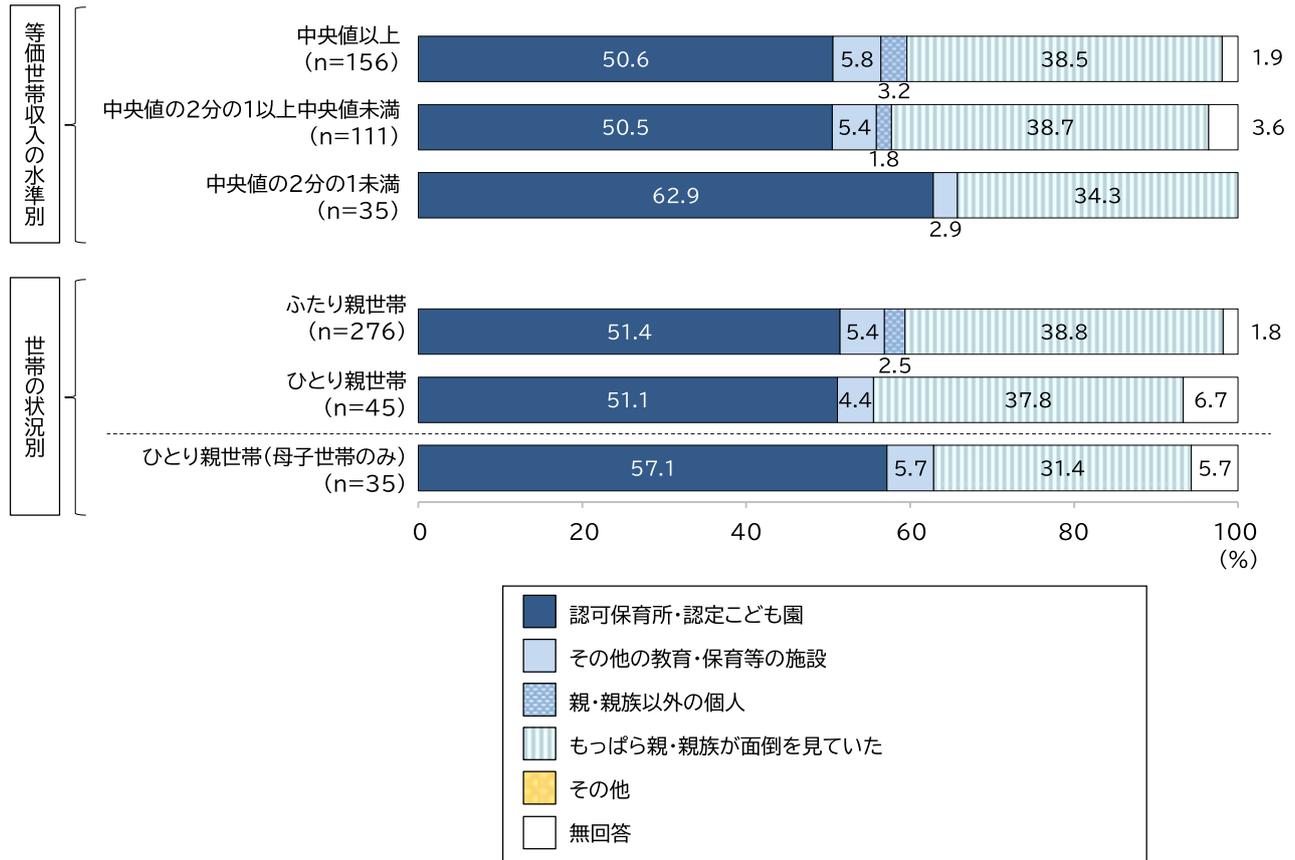


子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学生の保護者では、「認可保育所・認定こども園」が52.1%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が38.0%などの順となっている。広島県と比較すると、「認可保育所・認定こども園」は三次市(52.1%)が広島県(42.2%)を9.9ポイント上回っている。

中学生の保護者では、「認可保育所・認定こども園」が49.2%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が38.7%などの順となっている。広島県と比較すると、「認可保育所・認定こども園」は三次市(49.2%)が広島県(35.3%)を13.9ポイント上回っている。国と比較すると、「認可保育所・認定こども園」は三次市(49.2%)が国(31.8%)を17.4ポイント上回っている。

高校生の保護者では、「認可保育所・認定こども園」が46.8%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が45.5%などの順となっている。

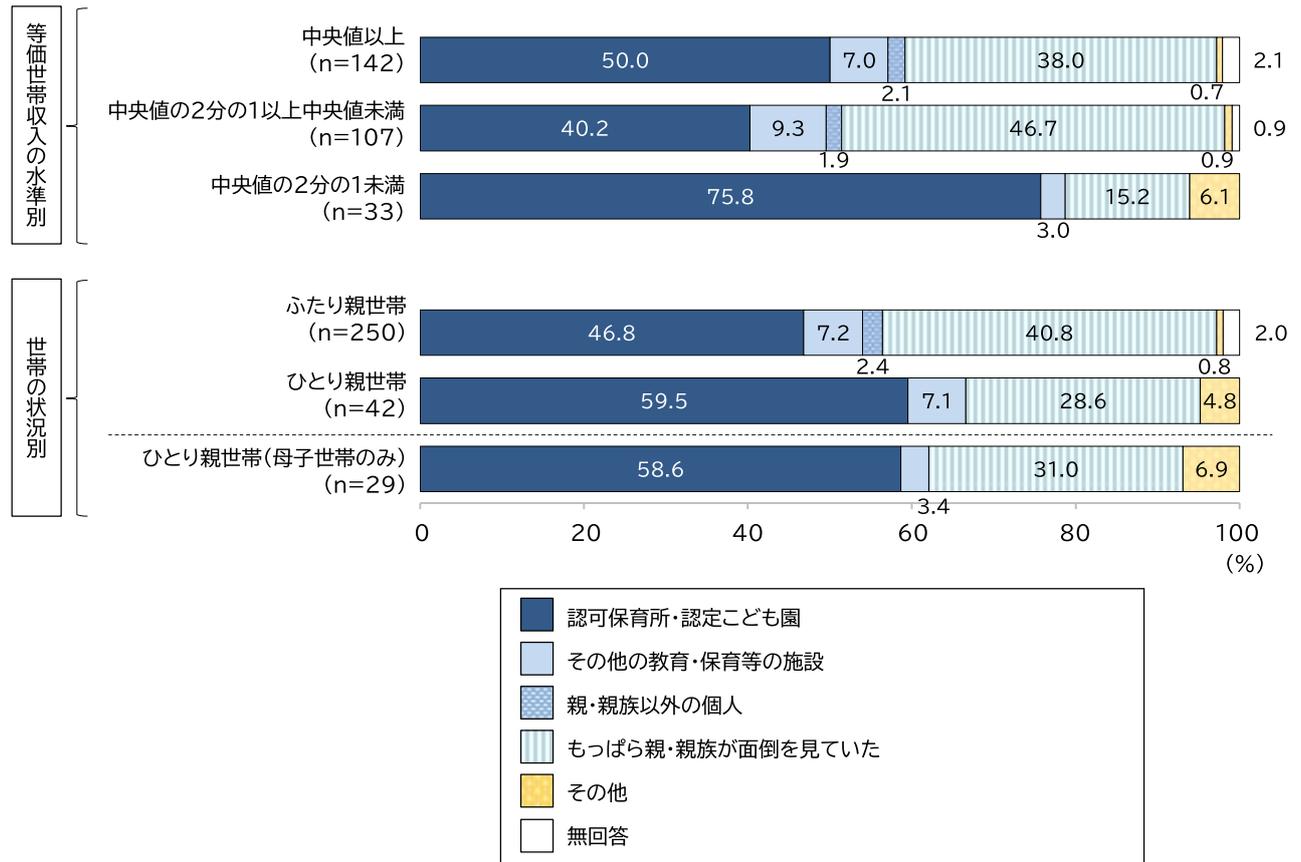
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では 50.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 50.5%、「中央値の2分の1未満」では 62.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では 51.4%、「ひとり親世帯全体」では 51.1%、「母子世帯のみ」では 57.1%となっている。

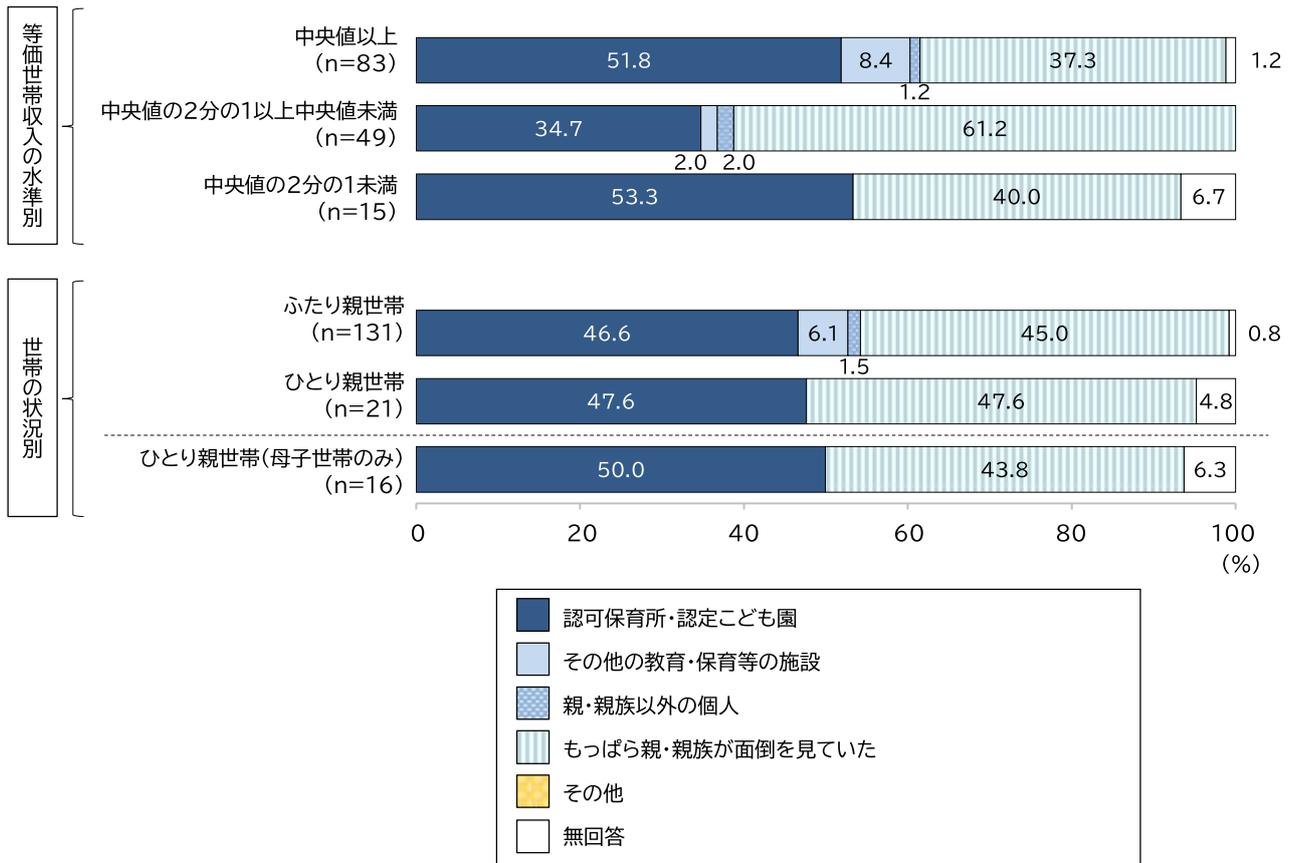
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では 50.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 40.2%、「中央値の2分の1未満」では 75.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では 46.8%、「ひとり親世帯全体」では 59.5%、「母子世帯のみ」では 58.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

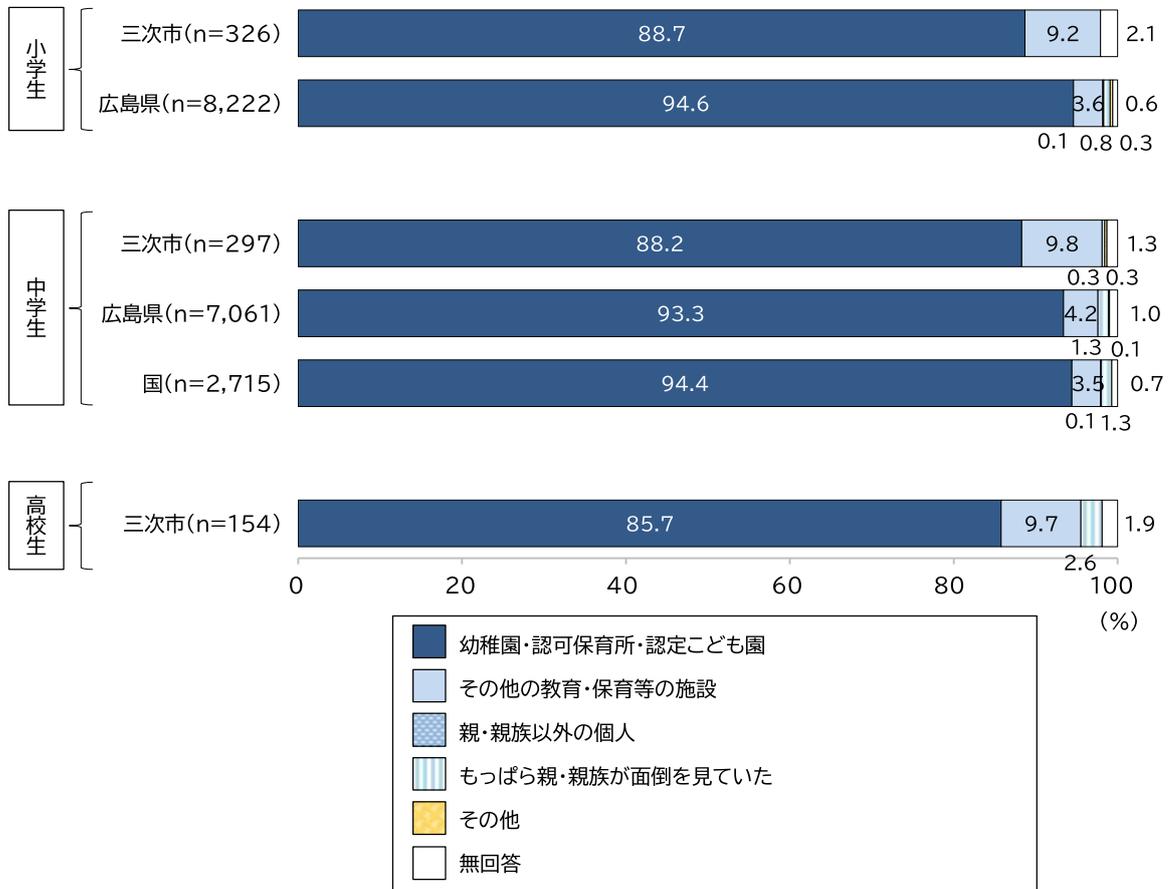


等価世帯収入の水準別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では 51.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 34.7%、「中央値の2分の1未満」では 53.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では 46.6%、「ひとり親世帯全体」では 47.6%、「母子世帯のみ」では 50.0%となっている。

保護者票問 12. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(SA)

【全体】

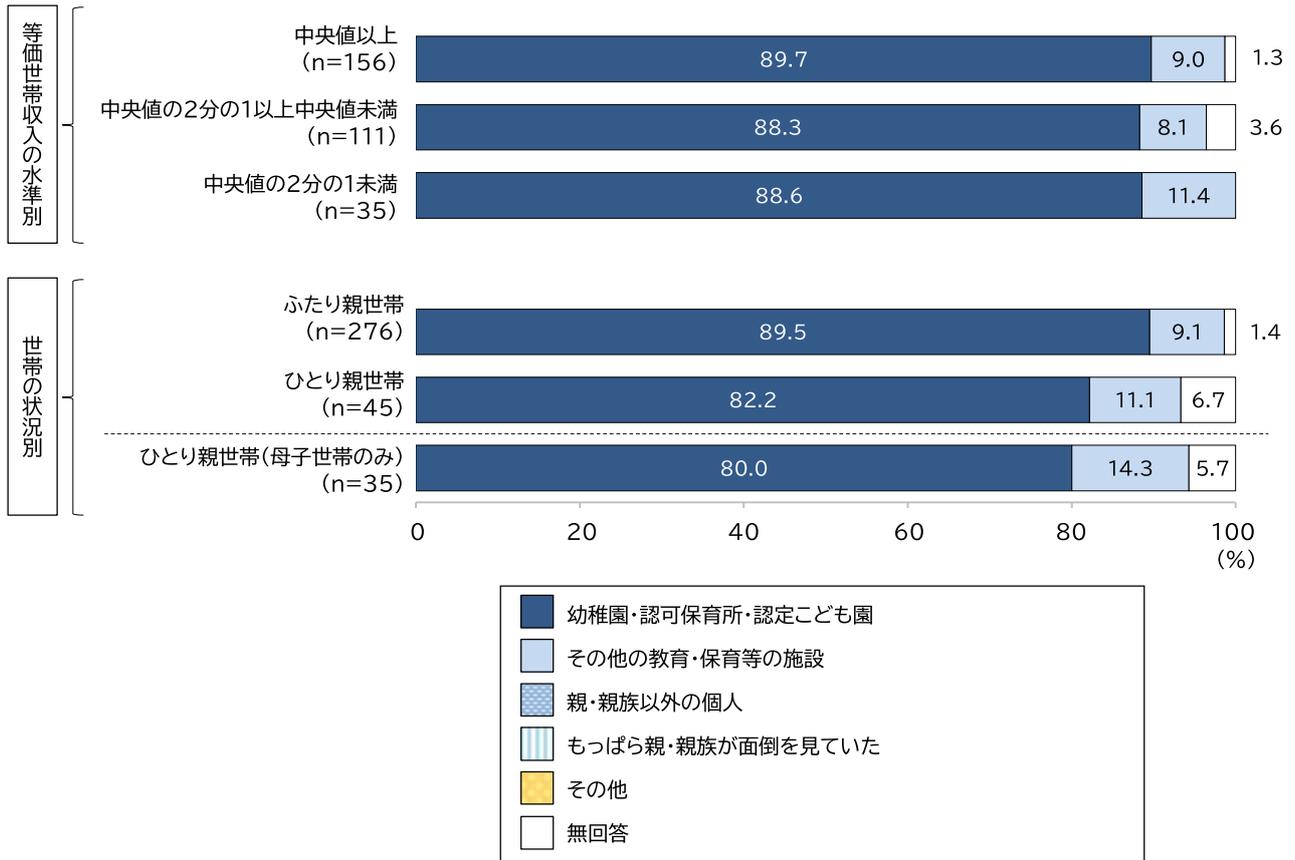


子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が88.7%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が9.2%となっている。広島県と比較すると、「その他の教育・保育等の施設」は三次市(9.2%)が広島県(3.6%)を5.6ポイント上回っている。

中学生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が88.2%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が9.8%などの順となっている。広島県と比較すると、「その他の教育・保育等の施設」は三次市(9.8%)が広島県(4.2%)を5.6ポイント上回っている。国と比較すると、「その他の教育・保育等の施設」は三次市(9.8%)が国(3.5%)を6.3ポイント上回っている。

高校生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が85.7%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が9.7%などの順となっている。

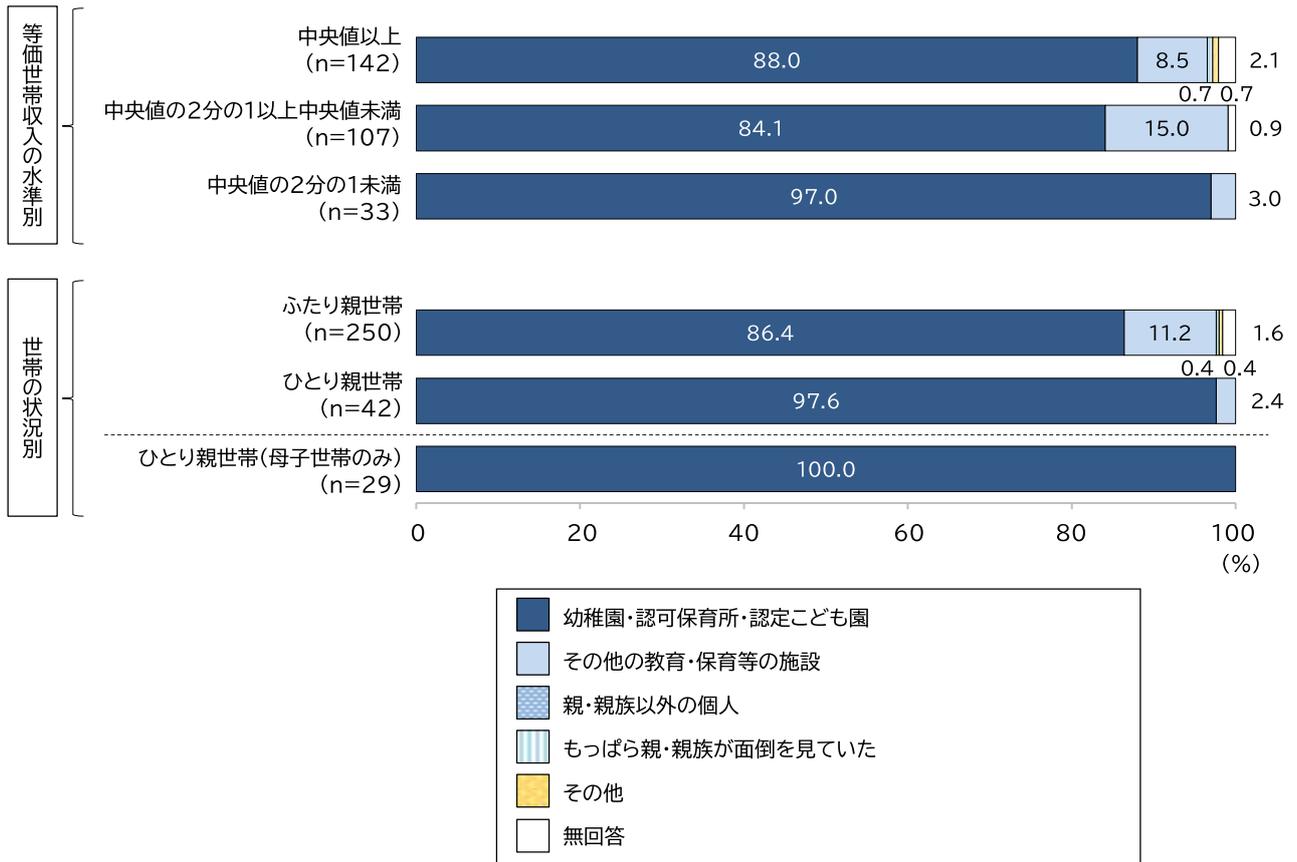
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では 89.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 88.3%、「中央値の2分の1未満」では 88.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では 89.5%、「ひとり親世帯全体」では 82.2%、「母子世帯のみ」では 80.0%となっている。

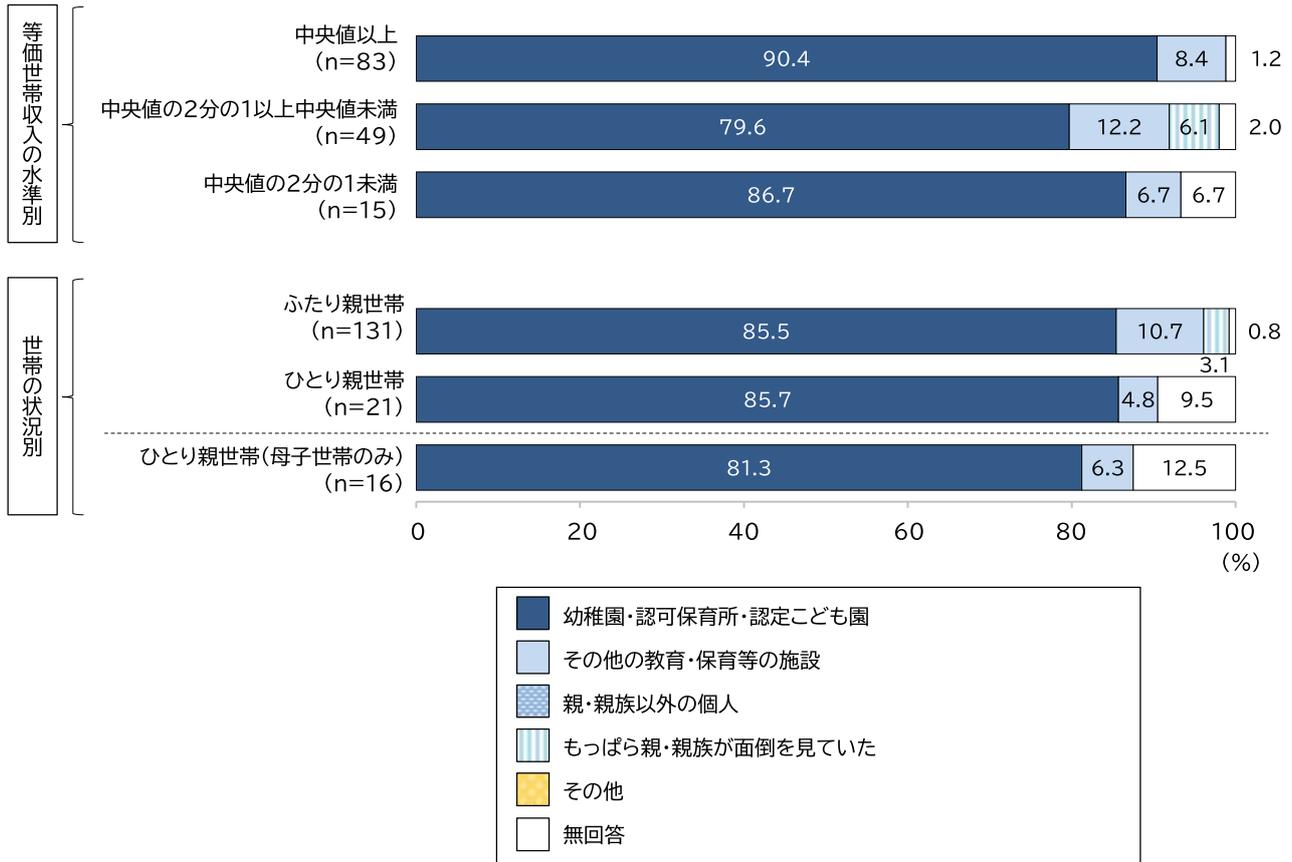
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では 88.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 84.1%、「中央値の2分の1未満」では 97.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では 86.4%、「ひとり親世帯全体」では 97.6%、「母子世帯のみ」では 100.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では 90.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 79.6%、「中央値の2分の1未満」では 86.7%となっている。

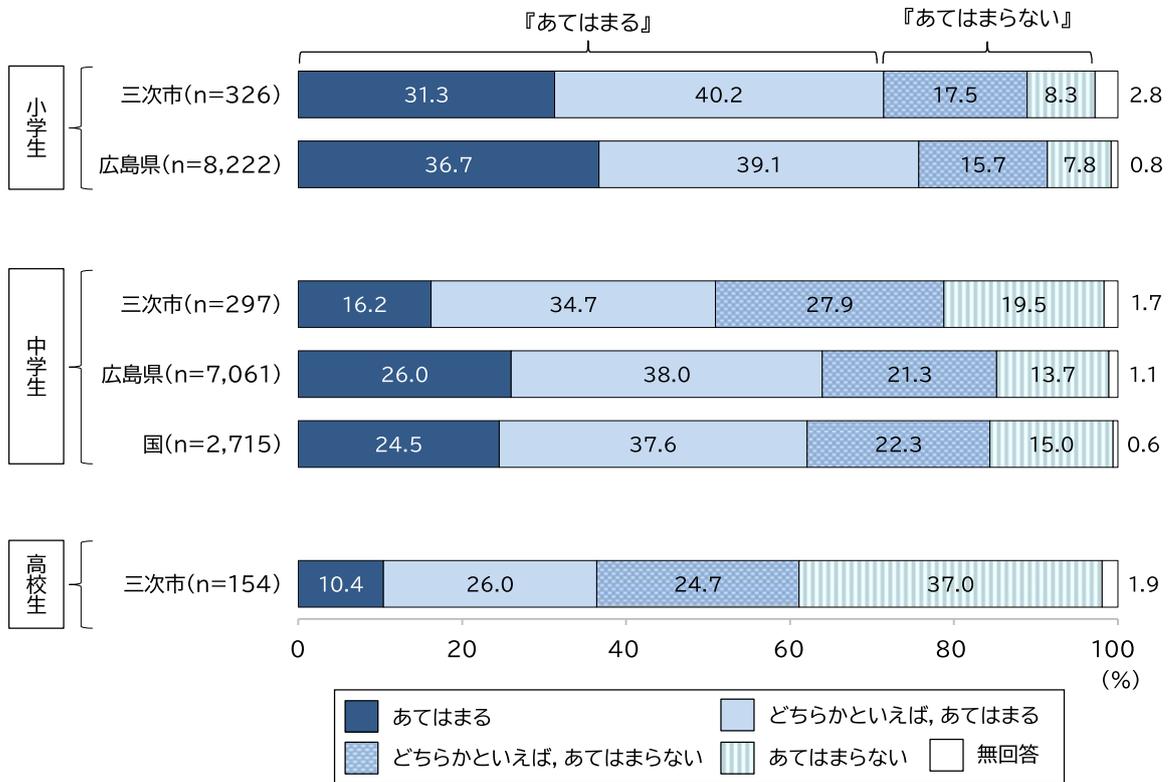
世帯の状況別にみると、「認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では 85.5%、「ひとり親世帯全体」では 85.7%、「母子世帯のみ」では 81.3%となっている。

(4)子どもとの関わり方

保護者票問 13. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(SA)

= テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている =

【全体】

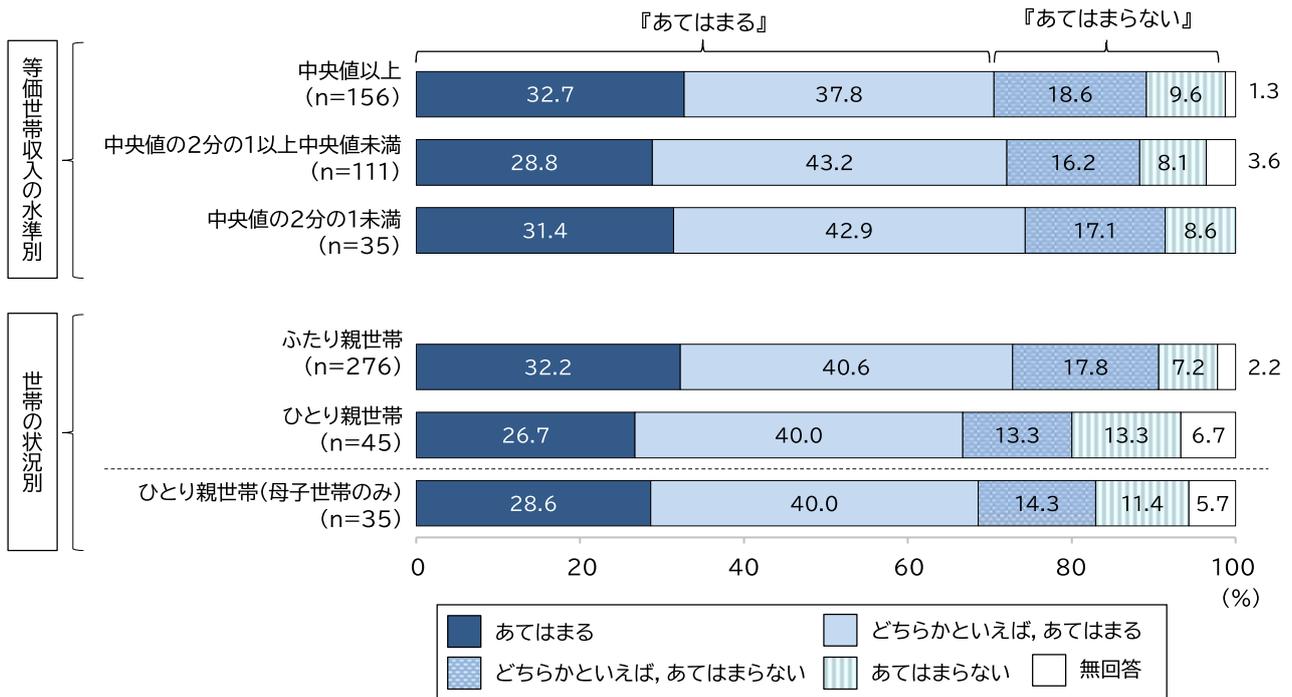


テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、小学生の保護者では、『あてはまる(「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合)』が 71.5%、『あてはまらない(「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合)』が 25.8%となっている。広島県と比較すると、『あてはまらない』は大きな差はみられない。

中学生の保護者では、『あてはまる』が 50.9%、『あてはまらない』が 47.4%となっている。広島県と比較すると、『あてはまらない』は三次市(47.4%)が広島県(35.0%)を 12.4 ポイント上回っている。国と比較すると、『あてはまらない』は三次市(47.4%)が国(37.3%)を 10.1 ポイント上回っている。

高校生の保護者では、『あてはまる』が 36.4%、『あてはまらない』が 61.7%となっている。

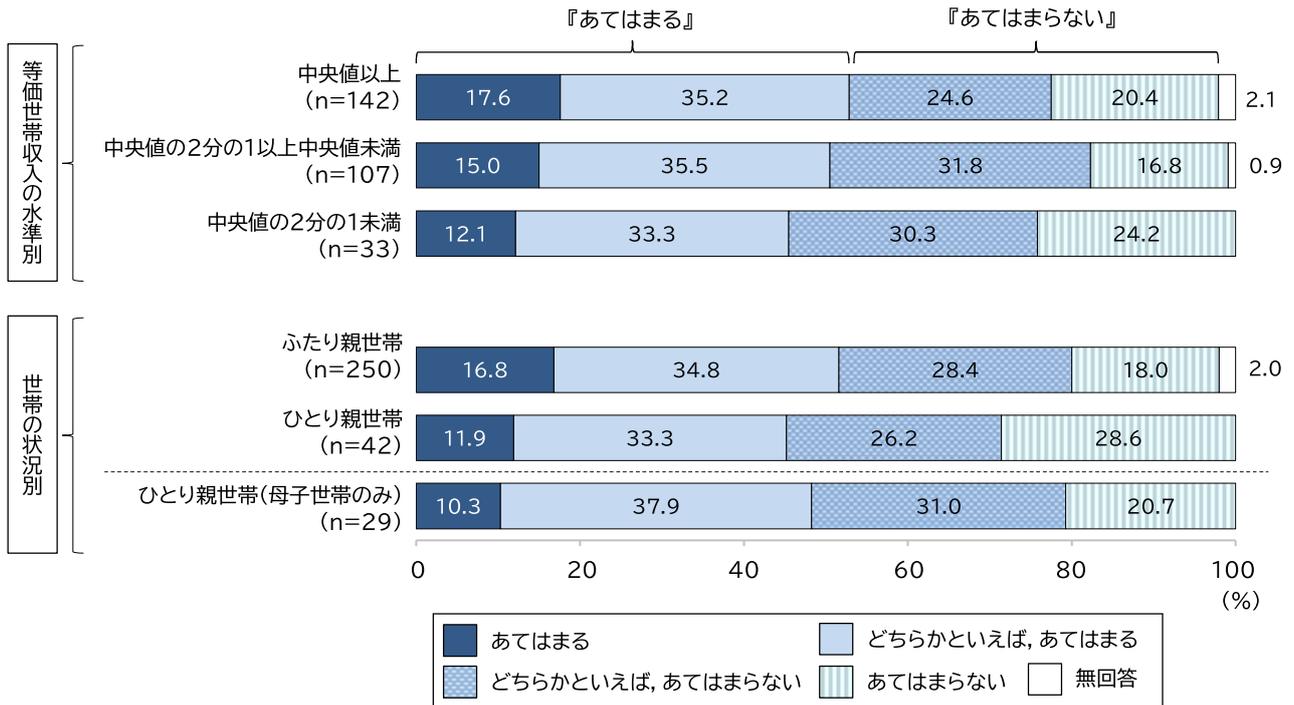
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 28.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 24.3%、「中央値の2分の1未満」では 25.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 25.0%、「ひとり親世帯全体」では 26.6%、「母子世帯のみ」では 25.7%となっている。

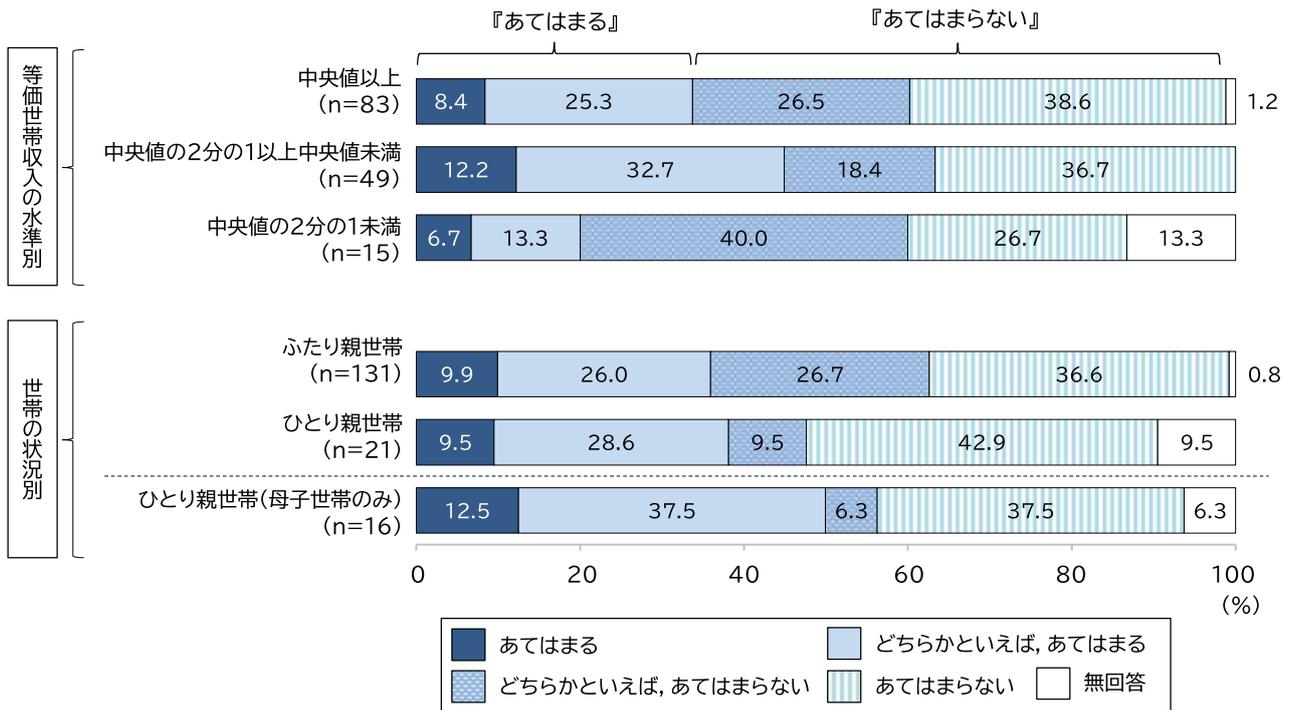
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 45.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 48.6%、「中央値の2分の1未満」では 54.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 46.4%、「ひとり親世帯全体」では 54.8%、「母子世帯のみ」では 51.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

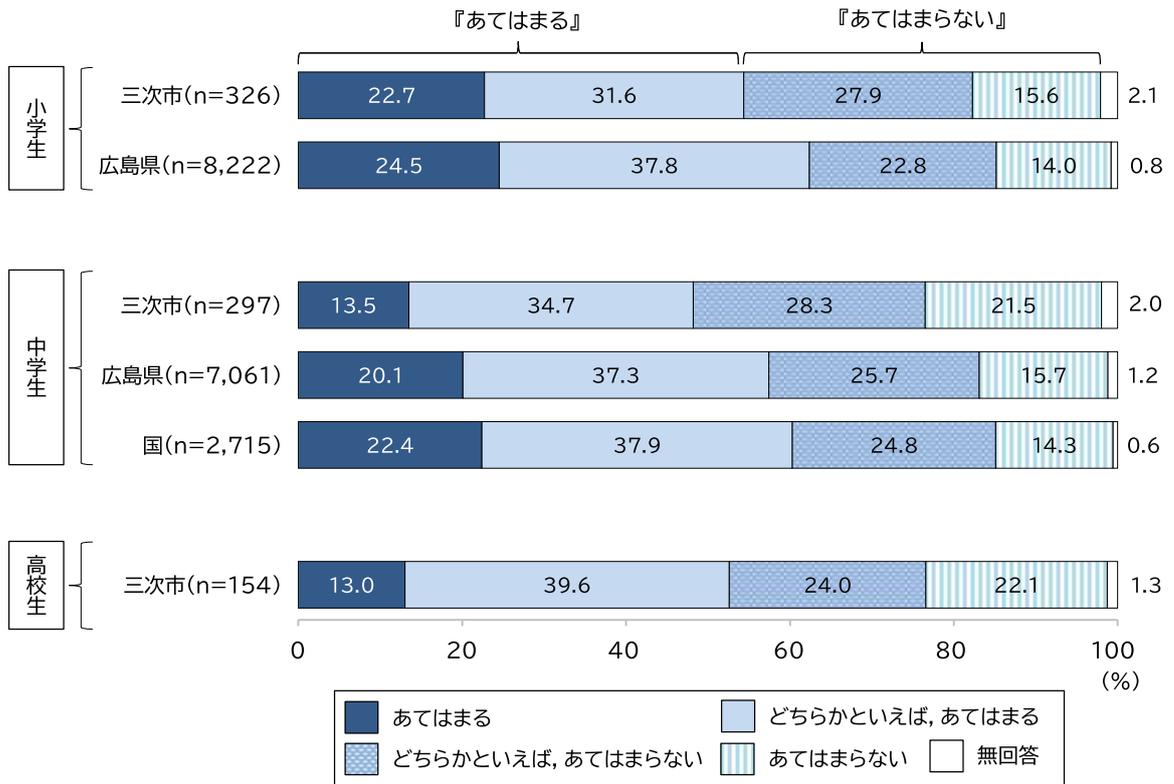


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 65.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 55.1%、「中央値の2分の1未満」では 66.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 63.3%、「ひとり親世帯全体」では 52.4%、「母子世帯のみ」では 43.8%となっている。

= お子さんに本や新聞を読むように勧めている =

【全体】

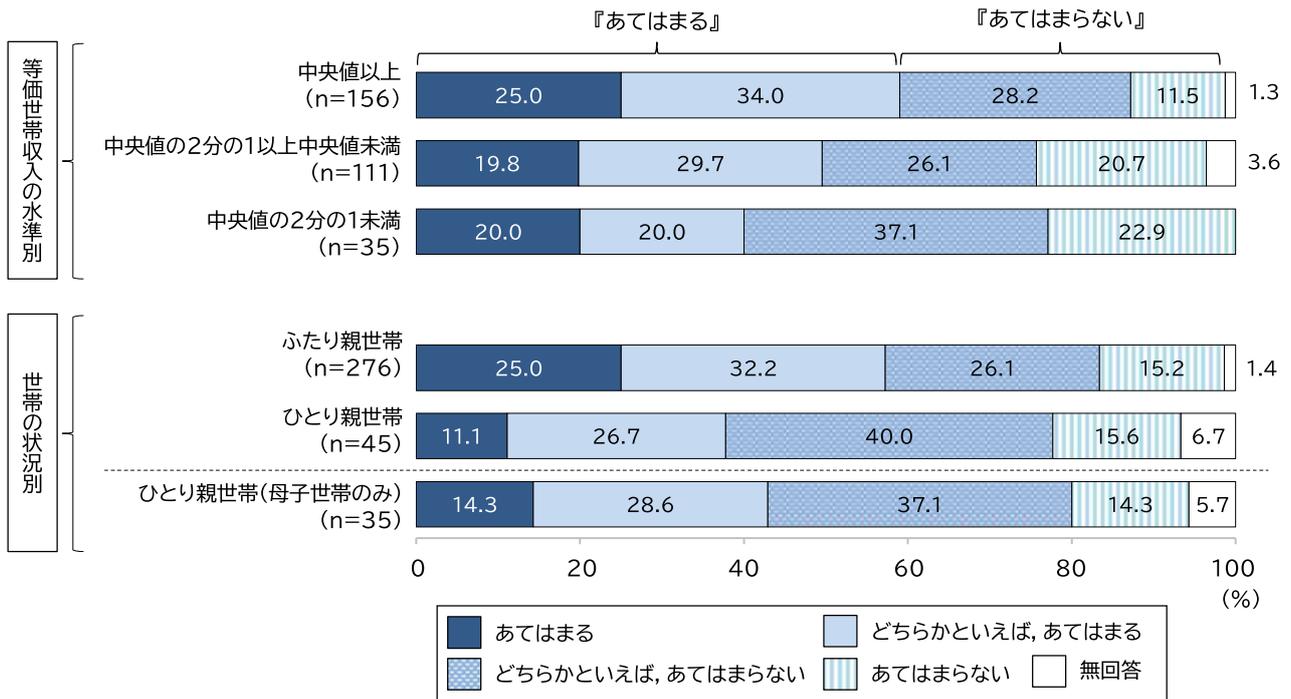


子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、小学生の保護者では、『あてはまる』が 54.3%、『あてはまらない』が 43.5%となっている。広島県と比較すると、『あてはまらない』は三次市(43.5%)が広島県(36.8%)を 6.7 ポイント上回っている。

中学生の保護者では、『あてはまる』が 48.2%、『あてはまらない』が 49.8%となっている。広島県と比較すると、『あてはまらない』は三次市(49.8%)が広島県(41.4%)を 8.4 ポイント上回っている。国と比較すると、『あてはまらない』は三次市(49.8%)が国(39.1%)を 10.7 ポイント上回っている。

高校生の保護者では、『あてはまる』が 52.6%、『あてはまらない』が 46.1%となっている。

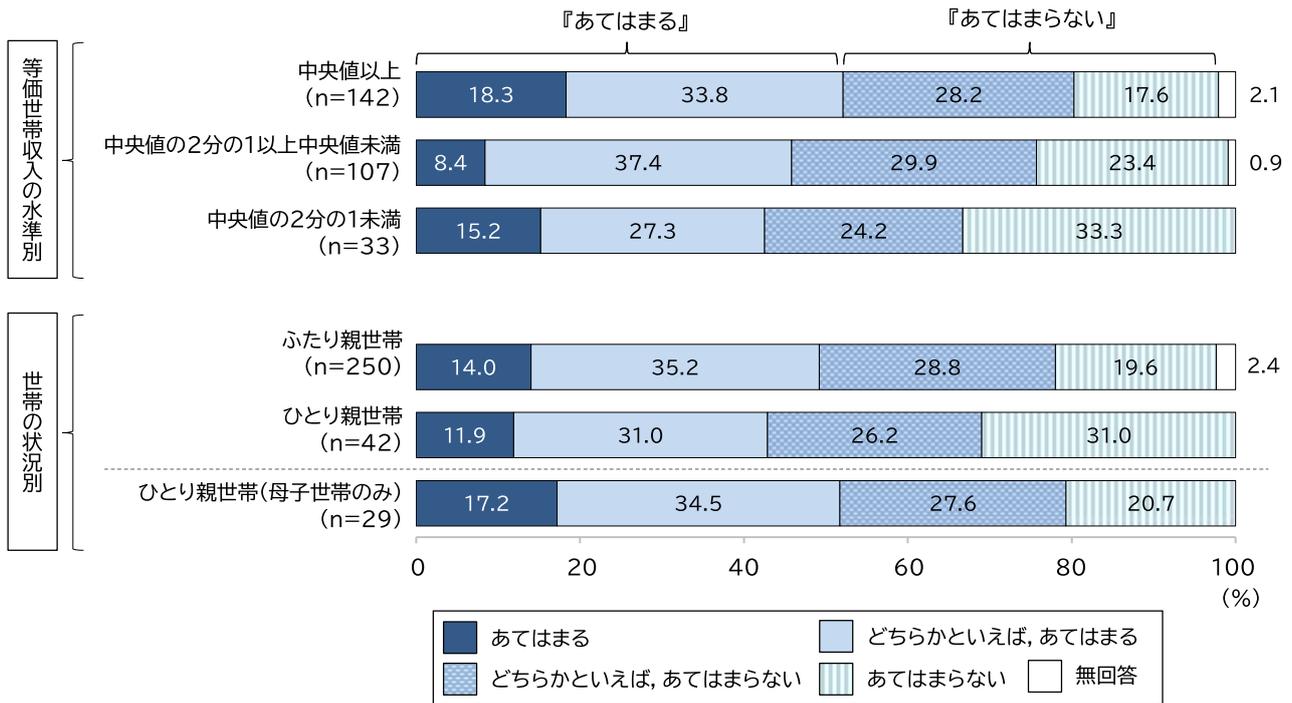
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 39.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 46.8%、「中央値の2分の1未満」では 60.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 41.3%、「ひとり親世帯全体」では 55.6%、「母子世帯のみ」では 51.4%となっている。

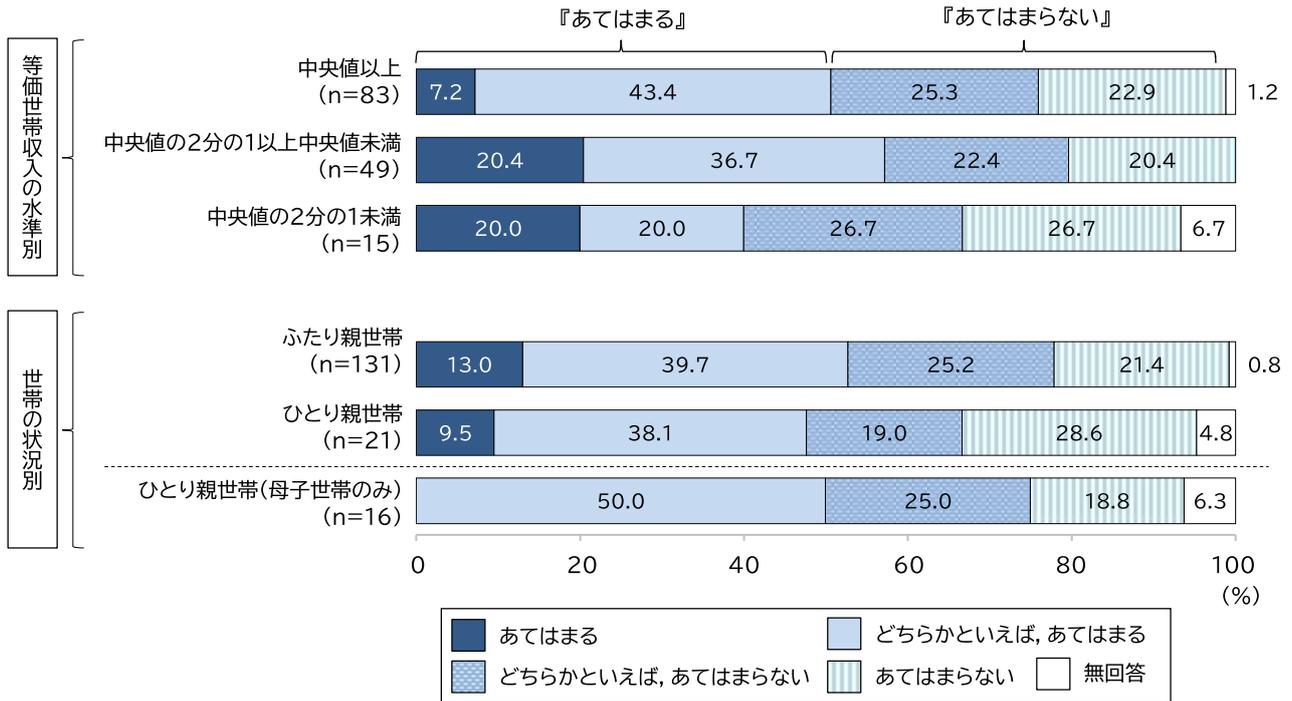
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 45.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 53.3%、「中央値の2分の1未満」では 57.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 48.4%、「ひとり親世帯全体」では 57.2%、「母子世帯のみ」では 48.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

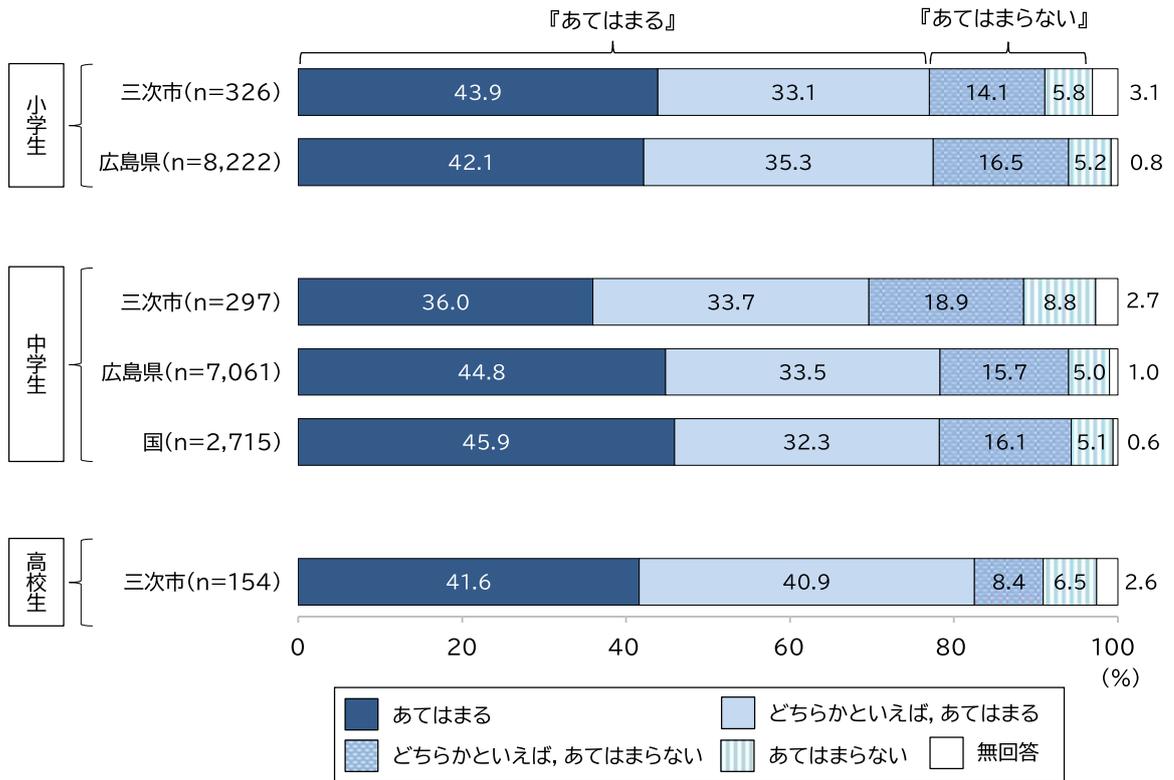


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 48.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 42.8%、「中央値の2分の1未満」では 53.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 46.6%、「ひとり親世帯全体」では 47.6%、「母子世帯のみ」では 43.8%となっている。

= お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた =

【全体】

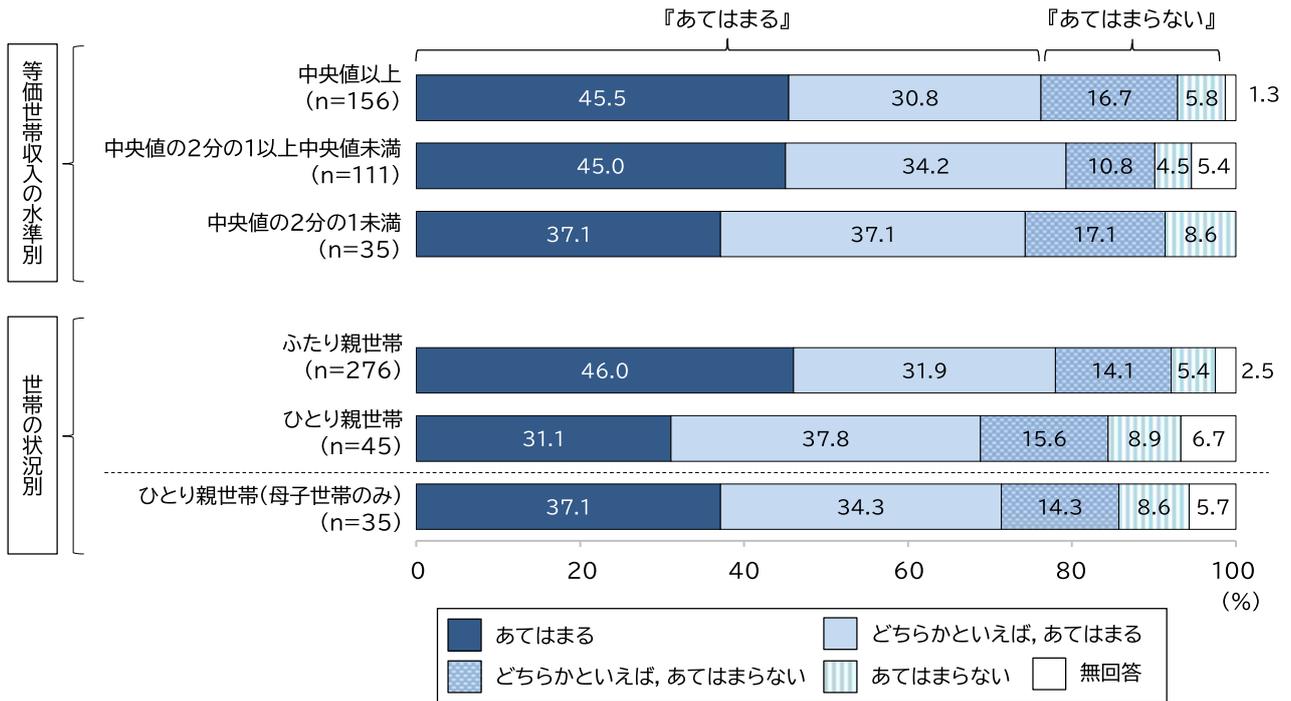


子どもが小さいころに絵本の読み聞かせをしていたかについて、小学生の保護者では、『あてはまる』が77.0%、『あてはまらない』が19.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生の保護者では、『あてはまる』が69.7%、『あてはまらない』が27.7%となっている。広島県と比較すると、『あてはまらない』は三次市(27.7%)が広島県(20.7%)を7.0ポイント上回っている。国と比較すると、『あてはまらない』は三次市(27.7%)が国(21.2%)を6.5ポイント上回っている。

高校生の保護者では、『あてはまる』が82.5%、『あてはまらない』が14.9%となっている。

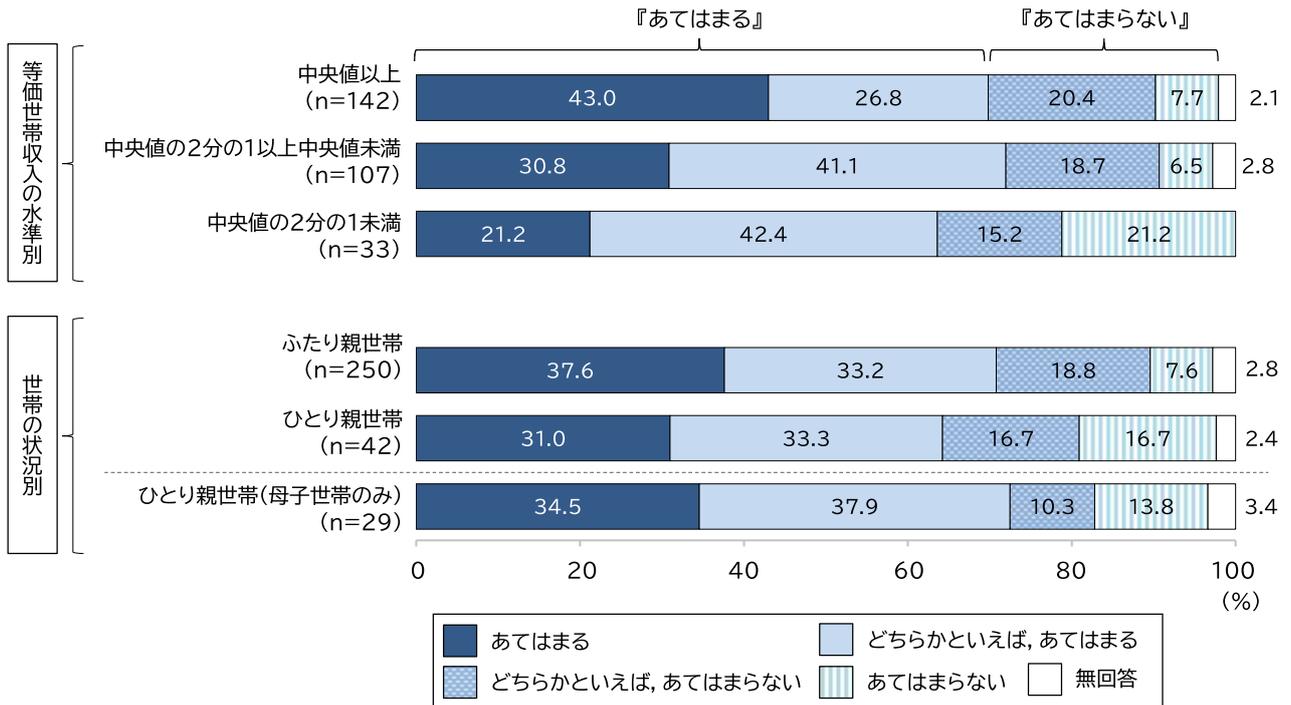
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 22.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 15.3%、「中央値の2分の1未満」では 25.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 19.5%、「ひとり親世帯全体」では 24.5%、「母子世帯のみ」では 22.9%となっている。

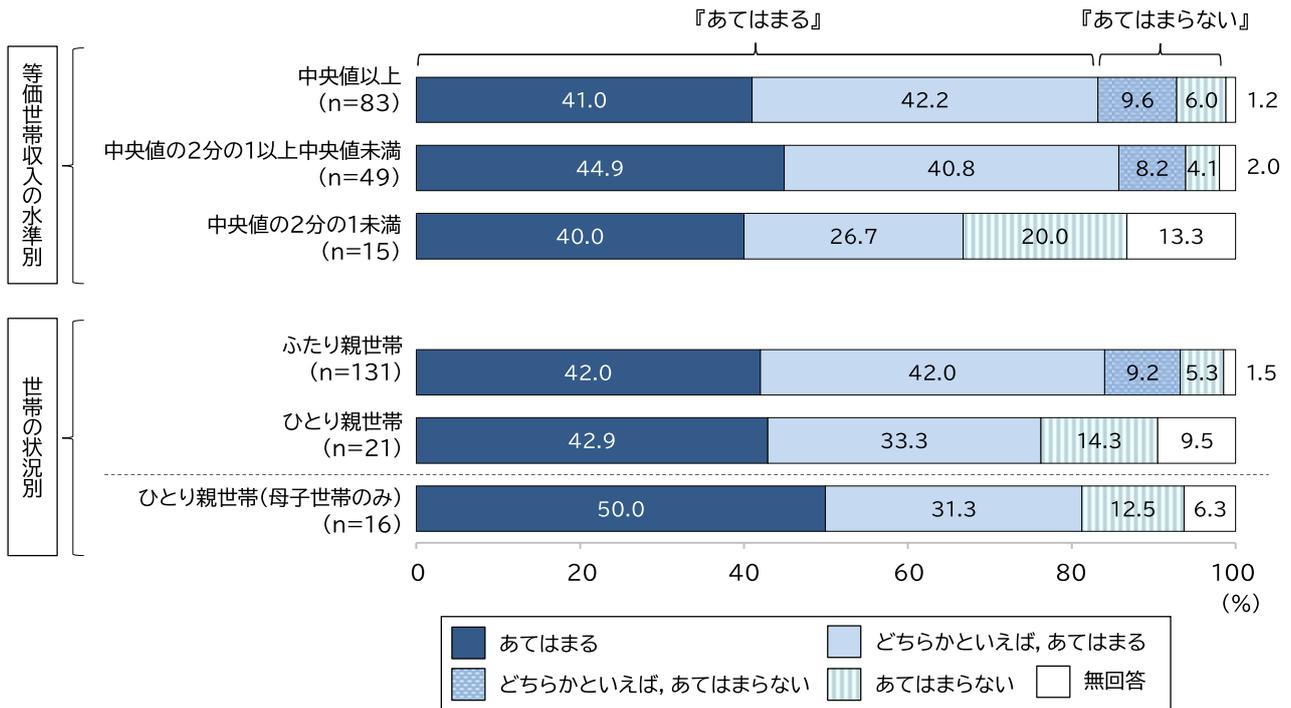
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 28.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 25.2%、「中央値の2分の1未満」では 36.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 26.4%、「ひとり親世帯全体」では 33.4%、「母子世帯のみ」では 24.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

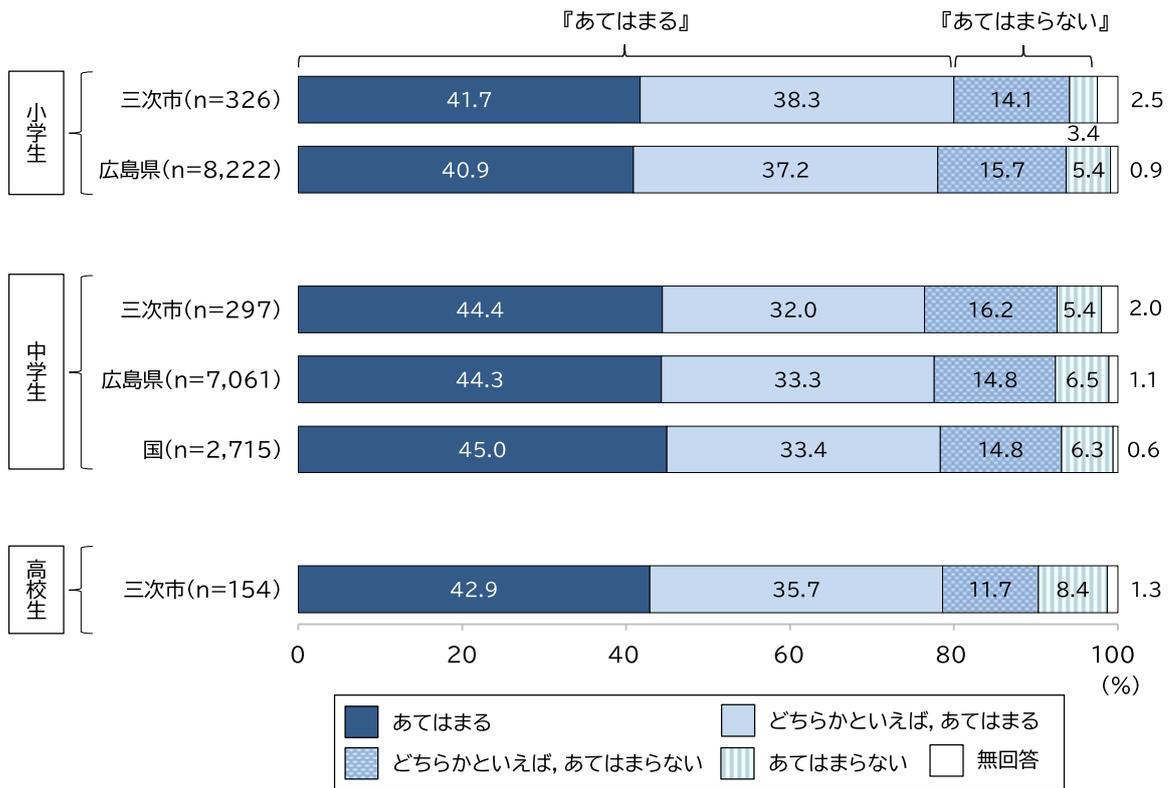


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 15.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 12.3%、「中央値の2分の1未満」では 20.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 14.5%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 12.5%となっている。

= お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる =

【全体】

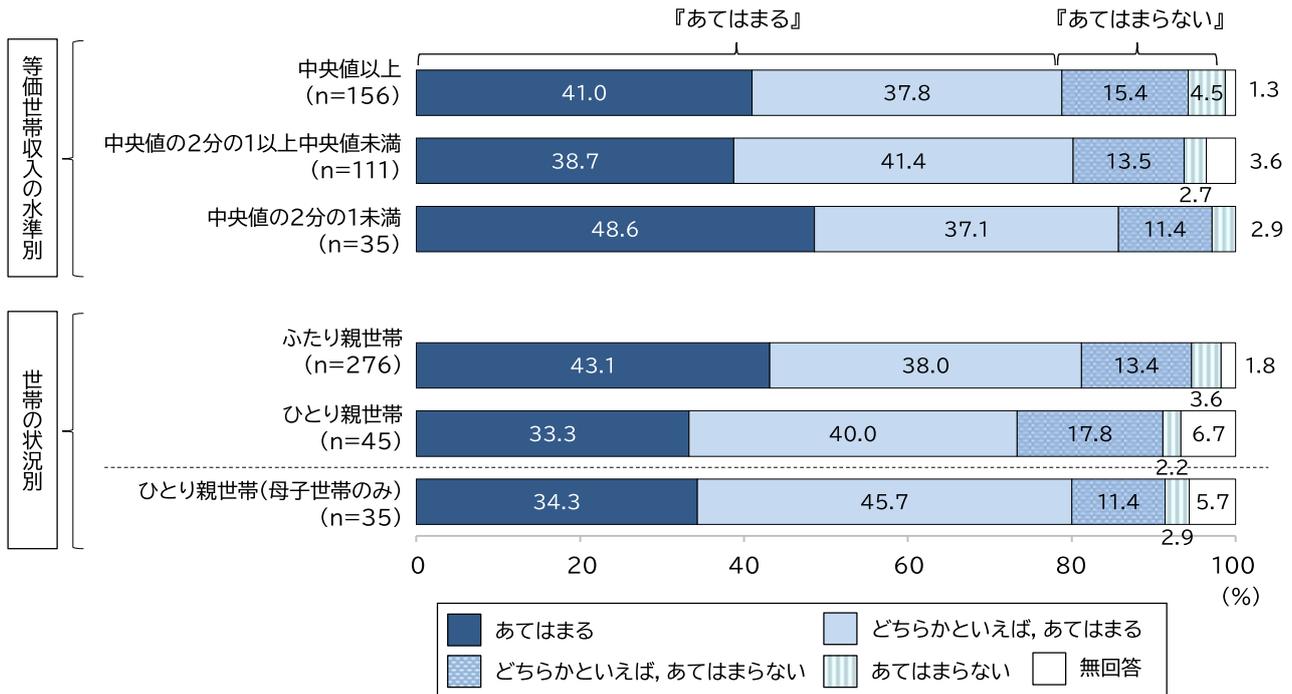


子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、小学生の保護者では、『あてはまる』が80.0%、『あてはまらない』が17.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生の保護者では、『あてはまる』が76.4%、『あてはまらない』が21.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

高校生の保護者では、『あてはまる』が78.6%、『あてはまらない』が20.1%となっている。

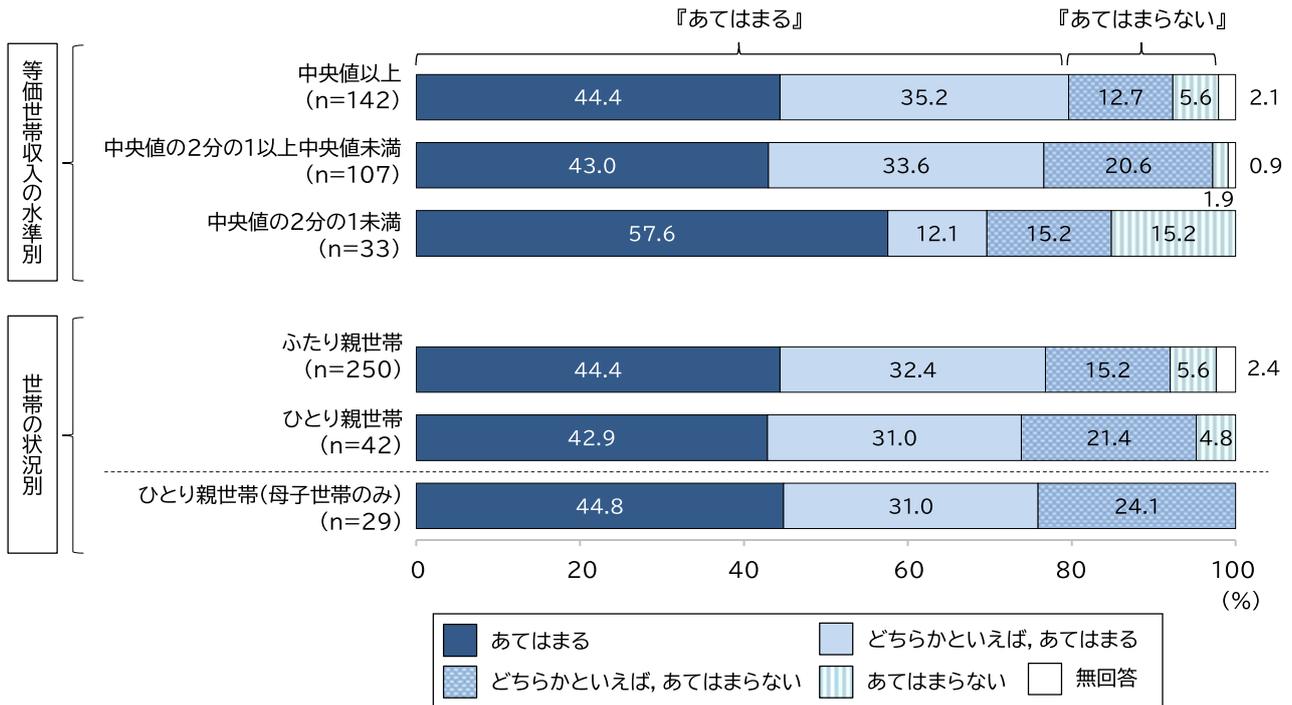
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 19.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 16.2%、「中央値の2分の1未満」では 14.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 17.0%、「ひとり親世帯全体」では 20.0%、「母子世帯のみ」では 14.3%となっている。

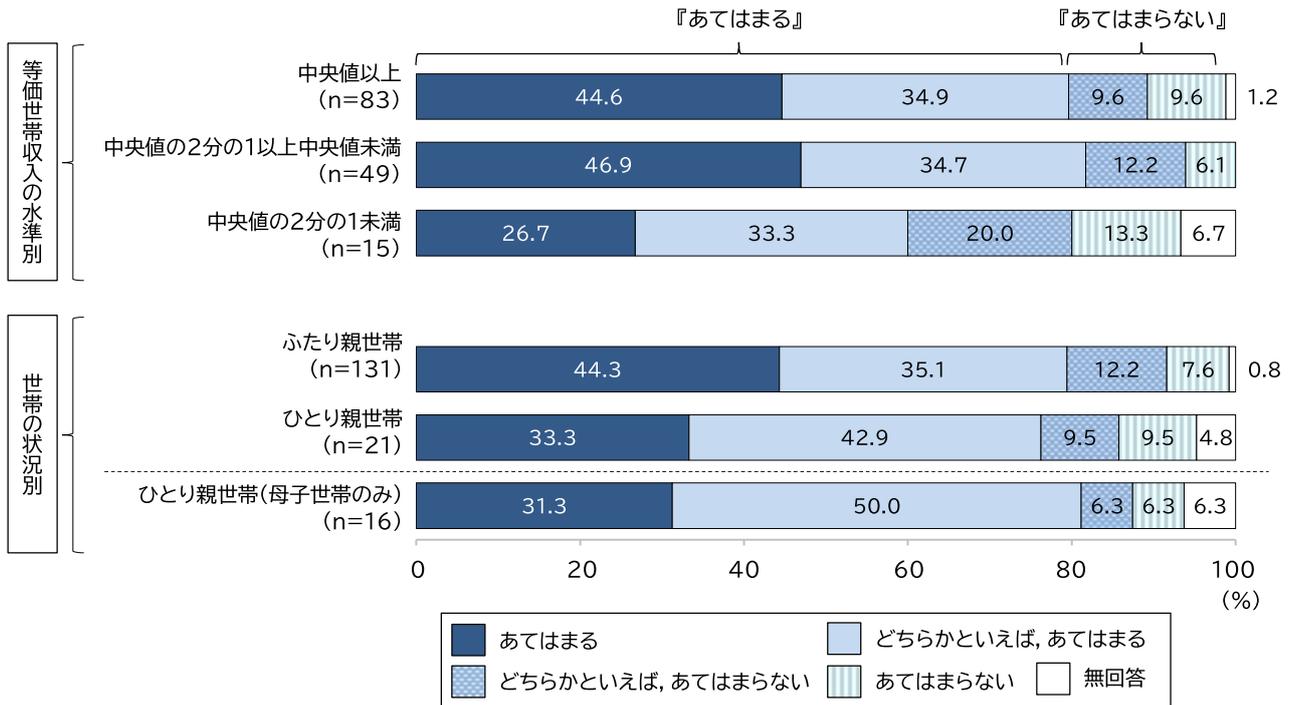
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 18.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 22.5%、「中央値の2分の1未満」では 30.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 20.8%、「ひとり親世帯全体」では 26.2%、「母子世帯のみ」では 24.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

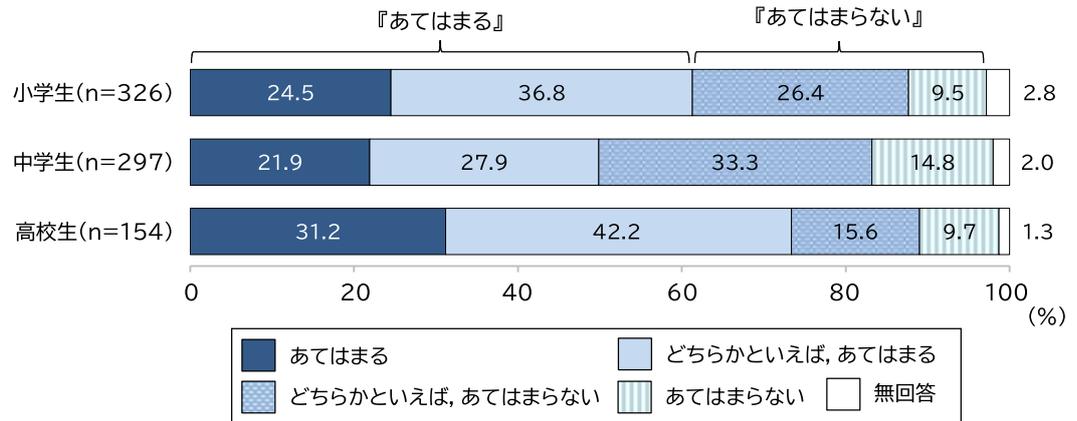


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 19.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 18.3%、「中央値の2分の1未満」では 33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 19.8%、「ひとり親世帯全体」では 19.0%、「母子世帯のみ」では 12.6%となっている。

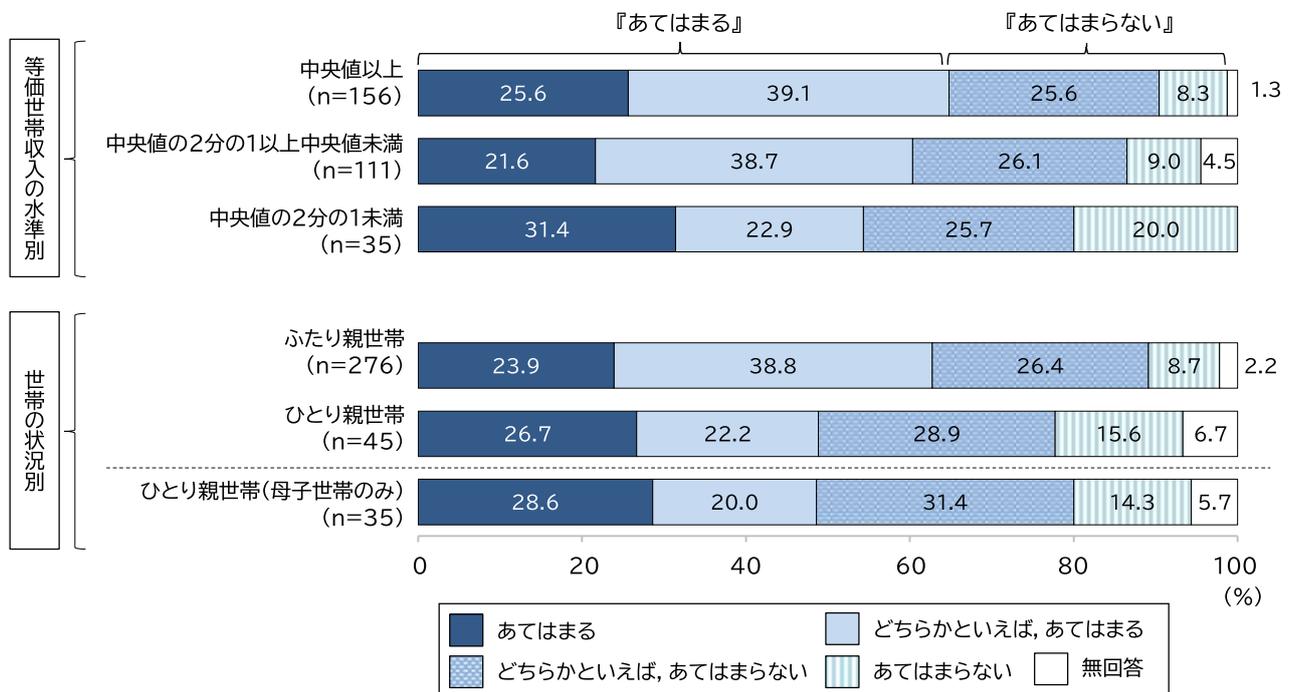
= お子さんが体験活動(自然体験, 社会体験, 文化的体験)をする機会を設けている =

【全体】



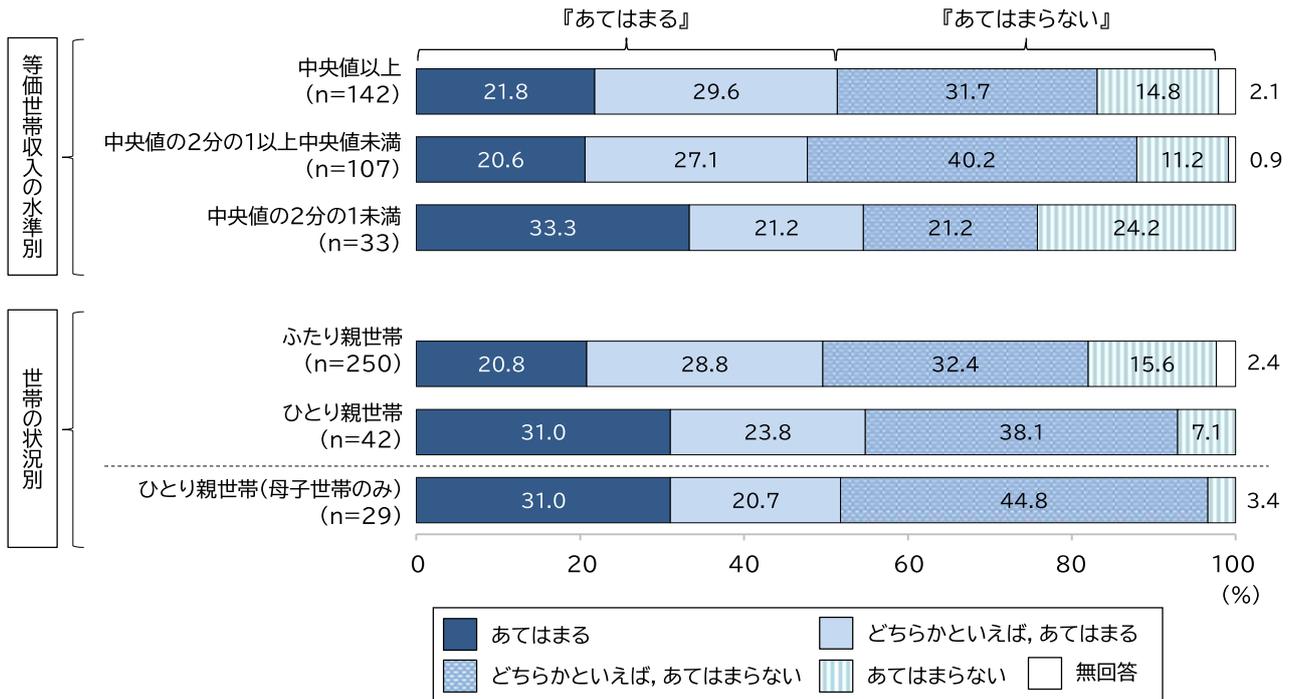
お子さんが体験活動(自然体験, 社会体験, 文化的体験)をする機会を設けているかについて、小学生の保護者では、『あてはまる』が 61.3%, 『あてはまらない』が 35.9%となっている。  
 中学生の保護者では、『あてはまる』が 49.8%, 『あてはまらない』が 48.1%となっている。  
 高校生の保護者では、『あてはまる』が 73.4%, 『あてはまらない』が 25.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 33.9%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 35.1%, 「中央値の2分の1未満」では 45.7%となっている。  
 世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 35.1%, 「ひとり親世帯全体」では 44.5%, 「母子世帯のみ」では 45.7%となっている。

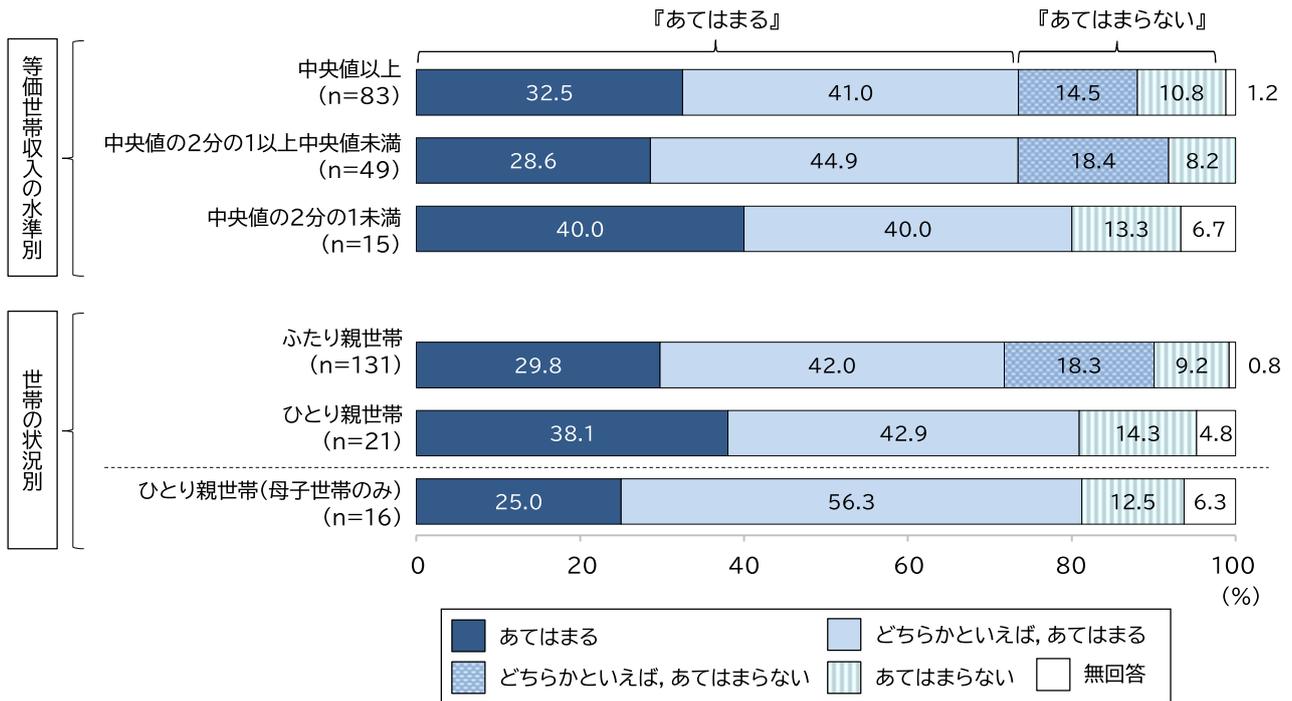
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 46.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 51.4%、「中央値の2分の1未満」では 45.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 48.0%、「ひとり親世帯全体」では 45.2%、「母子世帯のみ」では 48.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 25.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 26.6%、「中央値の2分の1未満」では 13.3%となっている。

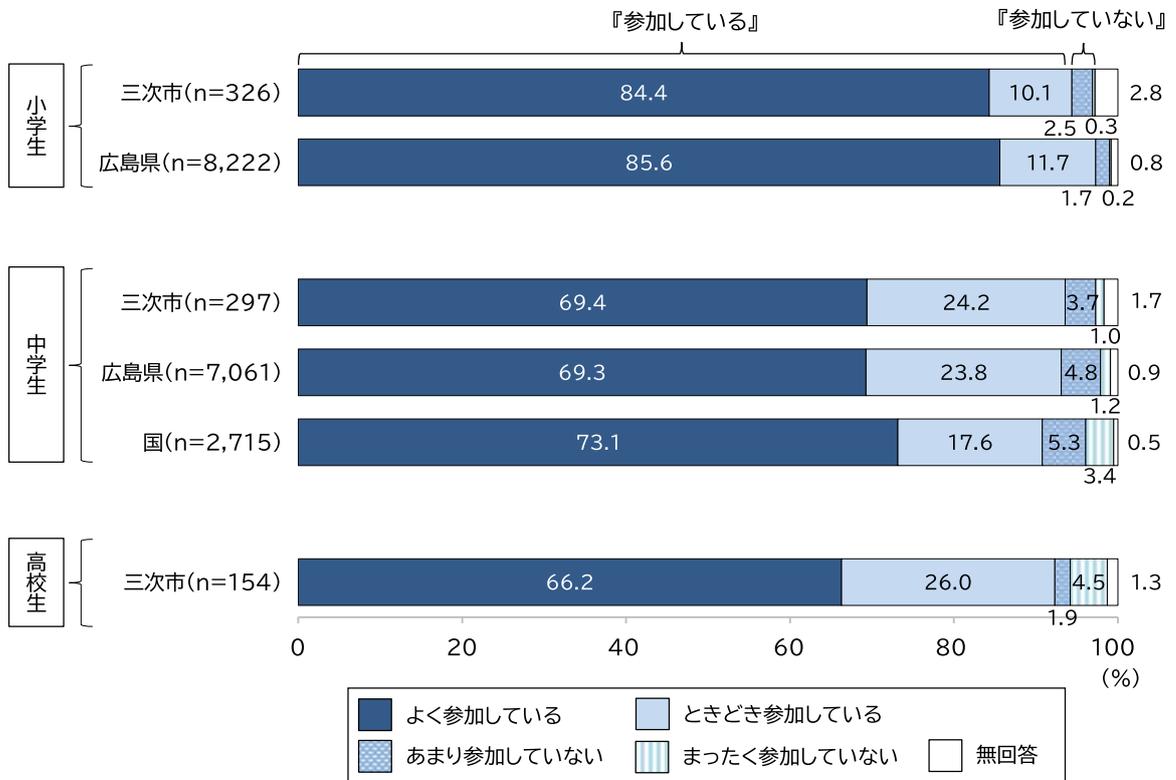
世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 27.5%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 12.5%となっている。

(5)学校との関わり・参加

保護者票問 14. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

= 授業参観や運動会などの学校行事への参加 =

【全体】

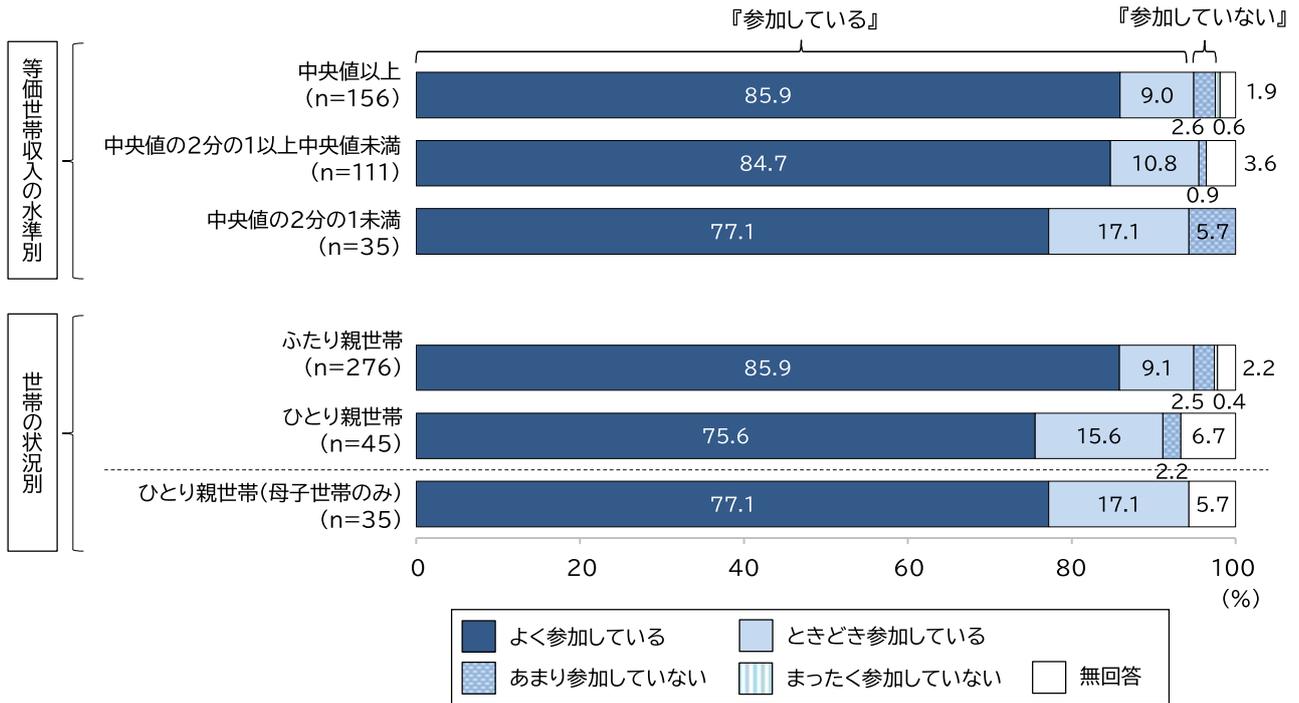


授業参観や運動会などの学校行事について、小学生の保護者では、『参加している(「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合)』が94.5%、『参加していない(「あまり参加していない」と「まったく参加していない」を合わせた割合)』が2.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生の保護者では、『参加している』が93.6%、『参加していない』が4.7%となっている。広島県、国と比較すると、『参加している』はどちらも大きな差はみられない。

高校生の保護者では、『参加している』が92.2%、『参加していない』が6.4%となっている。

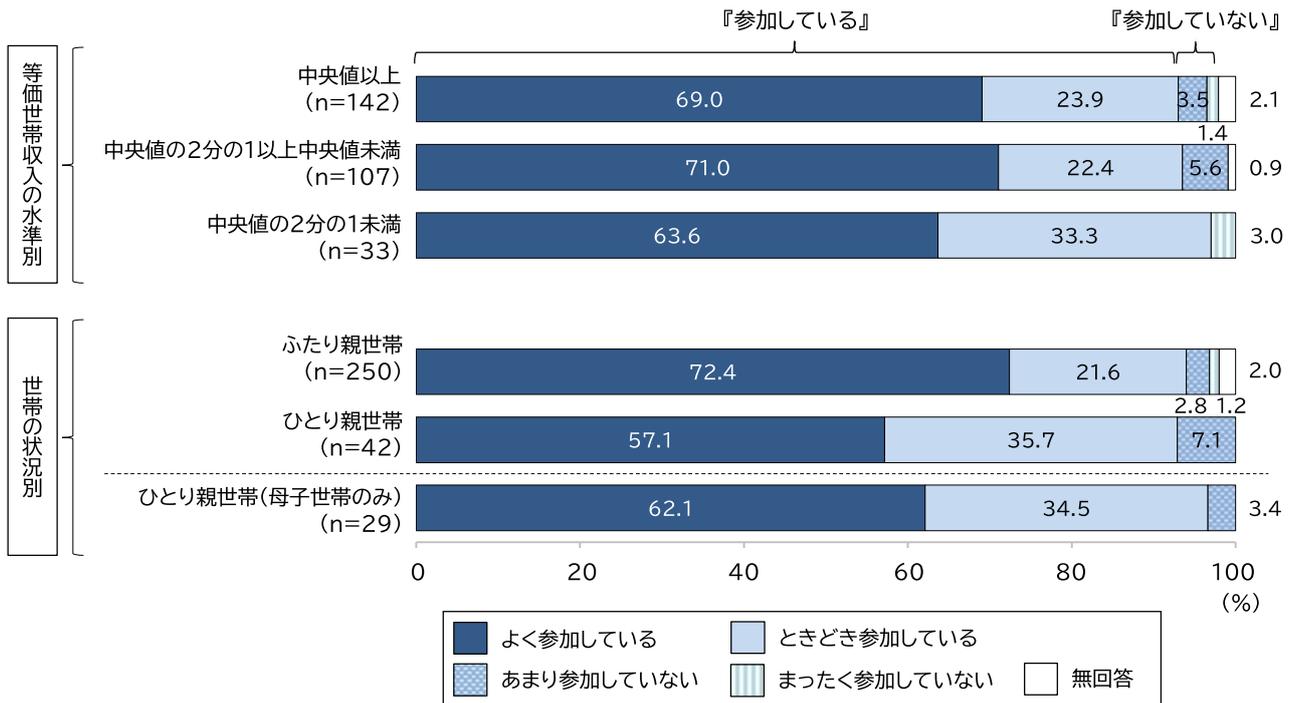
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 94.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 95.5%、「中央値の2分の1未満」では 94.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 95.0%、「ひとり親世帯全体」では 91.2%、「母子世帯のみ」では 94.2%となっている。

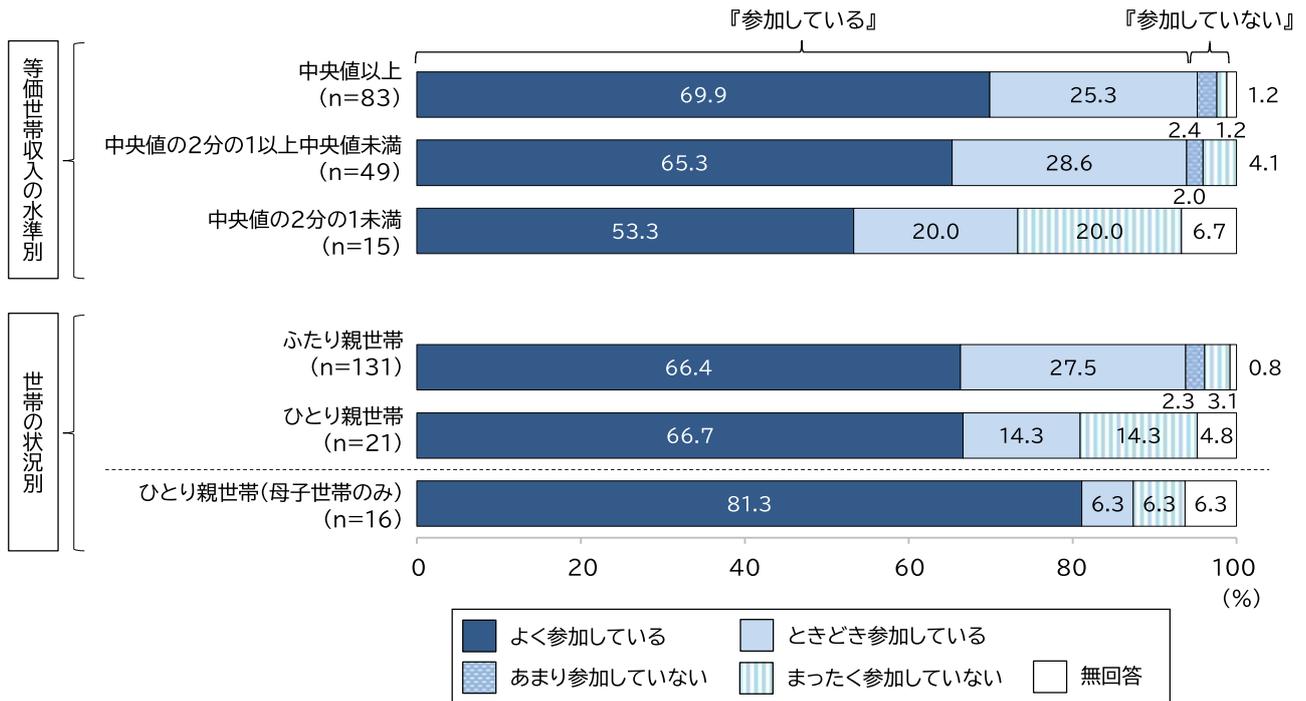
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 92.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 93.4%、「中央値の2分の1未満」では 96.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 94.0%、「ひとり親世帯全体」では 92.8%、「母子世帯のみ」では 96.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

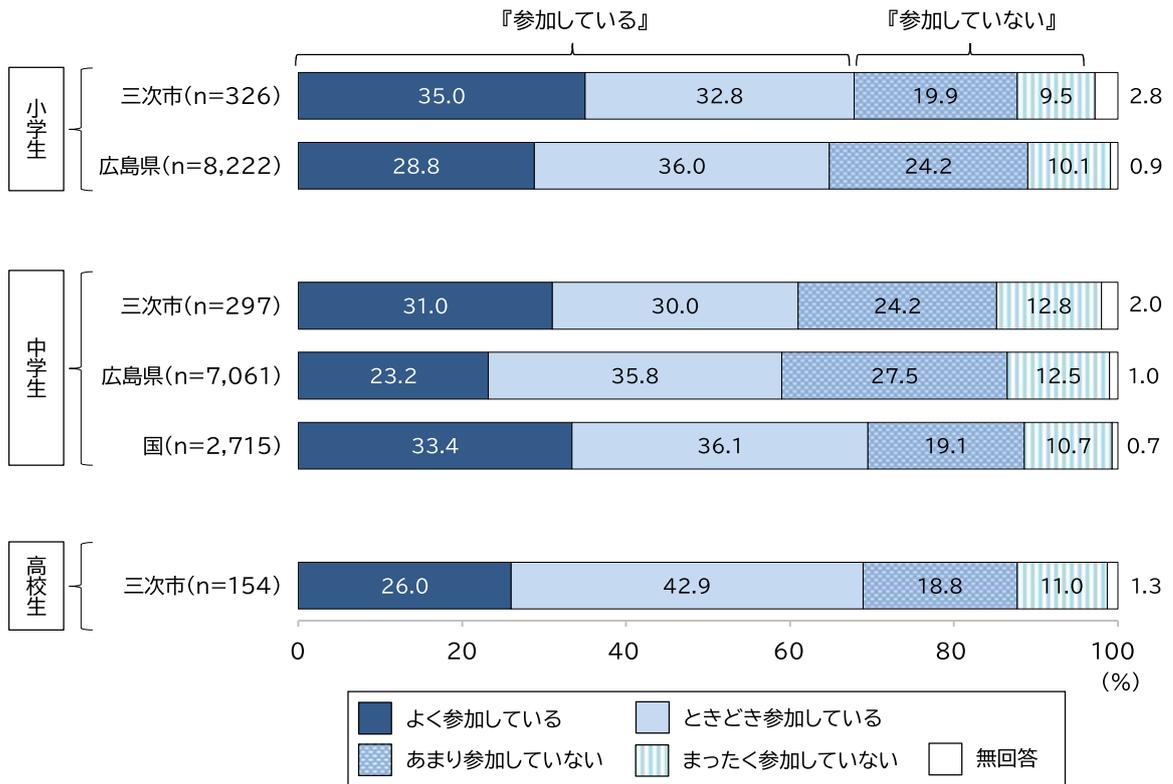


等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 95.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 93.9%、「中央値の2分の1未満」では 73.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 93.9%、「ひとり親世帯全体」では 81.0%、「母子世帯のみ」では 87.6%となっている。

= PTA活動や保護者会, 放課後学習支援等のボランティアなどへの参加 =

【全体】

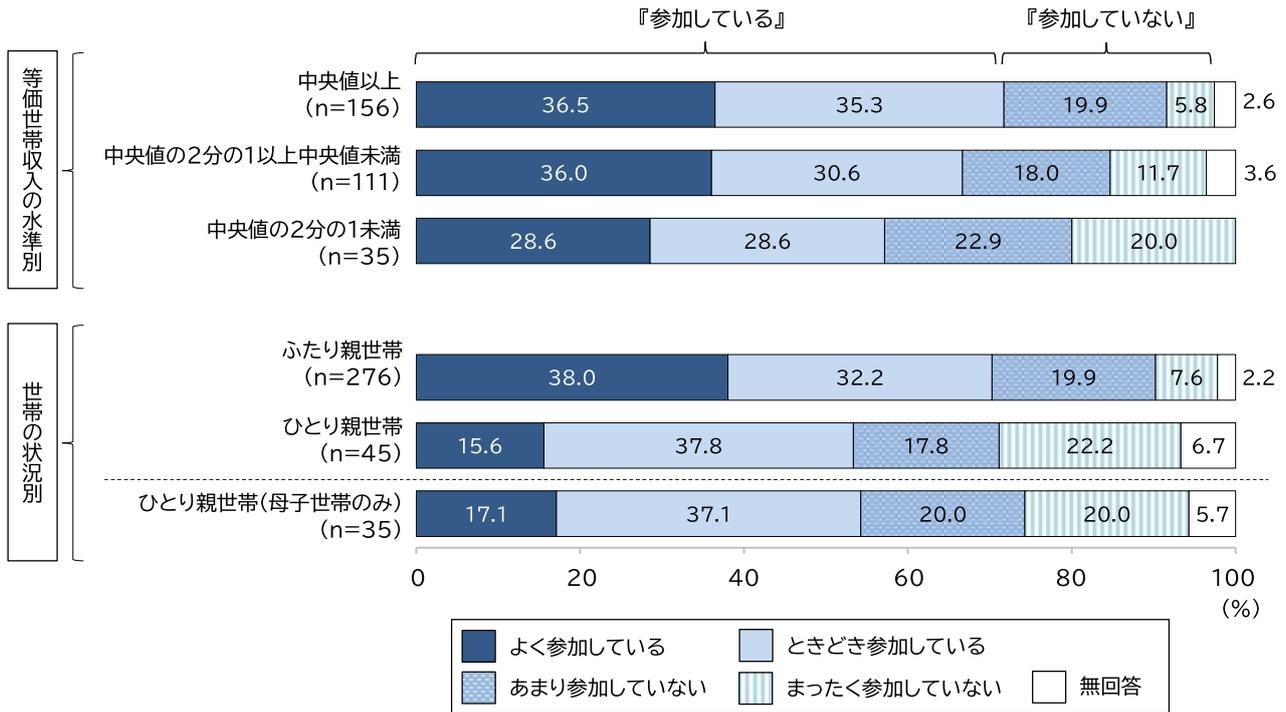


PTA活動や保護者会, 放課後学習支援等のボランティアなどについて, 小学生の保護者では、『参加している』が 67.8%, 『参加していない』が 29.4%となっている。広島県と比較すると、『参加している』は大きな差はみられない。

中学生の保護者では、『参加している』が 61.0%, 『参加していない』が 37.0%となっている。広島県と比較すると、『参加している』は大きな差はみられない。国と比較すると、『参加している』は三次市(61.0%)が国(69.5%)を 8.5 ポイント下回っている。

高校生の保護者では、『参加している』が 68.9%, 『参加していない』が 29.8%となっている。

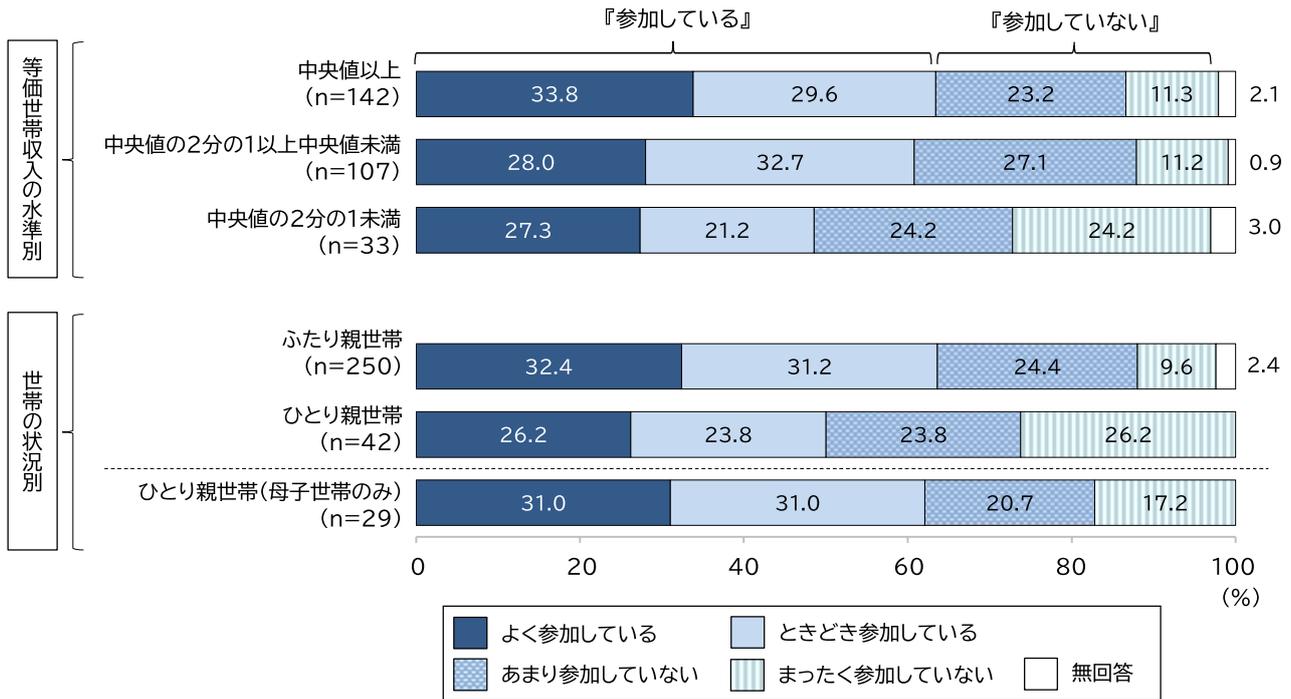
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 71.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 66.6%、「中央値の2分の1未満」では 57.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 70.2%、「ひとり親世帯全体」では 53.4%、「母子世帯のみ」では 54.2%となっている。

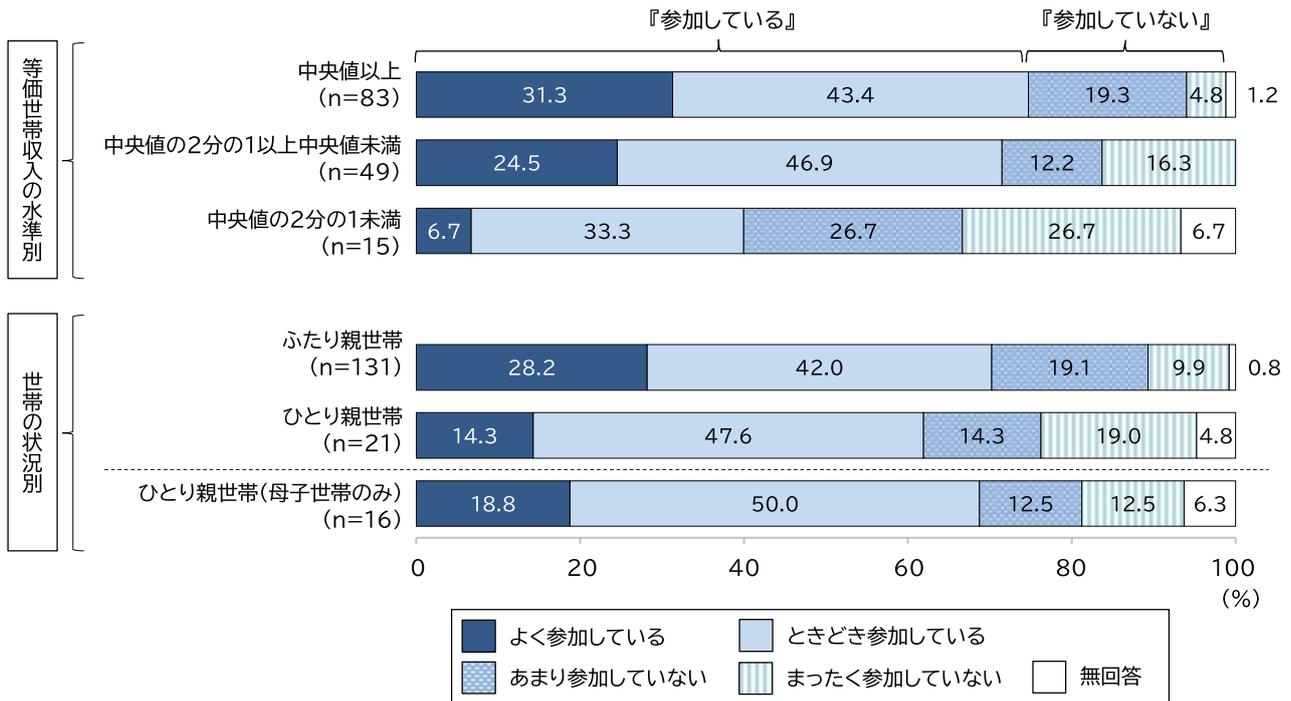
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 63.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 60.7%、「中央値の2分の1未満」では 48.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 63.6%、「ひとり親世帯全体」では 50.0%、「母子世帯のみ」では 62.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

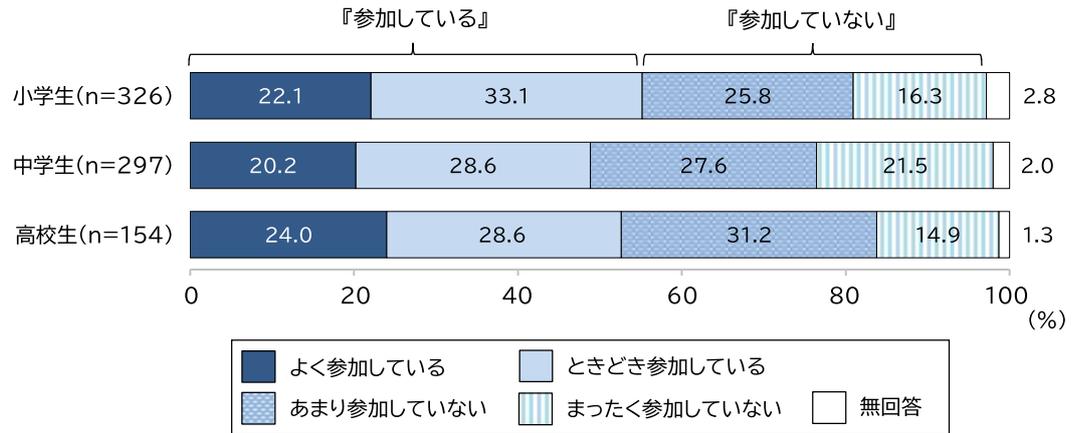


等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 74.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 71.4%、「中央値の2分の1未満」では 40.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 70.2%、「ひとり親世帯全体」では 61.9%、「母子世帯のみ」では 68.8%となっている。

= 自治会などの地域の活動への参加 =

【全体】

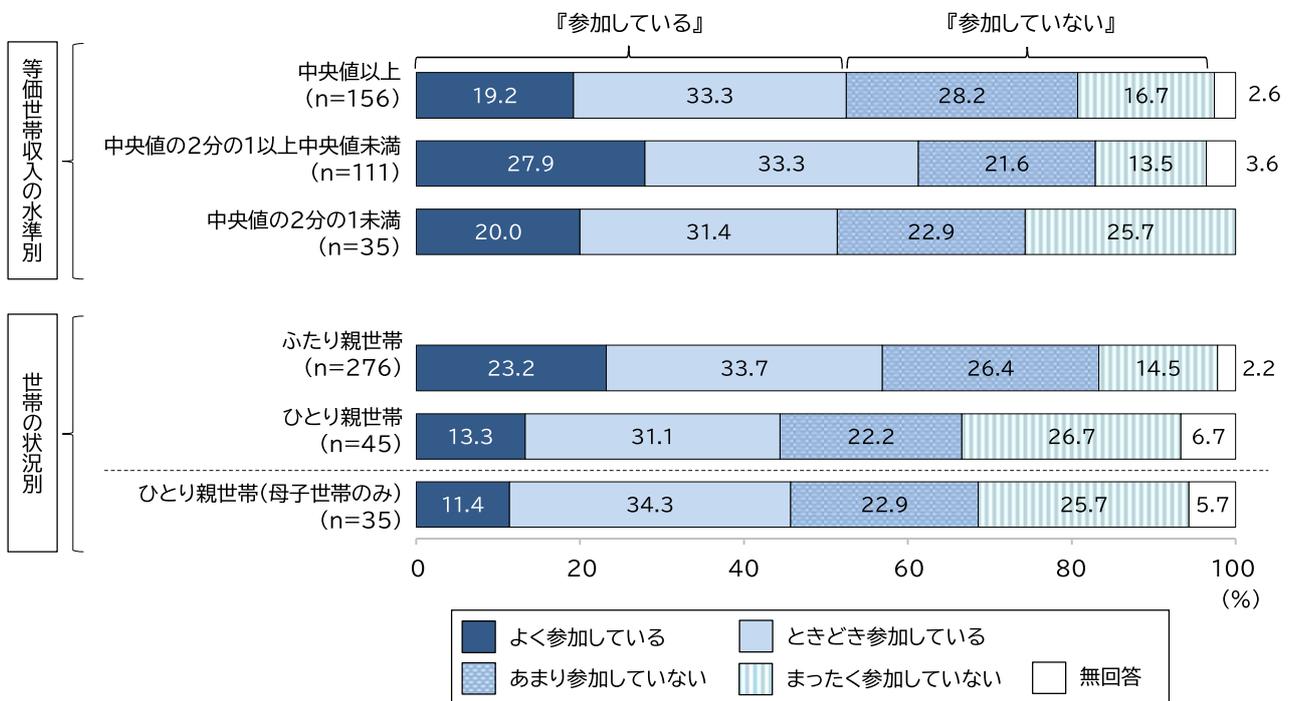


自治会などの地域の活動について、小学生の保護者では、『参加している』が55.2%、『参加していない』が42.1%となっている。

中学生の保護者では、『参加している』が48.8%、『参加していない』が49.1%となっている。

高校生の保護者では、『参加している』が52.6%、『参加していない』が46.1%となっている。

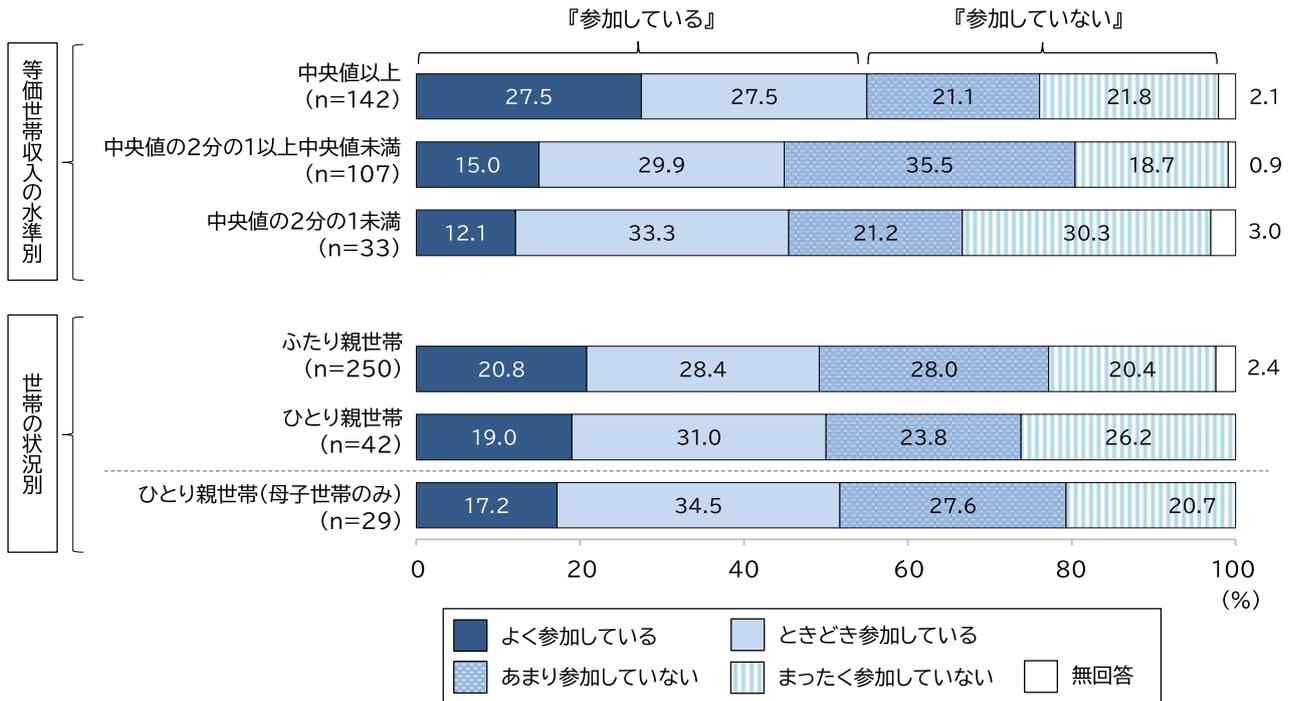
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では52.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では61.2%、「中央値の2分の1未満」では51.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では56.9%、「ひとり親世帯全体」では44.4%、「母子世帯のみ」では45.7%となっている。

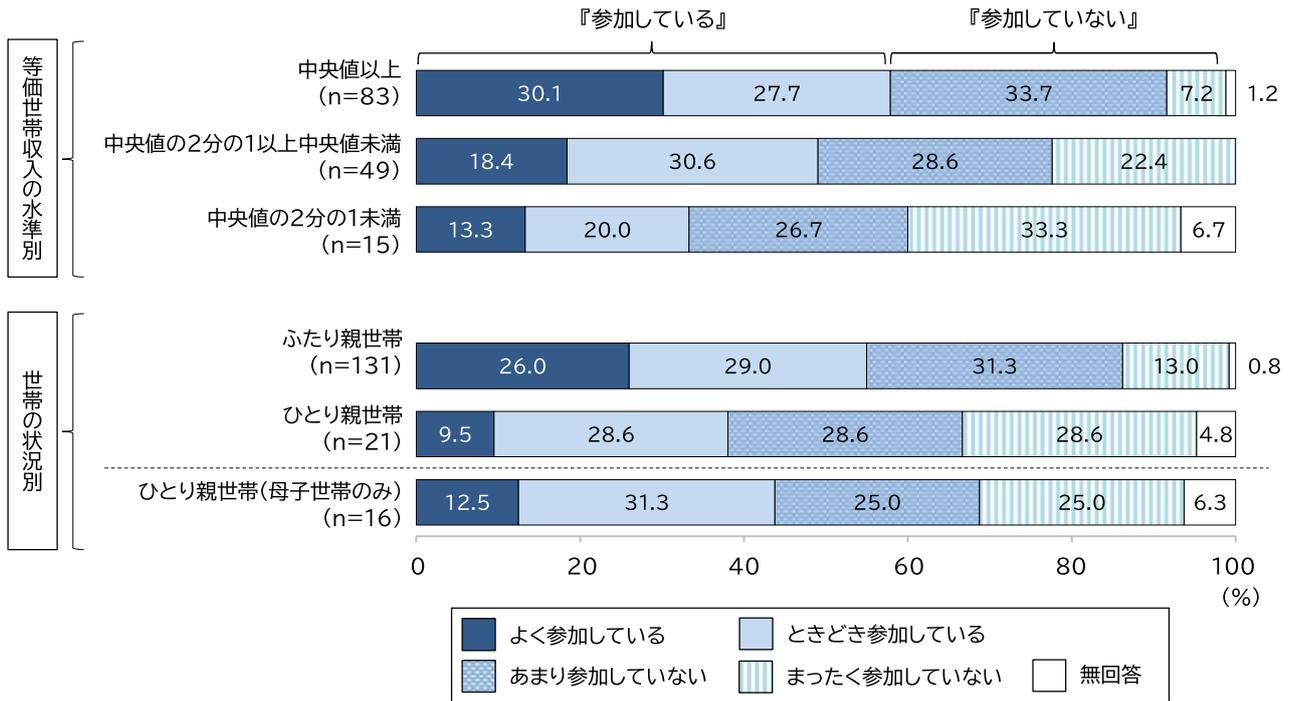
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 55.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 44.9%、「中央値の2分の1未満」では 45.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 49.2%、「ひとり親世帯全体」では 50.0%、「母子世帯のみ」では 51.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



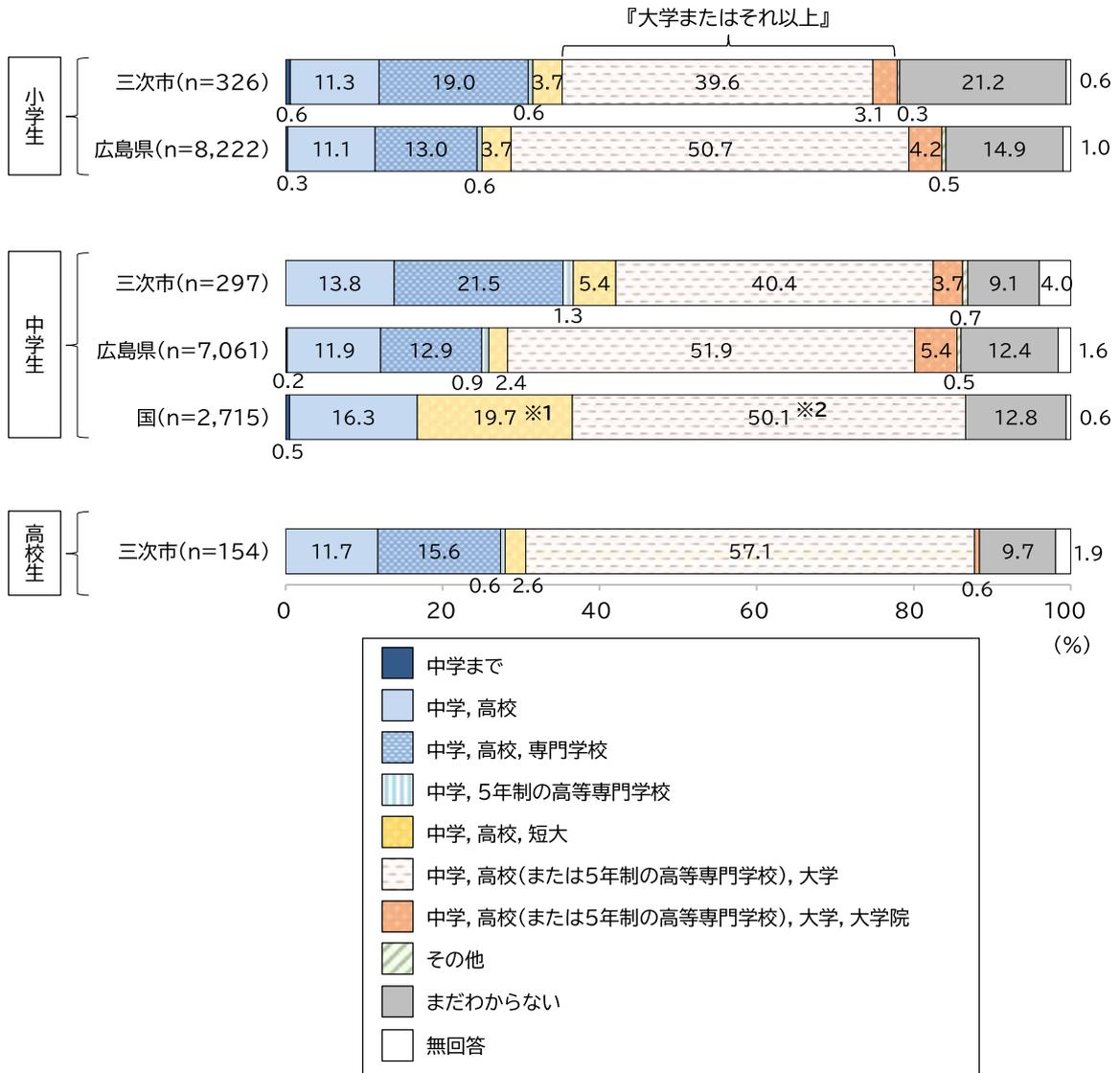
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 57.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 49.0%、「中央値の2分の1未満」では 33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 55.0%、「ひとり親世帯全体」では 38.1%、「母子世帯のみ」では 43.8%となっている。

(6)進学期待・展望

保護者票問 15. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(SA)

【全体】



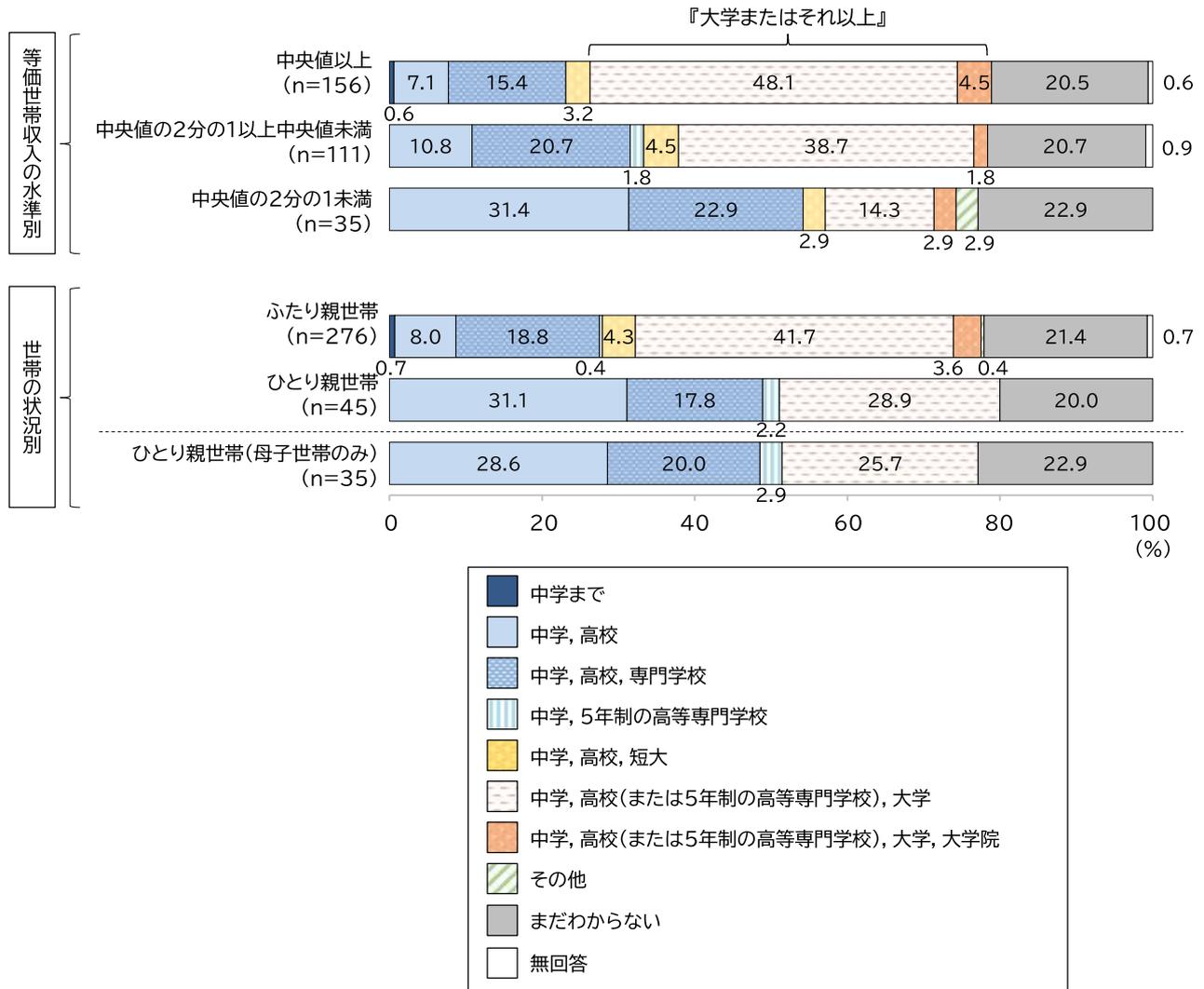
※1:国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている  
 ※2:国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

子どもが将来どの学校に進学すると思うかについて、小学生の保護者では、「中学, 高校(または5年制の高等専門学校), 大学」が 39.6%と最も高く、次いで「中学, 高校, 専門学校」が 19.0%、「中学, 高校」が 11.3%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上(「中学, 高校(または5年制の高等専門学校), 大学」と「中学, 高校(または5年制の高等専門学校), 大学, 大学院」を合わせた割合)』は、三次市(42.7%)が広島県(54.9%)を 12.2 ポイント下回っている。

中学生の保護者では、「中学, 高校(または5年制の高等専門学校), 大学」が 40.4%と最も高く、次いで「中学, 高校, 専門学校」が 21.5%、「中学, 高校」が 13.8%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上』は、三次市(44.1%)が広島県(57.3%)を 13.2 ポイント下回っている。国と比較すると、『大学またはそれ以上』は三次市(44.1%)が国(50.1%)を 6.0 ポイント下回っている。

高校生の保護者では、「中学, 高校(または5年制の高等専門学校), 大学」が 57.1%と最も高く、次いで「中学, 高校, 専門学校」が 15.6%、「中学, 高校」が 11.7%などの順となっている。

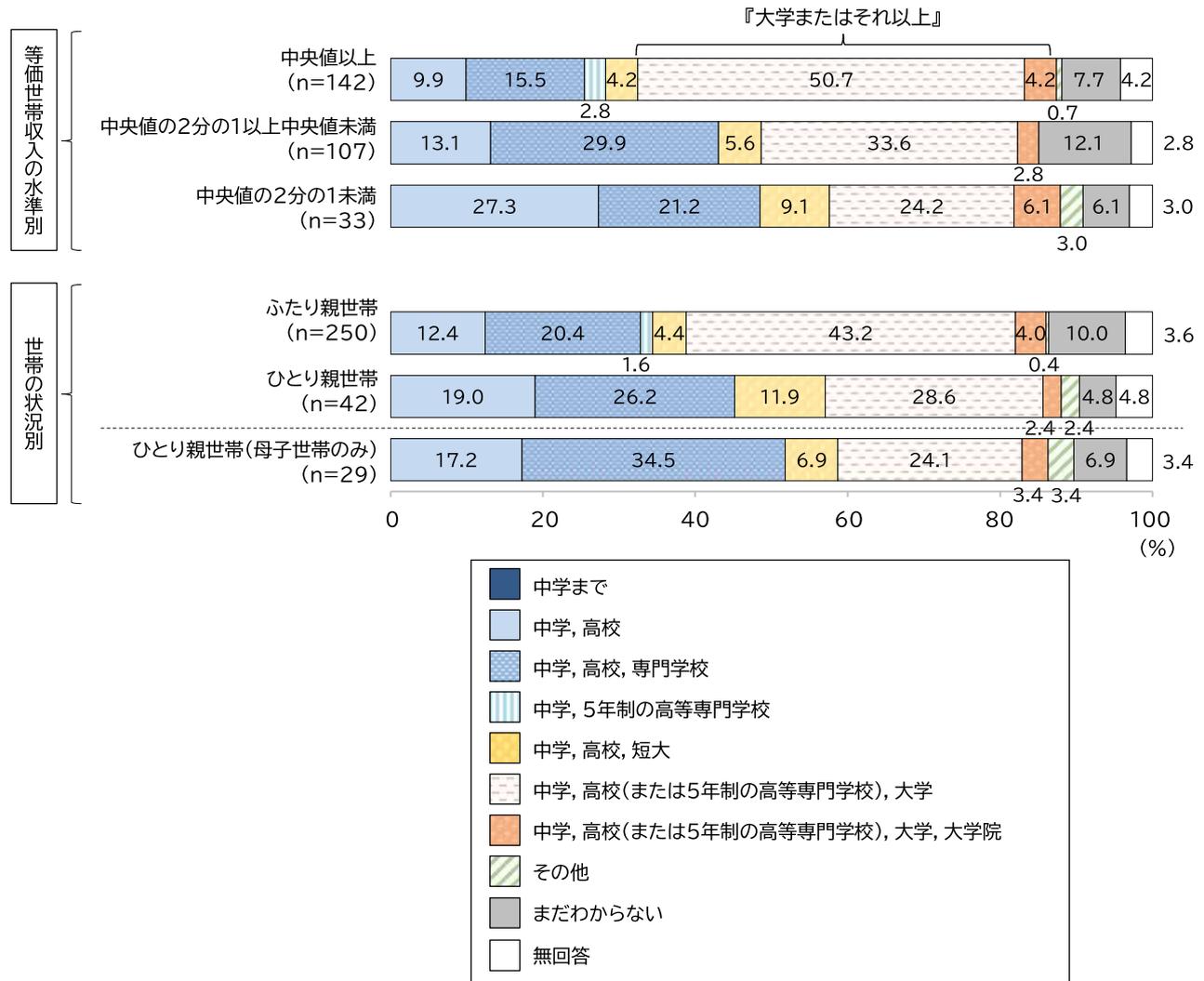
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では52.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では40.5%、「中央値の2分の1未満」では17.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では45.3%、「ひとり親世帯全体」では28.9%、「母子世帯のみ」では25.7%となっている。

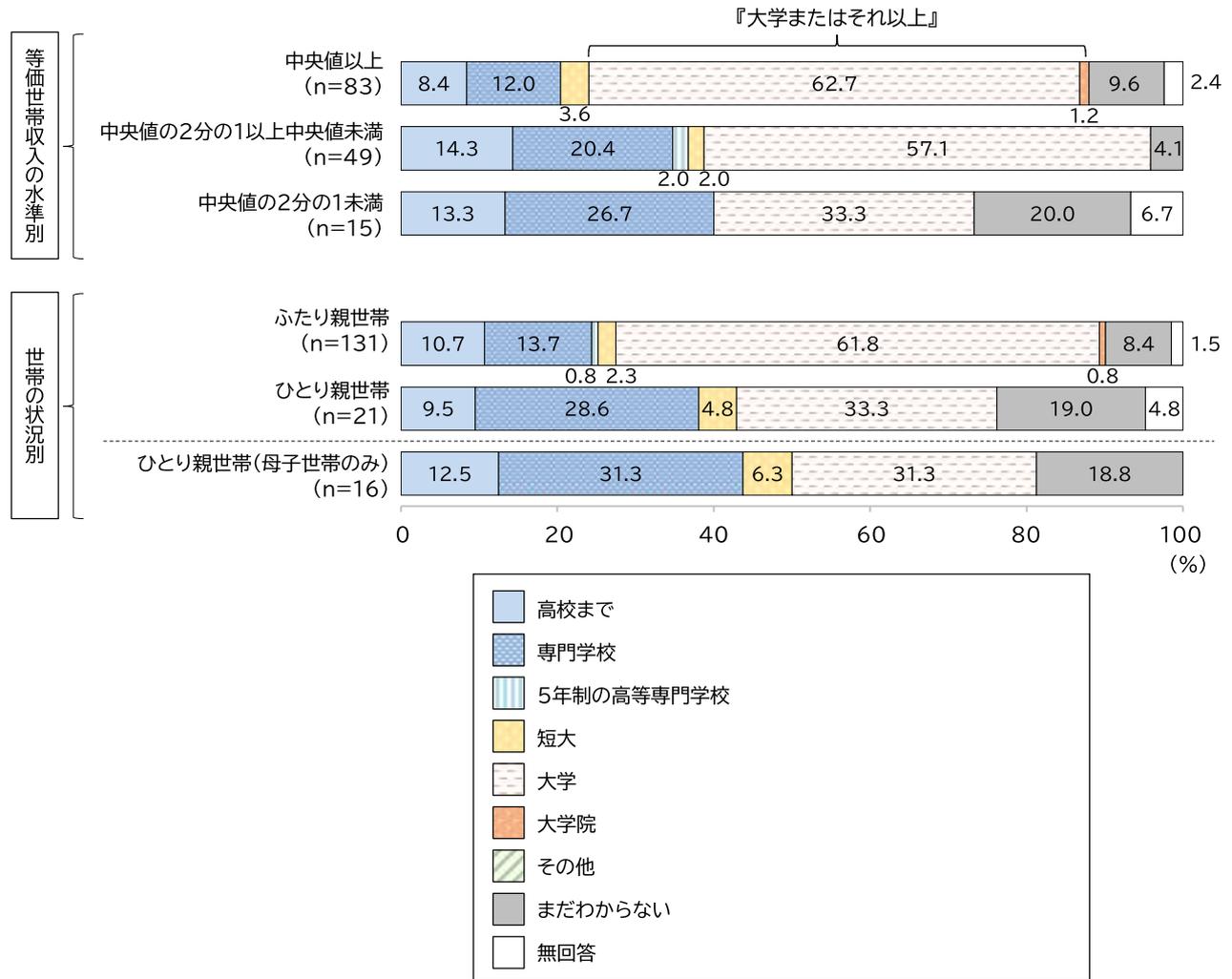
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では54.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では36.4%、「中央値の2分の1未満」では30.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では47.2%、「ひとり親世帯全体」では31.0%、「母子世帯のみ」では27.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



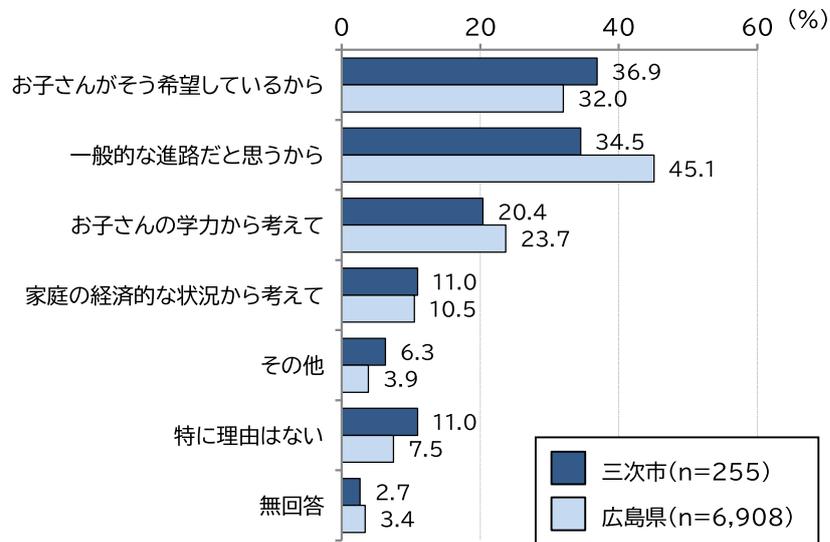
等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では63.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では57.1%、「中央値の2分の1未満」では33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では62.6%、「ひとり親世帯全体」では33.3%、「母子世帯のみ」では31.3%となっている。

※問 15 で進学すると思う学校を答えた方に

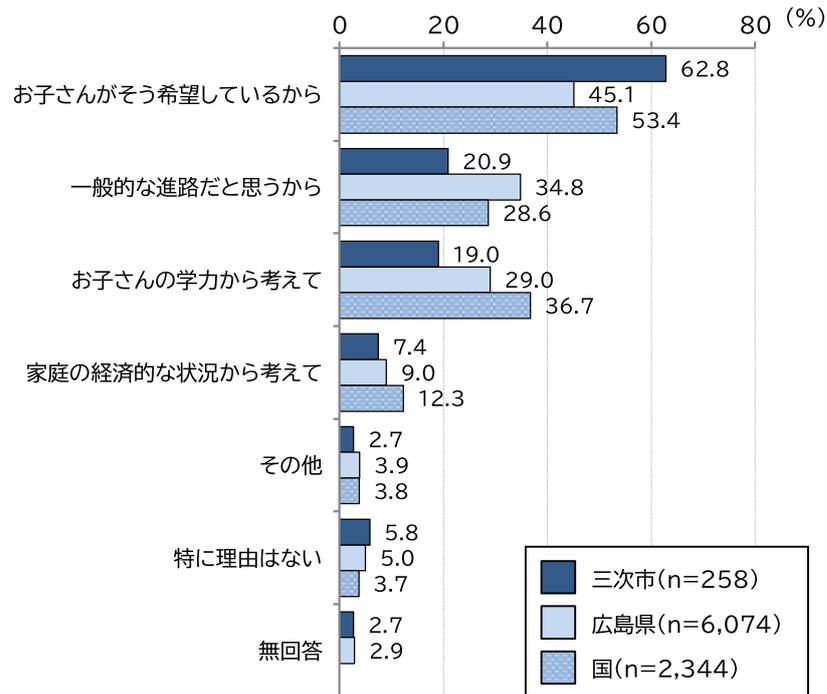
保護者票問 16. その理由は何ですか。(MA)

【小学生の保護者】



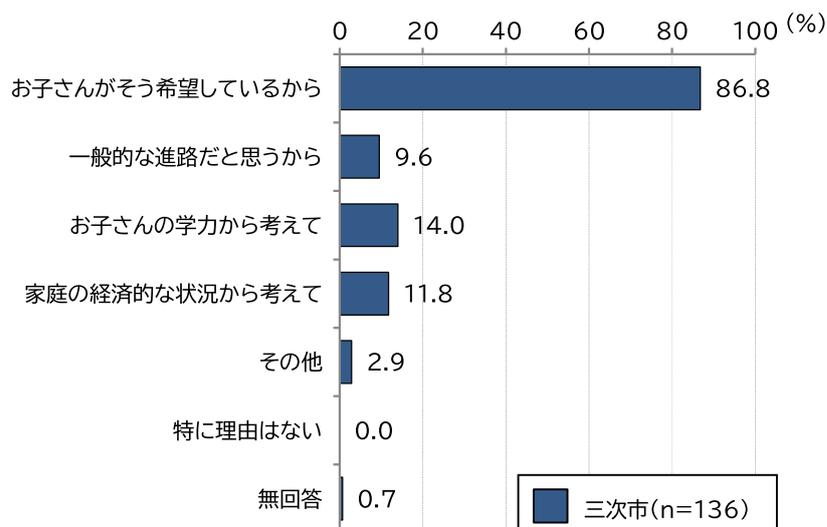
子どもの進学段階に関する希望・展望について保護者がそう考える理由について、小学生の保護者では、「お子さんがそう希望しているから」が 36.9%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が 34.5%、「お子さんの学力から考えて」が 20.4%などの順となっている。広島県と比較すると、「家庭の経済的な状況から考えて」は大きな差はみられない。

## 【中学生の保護者】



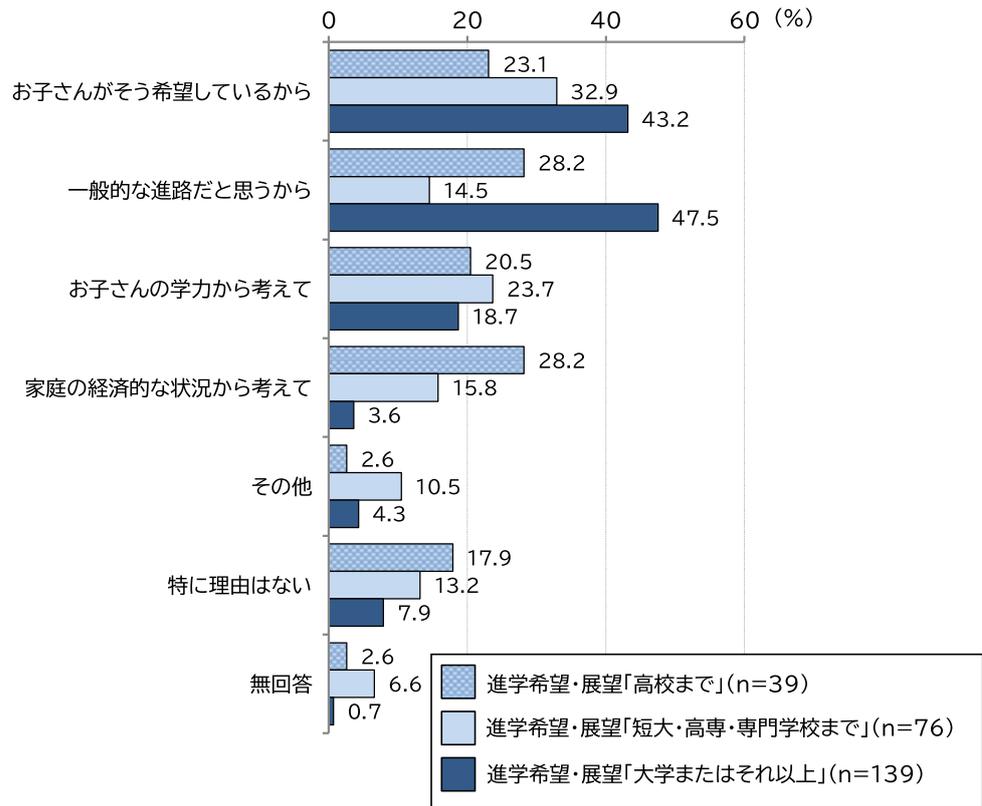
子どもの進学段階に関する希望・展望について保護者がそう考える理由について、中学生の保護者では、「お子さんがそう希望しているから」が62.8%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が20.9%、「お子さんの学力から考えて」が19.0%などの順となっている。広島県、国と比較すると、「家庭の経済的な状況から考えて」はどちらも大きな差はみられない。

## 【高校生の保護者】



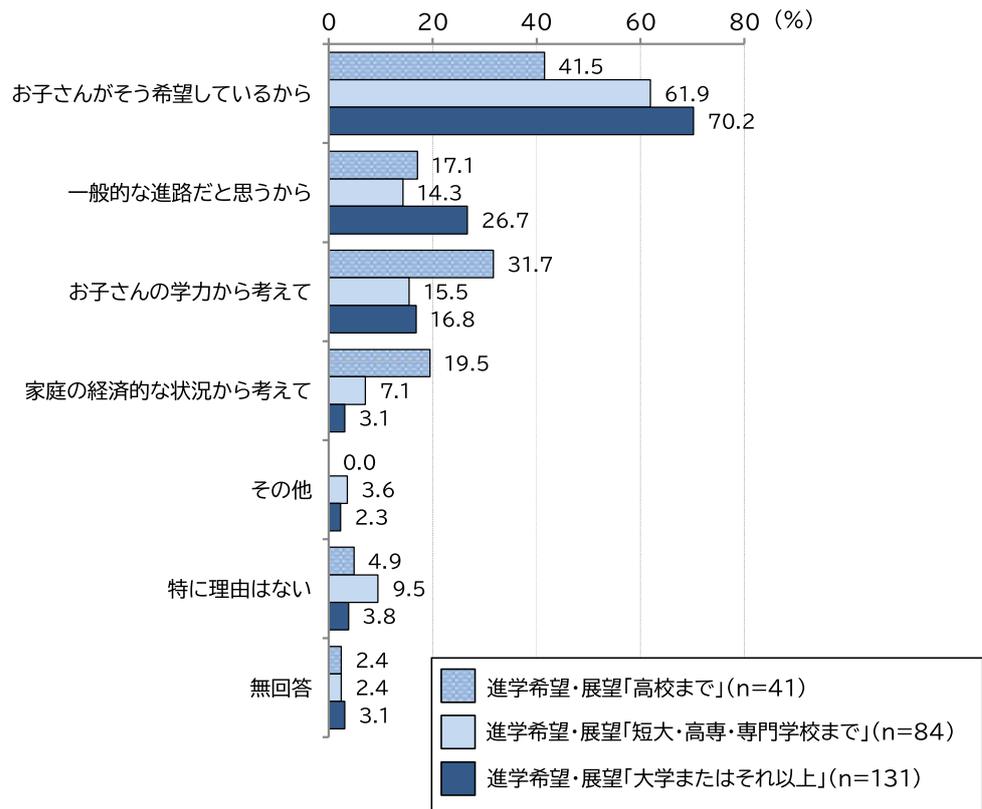
子どもの進学段階に関する希望・展望について保護者がそう考える理由について、高校生の保護者では、「お子さんがそう希望しているから」が86.8%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」が14.0%、「家庭の経済的な状況から考えて」が11.8%などの順となっている。

【子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別\_小学生の保護者】



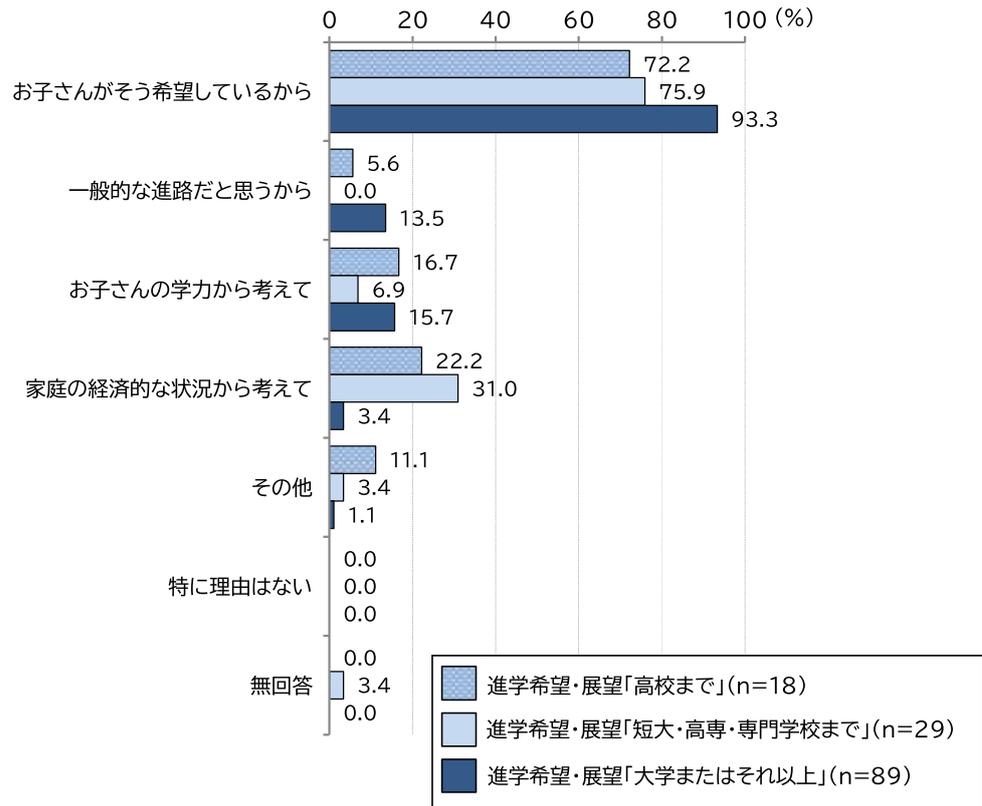
子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「家庭の経済的な状況から考えて」が 28.2%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

## 【子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別\_中学生の保護者】



子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「お子さんの学力から考えて」が 31.7%、「家庭の経済的な状況から考えて」が 19.5%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

【子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別\_高校生の保護者】

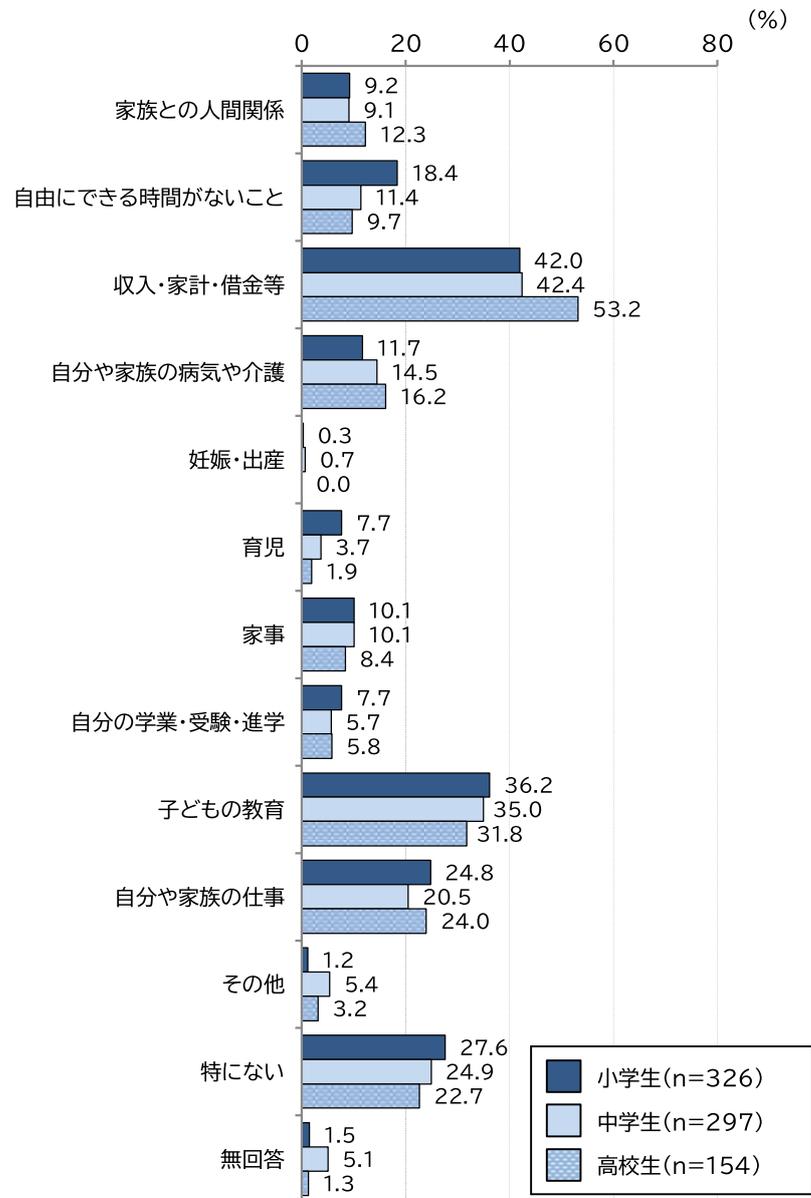


子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「家庭の経済的な状況から考えて」が22.2%となっており、『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

## (7)悩みごとや頼れる人の有無

保護者票問 17. あなた自身は現在悩みごとや困りごとがありますか。(MA)

【全体】

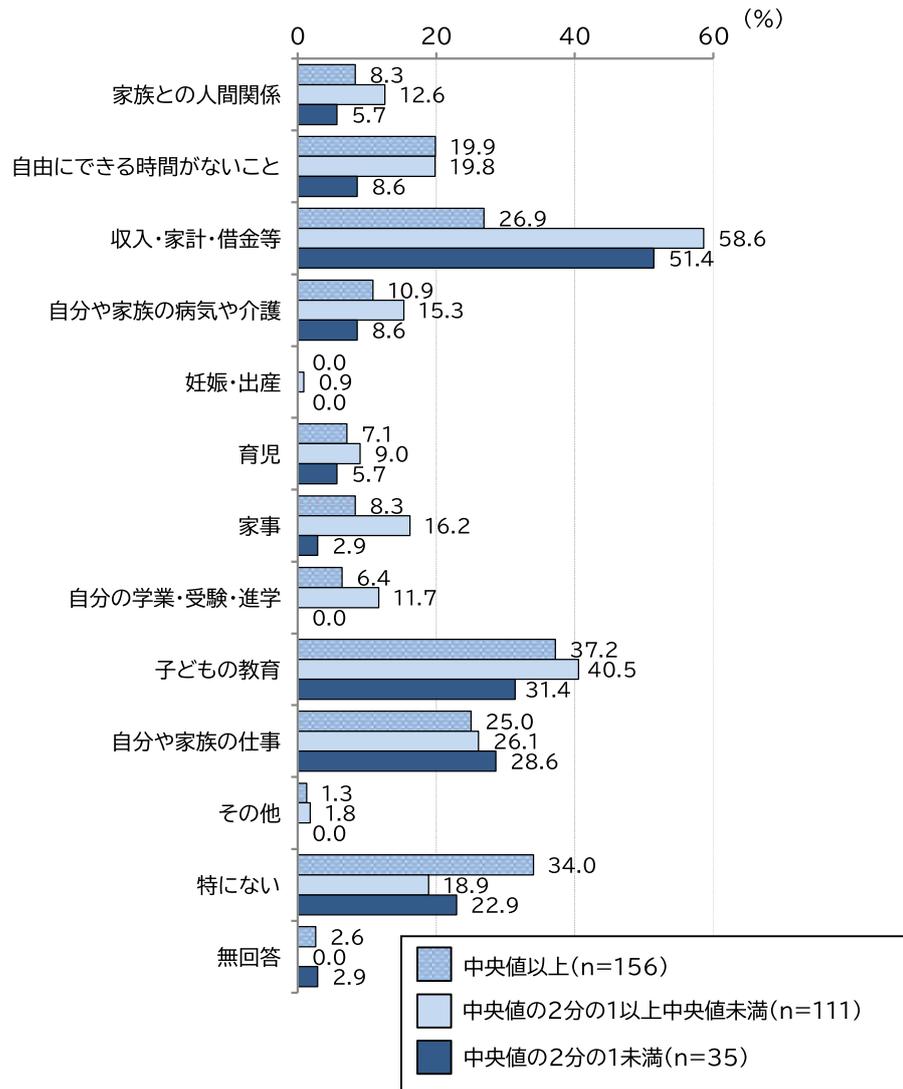


悩みごとや困りごとについて、小学生の保護者では、「収入・家計・借金等」が42.0%と最も高く、次いで、「子どもの教育」(36.2%)、「自分や家族の仕事」(24.8%)などの順となっている。

中学生の保護者では、「収入・家計・借金等」が42.4%と最も高く、次いで、「子どもの教育」(35.0%)、「自分や家族の仕事」(20.5%)などの順となっている。

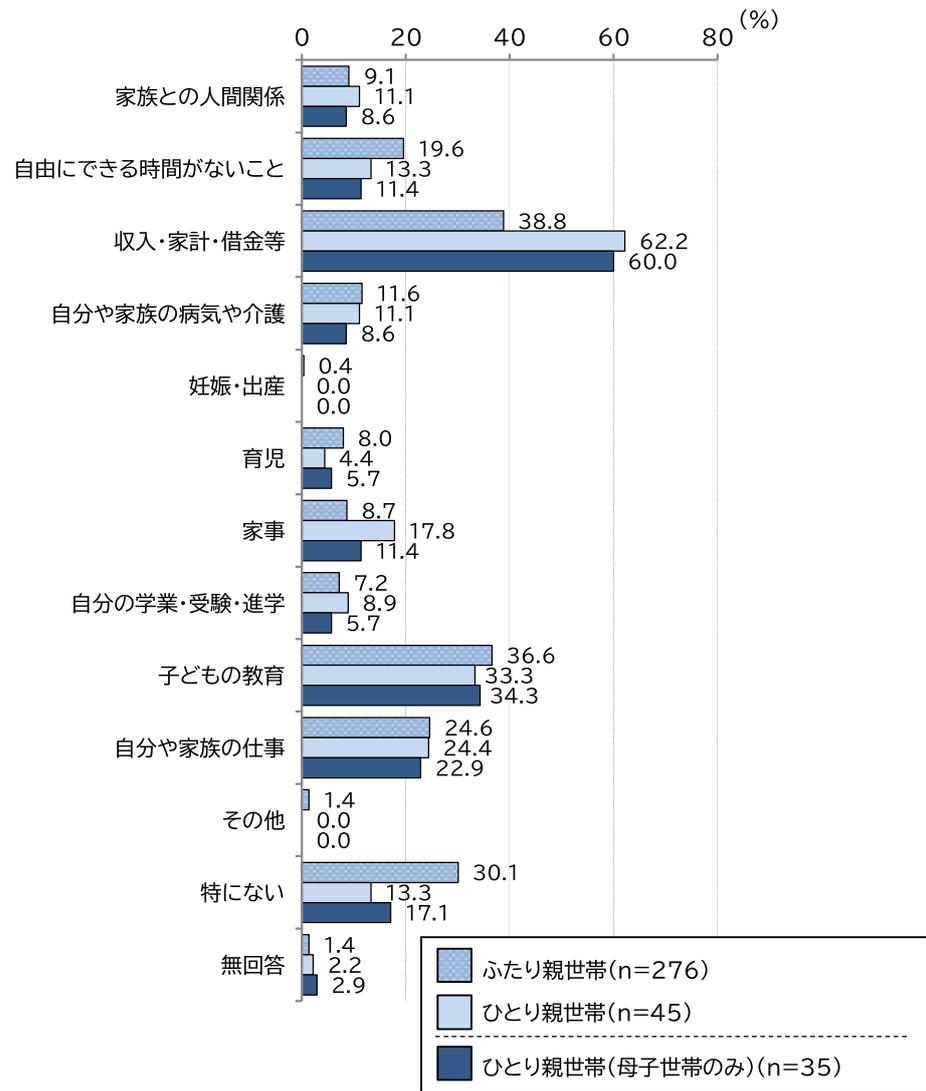
高校生の保護者では、「収入・家計・借金等」が53.2%と最も高く、次いで、「子どもの教育」(31.8%)、「自分や家族の仕事」(24.0%)などの順となっている。

【等価世帯収入の水準別\_小学生の保護者】



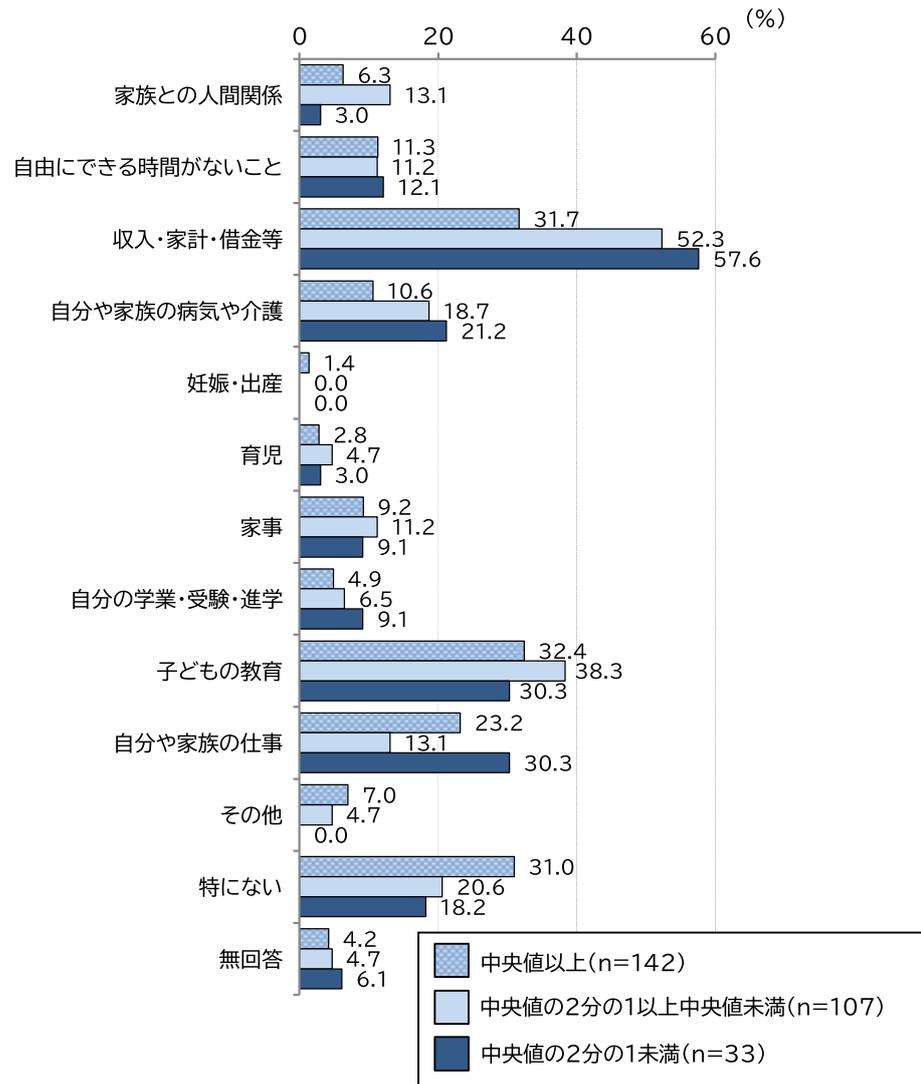
等価世帯収入の水準別にみると、「収入・家計・借金等」は、「中央値以上」では 26.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 58.6%、「中央値の2分の1未満」では 51.4%となっている。

【世帯の状況別\_小学生の保護者】



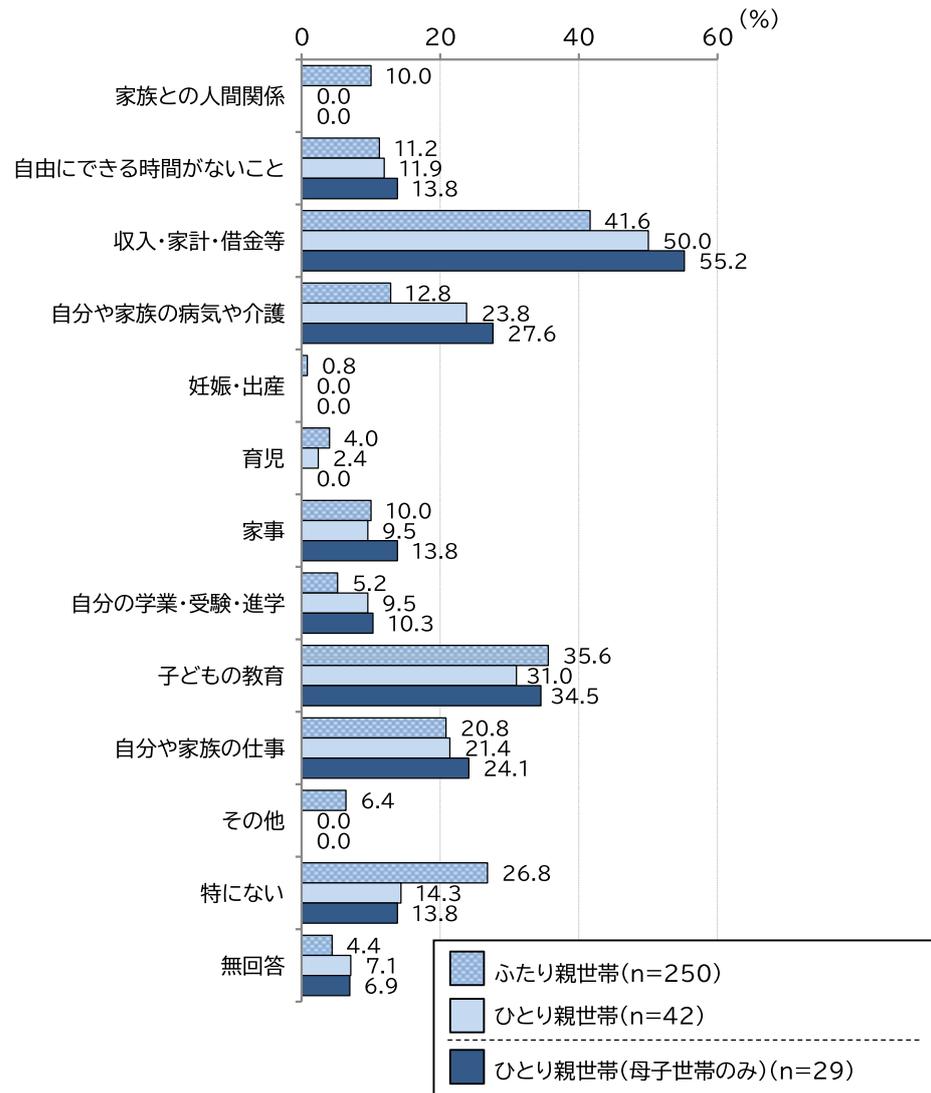
世帯の状況別にみると、「収入・家計・借金等」は、「ふたり親世帯」では 38.8%、「ひとり親世帯全体」では 62.2%、「母子世帯のみ」では 60.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別\_中学生の保護者】



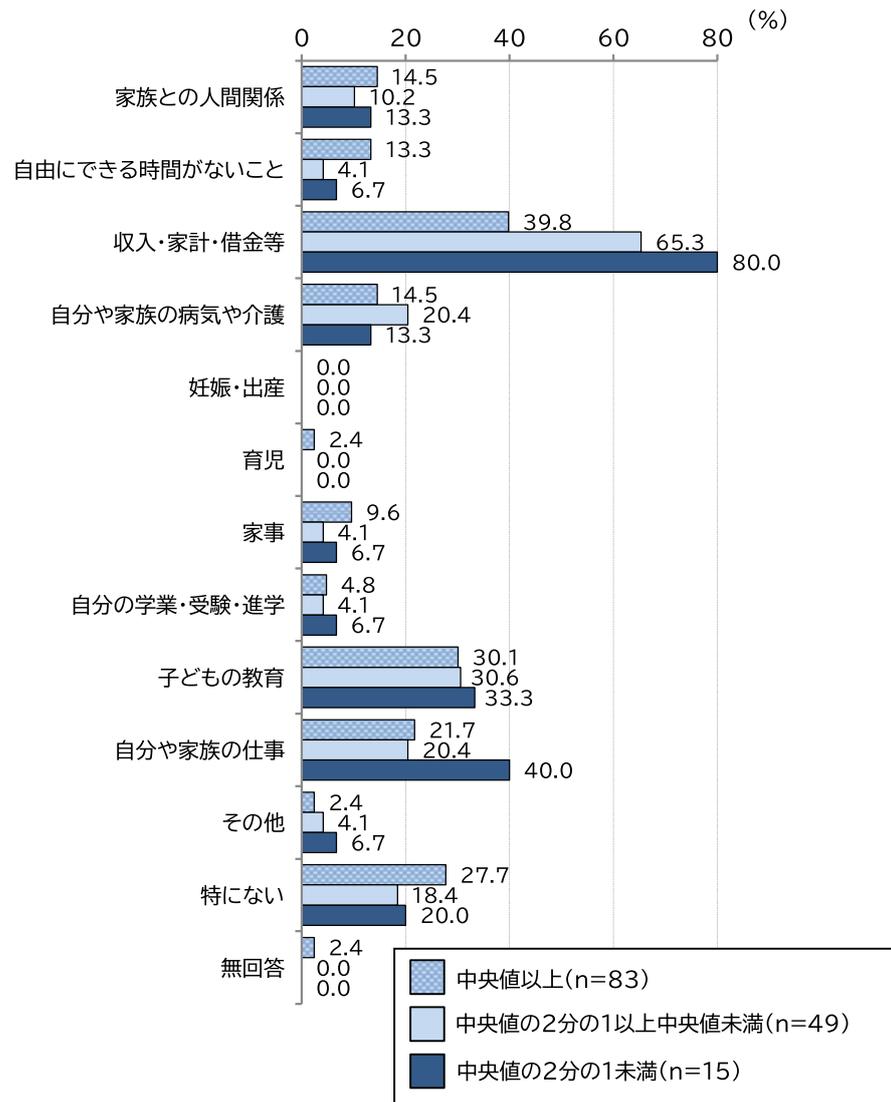
等価世帯収入の水準別にみると、「収入・家計・借金等」は、「中央値以上」では 31.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 52.3%、「中央値の2分の1未満」では 57.6%となっている。

【世帯の状況別\_中学生の保護者】



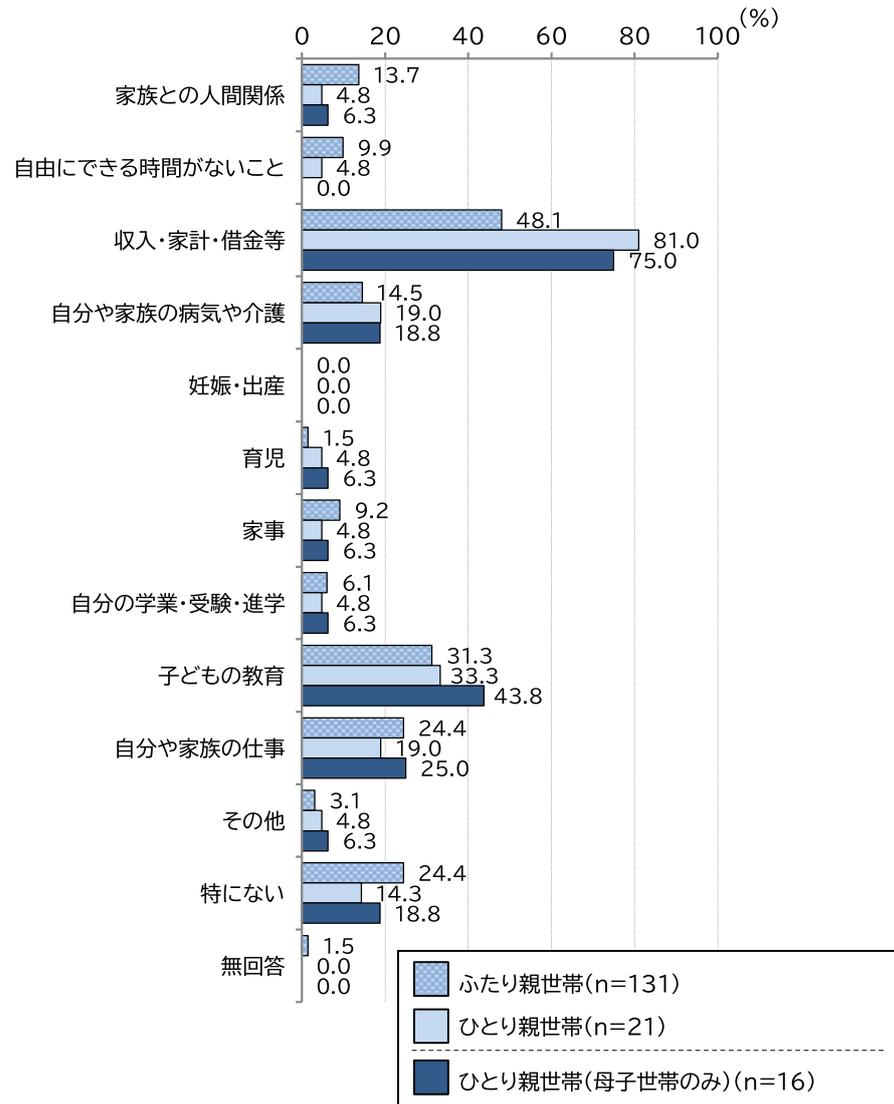
世帯の状況別にみると、「収入・家計・借金等」は、「ふたり親世帯」では 41.6%、「ひとり親世帯全体」では 50.0%、「母子世帯のみ」では 55.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別\_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「収入・家計・借金等」は、「中央値以上」では 39.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 65.3%、「中央値の2分の1未満」では 80.0%となっている。

【世帯の状況別\_高校生の保護者】

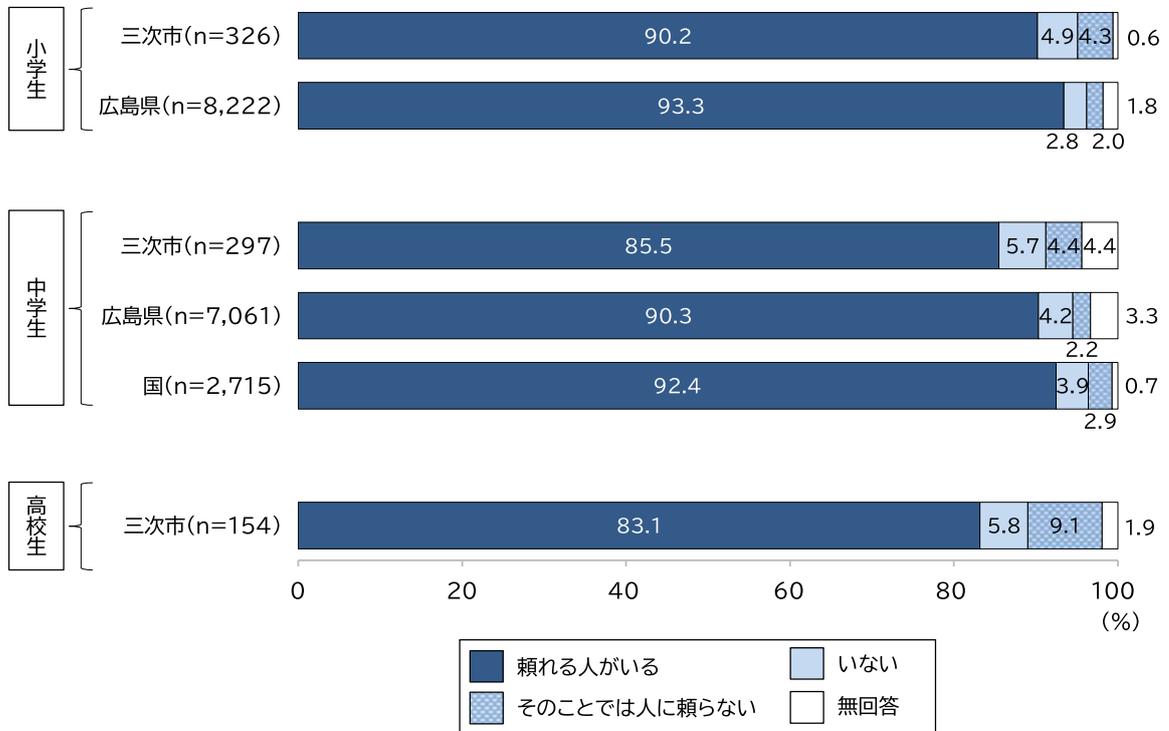


世帯の状況別にみると、「収入・家計・借金等」は、「ふたり親世帯」では 48.1%、「ひとり親世帯全体」では 81.0%、「母子世帯のみ」では 75.0%となっている。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

= 子育てに関する相談 =

【全体】

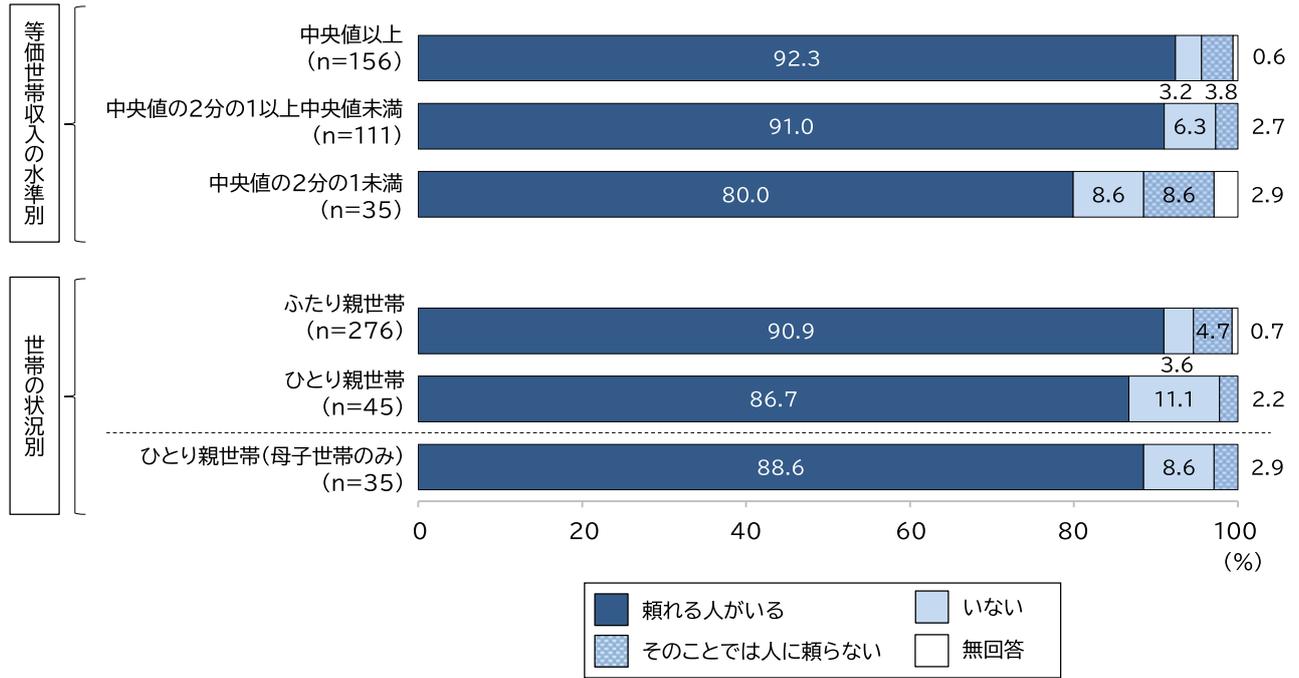


子育てに関する相談について、小学生の保護者では、「頼れる人がいる」が90.2%、「いない」が4.9%、「そのことでは人に頼らない」が4.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生の保護者では、「頼れる人がいる」が85.5%、「いない」が5.7%、「そのことでは人に頼らない」が4.4%となっている。広島県、国と比較すると、「いない」はどちらも大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「頼れる人がいる」が83.1%、「いない」が5.8%、「そのことでは人に頼らない」が9.1%となっている。

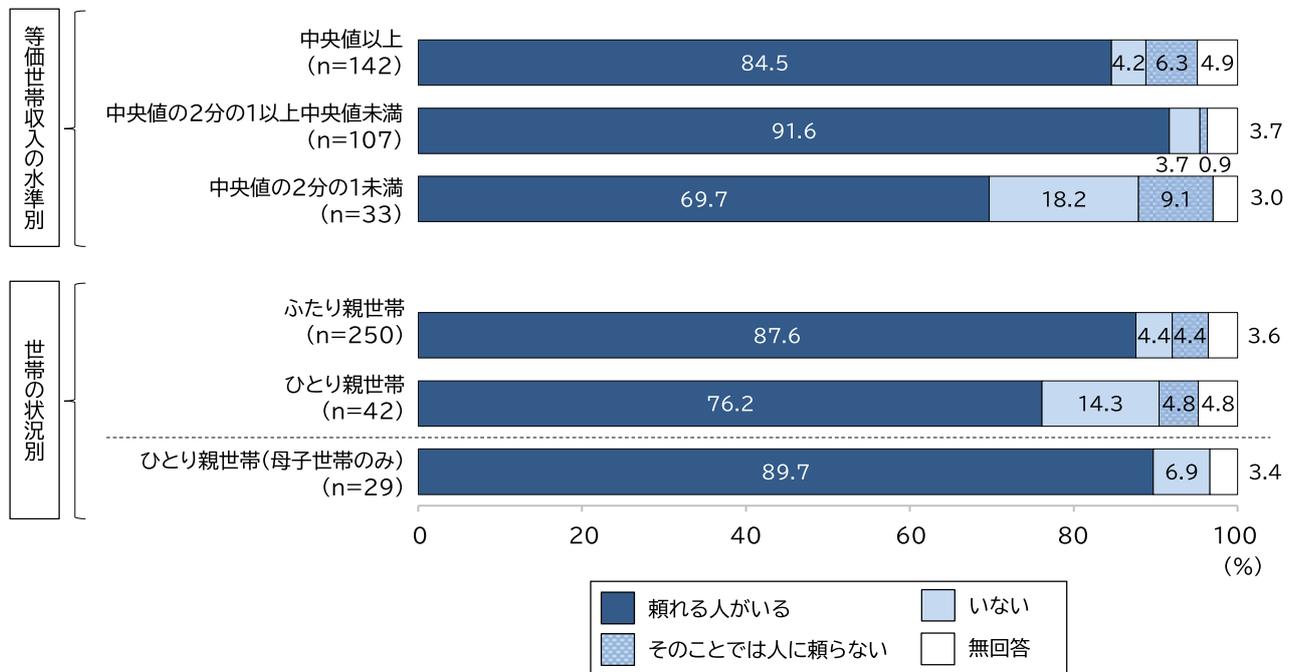
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 3.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 6.3%、「中央値の2分の1未満」では 8.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 3.6%、「ひとり親世帯全体」では 11.1%、「母子世帯のみ」では 8.6%となっている。

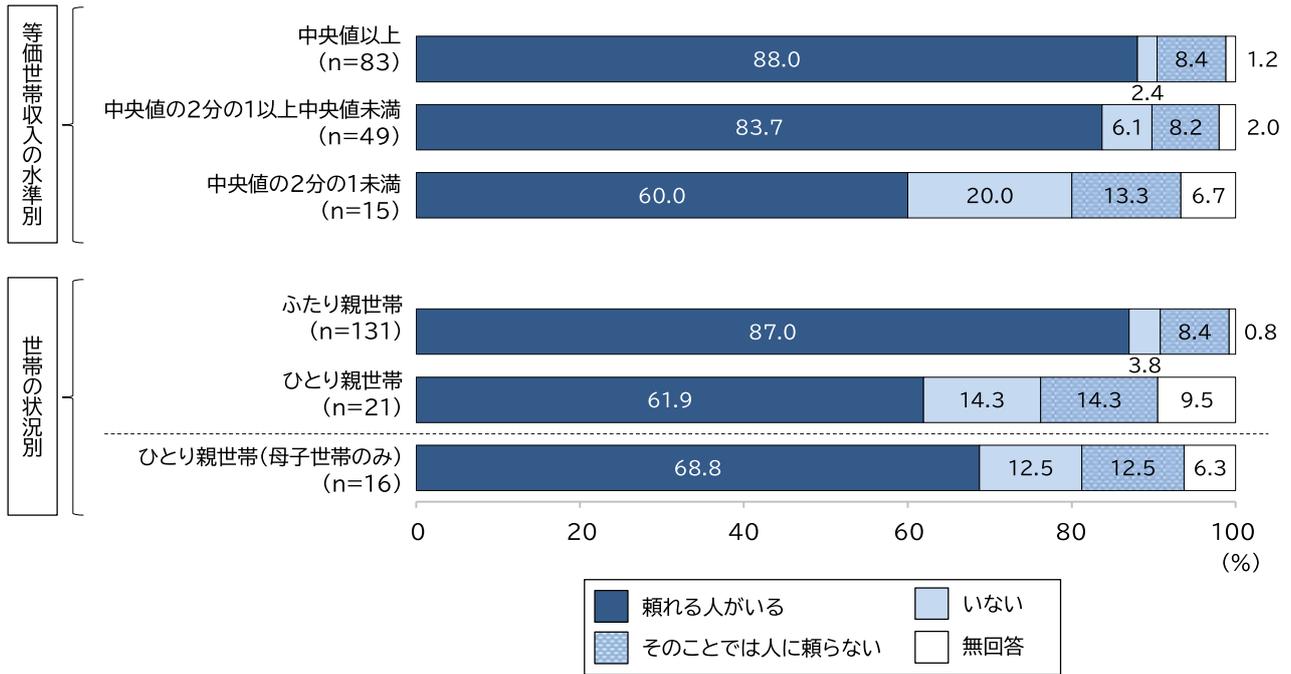
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 4.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 3.7%、「中央値の2分の1未満」では 18.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 4.4%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 6.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

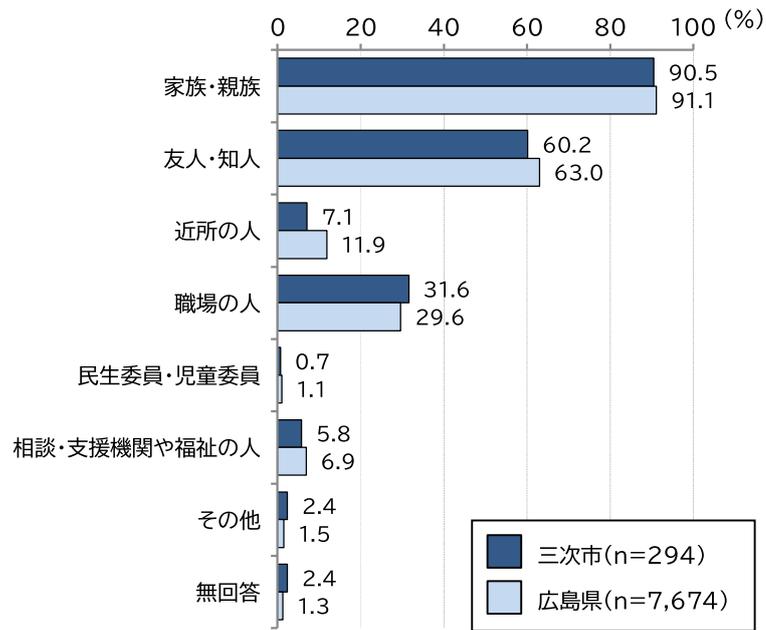


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 2.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 6.1%、「中央値の2分の1未満」では 20.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 3.8%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 12.5%となっている。

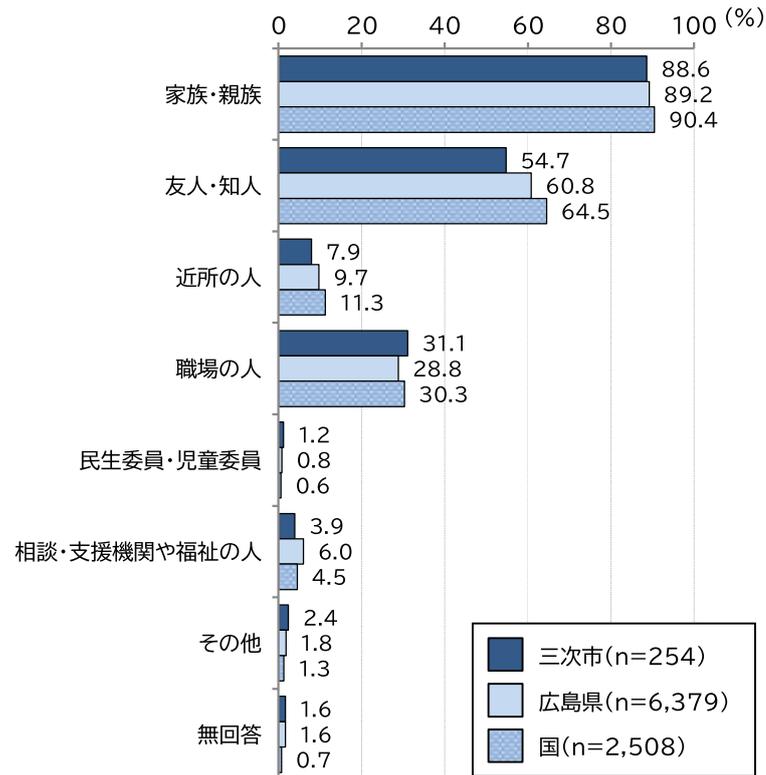
<子育てに関する相談について「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手>

【小学生の保護者】



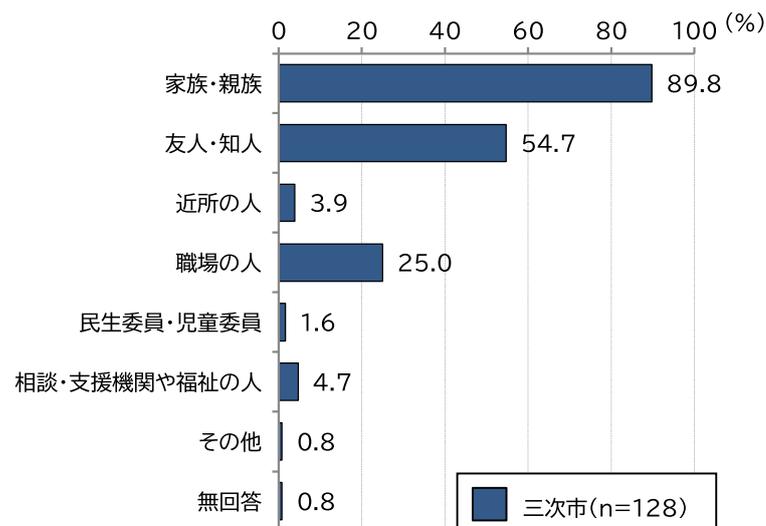
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学生の保護者では、「家族・親族」が 90.5%と最も高く、次いで「友人・知人」が 60.2%、「職場の人」が 31.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学生の保護者】



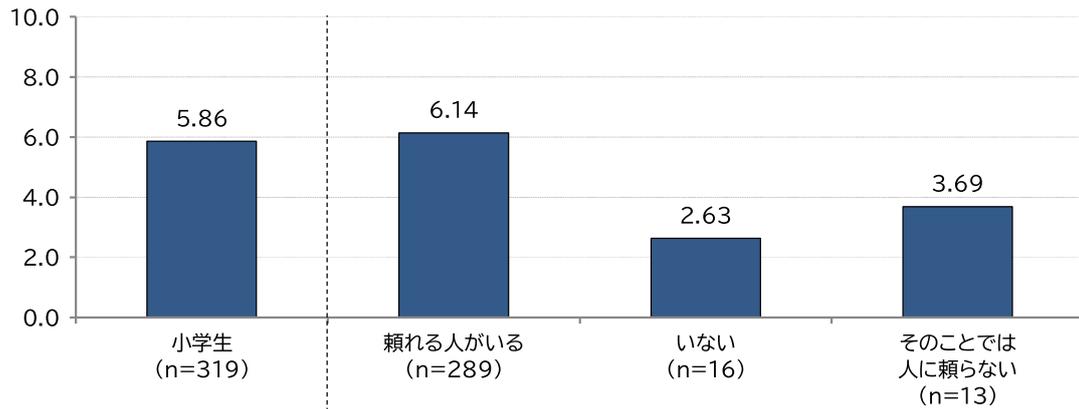
中学生の保護者では、「家族・親族」が 88.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が 54.7%、「職場の人」が 31.1%などの順となっている。広島県と比較すると、「友人・知人」は三次市(54.7%)が広島県(60.8%)を 6.1 ポイント下回っている。国と比較すると、「友人・知人」は三次市(54.7%)が国(64.5%)を 9.8 ポイント下回っている。

【高校生の保護者】



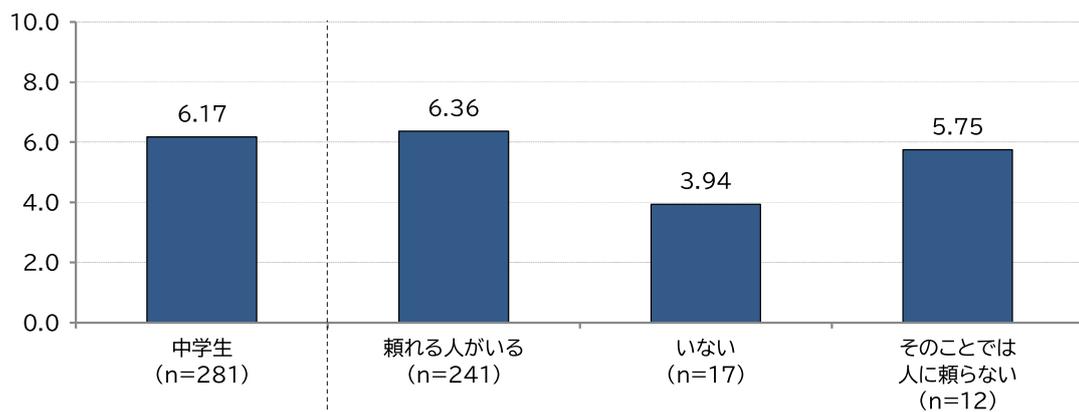
高校生の保護者では、「家族・親族」が 89.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が 54.7%、「職場の人」が 25.0%などの順となっている。

## 【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度\_小学生の保護者】



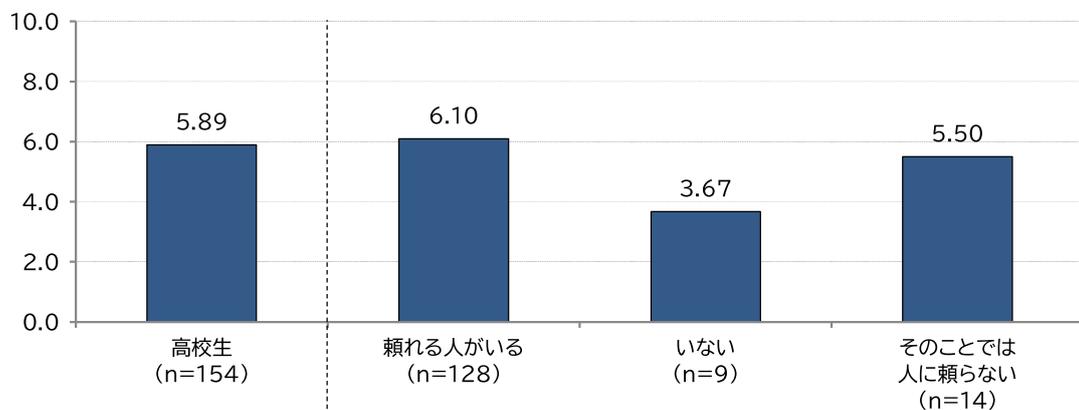
子育てに関する相談をできる人の有無別にみると、保護者の生活満足度の平均値は、「いない」(2.63)が「頼れる人がいる」(6.14)を 3.51 点下回っている。

## 【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度\_中学生の保護者】



子育てに関する相談をできる人の有無別にみると、保護者の生活満足度の平均値は、「いない」(3.94)が「頼れる人がいる」(6.36)を 2.42 点下回っている。

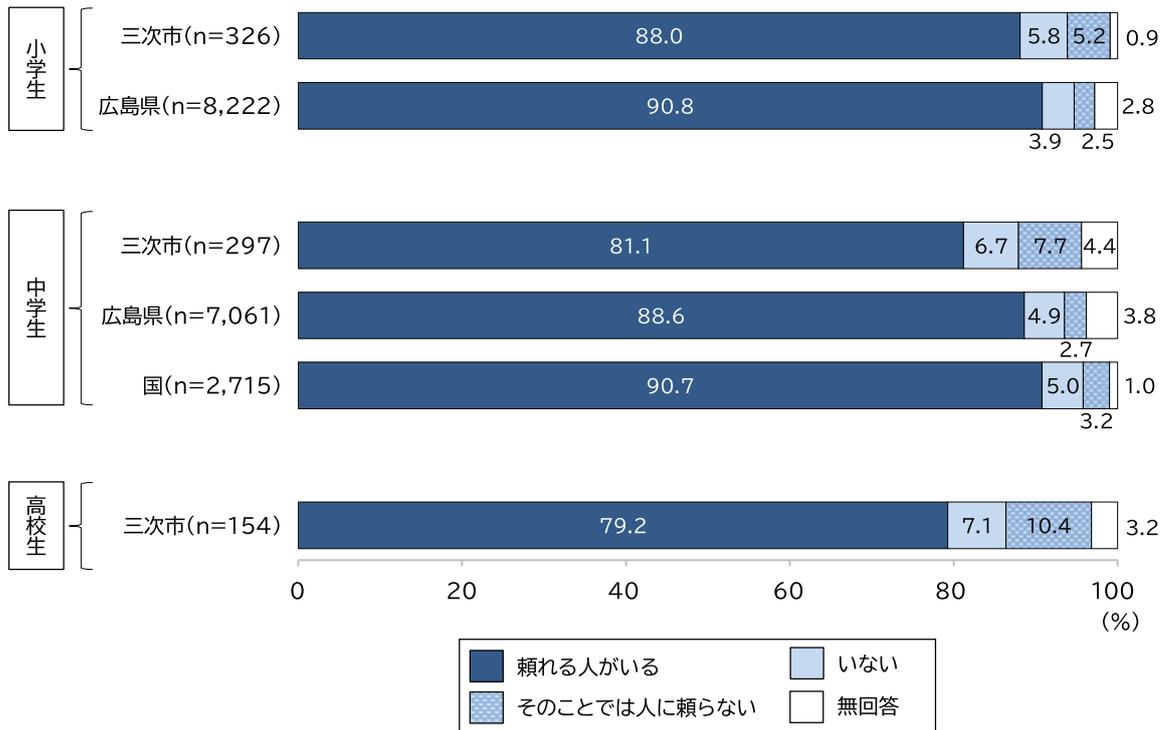
## 【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度\_高校生の保護者】



子育てに関する相談をできる人の有無別にみると、保護者の生活満足度の平均値は、「いない」(3.67)が「頼れる人がいる」(6.10)を 2.43 点下回っている。

= 重要な事柄の相談 =

【全体】

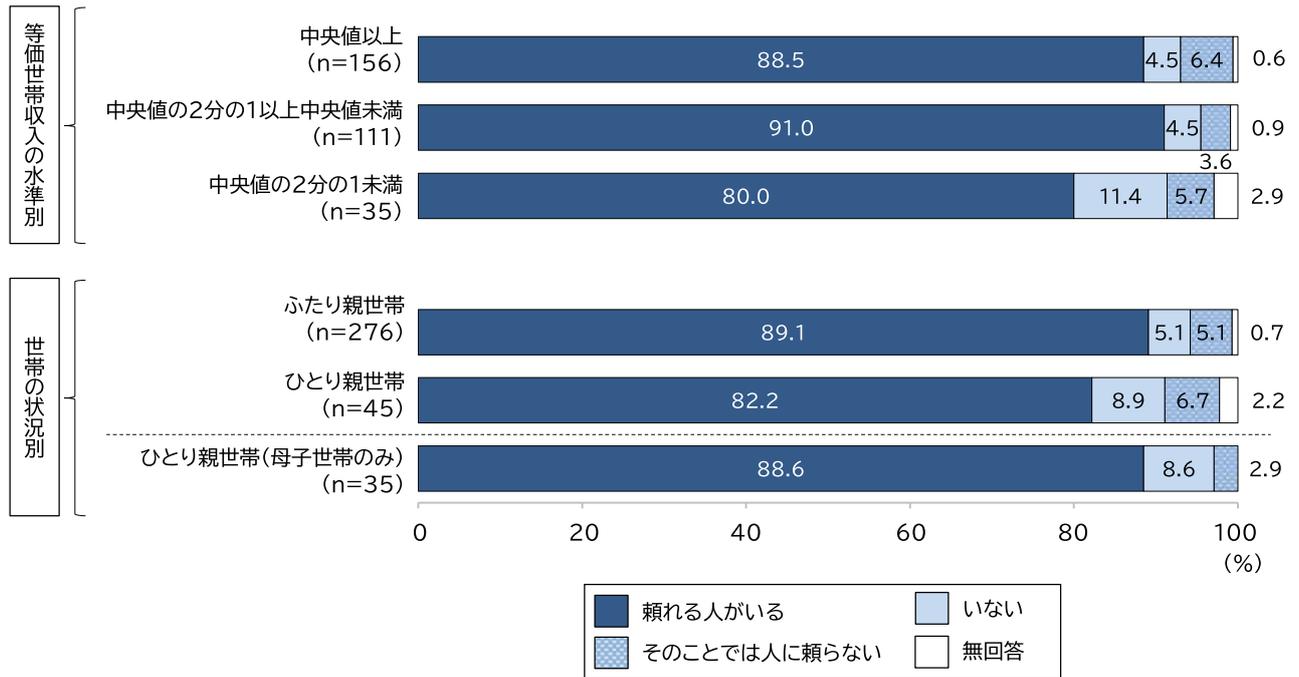


重要な事柄の相談について、小学生の保護者では、「頼れる人がいる」が 88.0%、「いない」が 5.8%、「そのことでは人に頼らない」が 5.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生の保護者では、「頼れる人がいる」が 81.1%、「いない」が 6.7%、「そのことでは人に頼らない」が 7.7%となっている。広島県、国と比較すると、「いない」はどちらも大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「頼れる人がいる」が 79.2%、「いない」が 7.1%、「そのことでは人に頼らない」が 10.4%となっている。

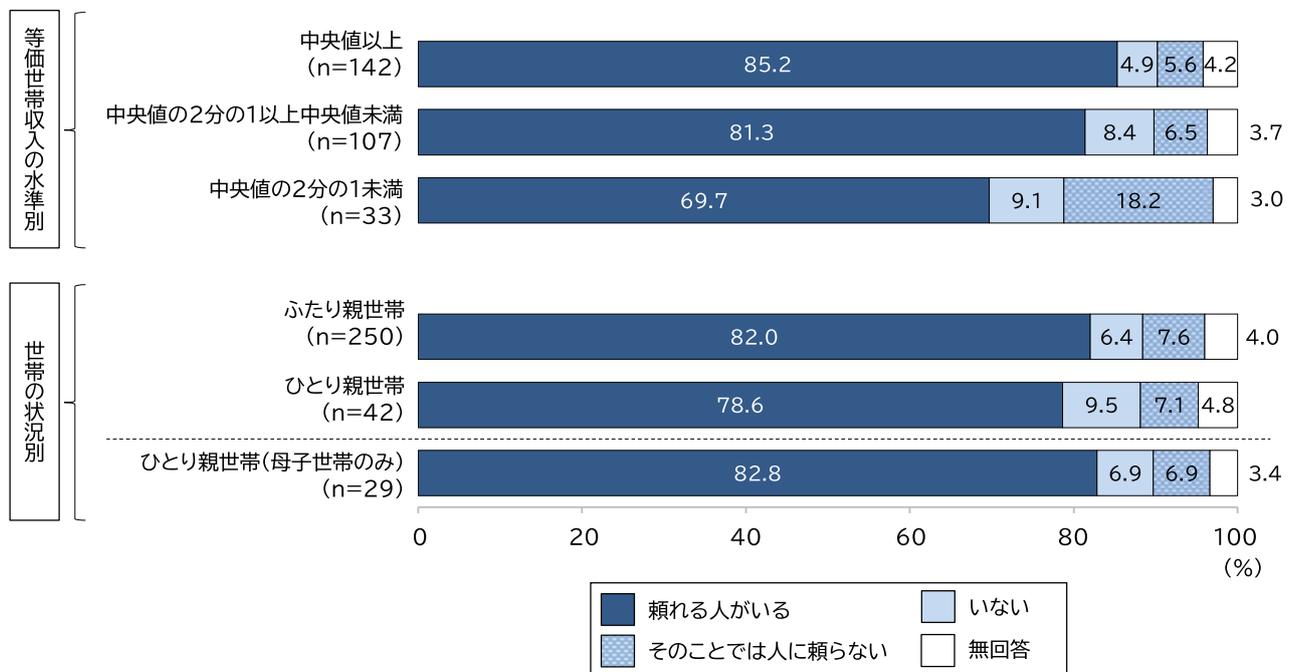
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 4.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 4.5%、「中央値の2分の1未満」では 11.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 5.1%、「ひとり親世帯全体」では 8.9%、「母子世帯のみ」では 8.6%となっている。

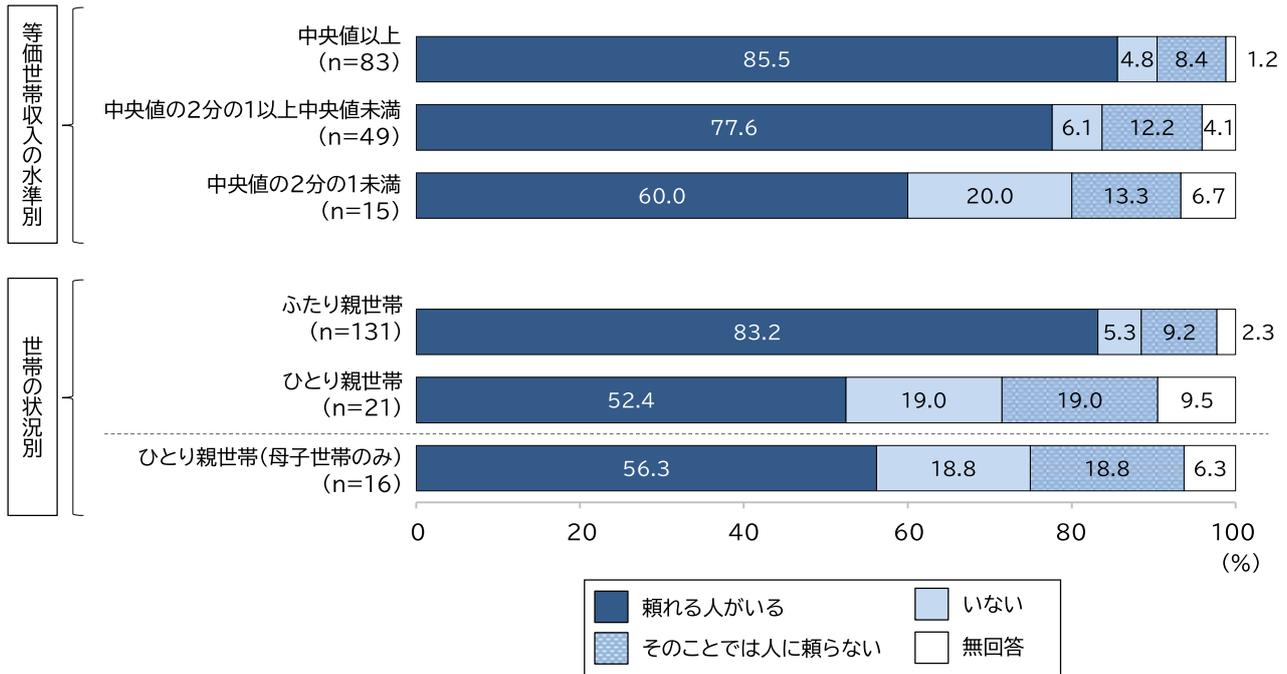
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 4.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 8.4%、「中央値の2分の1未満」では 9.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 6.4%、「ひとり親世帯全体」では 9.5%、「母子世帯のみ」では 6.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

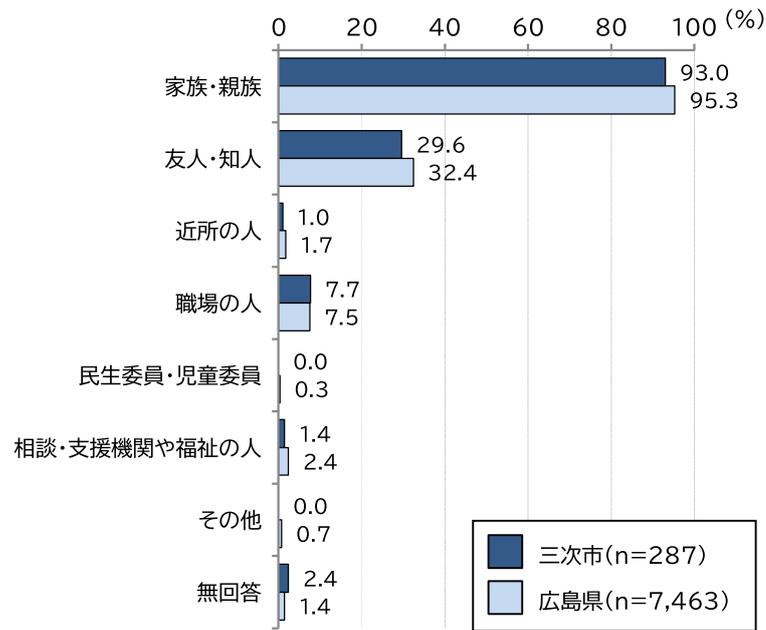


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 4.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 6.1%、「中央値の2分の1未満」では 20.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 5.3%、「ひとり親世帯全体」では 19.0%、「母子世帯のみ」では 18.8%となっている。

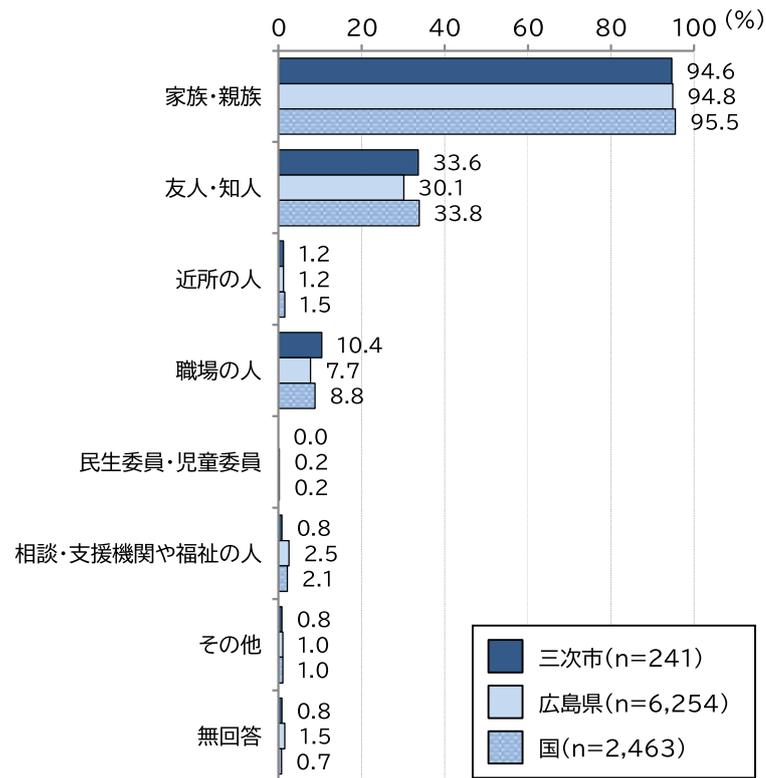
<重要な事柄の相談について「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手>

【小学生の保護者】



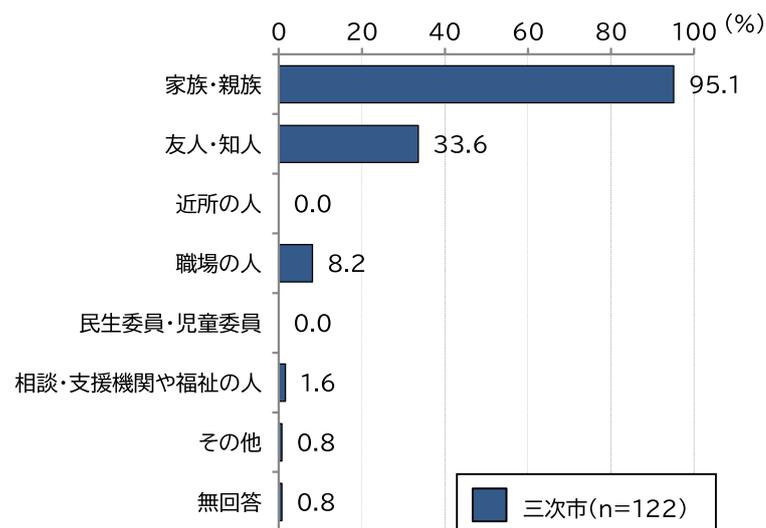
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学生の保護者では、「家族・親族」が 93.0%と最も高く、次いで「友人・知人」が 29.6%、「職場の人」が 7.7%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学生の保護者】



中学生の保護者では、「家族・親族」が 94.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が 33.6%、「職場の人」が 10.4%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

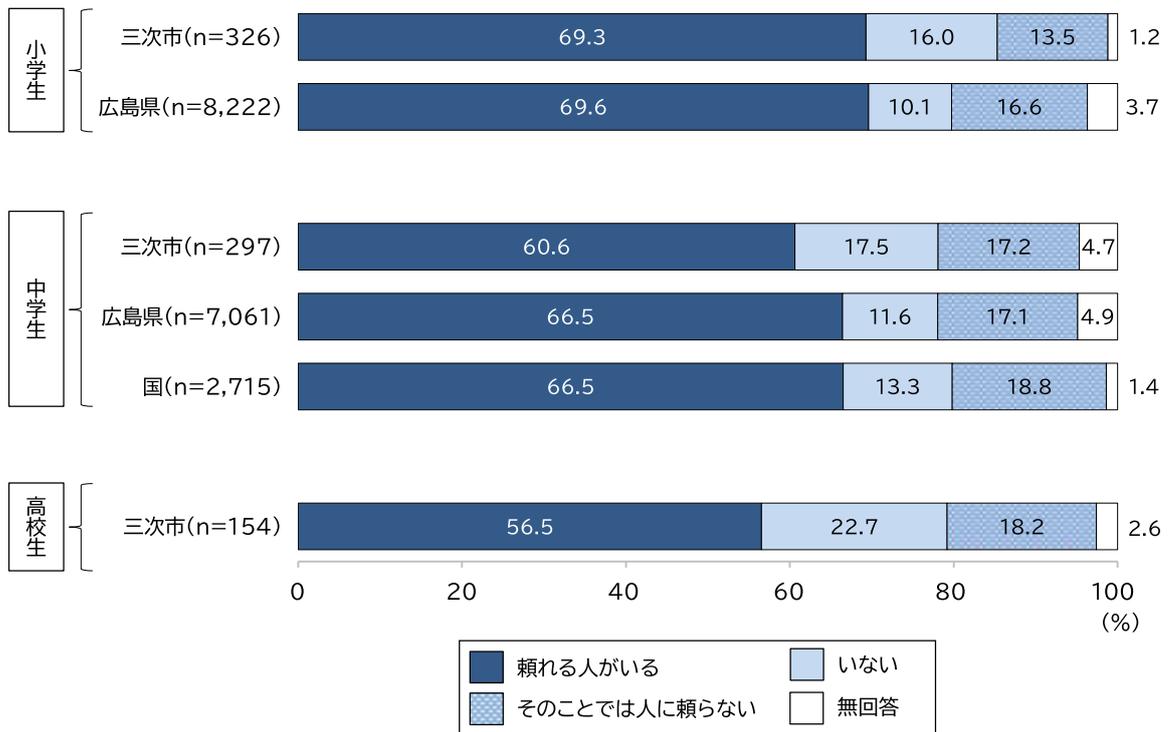
【高校生の保護者】



高校生の保護者では、「家族・親族」が 95.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が 33.6%、「職場の人」が 8.2%などの順となっている。

= いざという時のお金の援助 =

【全体】

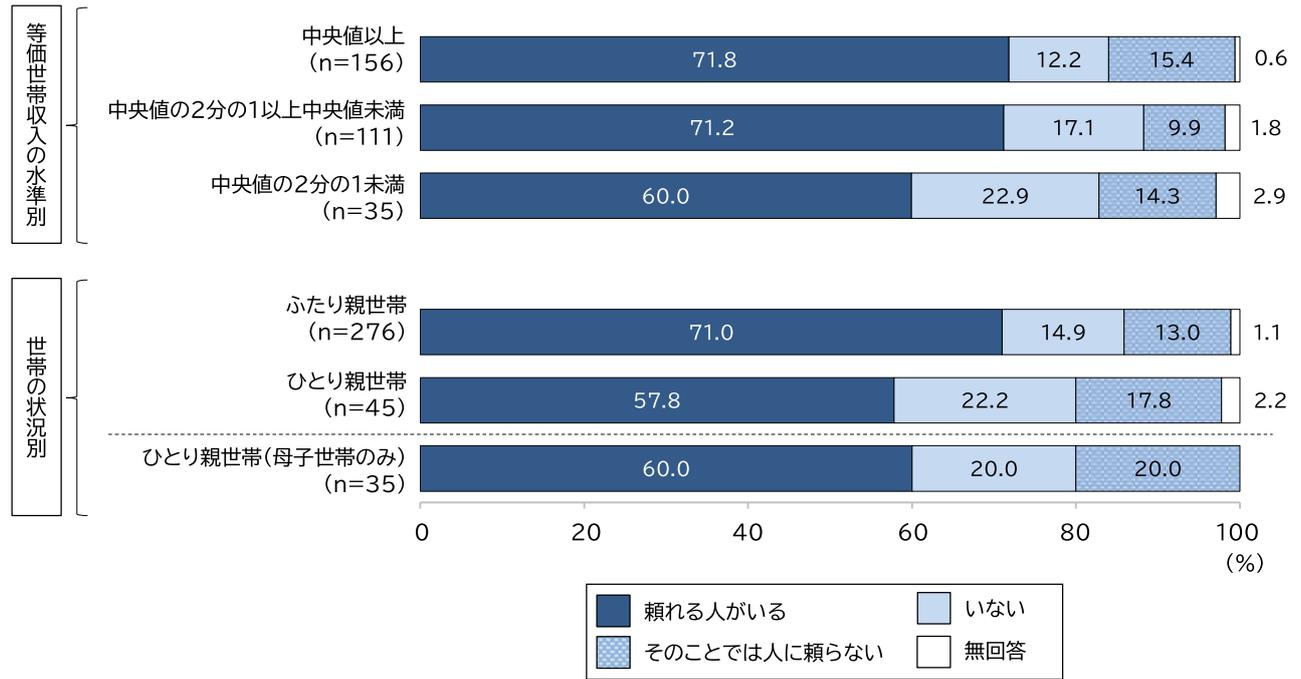


いざという時のお金の援助について、小学生の保護者では、「頼れる人がいる」が 69.3%、「いない」が 16.0%、「そのことでは人に頼らない」が 13.5%となっている。広島県と比較すると、「いない」は三次市 (16.0%)が広島県(10.1%)を 5.9 ポイント上回っている。

中学生の保護者では、「頼れる人がいる」が 60.6%、「いない」が 17.5%、「そのことでは人に頼らない」が 17.2%となっている。広島県と比較すると、「いない」は三次市(17.5%)が広島県(11.6%)を 5.9 ポイント上回っている。国と比較すると、「いない」は大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「頼れる人がいる」が 56.5%、「いない」が 22.7%、「そのことでは人に頼らない」が 18.2%となっている。

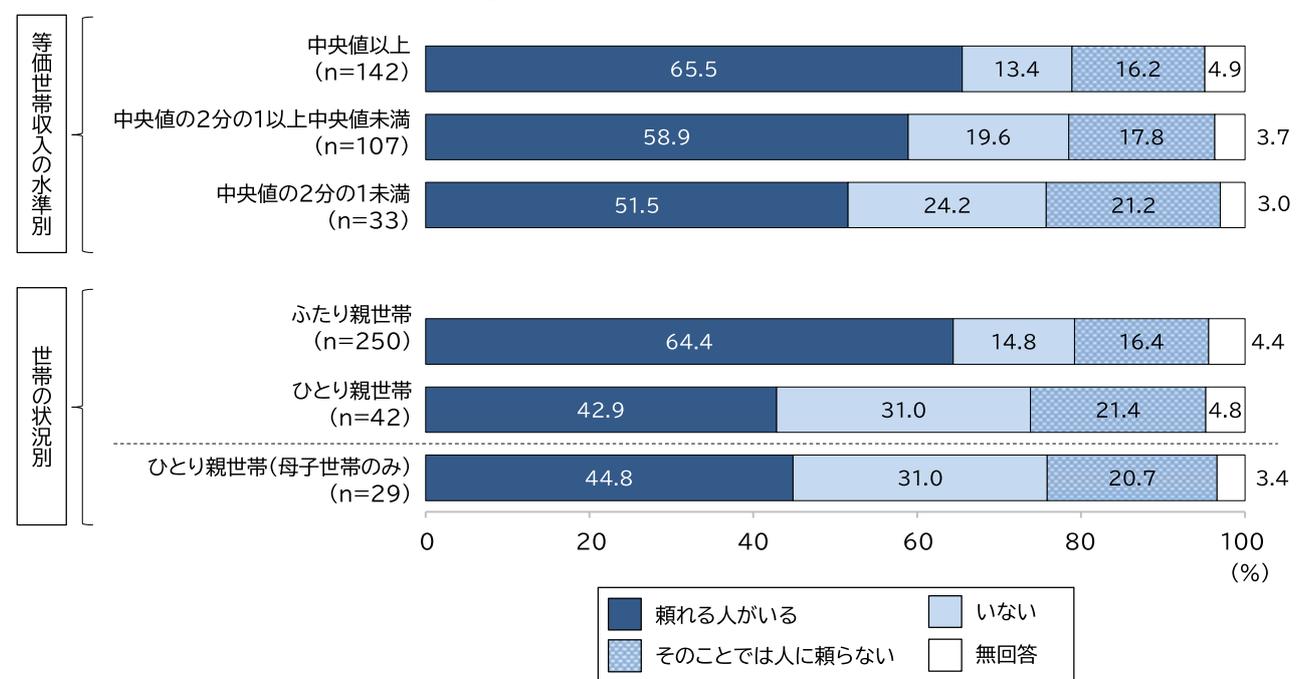
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 12.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 17.1%、「中央値の2分の1未満」では 22.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 14.9%、「ひとり親世帯全体」では 22.2%、「母子世帯のみ」では 20.0%となっている。

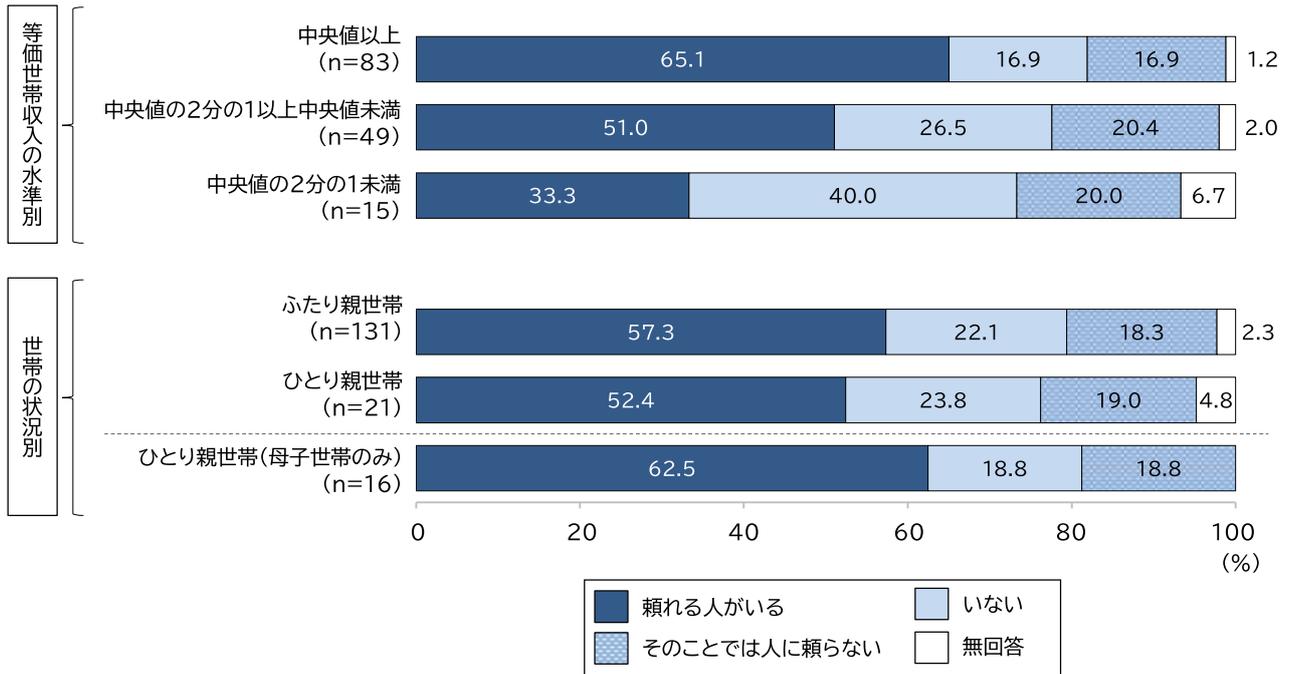
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 13.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 19.6%、「中央値の2分の1未満」では 24.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 14.8%、「ひとり親世帯全体」では 31.0%、「母子世帯のみ」では 31.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

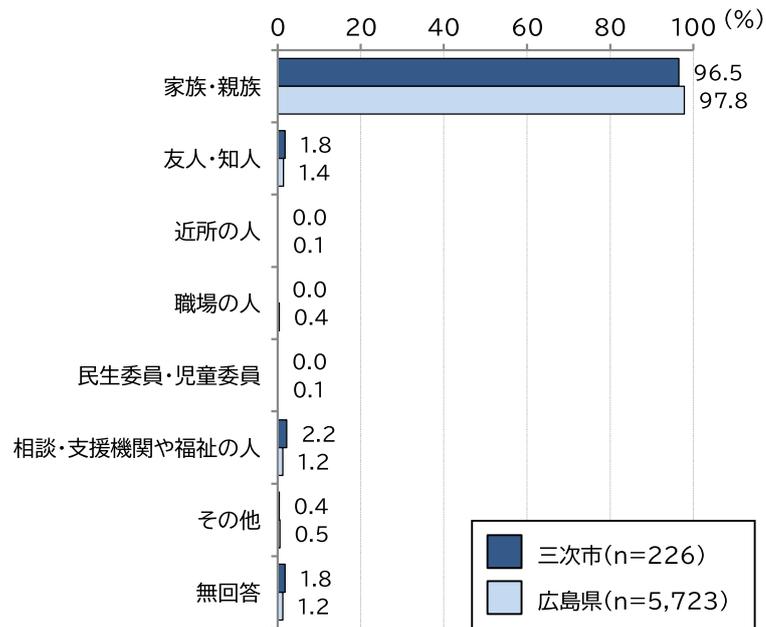


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 16.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 26.5%、「中央値の2分の1未満」では 40.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 22.1%、「ひとり親世帯全体」では 23.8%、「母子世帯のみ」では 18.8%となっている。

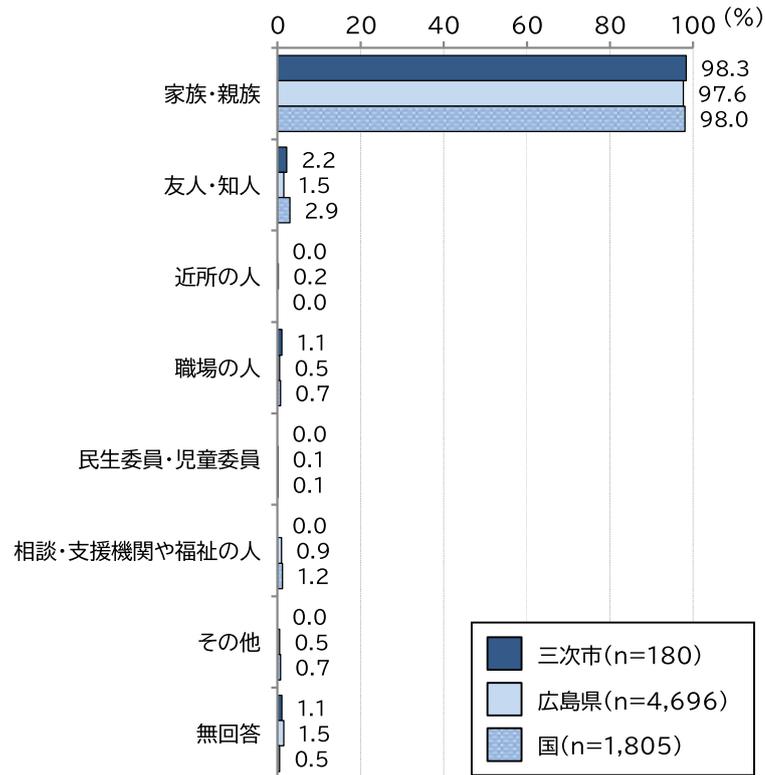
<いざという時のお金の援助について「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手>

【小学生の保護者】



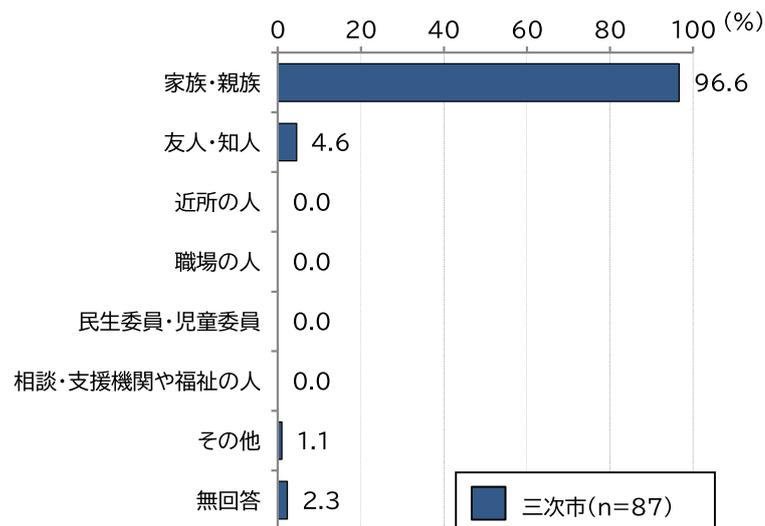
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学生の保護者では、「家族・親族」が 96.5%と最も高くなっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学生の保護者】



中学生の保護者では、「家族・親族」が 98.3%と最も高くなっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

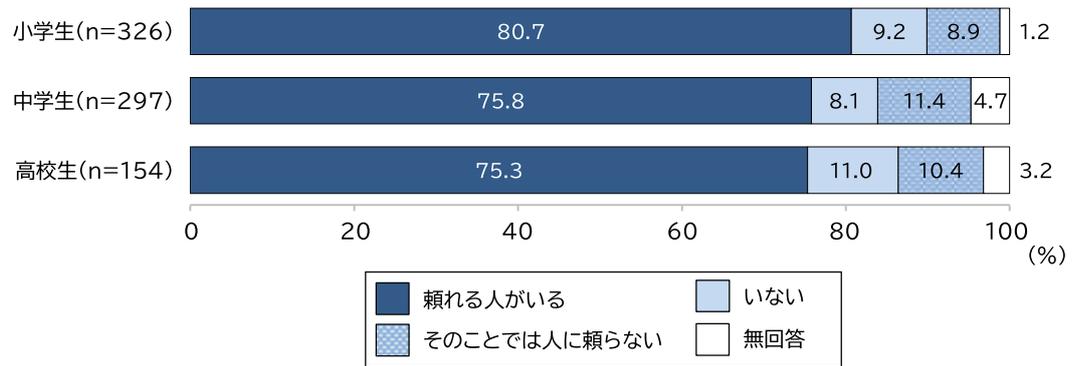
【高校生の保護者】



高校生の保護者では、「家族・親族」が 96.6%と最も高くなっている。

= 生活に関する相談 =

【全体】

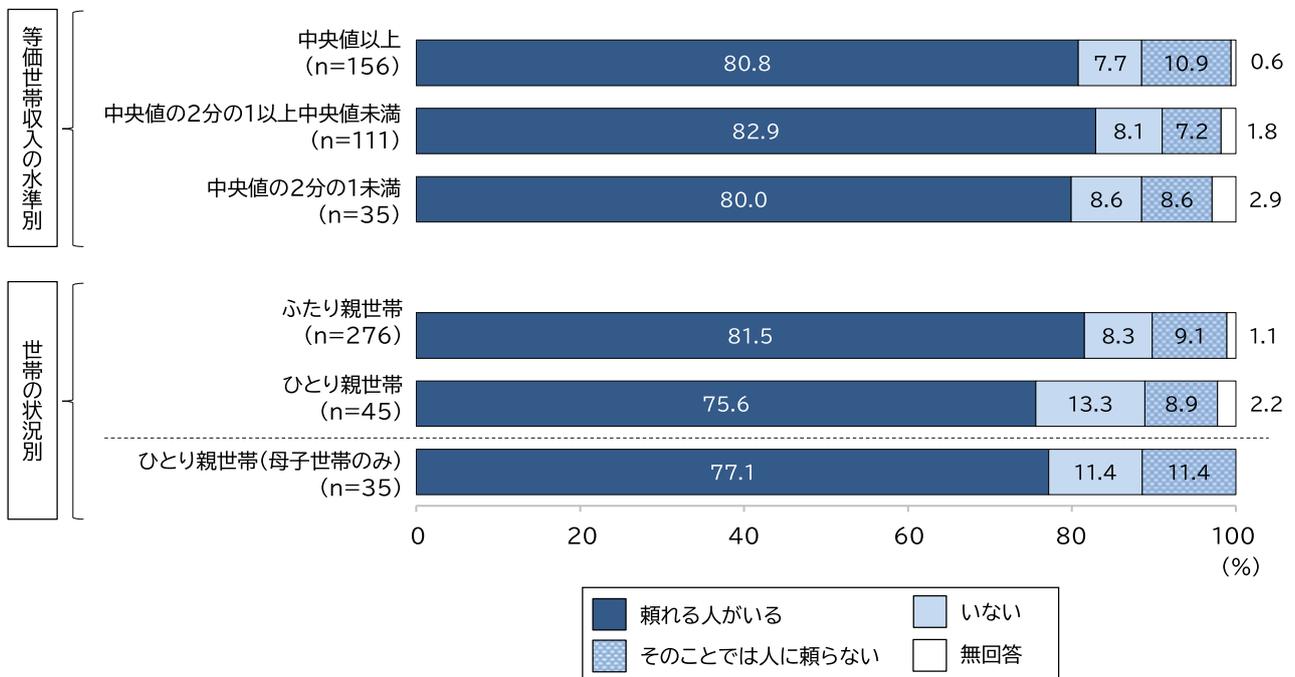


生活に関する相談について、小学生の保護者では、「頼れる人がいる」が 80.7%、「いない」が 9.2%、「そのことでは人に頼らない」が 8.9%となっている。

中学生の保護者では、「頼れる人がいる」が 75.8%、「いない」が 8.1%、「そのことでは人に頼らない」が 11.4%となっている。

高校生の保護者では、「頼れる人がいる」が 75.3%、「いない」が 11.0%、「そのことでは人に頼らない」が 10.4%となっている。

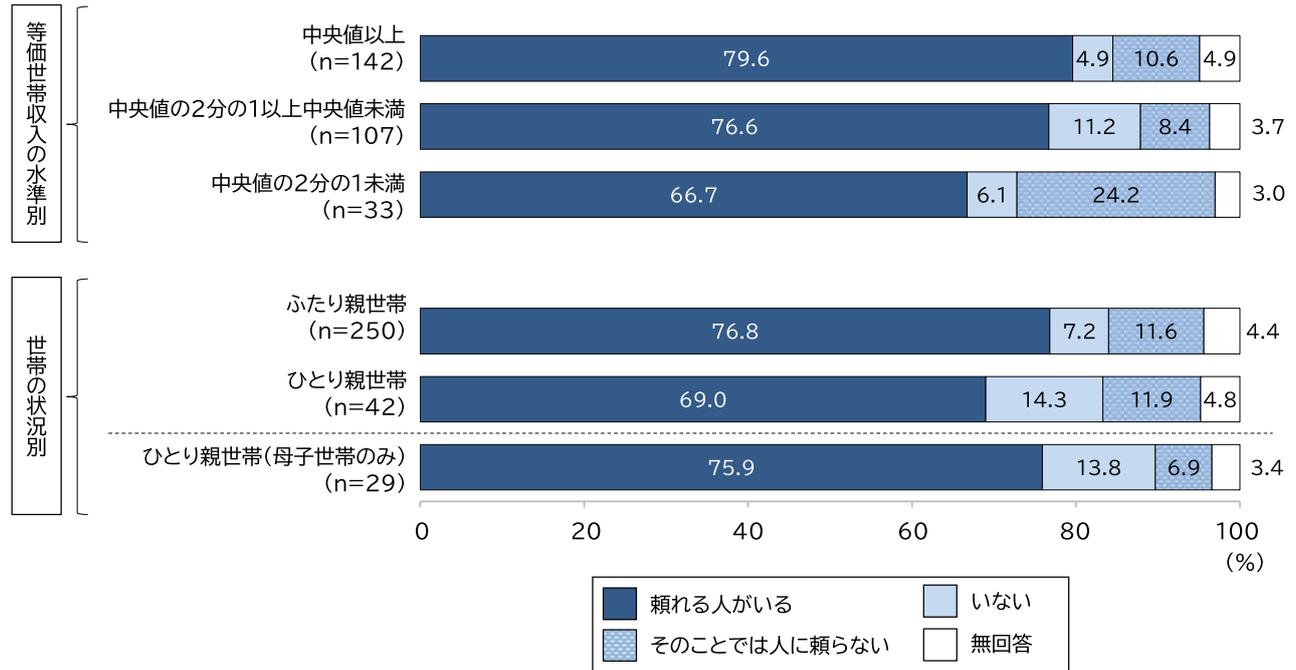
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 7.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 8.1%、「中央値の2分の1未満」では 8.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 8.3%、「ひとり親世帯全体」では 13.3%、「母子世帯のみ」では 11.4%となっている。

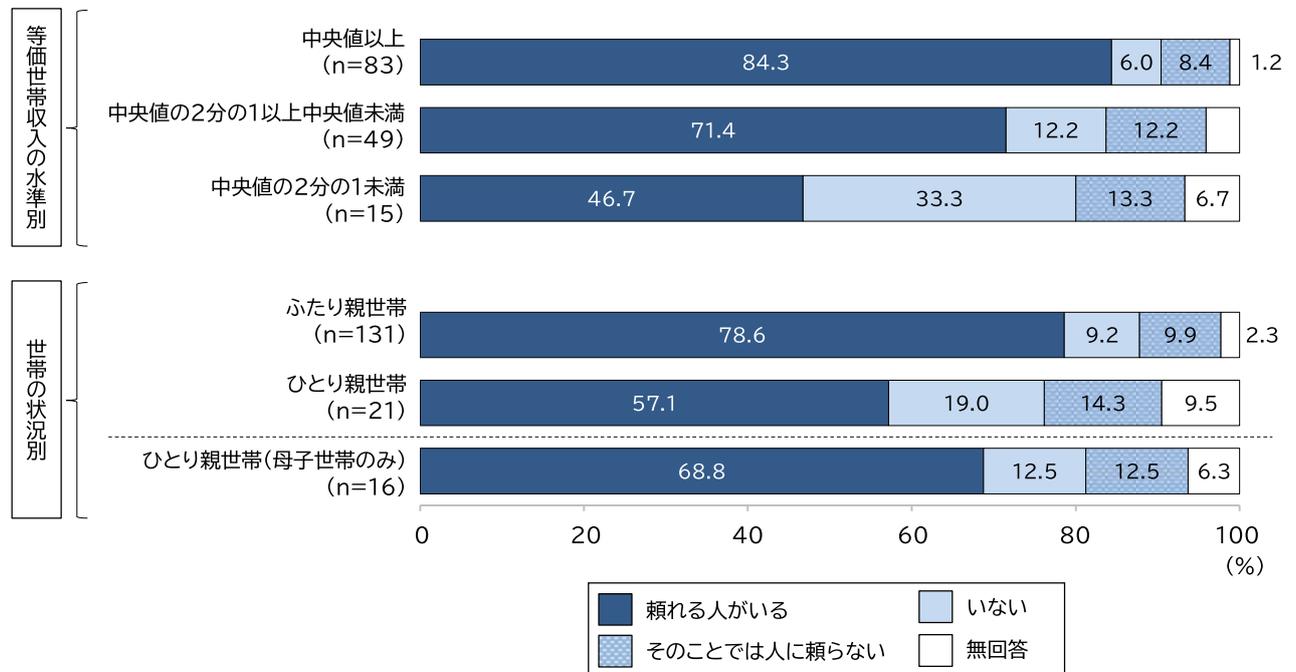
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 4.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 11.2%、「中央値の2分の1未満」では 6.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 7.2%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 13.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

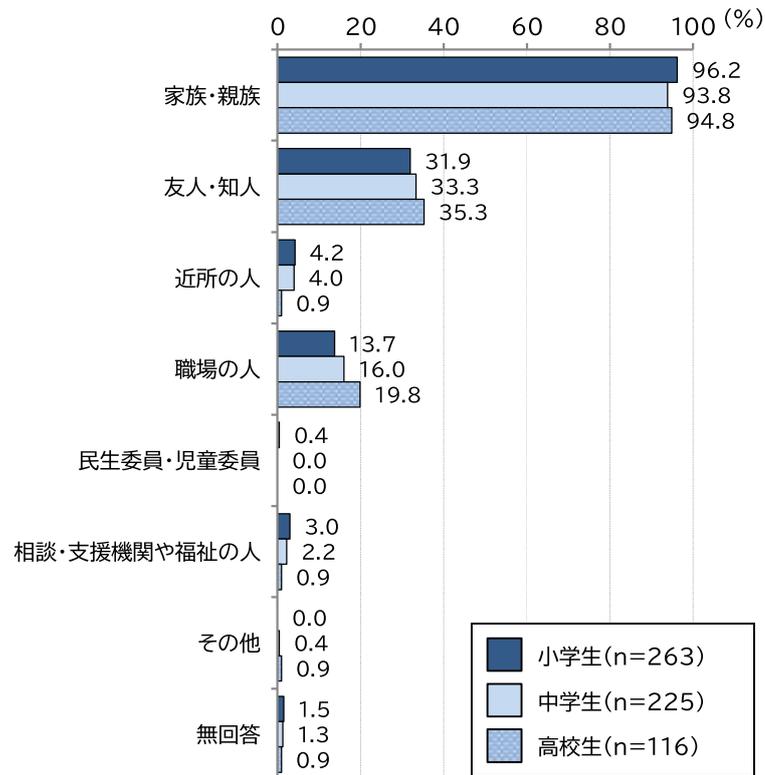


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 6.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 12.2%、「中央値の2分の1未満」では 33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 9.2%、「ひとり親世帯全体」では 19.0%、「母子世帯のみ」では 12.5%となっている。

<生活に関する相談について「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手>

【全体】



「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学生の保護者では、「家族・親族」が 96.2%と最も高く、次いで「友人・知人」が 31.9%、「職場の人」が 13.7%などの順となっている。

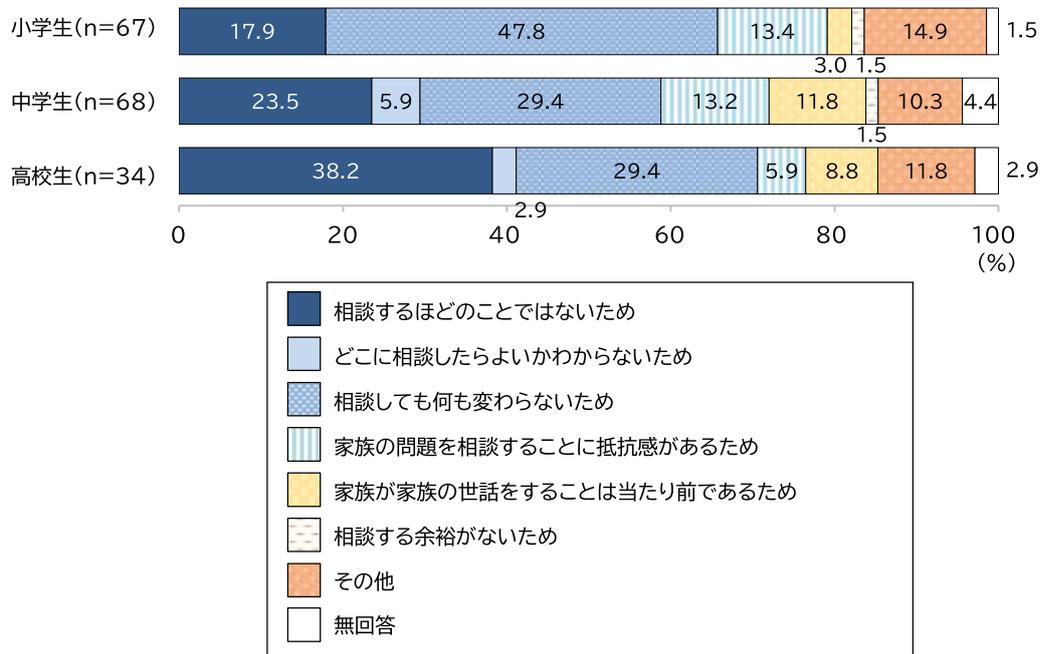
中学生の保護者では、「家族・親族」が 93.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が 33.3%、「職場の人」が 16.0%などの順となっている。

高校生の保護者では、「家族・親族」が 94.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が 35.3%、「職場の人」が 19.8%などの順となっている。

※問18で1つでも「3 そのことでは人に頼らない」と答えた方に

保護者票問19. その理由として、もっともあてはまるものをお答えください。(SA)

【全体】

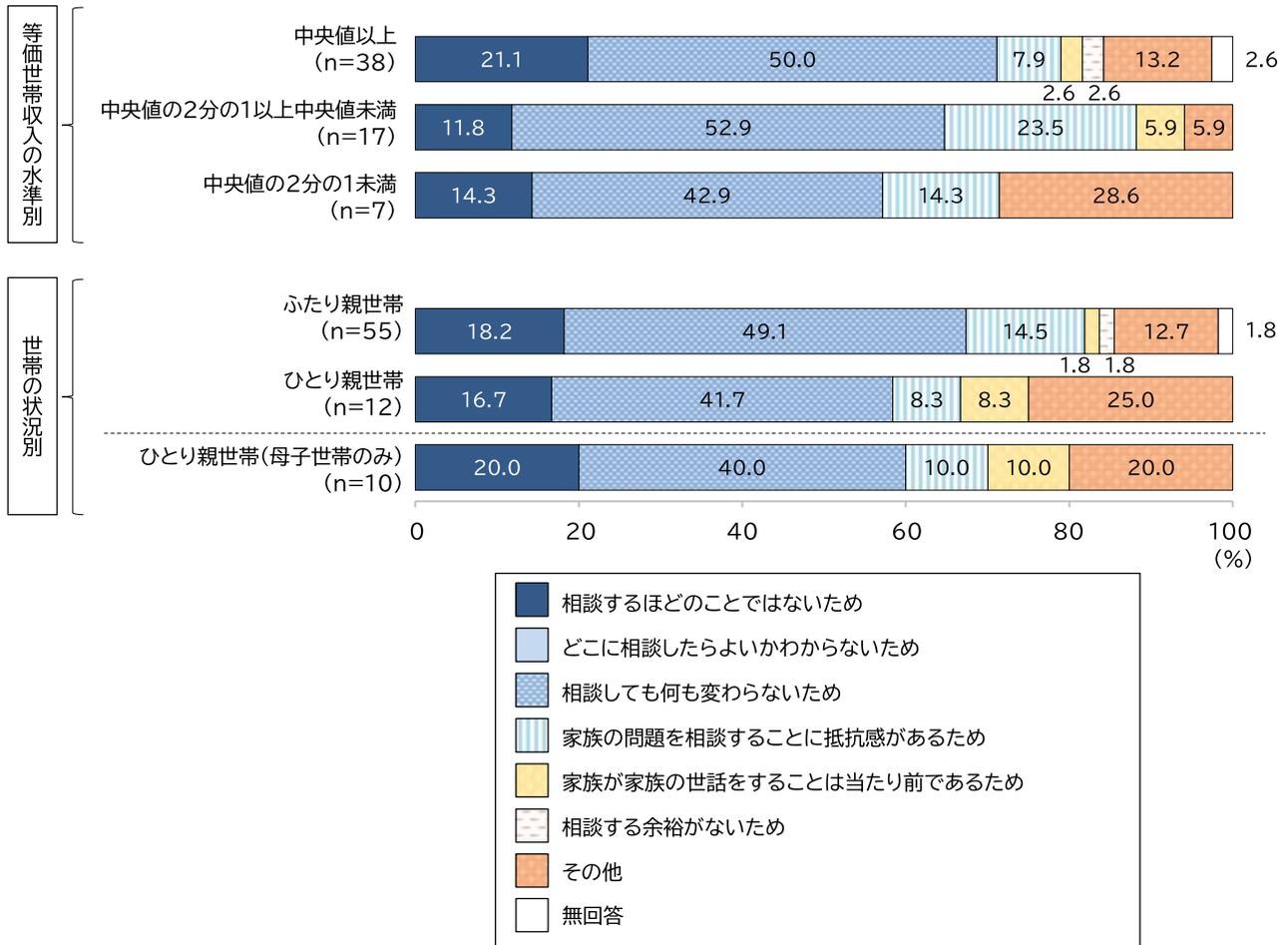


人に頼らない理由について、小学生の保護者では、「相談しても何も変わらないため」が47.8%と最も高く、次いで、「相談するほどのことではないため」(17.9%)、「家族の問題を相談することに抵抗感があるため」(13.4%)などの順となっている。

中学生の保護者では、「相談しても何も変わらないため」が29.4%と最も高く、次いで、「相談するほどのことではないため」(23.5%)、「家族の問題を相談することに抵抗感があるため」(13.2%)などの順となっている。

高校生の保護者では、「相談するほどのことではないため」が38.2%と最も高く、次いで、「相談しても何も変わらないため」(29.4%)、「家族が家族の世話をすることは当たり前であるため」(8.8%)などの順となっている。

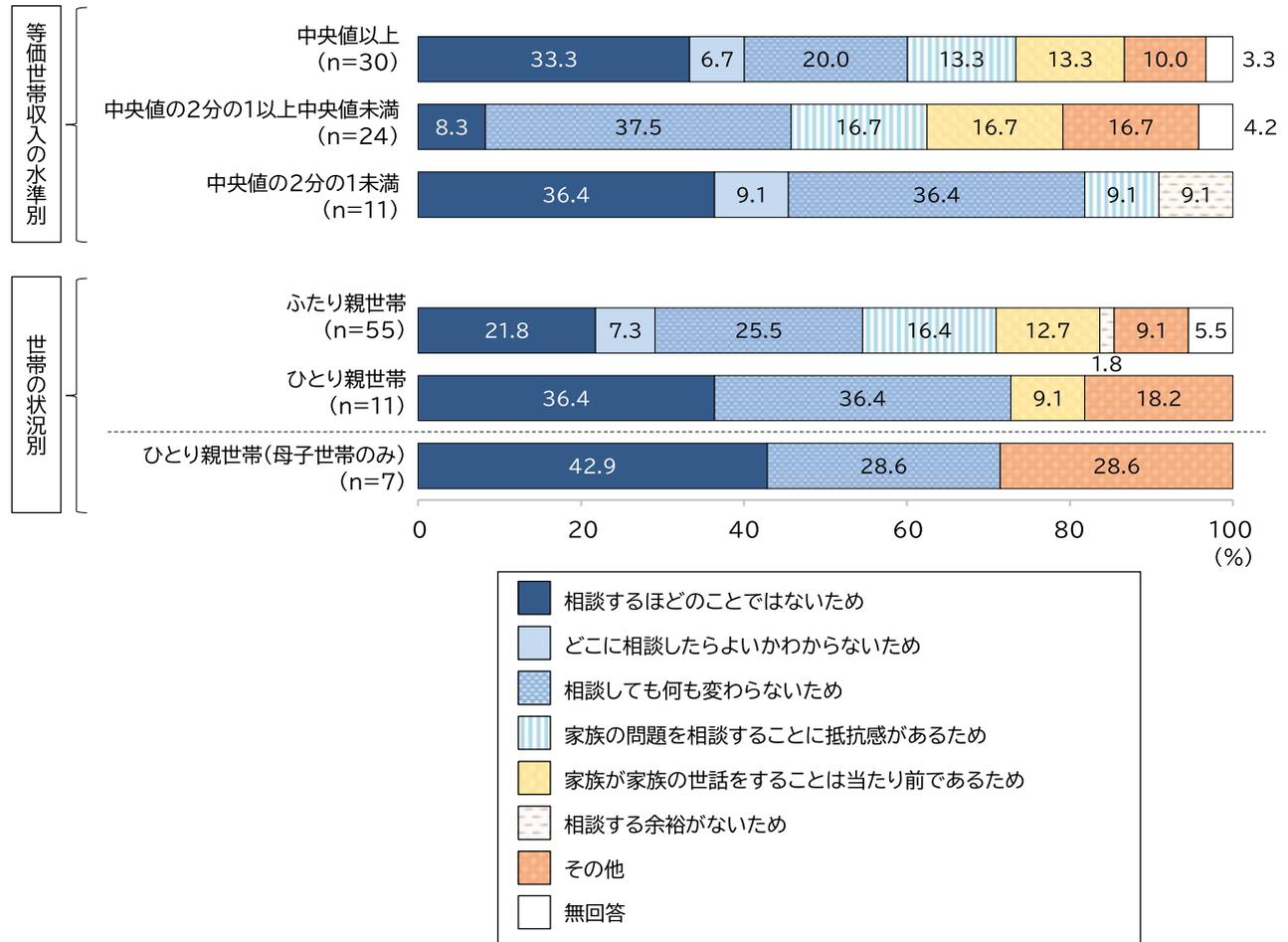
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族の問題を相談することに抵抗感があるため」は、「中央値以上」では 7.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 23.5%、「中央値の2分の1未満」では 14.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「家族の問題を相談することに抵抗感があるため」は、「ふたり親世帯」では 14.5%、「ひとり親世帯全体」では 8.3%、「母子世帯のみ」では 10.0%となっている。

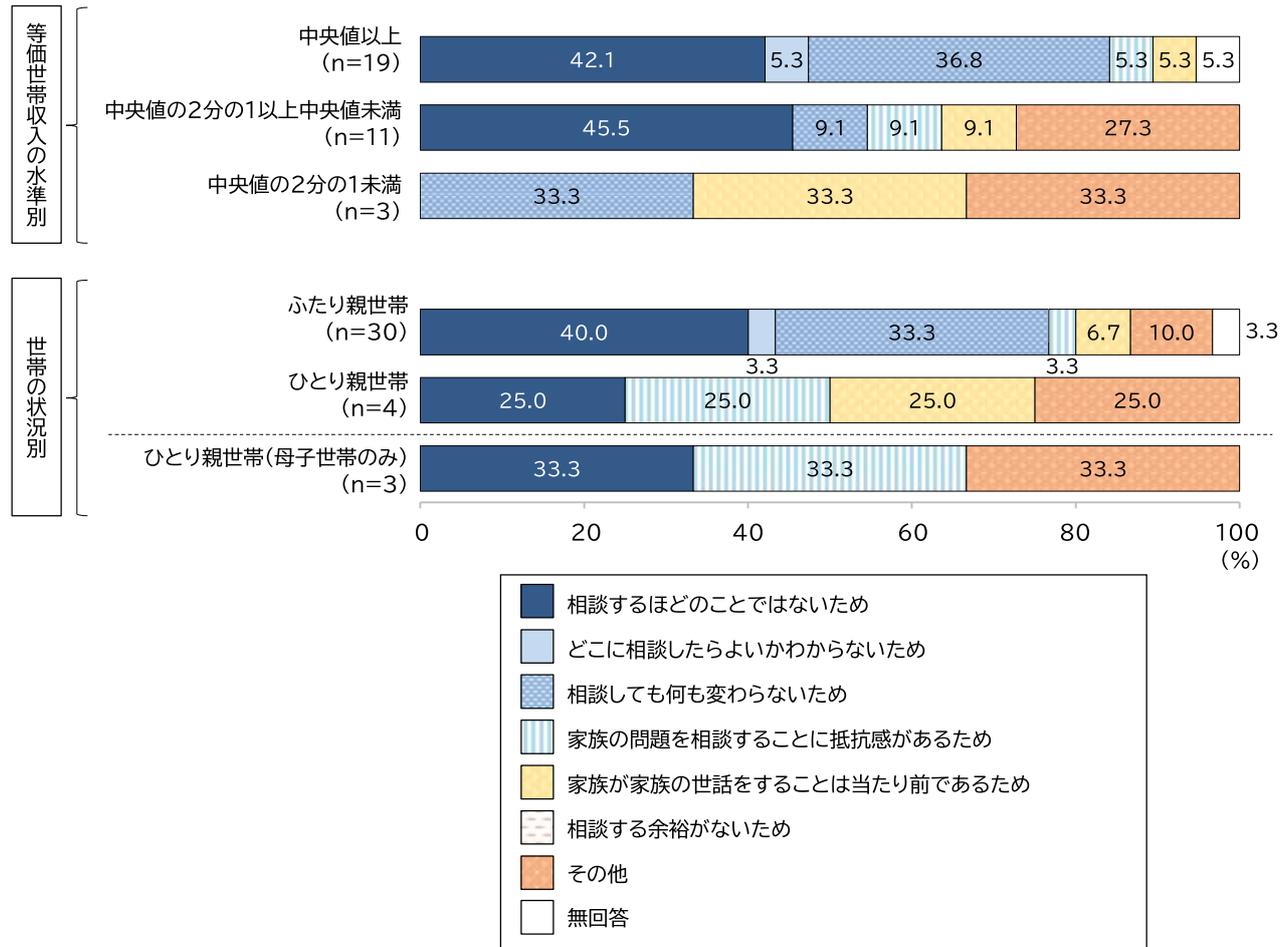
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族の問題を相談することに抵抗感があるため」は、「中央値以上」では13.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では16.7%、「中央値の2分の1未満」では9.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「家族の問題を相談することに抵抗感があるため」は、「ふたり親世帯」では16.4%、「ひとり親世帯全体」では0.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族の問題を相談することに抵抗感があるため」は、「中央値以上」では 5.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 9.1%、「中央値の2分の1未満」では 0.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「家族の問題を相談することに抵抗感があるため」は、「ふたり親世帯」では 3.3%、「ひとり親世帯全体」では 25.0%、「母子世帯のみ」では 33.3%となっている。

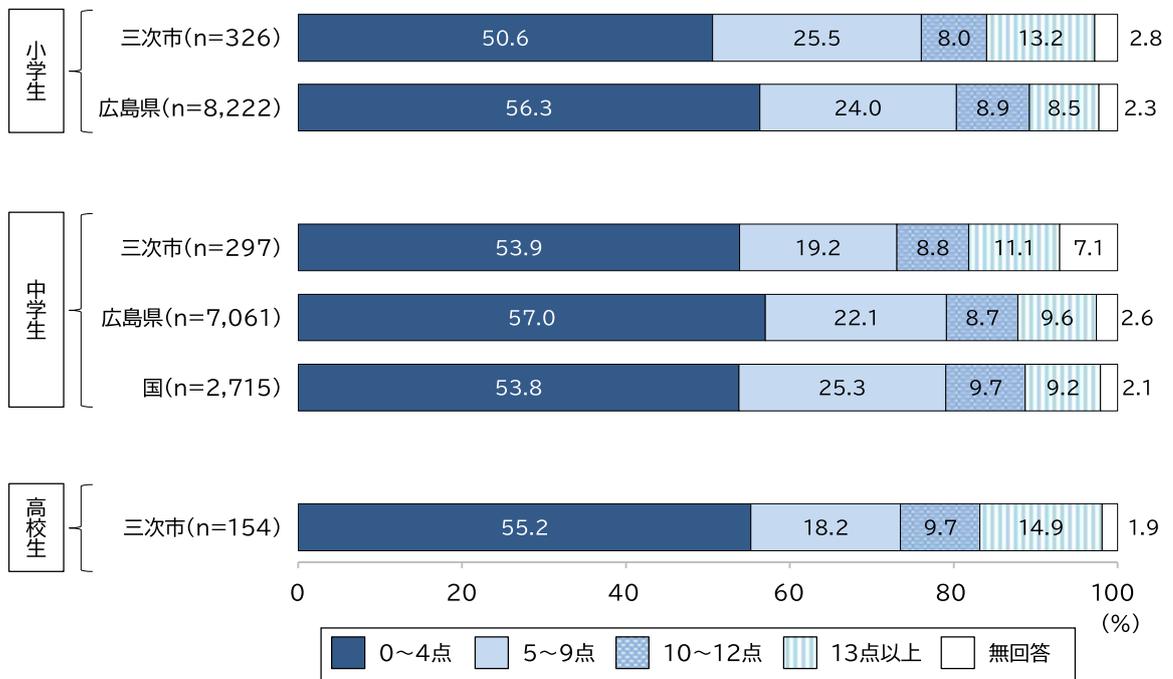
(8)心身の健康状態

保護者票問 25. 次の a~f の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。(SA)

- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
- e. 何をするのも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

「保護者の心理的な状態」に関して、本調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための6つの項目を設定した。採点方法は、1つの質問ごとに0点(「5 まったくない」)から4点(「1 いつも」)を振り、0点から 24点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。

【全体】

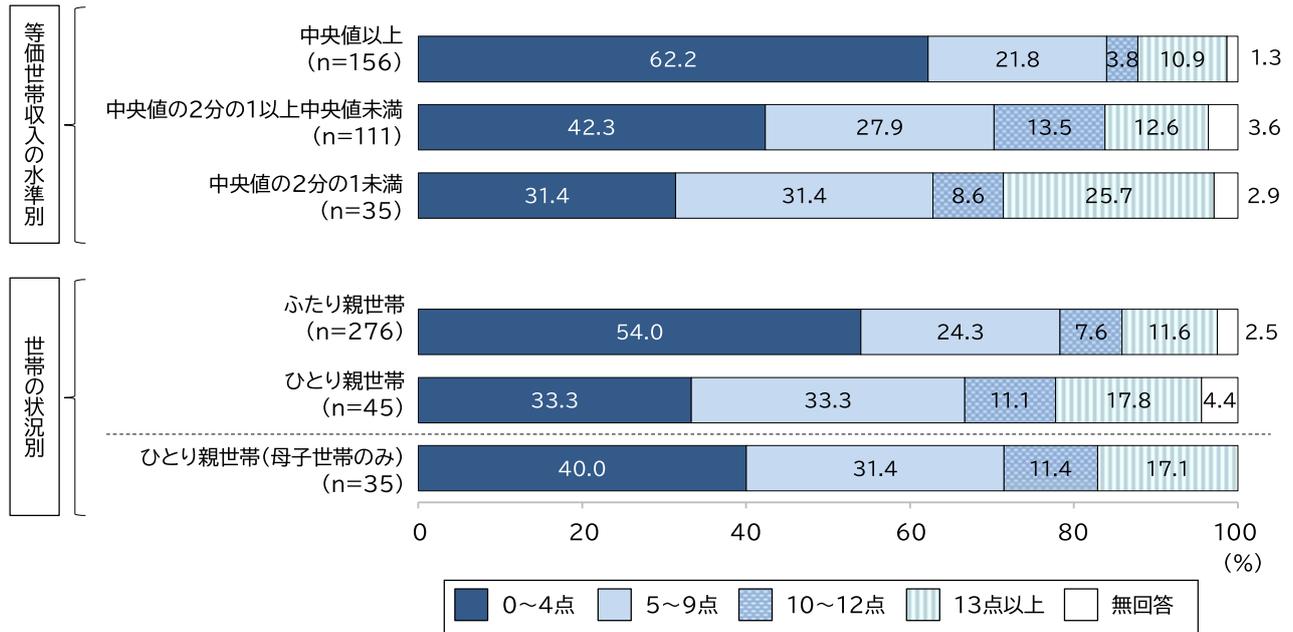


K6 のスコアについて、小学生の保護者では、「うつ・不安障害相当」とされている「13 点以上」は 13.2% となっている。広島県と比較すると、「13 点以上」は大きな差はみられない。

中学生の保護者では、「13 点以上」は 11.1%となっている。広島県、国と比較すると、「13 点以上」はどちらとも大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「13 点以上」は 14.9%となっている。

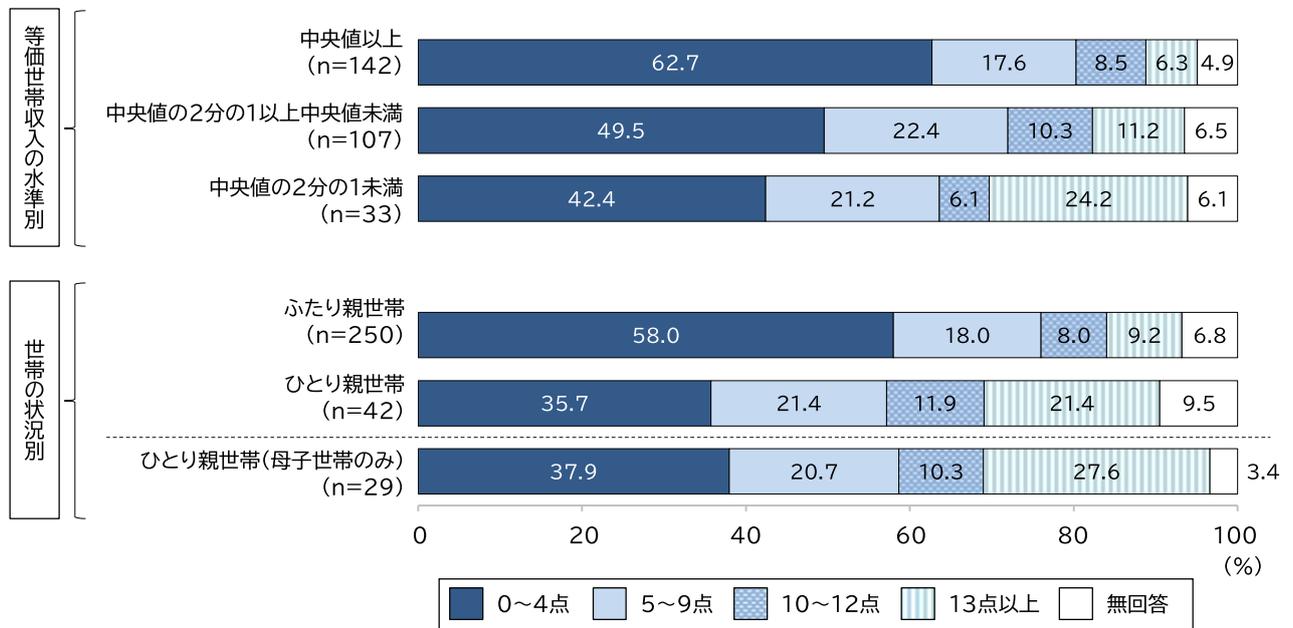
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別に見ると、「13 点以上」は、「中央値以上」では 10.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 12.6%、「中央値の2分の1未満」では 25.7%となっている。

世帯の状況別に見ると、「13 点以上」は、「ふたり親世帯」では 11.6%、「ひとり親世帯全体」では 17.8%、「母子世帯のみ」では 17.1%となっている。

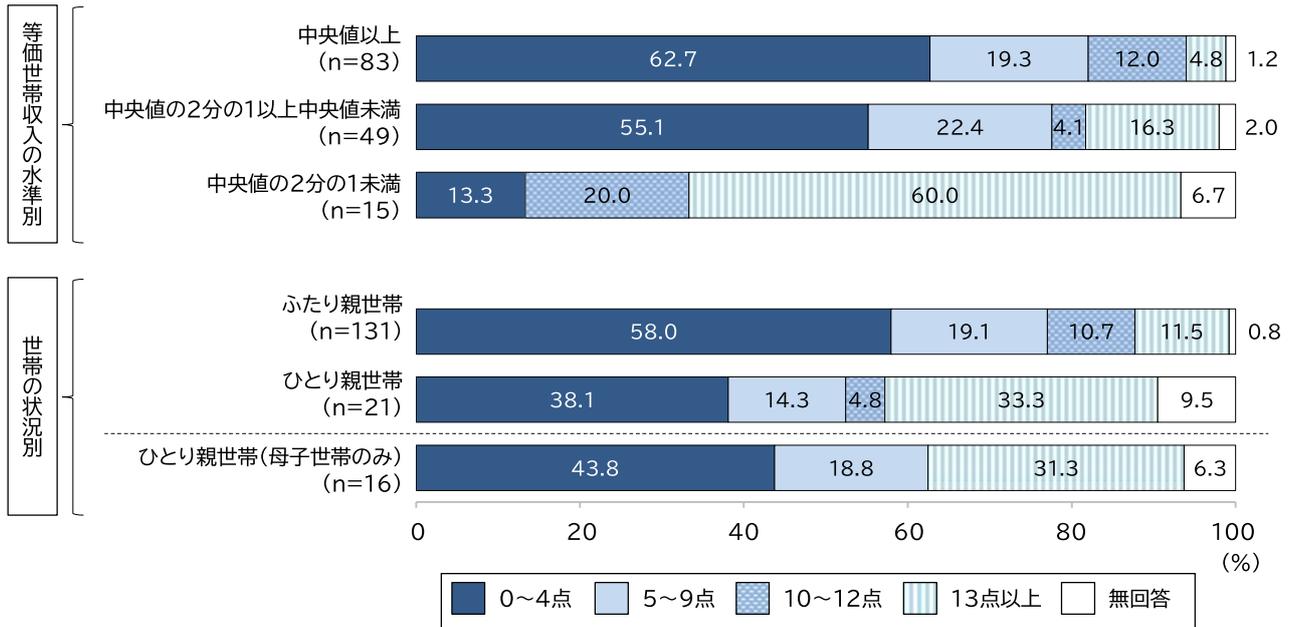
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別に見ると、「13 点以上」は、「中央値以上」では 6.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 11.2%、「中央値の2分の1未満」では 24.2%となっている。

世帯の状況別に見ると、「13 点以上」は、「ふたり親世帯」では 9.2%、「ひとり親世帯全体」では 21.4%、「母子世帯のみ」では 27.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



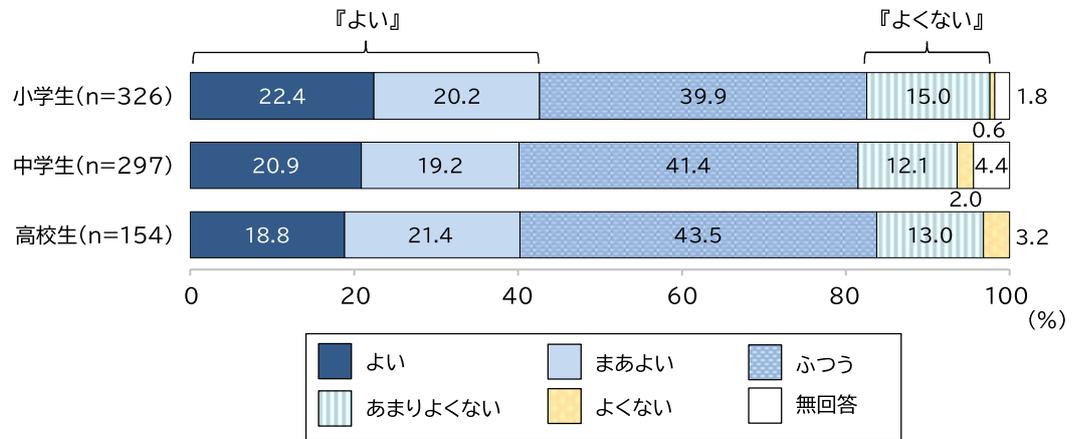
等価世帯収入の水準別にみると、「13 点以上」は、「中央値以上」では 4.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 16.3%、「中央値の2分の1未満」では 60.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「13 点以上」は、「ふたり親世帯」では 11.5%、「ひとり親世帯全体」では 33.3%、「母子世帯のみ」では 31.3%となっている。

保護者票問 27. あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。それぞれ、最も近いものを選んでください。(SA)

= あなた(回答者) =

【全体】

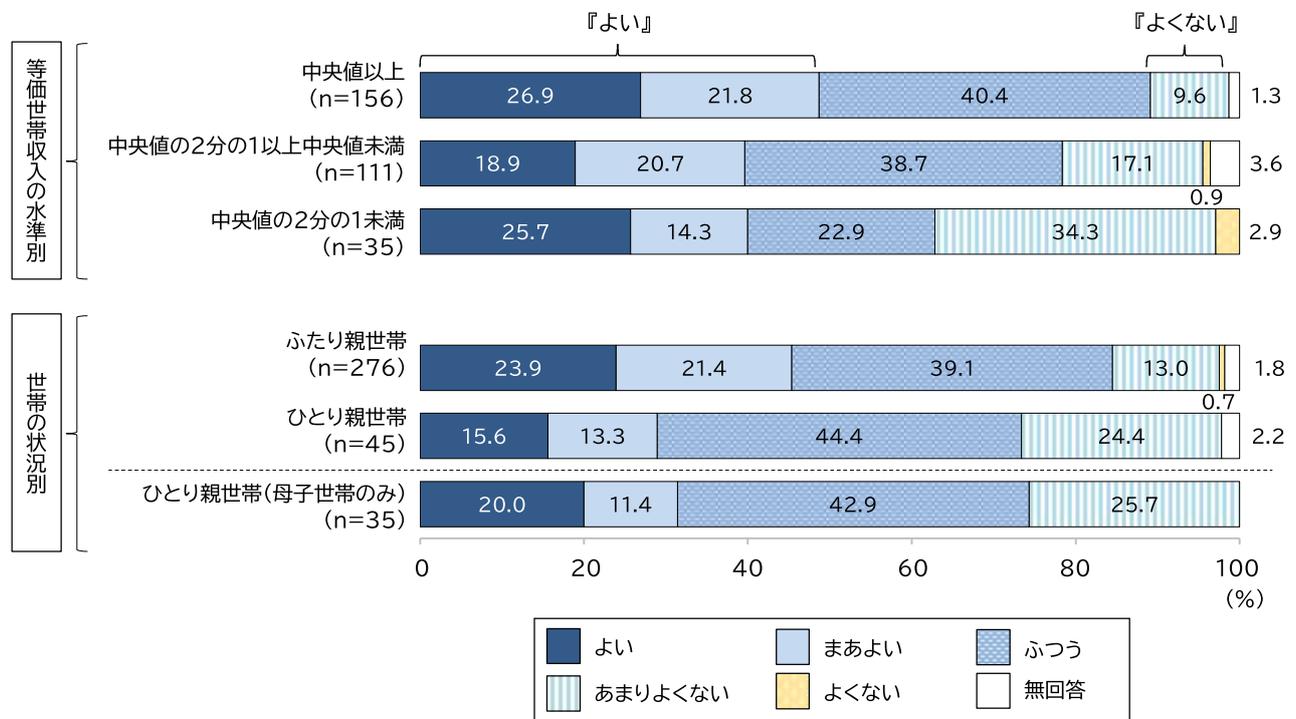


保護者の健康状態について、小学生の保護者では、『よい(「よい」と「まあよい」を合わせた割合)』が42.6%、「ふつう」が39.9%、『よくない(「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合)』が15.6%となっている。

中学生の保護者では、『よい』が40.1%、「ふつう」が41.4%、『よくない』が14.1%となっている。

高校生の保護者では、『よい』が40.2%、「ふつう」が43.5%、『よくない』が16.2%となっている。

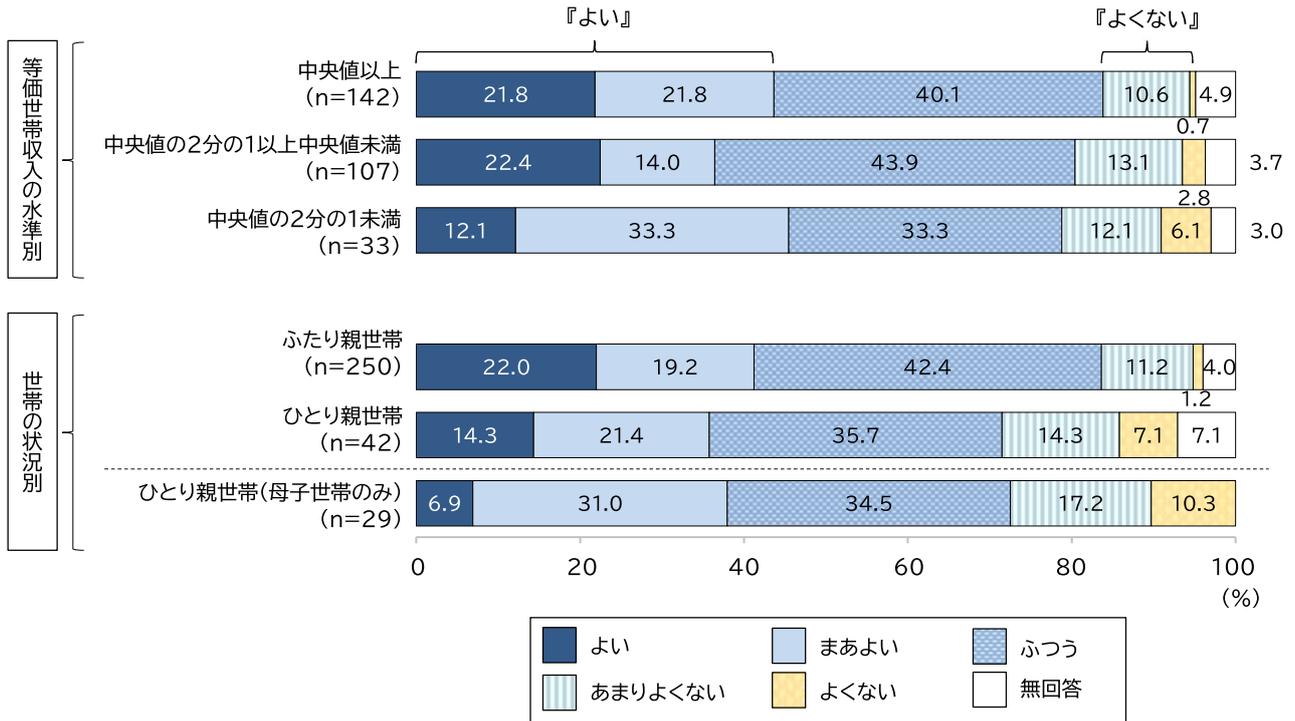
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『よくない』は、「中央値以上」では9.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では18.0%、「中央値の2分の1未満」では37.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『よくない』は、「ふたり親世帯」では13.7%、「ひとり親世帯全体」では24.4%、「母子世帯のみ」では25.7%となっている。

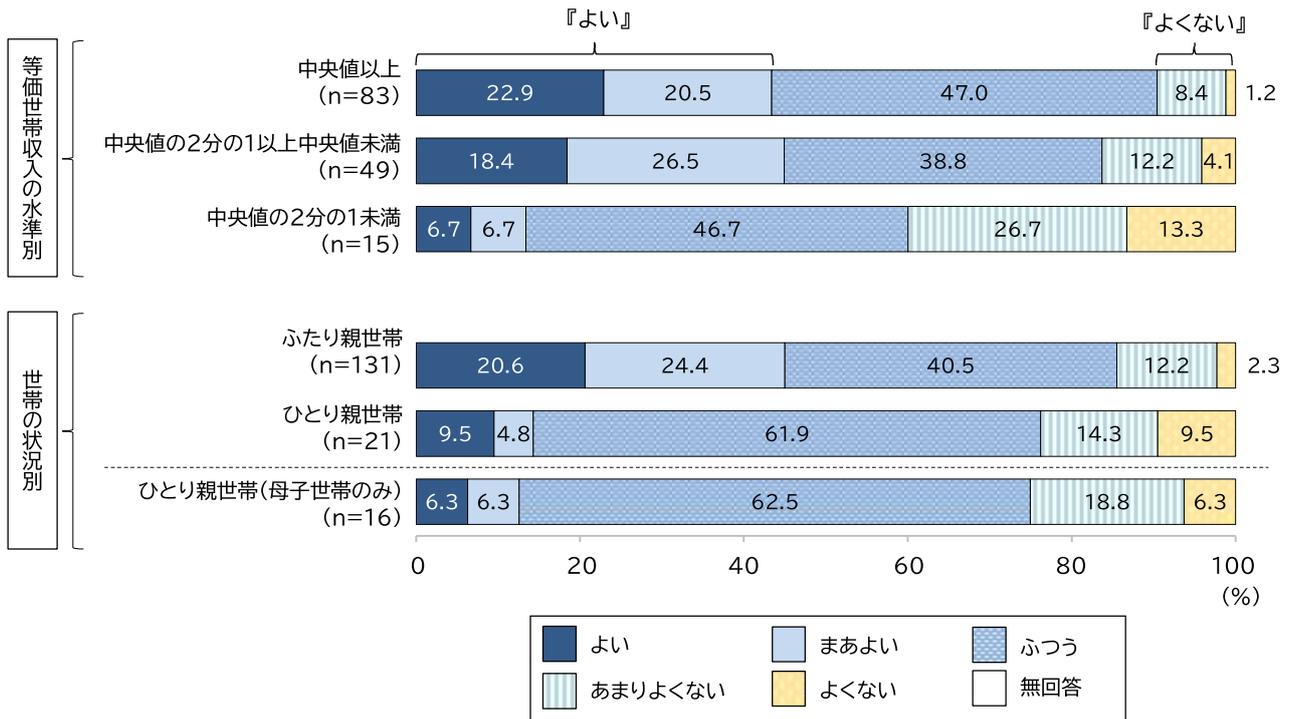
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『よくない』は、「中央値以上」では11.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では15.9%、「中央値の2分の1未満」では18.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『よくない』は、「ふたり親世帯」では12.4%、「ひとり親世帯全体」では21.4%、「母子世帯のみ」では27.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】

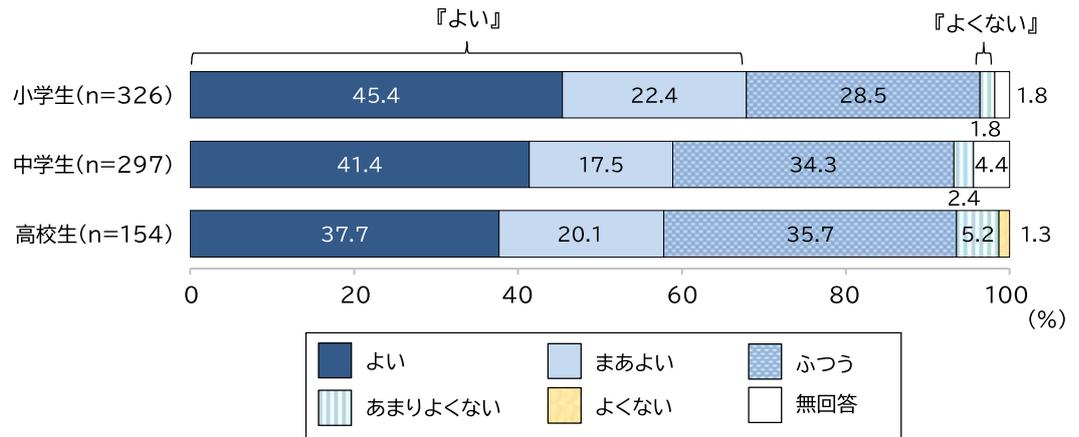


等価世帯収入の水準別にみると、『よくない』は、「中央値以上」では 9.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 16.3%、「中央値の2分の1未満」では 40.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『よくない』は、「ふたり親世帯」では 14.5%、「ひとり親世帯全体」では 23.8%、「母子世帯のみ」では 25.1%となっている。

= お子さん =

【全体】

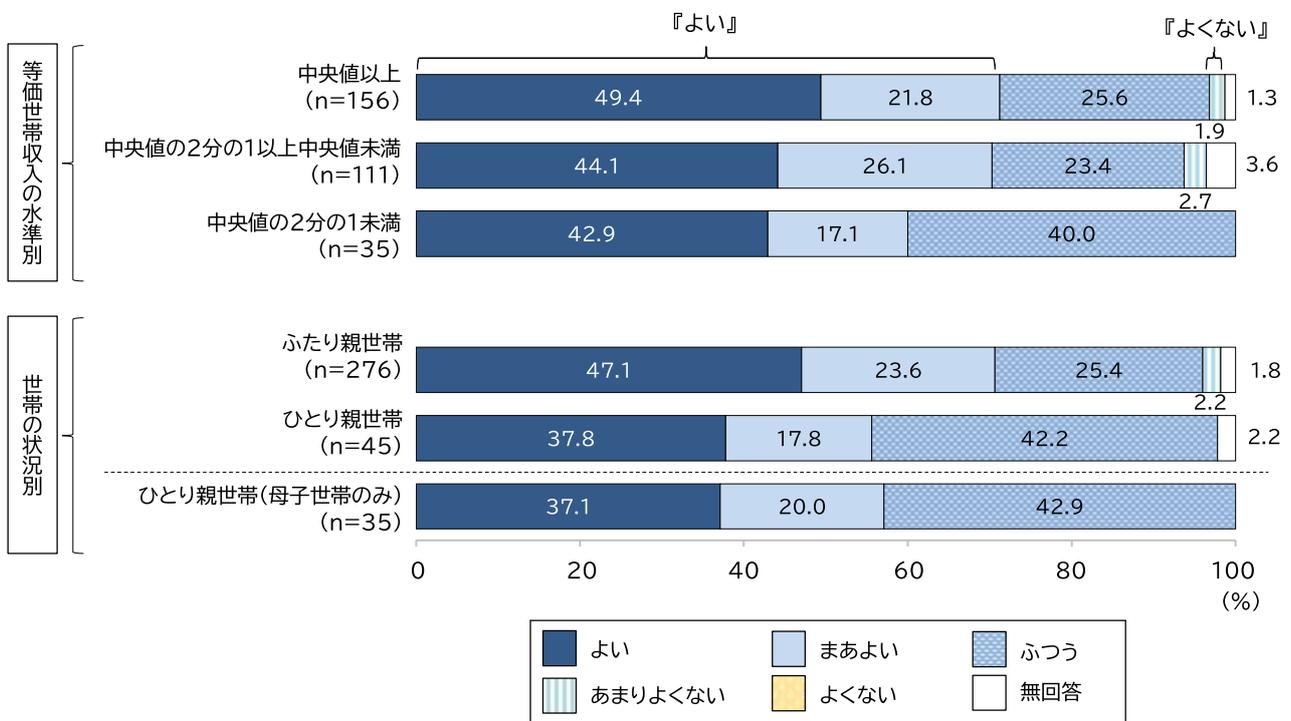


保護者からみた子どもの健康状態について、小学生では、『よい』が 67.8%、「ふつう」が 28.5%、『よくない』が 1.8%となっている。

中学生では、『よい』が 58.9%、「ふつう」が 34.3%、『よくない』が 2.4%となっている。

高校生では、『よい』が 57.8%、「ふつう」が 35.7%、『よくない』が 6.5%となっている。

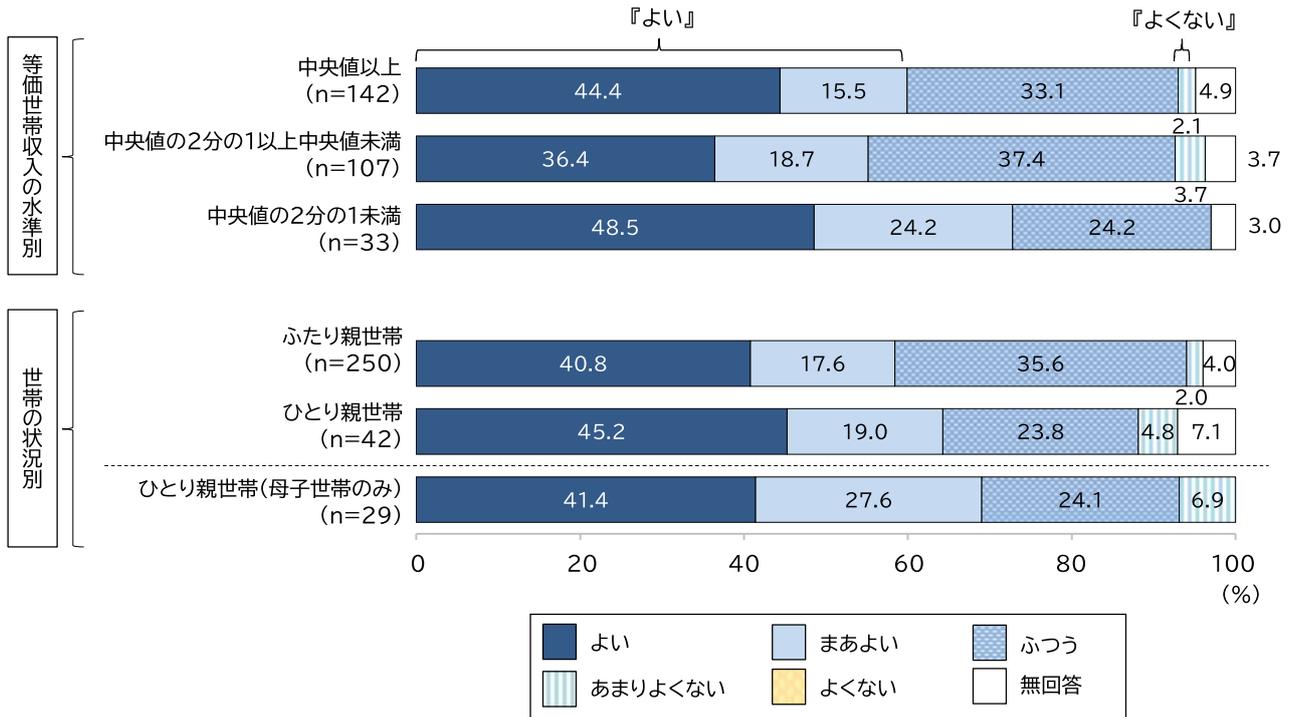
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『よくない』は、「中央値以上」では 1.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 2.7%、「中央値の2分の1未満」では 0.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『よくない』は、「ふたり親世帯」では 2.2%、「ひとり親世帯全体」では 0.0%となっている。

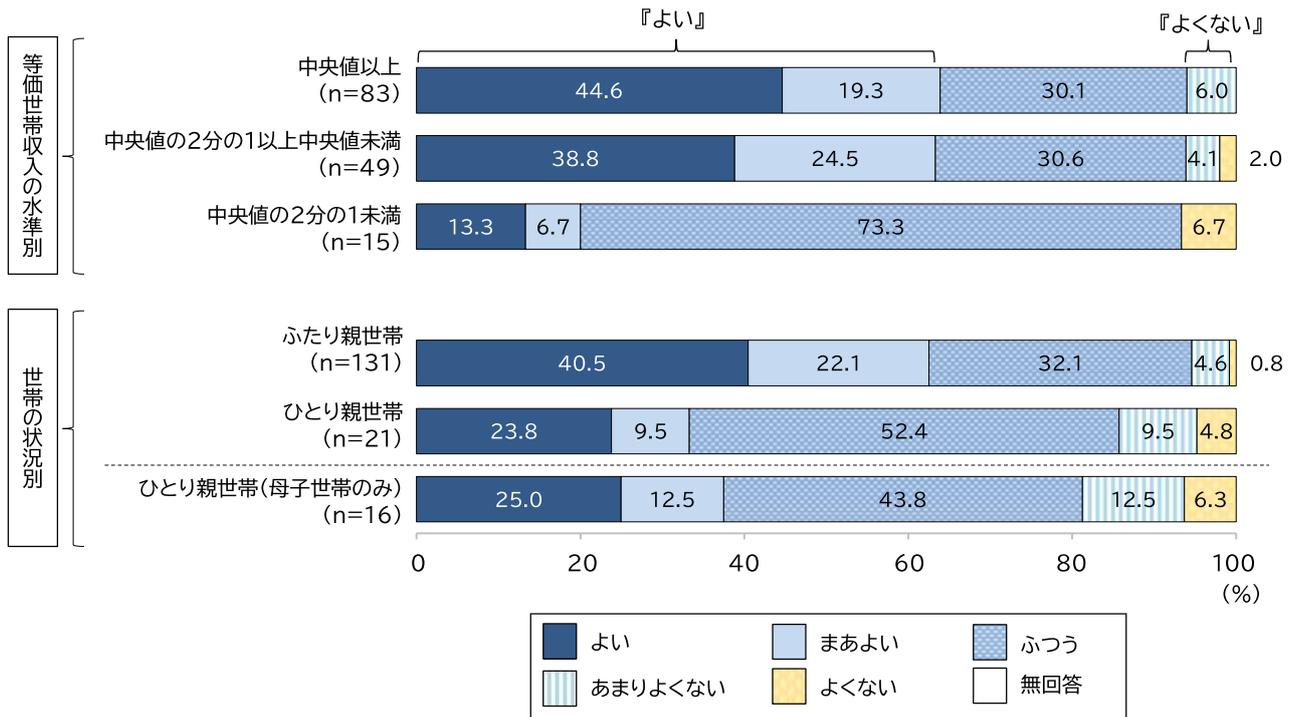
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『よくない』は、「中央値以上」では 2.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 3.7%、「中央値の2分の1未満」では 0.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『よくない』は、「ふたり親世帯」では 2.0%、「ひとり親世帯全体」では 4.8%、「母子世帯のみ」では 6.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】

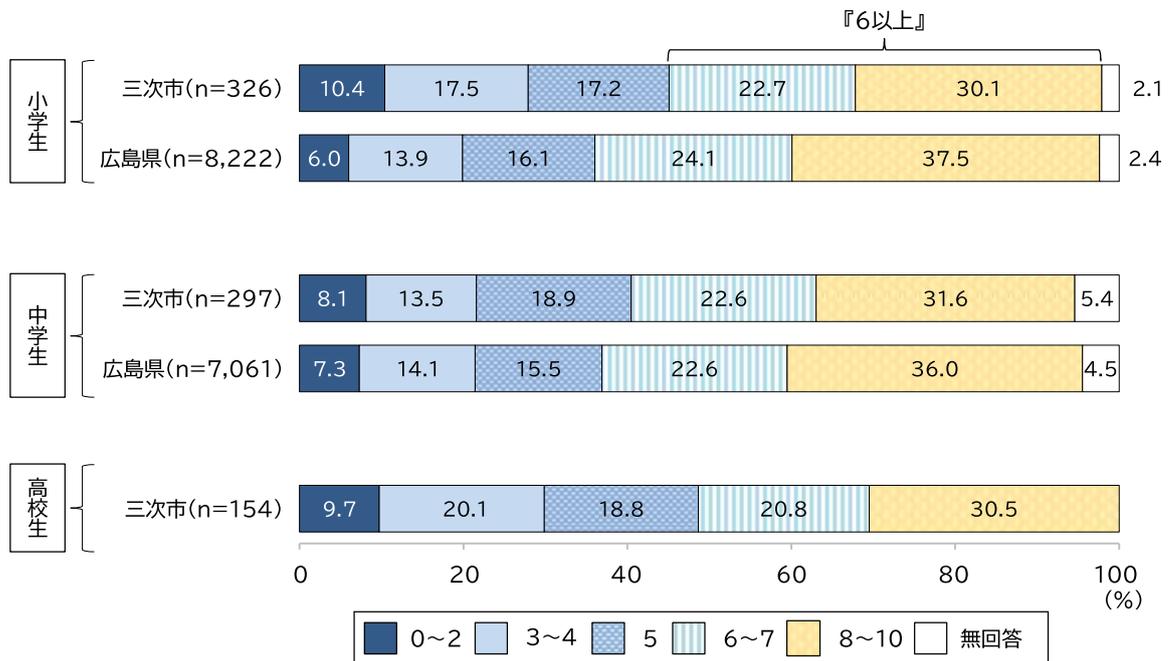


等価世帯収入の水準別にみると、『よくない』は、「中央値以上」では 6.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 6.1%、「中央値の2分の1未満」では 6.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『よくない』は、「ふたり親世帯」では 5.4%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 18.8%となっている。

保護者票問 26. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(SA)  
「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。

【全体】

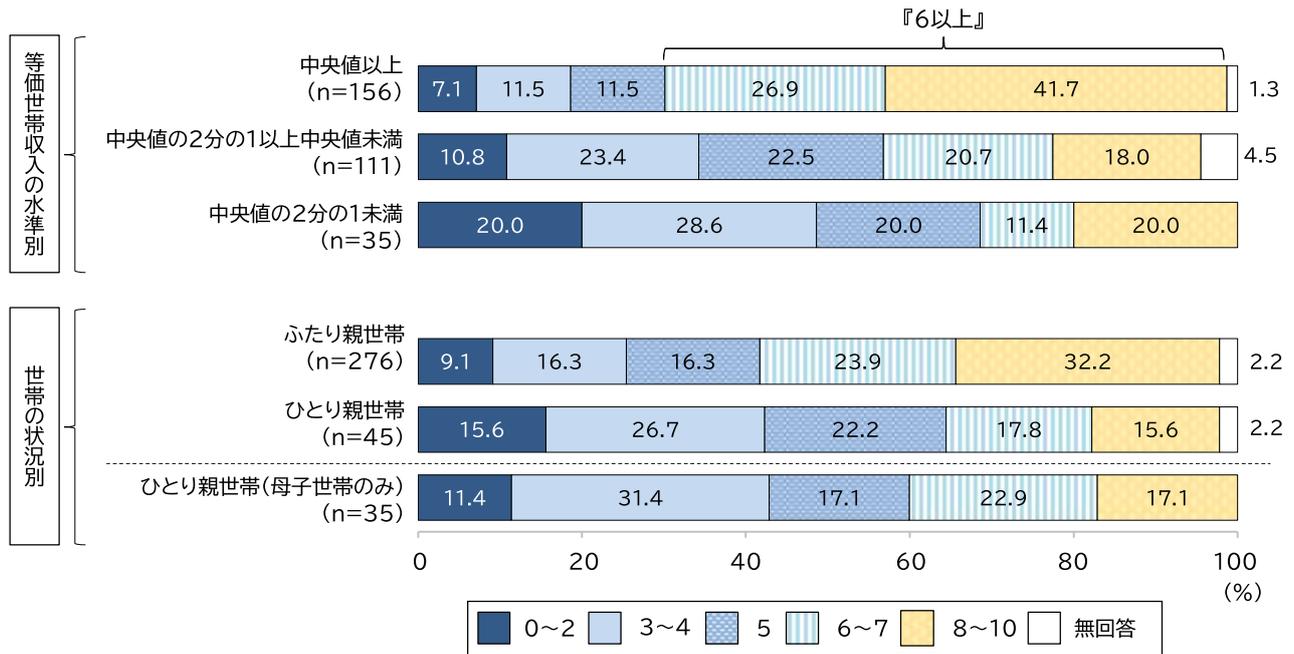


最近の生活の満足度について、小学生の保護者では、「0~2」が 10.4%、「3~4」が 17.5%、「5」が 17.2%、「6~7」が 22.7%、「8~10」が 30.1%となっている。広島県と比較すると、『6以上(「6~7」と「8~10」を合わせた割合)』は三次市(52.8%)が広島県(61.6%)を 8.8 ポイント下回っている。

中学生の保護者では、「0~2」が 8.1%、「3~4」が 13.5%、「5」が 18.9%、「6~7」が 22.6%、「8~10」が 31.6%となっている。広島県と比較すると、『6以上』は大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「0~2」が 9.7%、「3~4」が 20.1%、「5」が 18.8%、「6~7」が 20.8%、「8~10」が 30.5%となっている。

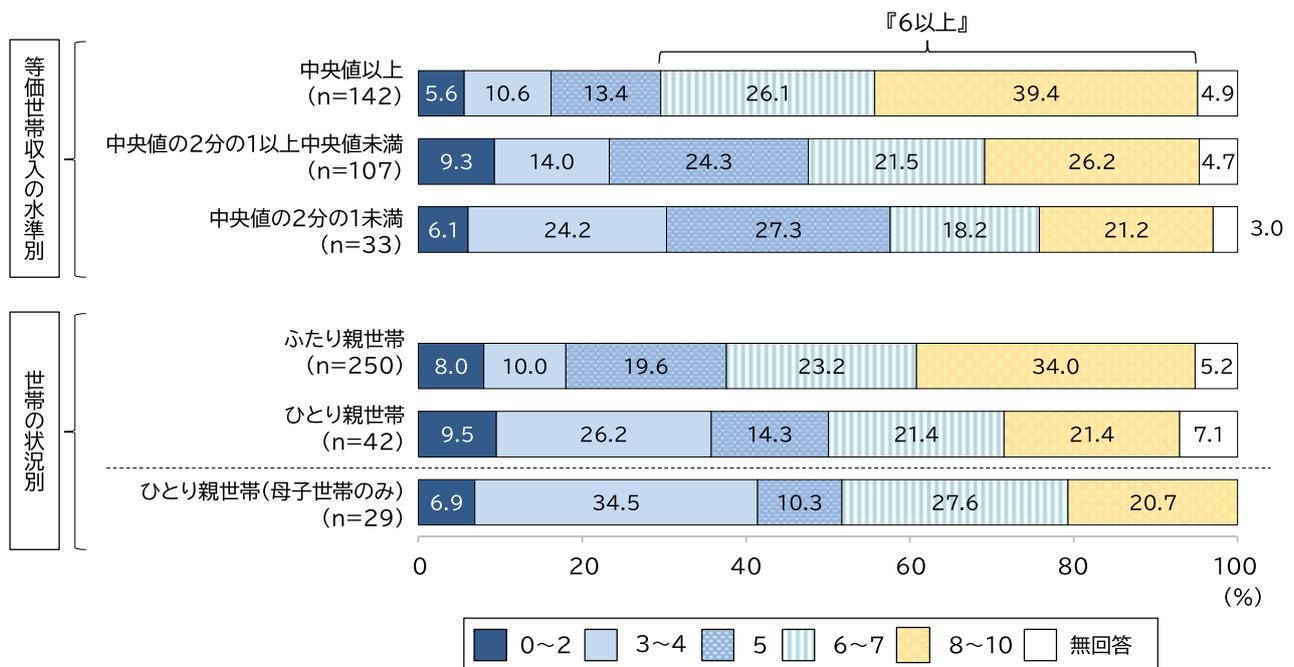
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では 68.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 38.7%、「中央値の2分の1未満」では 31.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では 56.1%、「ひとり親世帯全体」では 33.4%、「母子世帯のみ」では 40.0%となっている。

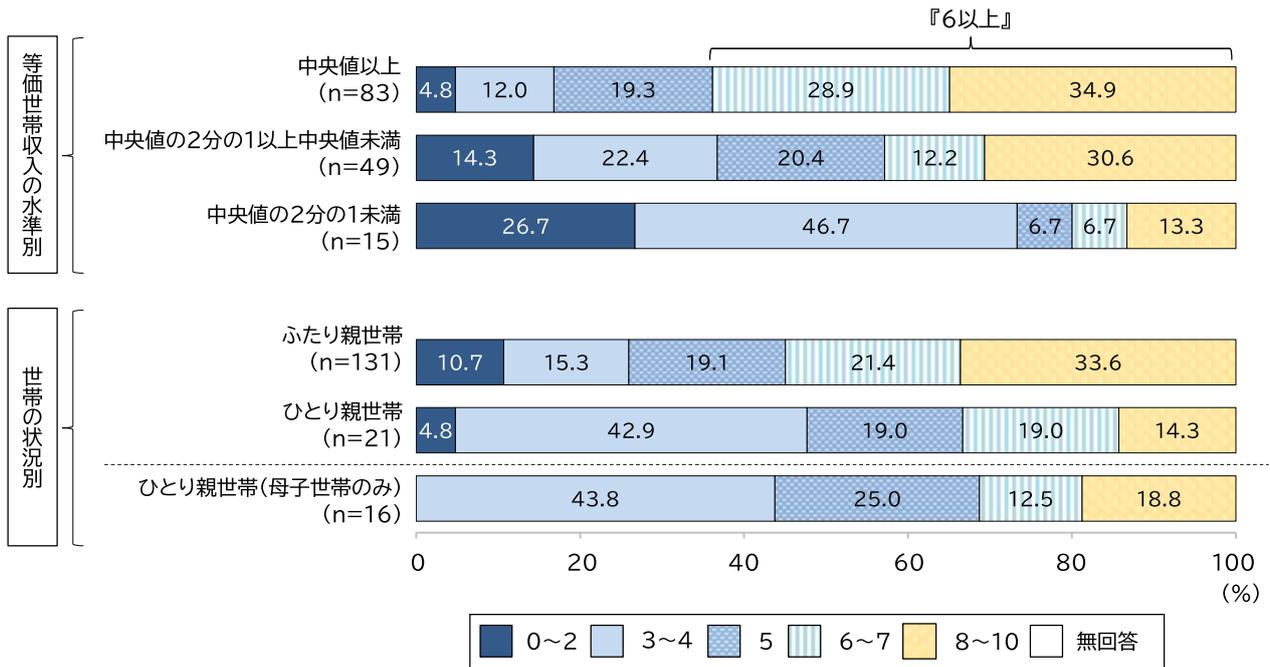
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では 65.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 47.7%、「中央値の2分の1未満」では 39.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では 57.2%、「ひとり親世帯全体」では 42.8%、「母子世帯のみ」では 48.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では 63.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 42.8%、「中央値の2分の1未満」では 20.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では 55.0%、「ひとり親世帯全体」では 33.3%、「母子世帯のみ」では 31.3%となっている。